科目名		人体の構造と機能		学科名 ^{2.} (コース名)	ビューティスペシャリスト科				学年	1学年
授業形態 4.	ŢĮ.	講義	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	該当なし	•	
教育課程区 ^{7.} 分	į	必修	単位数 8.	1	時間数	30	10. 該当資格名称		該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰		解剖生理学の基础	楚を教授する。当	移該内容はエステ、	、ネイル、メイク	の施術の際に役	立つ。			
科目の到達目 (教育課程の位	置づけ)								剖生理学の基礎を るための基礎知識	
受講条件	13.	YIC京都ビューテ	ィ専門学校ビュ・	ーティスペシャリ	スト科に在籍し	ていること				
教科書名	14.	該当なし				教材名 15	「年メイナニアレスフトにこうまり	用する参考書、ī /著者名/発行元/	市版本、オリジナ 発行日/改版/関連	ルPowerPointな 車頁など
設備名・機器		実習機器名・実	験機器名・素材	名・動物名など		17 関連サイト	参考となる引用	」、関連するペー	ジタイトル/URL	
関連前科目	18.	igia となり 関連後科目 関連後科目 対象								
授業計画(哲	受業コマ単位	:) 学科:15コマリ	学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位					20.		
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および持	受業コマの到達!	目標	使用教	科書・教材
第回	〇月〇日	各回(コマ)同じ としない。	(コマ)同じ主題(タイトル) 記入要領:書体B12 UD明朝 Medium、フォントサイズ 11 級、上揃え・左揃え、一行 45 W $ imes$ 2行まない。				ま正式な名称を記	記述する。		
第1回	4月15日	解剖生理	里学とは	オリエンテーショ	ン。解剖生理学を	学ぶ目的、役割を	理解する		オリジナルPow	verPoint
第2回	4月	細胞	細胞とは何かを学ぶ				オリジナルPow	verPoint		
第3回	5月13日		・器官・系統 4組織・器官・系統とは何かを学ぶ 骨の名称、位置、働きを学ぶ				オリジナルPow	verPoint		
第4回	5月20日	骨格.	系統2	骨の細胞と成長				オリジナルPow	verPoint	
第5回	5月27日	筋肉	筋肉系統1 筋肉の名称と位置、働きを学ぶ					オリジナルPowerPoint		
第6回	6月3日	筋肉系統2 筋肉の名称と位置、働きを学ぶ					オリジナルPow	verPoint		
第7回	6月10日	消化器	f系統1	消化器の構造と働	きを学ぶ				オリジナルPow	verPoint
第8回	6月17日	消化器系統	2 栄養素	消化器の構造と働	きを学ぶ 3大栄	養素・ビタミン・	ミネラル・カロリー	・基礎代謝	オリジナルPow	verPoint
第9回	6月24日	呼吸器 循環	器1(血液)	呼吸について学ぶ 管)	循環器について	学ぶ(血液成分・	働き・循環経路・	静脈・動脈・毛細	^血 オリジナルPow	verPoint
第10回	7月1日	循環器2	(リンパ)	リンパについて学ぶ リンパとは何か、リンパの流れ					オリジナルPow	verPoint
第11回	7月8日	作帳	世器	排泄器について学ぶ 腎臓・尿管・尿の生成について学ぶ 腎臓の病気について					オリジナルPow	verPoint
第12回	7月15日	神系	圣系	神経系の基本知識	を学ぶ 大脳と神	経の伝導・自律神	経について	オリジナルPow	verPoint	
第13回	7月22日	内分	※ 泌1	ホルモンについて	学ぶ 作用・分泌	のコントロール・	内分泌腺の種類		オリジナルPow	verPoint
第14回	7月29日	内分泌2 解部	生理学まとめ	ホルモンについて し理解度を高める	学ぶ 作用・分泌	いコントロール・	内分泌腺の種類]	〜14回の授業を復	^{夏智} オリジナルPow	verPoint
第15回	8月5日	成績判	定試験	成績判定試験実施	1 到達目標 筆記	は試験(選択問題・	記述問題を解くこ	とができる)	オリジナル試験	
成績評価方法	(当該コマの	の到達目標に対	する評価基準と	:評価方法)						21.
③確認テスト	(選択問題・ 授業内で出て 小テストの得	記述式問題) [きたワード(専] 身点を合計し、全 で按分し総合点	体の成績に反映す	「る④授業態度、	提出物及び授業へ	への出席状況を評	価する。			
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
①成績判定試験	ŧ		1位	2位					秀(S):100点~	
②確認テスト ③課題レポート			2位	2位					優(A): 89点~ 白(P): 70占~	
③課題レポート ④授業態度	•				2位	1位			良(B): 79点~ 可(D): 69点~	
⑤作品					411/	1 1 1 1/1			可 (D): 69点~ 不可 (E):59点以	
©1Fm ⑥プレゼンテー	-ション							なし	1.3 (日) •03点炒	N 1
3. , 2, ,		D判定方法がどの	観点に属するも	」 のか、優先順位を	ı とつける。上位1·	位~降順。				の有無等
3,5 .05 11. 5			シェ ジュマエ	授業担当教員 竹縄惠理						
シラバス作成 者	竹縄惠理		シラバス承認 者	フルネームを記	載	実務経験紹介		務経験教員の紹介	个ページのリンク	を記載
更新履歴			wert t		The fact of					ands the state of
シラバス Jan 1	見新履歴	更新	埋田		更新箇所		作成	有	Check者(催認者)
改1 改2										
改3										
改4										
改5				<u> </u>			1			

科目名		皮膚科学		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペシャリスト科		学年	3 [学年
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分		該当なし	
教育課程区 ^{7.} 分		必修	単位数 8.	1	時間数	30	10. 該当資格名称		該当なし	
科目の概要(全コマ数を俯瞰	11 数して)	皮膚およびその について教授す	村属器官の構造、 る。	皮膚の循環系と	血管の解剖と生理	里、皮膚と附属器	官の一般的生理機	能、皮膚と附属	器官の保健ならび	びに疾病の概要等
科目の到達目 (教育課程の位	置づけ)	皮膚のトラブルの					る能力を身につけ とができる知識を			
受講条件	13		ーティ専門学校ヒ		ャリスト科に在籍	鲁していること				
教科書名	14	該当なし				数材名 15	オリジナルPowe:	:Point/オリジナ	・ルプリント	
設備名・機器	16 景名	該当なし				17 関連サイト	日本皮膚科学会 https://www.de			
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	解剖生理学 I			
授業計画(哲	受業コマ単位	1) 学科:15コマ.	以上目単位、実習	『・演習:30コマ』	以上/単位	-				20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および搭	受業コマの到達]標	使用教	科書・教材
第1回	4月16日	皮膚の概要		皮膚の概要、美し	い肌の条件を理解	する			YIC京都オリシ	
第2回	4月23日	皮膚の構造(1)		皮膚の表面と断面	について理解する	•			YIC京都オリシ	・ ジナル教材
第3回	5月7日	皮膚の構造(2)		表皮の構造と役目	について理解する)			YIC京都オリシ	ジナル教材
第4回	5月14日	皮膚の構造(3)		真皮の構造と役目	について理解する	,			YIC京都オリシ	ジナル教材
第5回	5月21日	皮膚の構造(4)		皮下組織の構造と	役目について理解	する			YIC京都オリシ	ジナル教材
第6回	5月28日	皮膚付属器官の構造 汗腺・皮脂腺・毛・爪の構造について理解する						YIC京都オリシ	シナル教材	
第7回	6月4日	皮膚の生理機能(1)	第1回から第6回までの確認テスト・皮膚の生理機能7つについて理解する					YIC京都オリシ	ジナル教材
第8回	6月11日	皮膚の生理機能	2)	皮膚の生理機能7つについて理解する					YIC京都オリシ	シナル教材
第9回	6月18日	紫外線と皮膚		紫外線と皮膚への影響について理解する						ジナル教材
第10回	6月25日	皮膚疾病(1)		ニキビ・ストレス	と皮膚について理	解する			YIC京都オリシ	シナル教材
第11回	7月2日	皮膚疾病(2)		シミの種類とスキ	ンケアについて理	2解する			YIC京都オリシ	シナル教材
第12回	7月9日	月経周期と皮膚		月経周期と皮膚へ	の影響について理	解する			YIC京都オリシ	シナル教材
第13回	7月16日	皮膚科学まとめ(1)	第7回から第12 準備)	回までの確認テス	、ト・第1回から第1	2回の授業総復習ク	「ループワーク(<i>挙</i> 	発表	
第14回	7月23日	皮膚科学まとめ(2)	第1回から第12回の	の授業総復習グル・	ープワーク(発表)				
第15回	7月30日	成績判定試験		筆記試験						
		の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の)評価等は別に定	める。 ^{21.}
②確認テスト ③授業態度 揚 ④作品 グルー	・筆記試験 中間テストが 出物及び授業 -プで1単元の	(選択問題・記述 及び小テストの得 ≹への出席状況を の発表資料の作成 6で按分し総合点	点を合計し、全体 評価する 、発表ができる							
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
①成績判定試駁	į		l位	2位				50	秀(S):100点~	~90点
②確認テスト			1位	2位				30	優(A): 89点~	~80点
③授業態度					2位	1位			良(B): 79点~	
④作品・発表			2位				1位		可(D): 69点~	
									不可(E):59点以	
<u></u>	上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 再試験			北験						
シラバス作成	±= 1. ±-		シラバス承認			授業担当教員	受業担当教員 福本真弓			
者	福本真弓		者			実務経験紹介	https://www.y	ic-kyoto-beau	ty.ac.jp/voice/	fukumoto/
更新履歴 シラバス!	手新履 縣	百本	理由	I	更新箇所		作成	者	Check者((確認者)
改1	- 1/1/164,000	入 和			~11 円///		1779	_	oneen-H	
改2										
改3										
改4										
	i i	1		i .			1	Į.		

科目名 1	香粧品化学			学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティスペシャリスト科			学年	2学年
授業形態 4.	Ī	講義	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分6.	民間検定		•
教育課程区 ^{7.} 分	į	必修	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称		日本化粧品検定2	2級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11. 数して)	香粧品の科学的なる	基礎知識を学ぶ。	香粧品の成分、何	使用目的、安全性	生、原料や性状を	理解しお客様のニ	ズに合わせ	てご提案できるた	めの知識を教授す
科目の到達目 (教育課程の位)	置づけ)		2級合格相当の知 動きを理解し、目	1識を身に付ける 的に合った使い	方が出来るように	こなる。				
受講条件	13.	Y I C京都ビュー	ーティ専門学校ヒ		ャリスト科に1年	以上在籍している	ること			
教科書名	14.			ト コスメの教 対策問題集 A5判	科書 A5版	和 教材名	オリジナルプリ:	ント/オリジナ/	ルPowerPoint	
設備名・機器	16. 景名	投影用プロジェク	ウター設備/PC			17 関連サイト	https://cosme	-ken.org/		
関連前科目	18.	人体の構造と機能	能、皮膚科学、ア	'ロマテラピー基	楚	関連後科目	メイクアップ総合	合/ネイル総合/	/エステ総合	
授業計画(哲	受業コマ単位]) 学科:15コマ以	人上目単位、実習	・演習:30コマリ	以上/単位					20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および招	受業コマの到達目	目標	使用耈	(科書・教材
第1回	4月14日	オリエンテーショ	ョン	オリエンテーショ 現在の知識の復習		<u></u>			日本化粧品検キスト	定2級・3級対策テ
第2回	4月21日1限	2級試験対策 I ※	特別講師	肌タイプの見分け	方・肌悩みの原因	とお手入れ方法			日本化粧品検キスト	定2級・3級対策テ
第3回	4月21日	2級試験対策Ⅲ※	特別講師	肌を劣化させる様 紫外線が肌に与え	々な要因について る影響について理	理解する 解する			日本化粧品検キスト	定2級・3級対策テ
第4回	4月28日1限	2級試験対策Ⅲ※	特別講師	肌を劣化させる様 紫外線が肌に与え					日本化粧品検キスト	定2級・3級対策テ
第5回	4月28日	2級試験対策IV※	 試験対策IV ※特別講師 効果的なマッサージの必要性と方法について理解する					日本化粧品検キスト	定2級・3級対策テ	
第6回	5月12日1限	2級試験対策V※特別講師 美しい肌を作る生活習慣について理解する						日本化粧品検キスト	定2級・3級対策テ	
第7回	5月12日	2級試験対策VI※	特別講師	模擬試験 日本化粧品検定2級の内容を把握し、答えることができる					日本化粧品検 キスト	定2級・3級対策テ
第8回	5月19日	2級試験対策Ⅶ 模擬試験 日本化粧品検定2級				pを把握し、答える	ことができる		オリジナル教	材
第9回	5月25日 (日)2限	日本化粧品検定	2級試験	日本化粧品検定2%	及試験実施				オリジナル教	材
第10回	5月26日	香粧品化学 I		化粧品の原料・界	面活性剤について	理解する			オリジナル教	材
第11回	6月2日	香粧品化学Ⅲ		スキンケアアイテ	ム・メイクアップ	の原料・成分につい	ハて学ぶ、クラフト	作成	オリジナル教	材
第12回	6月9日	香粧品化学IV		ネイル・ヘアケア	・ボティケアの基	礎知識・原料・成績	分について理解する	クラフト作成	オリジナル教	材
第13回	6月16日	化粧品について		法律・広告やPR	・化粧品を安全に	使うための基礎知言	識を習得する		オリジナル教	材
第14回	6月23日	総復習		1~12回の授業	総復習				オリジナル教	材
第15回	7月7日	成績判定試験		選択問題・記述問	題					
		D到達目標に対す。	る評価基準と評価	折方法)…「筆記	試験」における	試験(出題)の適正	E化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に定る	める。 ^{21.}
②確認テスト ③授業態度	(選択問題・ 小テストの得 出物及び授業	記述式問題)試験 点を合計し、全体 への出席状況を記 で按分し総合点を	はの成績に反映す 呼価する							
	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	:価基準
①成績判定試験	È		1位	2位				70	秀(S):100点~	~90点
②確認テスト			2位	2位				20	優 (A) : 89点~	~80点
③課題レポート	•							なし	良(B): 79点~	~70点
④授業態度					2位	1位		10	可(D): 69点~	
⑤作品								なし	不可(E):59点以	以下
⑥プレゼンテー					EA1					
	上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 再試験1回									
シラバス作成者 福本真弓 ジラバス承認 オフルネームを記載 授業担当教員 武田周子・奥谷千晴 実務経験紹介 該当なし										
更新履歴						大奶性默和川	HX⊐.4 ∪			
シラバス	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者	(確認者)
改1										
改2						-				
改3										
改4									 	
改5							1		<u> </u>	

科目名 ¹ 授業形態 ⁴ 教育課程区 ⁷ 分 科目の概要 (全コマ数を解)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		学期 単位数 ^{8.}	学科名 ^{2.} (コース名) 後期	開講年月 5	ビューティク 9月	スペシャリスト科 該当資格区分	民間検定	学年	1学年
教育課程区 ⁷ 分 科目の概要 (全コマ数を俯	11 取して)	必修	8.	後期	開講年月 5	9月	該当資格区分6.	民間検定		
分 科目の概要 (全コマ数を俯	11. 職して)		単位数 8.		0			当資格区分 民間検定		
(全コマ数を俯	瞰して)			1	時間数	30	該当資格名称	パー	ーソナルカラリス	検定3級
対ロの到法		_ ,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	感覚的な力を理	解し、メイク、	ネイル、トータノ	レコーディネート	等の実践に活かせ	る知識を教授す	する	
科目の到達 (教育課程の位	Z置づけ) 13	パーソナルカラ	要な知識を習得す リスト検定3級合	[・] る科目。 各相当の知識を身	トに付ける	るとともに、 いての知識を習得	する			
受講条件	3.5	Y I C京都ビュ [、]	ーティ専門学校ヒ		ャリスト科に在紅	善していること				
教科書名	14		リスト検定3級公	式テキスト第2版		教材名	オリジナルプリ	ント/CUS®カラ	ーカード157	
設備名・機	16 器名	該当なし				型連サイト	- 1			
関連前科目	18	メイクアップ基础	遊・メイクセラヒ	一基礎		期連後科目	メイクアップ総 ₁	合/ネイル総合/	/エステ総合	
授業計画(打	授業コマ単位	1)学科:15コマ.	以上目単位、実習	・演習:30コマ	以上/単位					20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)		条時間ごとの 接	登出内容およびお	受業コマの到達目	3/2	(市田	教科書・教材
第1回	9月29日	オリエンテーシ		授業の目標、目的	、成績評価につい		(米コ (の到走)	コ 1水	パーソナル	/カラリスト検定3級公
第2回	10月6日	四季を表す色味		色彩学の概要につ 春夏秋冬にかかわ		解する			式テキスト パーソナル 式テキスト	カラリスト検定3級公
第3回	10月20日	色の歴史		特徴的な伝統色を	知る					カラリスト検定3級公
第4回	10月27日	色の生活		衣食住等、周りを	取り巻く色味につ	いいて理解する				カラリスト検定3級公
第5回	11月10日	色の種類		色の8系統のそれや	ぞれの特徴につい	て理解する				カラリスト検定3級公
第6回	11月17日	色の仕組み		物体色と光源色、	無彩色と有彩色の)違いについて理解	パーソナル 式テキスト	カラリスト検定3級公 第2版		
第7回	12月1日	CUS表色系		CUS色相、CUS色調	IS色相、CUS色調、カラーアンダートーンシステムCUSについて理解する					ケカラリスト検定3級公 第2版
第8回	12月8日	色の三属性と対	比現象	明度、彩度、色相	について理解する	,			パーソナル 式テキスト	カラリスト検定3級公 第2版
第9回	12月15日	色の感情効果		明度、彩度、色相	に関する心理的効	果について理解す			パーソナル 式テキスト	/カラリスト検定3級公 第2版
第10回	12月22日	CUS配色効果		アンダートーンに	式テキスト第2					カラリスト検定3級公 第2版
第11回	1月19日	ファッション概	論	基本的な配色テク	ニックについて理	解する	式テキスト			
第12回	2月2日	ブライダルと色彩	影	ウエディングと配	色調和について理	解する			式テキスト	
第13回	2月9日	パーソナルカラ・	-	肌色の仕組みにつ	いて理解する				式テキスト	
第14回	2月10日	パーソナルカラ・	ーの特徴		'ンダートーン、 <i>!</i>	ペーソナルカラーを	理解する		式テキスト	
第15回	2月16日	総復習		期末試験対策 1~14回目の授	業の復習、習得度	を把握する			式テキスト	/カラリスト検定3級公 第2版
	2月17日	成績判定試験		筆記試験 選択問題・記述問				_		
成績評価方	法(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	西方法)…「筆記	『試験』における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」	の評価等は別に	定める。
②確認テスト ③課題提出 戸	験(選択問題・ 小テストの役 所定の課題の扱	・記述式問題)試 景点を合計し、全 是出を全体の成績 状況を評価する	体の成績に反映す	- శ						
		んだを計画する んで按分し総合点	60点以上を合格	子とする						
↓判定	2方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績	評価基準
①成績判定試験	験		1位	2位				70	秀(S):100	点~90点
②確認テスト			2位	2位				10	優(A): 89	点~80点
③課題提出			1位	2位				15	良(B): 79	点~70点
④授業態度					2位	1位		5	可 (D) : 69	点~60点
⑤作品 なし 不可(E):59点以下			点以下							
⑥プレゼンテーション なし 上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 補修、追試の										
<u></u>	上記	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	をつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	補修、	追試の有無等
シラバス作成	福本真弓		シラバス承認	フルネームを記	載	授業担当教員	亀田純代			
者	IM-1-24 J		者	,		実務経験紹介	該当なし			
更新履歴シラバス	更新履歴	百年	理由		更新箇所		作成	者	Chack	者(確認者)
改1	- 4-1/1/08/334	天 和			~勿出///		17/40		Once	= \musec H /
改2										
改3	1									
改4										

科目名 1	科目名 1 ブライダル概論			学科名 ^{2.} (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	7学年	
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分	該当なし		
教育課程区 ^{7.} 分		必修	8. 単位数	1	9. 時間数	30	10. 該当資格名称		該当なし	
科目の概要(全コマ数を俯瞰	11 散して)	社会人として人		」 のれる通過儀礼を注 の立ち居振る舞り		とる冠婚葬祭の一	般的な知識、マナ	ーを教授する		
科目の到達日 (教育課程の位	コ 1示	当該科目の教育。 Diploma Policy 冠婚葬祭基本的	の要件を満たすネ	4目			界で働くためのマ	ナー及びモラ)	レを身に付ける	
受講条件	13	YIC京都ビューテ	· ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	ノスト科に在籍し					
教科書名	14	該当なし				数材名 数材名	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint			
設備名・機器		教材投影用プロ	ジェクター・PC	(講師用)		17. 関連サイト				
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	ビジネスと仕事の	の実践		
授業計画(拍	受業コマ単位	三)学科:15コマ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ.	以上/単位					20
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および摂	受業コマの到達目	1標	使用教	科書・教材
第1回	4月21日3限	オリエンテーシ	ョン	授業の目標、目的 自己紹介実施・ブ	、成績評価につい ライダル概論の必	て理解する 要性について理解す	する		オリジナルプ! PowerPoint	リント/オリジナル
第2回	4月25日	冠婚葬祭 I		冠婚葬祭、日本の	文化について理解	する			オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第3回	5月9日	冠婚葬祭Ⅱ		冠婚葬祭のマナー	(水引、熨斗、祝	儀袋)について理解	解する		オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第4回	5月16日	結婚式用語につい	いて	六輝、忌み言葉、	業界での用語につ	いて理解する			オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第5回	5月23日	結婚式のマナー	I	結婚式に招かれた	時のマナーについ	て理解する			オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第6回	5月30日	結婚式のマナー	П	結婚式においての	食事のマナーにつ	いて理解する			オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第7回	6月6日	接客マナーI		対応について学ぶ					オリジナルプロ PowerPoint	リント/オリジナル
第8回	6月13日	挙式、ドレスの	種類	挙式+ドレスの種	類について理解す				オリジナルプロ PowerPoint	リント/オリジナル
第9回	6月20日	和装・和婚		和装の花嫁、和装	スタイルについて	理解する			オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第10回	6月27日	ブライダル美容	I	ブライダル業界に	おけるエステ、メ	イク、ネイルの必引	要性について理解す	· 8	オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第11回	7月4日	ブライダル美容	П	ブライダル美容の	スケジュール、注	意点について理解で	する		オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第12回	7月11日	ブライダル美容]	Ш	挙式、ドレススタ	イルに合わせた美	容イメージコラーミ	ジュを考える		オリジナルプ PowerPoint	リント/オリジナル
第13回	7月18日	接客マナーⅡ		各分野での新郎新	婦様へのご対応に	ついて学ぶ ローノ	レプレイングを実施	する	オリジナルプ [†] PowerPoint	リント/オリジナル
第14回	7月25日	ブライダル概論	まとめ	1~13回の授業	を復習し理解度を	と高める			オリジナルプ [†] PowerPoint	リント/オリジナル
第15回	8月1日1限	成績判定試験		成績判定試験実施 到達目標:筆記		記述式問題)を	解くことができる)	オリジナルプロ PowerPoint	リント/オリジナル
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	『試験』における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に定	める。 ^{21.}
①記述式問題 1 ②確認テスト / ④授業態度 提 ⑥プレゼンテー: 上記評価点数を	(選択問題・記 受業内で出てき 小テストの得点 出物及び授業へ ション 接客ロ 下表の配分%で	述式問題) 試験 たワード (専門用: を合計し、全体の) の出席状況を評価 ロルプレイング実 な分し総合点60	語)を記入すること 成績に反映する する 施							
	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	
①成績判定試験	芡		1位	2位				40	秀(S):100点~	
②確認テスト ③課題レポート	`		2位 2位	2位				10	優(A): 89点~ 良(B): 79点~	
③ 課題レホー 「 ④授業態度			411/	1 177	2位	1位		30	及(B) · 79点~ 可(D) : 69点~	
⑤作品					7.177	1.177		なし	可 (D) . 69点~ 不可 (E) :59点以	
⑥プレゼンテ -	-ション(接名	タロープレ)				1位	2位 10 (日) .59点以下			
	上記の	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1位	位~降順。				剣 1回
			2, 2, 10 2 -3, 20			授業担当教員	美担当教員 楠本五月子			
シラバス作成者 福本真弓 シラバス承認 者		授業担当教員			常本エハナ 学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを			を記載		
更新履歴 更新理由 更新箇所 作成者 Check者(確			704 - 177 - Le \							
シラバス!	更新履歴 	更新	埋由	更新箇所 作成者 Check者(確認者)			確認者)			
改1										
改3										
854										

改5

				1											
科目名 ¹	メー	イクアップ基礎(逆 (理論) 学科名 ^{2.} ビューティスペシャリスト科			学年	1学年								
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分	民間検定	•	•					
教育課程区 ^{7.} 分		必修	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称	日本メイク	クアップ知識検定詞	式験ベーシック					
科目の概要(全コマ数を俯瞰	11 敵して)	当該内容は現場で	での接客、施術の		,,,,,,,										
科目の到達目 (教育課程の位	置づけ)		要な知識を習得す	「る科目。 《ーシック合格相》											
受講条件	13	YIC京都ビューテ	ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	ノスト科に在籍し	ていること。									
教科書名	14			支術検定試験3級2 ーシック 公式問題		数材名 15	オリジナルプリ	ント							
設備名・機器		該当なし	関連サイト					17. ト 一般社団法人JMA公式ホームページ https://www.jma-makeup.or.jp/about/				┃ 悶油サイト ┃一般社団法人JMA公式ホームページ			
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	メイクアップ I	(理論)							
授業計画(哲	受業コマ単位	:) 学科:15コマリ	以上目単位、実習	『・演習:30コマ.	以上/単位					20.					
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および摂	受業コマの到達	目標	使用教	枚科書・教材					
第1回	4月16日	オリエンテーショ	ョン	授業のルール、授	業の目標、検定内	容について理解する	<u> </u>		イクアップ知識	公式テキスト/日本メ 倫定試験ベーシック 公					
第2回	4月23日	顔のパーツの名和 メイクアップツ-		顔のパーツの名称 メイクアップツー		バランスについて覧 て理解する	覚える		定試験3被3被 イクアップ知識	日本メイクアッフ技術模 公式テキスト/日本メ 検定試験ベーシック 公					
第3回	5月7日	顔分析・肌分析		自分の顔のパーツ 肌のタイプ別特徴	バランスを知る を理解する				イクアップ知識	公式テキスト/日本メ 検定試験ベーシック 公					
第4回	5月14日	スキンケアの基準	*	スキンケアの基礎	知識を理解する、	スキンケアアイテム	ムのそれぞれの役割	を理解する		日本メイクアップ技術検 公式テキスト/日本メ 検定試験ベーシック 公					
第5回	5月21日	メイクアップ基础	楚理論	メイクアップの効果、色彩の基礎知識について理解する					25年度以訂版) 定試験3級6級 イクアップ知識/ オ問類集	日本メイクアツノ技術博 公式テキスト/日本メ 検定試験ベーシック 公					
第6回	5月28日	ベースメイク理語	侖	ベースメイクアイテムのそれぞれの役割について理解する					25年度改訂版) 定試験3級7級	日本メイクアッフ技術模 公式テキスト/日本メ 検定試験ベーシック 公					
第7回	6月4日	ポイントメイク	里論 I	ハイライト、ロー	11 ライド、ローライド、データ、リップの基礎知識について理解する					日本メイクアツノ技術検 公式テキスト/日本メ 検定試験ベーシック 公					
第8回	6月11日	ポイントメイク	里論Ⅱ	アイブロウ、アイメイクの基礎知識について理解する					式問類集 23年度改訂版) 定試験3級9級 イクアップ知識 式問類集	日本メイクアツノ技術模 公式テキスト/日本メ 検定試験ベーシック 公					
第9回	6月18日	修整メイクアップ	Ĵ I	顔型、顔バランス	の修整方法につい	て理解する			25年度改訂版) 定試験3級10;	日本メイクアップ技術検 級 公式テキスト/日本 畿検定試験ベーシック					
第10回	6月25日	修整メイクアップ	 プⅡ	目元、眉、口元の	修整方法について	理解する			定試験3級11	級 公式テキスト/日本 議検定試験ベーシック					
第11回	7月2日	検定対策 I		1~10回の授業	内容を復習し理解	度を高める			定試験3級12	日本メイクアッフ技術模 級 公式テキスト/日本 畿検定試験ベーシック					
第12回	7月9日	検定対策Ⅱ		模擬試験実施 日本メイクアップ	知識検定ベーシッ	ク合格基準を満たて	すことが出来る		定試験3級13	日本メイクアツノ技術博 級 公式テキスト/日本 畿検定試験ベーシック					
第13回	7月16日	日本メイクアップ ベーシック	プ知識検定試験	検定試験実施					一般社団法人	JMA試験問題					
第14回	7月23日	期末試験対策		期末試験のポイン	トを理解する				25年度以訂版) 定試験3級13 メイクアップ知 公式問題集	日本メイクアップ技術模 級 公式テキスト/日本 議検定試験ベーシック					
第15回	7月30日	期末試験		期末試験実施 筆記試験:選択問	題80問実施				オリジナルブ	゚リント					
		の到達目標に対す	る評価基準と評価	西方法)…「筆記	己試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」	の評価等は別に定	Eめる。 21.					
②確認テスト ③授業態度 携	食 (選択問題 6 小テストの得 出物及び授業	60・記述式問題 身点を合計し、全性 後への出席状況を 6で按分し総合点	体の成績に反映す 評価する	「る	点)・試験時間:	5 0 分									
	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績割	P価基準					
①成績判定試駁			1位	2位			2.112	70	秀 (S):100点						
②確認テスト	-		1位	2位				20	優(A): 89点						
③課題レポート			1 124	n 177				なし	良(B): 79点						
④授業態度					2位	1位		10	可(D): 69点						
⑤作品								なし	不可(E):59点J						
⑥プレゼンテ ー	-ション						なし 木可(E):59点以下 なし			<u> </u>					
	上記の	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1・	位~降順。		不合格の場合	再試	験1回					
			シラバス承認			授業担当教員	渡辺幸美								
シラバス作成者	福本真弓 ————————————————————————————————————		者			実務経験紹介	該当なし								
更新履歴					(at the total										
	尹新履歴	更新	埋由		更新箇所		作成	者	Check者	(確認者)					
改1															
改2															
改4															
改5															

科目名	「教	(育課程」と同じ和	4目名。	学科名 ^{2.} (コース名)		「学則」上の名称	。略してはならな	۲۱.	学年	3.
授業形態 4.		講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定		1
教育課程区7.		必修	単位数 8.	2	時間数	60	10. 該当資格名称		アロマテラピー検定	
分	11			LT 48XT EDIT TO		•	MAKIN DIS		アロマテラピー検定	.1赦
科目の概要 (全コマ数を俯	敬して)			け及び活用法につ 里、現場での販売		立つ				
科目の到達! (教育課程の位	目標		要な知識を習得す	トる科目。 合格相当の知識を	身に付ける。	るとともに、 ・ カエストレができ	. z			
受講条件	13			ごューティスペシ						
教科書名	14			、2020年6月改訂版	反	15 教材名			ニッセンシャルオィ	
設備名・機を	16	アロマテラピーを該当なし	検定公式問題集2	020年6月改訂版		YX M 石	アロマテラピー		ニッセンシャルオィ -ジ	(ルセット C
	18	該当なし				. 19	https://www.ar サロン運営 I	omakankyo.or.	jp/licences/aron	na/
関連前科目	7 Mr. W. 11					関連後科目	グログ連名 1			20
		1) 学科:15コマ		1		で来 中 ゆき とっぱ	空巻 ココ の 別 本 1	→ 4 mi	/tr m #h	
回(コマ)	開講日	授業コマの主		授業の目標、目的		受業内容および担	又来コマの到達!	日悰		科書・教材 検定公式テキスト
第1回	10月1日	オリエンテーシ		アロマテラピーに	ついて理解する		and a state of the	emiter 1 et	アロマテラピー	検定公式問題集 検定公式テキスト
第2回	10月1日	精油のプロフィ				レープフルーツの精		理解する	アロマテラピー	検定公式問題集
第3回	10月8日	精油の基礎知識				削、抽出法について			アロマテラピー	検定公式問題集
第4回	10月8日	精油のプロフィ	ール2			ャーマンカモミール		いて理解する	アロマテラピー	検定公式問題集
第5回	10月15日	精油の基礎知識	2	基材、芳香浴法、	木浴法、吸入法、	湿布法について理	解する		アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第6回	10月15日	精油のプロフィ		ジャスミン、ジュ	ニパーベリー、	スイートオレンジの	精油の特徴につい	て理解する	アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第7回	10月22日	アロマテラピーの	のメカニズム	精油が心身に伝わ	る仕組み、精油の	の作用について理解	する		アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第8回	10月22日	精油のプロフィ	ール4	スイートマージョ	ラム、ゼラニウ	ム、ティートリーの	精油の特徴につい	て理解する	アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第9回	10月29日	アロマテラピーの	の歴史1	古代のアロマテラ	ピーについて理解	解する			アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第10回	10月29日	精油のプロフィ・	ール5	ネロリ、パチュリ	、ブラックペック	パーの精油の特徴に	ついて理解する		アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第11回	11月5日	アロマテラピーの	の歴史 2	中世から近世のア	ロマテラピーに	ついて理解する			アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第12回	11月5日	精油のプロフィ	ール6	フランキンセンス	、、ベチバー、ペ	パーミントの精油の	特徴について理解	する	アロマテラピー アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第13回	11月12日	アロマテラピーの	の歴史3	近代から現代のア	ロマテラピーに	ついて理解する			アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第14回	11月12日	精油のプロフィ	ール7	ベルガモット、ベ	マロマテラピ アロマテラピ					検定公式テキスト 検定公式問題集
第15回	11月19日	アロマテラピー	と環境		アロマテラビ					検定公式テキスト 検定公式問題集
第16回	11月19日	精油のプロフィ・	ール8	メリッサ、ユーカリ、ラベンダー、レモンの精油の特徴について理解する					アロマテラピー アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第17回	11月26日	精油のプロフィ・	ール9	レモングラス、ロ	ーズ、ローマン	アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集			
第18回	11月26日	アロマテラピー:	クラフト作成1	アロマを活用した	化粧水を作成する	アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集			
第19回	12月3日	アロマテラピー(に関する法律	アロマテラピーと	法律について理解	アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集			
第20回	12月3日	アロマテラピー:	クラフト作成2	アロマを活用した	トリートメント	オイルを作成するこ	とができる		アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第21回	12月10日	アロマテラピー	と健康学1	アロマの活用(睡	眠、ストレス)(こついて理解する			アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第22回	12月10日	アロマテラピー:	クラフト作成3	アロマを活用した	:ハーブティーを	乍ることができる			アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第23回	12月17日	アロマテラピー	と健康学2	アロマの活用(女	(性ホルモン) に	ついて理解する			アロマテラピー	
第24回	12月17日	アロマテラピー:	クラフト作成4	アロマを活用した	バスソルトを作り	成することができる	1		アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第25回	1月14日	アロマテラピー	と健康学3	アロマの活用(ス	キンケア)症状が	別の利用法について	理解する		アロマテラピー	検定公式テキスト 検定公式問題集
第26回	1月14日	アロマテラピー	クラフト作成5	アロマを活用した	:クレイパックをイ	作成することができ	る		アロマテラピー	検定公式テキスト
第27回	1月21日	アロマテラピー		検定試験対策	2 3r -r				アロマテラピー	検定公式問題集 検定公式テキスト 検定公式問題集
第28回	1月21日	アロマテラピー	検定対策2	1~26回の復習が 模擬試験実施 現		屋する			アロマテラピー	検定公式テキスト
第29回	1月28日	アロマテラピー		期末試験対策					アロマテラピー	検定公式問題集
第30回	1月28日	成績判定試験		1~28回の復習が 成績判定試験:筆					アロマテラピー	検定公式問題集
			る評価基準と評			る試験(出題)の値	直正化(正規分布)	、「レポート」	の評価等は別に知	主める。 ^{21.}
出席率80%以 ①成績判定試験 ②確認テスト	↓上及び 輸 筆記試験 小テストの	(選択問題) 試験 导点を合計し、全	時間50分							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
⑤作品 アロマ	' クラフトのf									
	<u>: 下表の配分9</u> 方法\該当す	%で按分し総合点 る観点→	60点以上を合 知識・理解	格とする 思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
(1)成績判定試験		~ BANN .	和職・理解 1位	忠考・判断 2位	内心: 忠耿	心皮	1人化 : 仅况	70	秀(S):100点~	
②確認テスト			2位	2位				15	優(A): 89点~	
③課題レポート								なし	良(B): 79点~	~70点
④授業態度	-				2位	1位		10	可 (D) : 69点~	~60点
⑤作品				2位	1位	1		5	不可 (E):59点以	以下
⑥プレゼンテ-		D判定方法がどの	組占に届する♪	のか 優失順位者	をつける 上位	1位~降順		なし 不会格の場合	補修、追詢	オの右無等
	上記0	ノドルヒク伝がとの		ッル・、 変元順1仏で	- ノいる。 上江		油川土羊	不合格の場合	111116、坦却	いい円無守
シラバス作成 者	福本真弓		シラバス承認 者	フルネームを記	載	授業担当教員	渡辺幸美			
更新履歴			_			実務経験紹介	該当なし			
シラバス!	 更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者	(確認者)
改1										
改2										
改3										
42.4				ļ			1			

科目名 ¹		ネイル基礎 学科名 ビューティスペシャリスト科 (コース名)							学年	i学年	
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分	民間検定			
教育課程区 7.		必修	8. 単位数	4	時間数	120	該当資格名称	ネイリン	スト技能検定	試験3級	
・ 科目の概要 全コマ数を俯瞰	11 数して)	正しいネイルケ		イルを美しく保つ: 接客の際に役立つ	技術と知識を教持	受する。					
科目の到達目 教育課程の位置		ネイリスト技能	寅定試験3級合格	置付けは学則上の 相当の知識、技術 -リング・ネイル	fを身に付ける			は、技術として位置	づける		
受講条件	13	Y I C京都ビュー	ーティ専門学校と	ごューティスペシ	ャリスト科に在籍	善していること					
教科書名	14	ネイリスト技能		第4版2025年3月系 試験公式問題集	6行	教材名 おリジナルプリント/ネイル道具一式					
設備名・機器	景名	水道				関連サイト	17. 公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター https://www.nail-kentei.or.jp/about/				
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	ネイル I /ネイル	√Ⅱ/ネイルⅢ/ネイ	ルⅣ		
授業計画(授	受業コマ単位	五) 学科:15コマリ	以上目単位、実習	習・演習∶30コマ	以上/単位						
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	3	各時間ごとの授	業内容および	受業コマの到達	目標	使用	教科書・教材	
第1回	4月17日	オリエンテーショ	ン	授業の内容、目標	、成績評価につい	て理解する			ク	フステム ヘーン	
第2回	4月17日	ネイル道具につい	τ	道具の検品が出来 テーブルセッティ	る ングの持ち物につ	いて理解する			クラスリコリ	支货单层試験筆記	
第3回	4月17日	ネイル理論 1		ネイルの歴史につ					プラニカル ク ラフリコン	步吹学云平院举习 步 吹岭实过院等习	
第4回	4月17日	ネイル理論2		ネイル技術体系に	ついて理解する				夕	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
第5回	4月24日	ネイル理論3		爪の構造について	理解する				1 9	5 	
第6回	4月24日	ネイル理論4		爪の構造と働きに	ついて理解する				步	支货炉宏封险等习	
第7回	4月24日	ネイルケア1		基本的なテーブル	セッティングにつ	いて理解する			少	支货炉<u>宏</u>試験等 契	
第8回	4月24日	メイルケア2		用具用材の名称と使用目的、ファイリングの仕方について理解する					ラグリスルサ鉄摩宝試験等 タ		
第9回	5月8日	8日 ネイル理論5 ネイルのための皮膚科学について理解する			ネイルのための皮膚科学について理解する					步樂学宏述晚筆 罗	
第10回	5月8日	ネイルケア3		カットスタイル別ファイリング5種類について理解する					<u> </u>	步樂学宏述晚筆 罗	
第11回	5月8日	ネイルケア4		正しいファイリングの扱い方ついて理解する					テチリスル:	支货检索試験筆記	
第12回	5月8日	ネイルケア5		ファイルを正しく	扱うことができる				ラグニスル! り	支货炉宏試験等习	
第13回	5月15日	ネイル理論6				理解する			まく出るル! か	支铁斧宏試験筆詞	
第14回	5月15日	ネイルケア6		ネイルのための生理解剖学について理解する 安全メタルブッシャーの扱い方について理解する					ラグニスル!	支铁栓宏琴段等 罗	
第15回	5月15日	ネイルケア7		キューティクルク					きず出るか!	支货检索試験筆記	
-	-,,	ネイルケア8					いぶったフ		ラ ラ タ ¹¹	支货炉宏址晚等习	
第16回	5月15日					一ティクルクリー	ンル·じさる 		ラ <u>ラグ¹カル</u> 19	步樂學宏述晚筆起	
第17回	5月22日	ネイル理論7		爪の櫃の病気のト			7.71. →		ラグニスル	支铁炉宏琴颗笔 罗	
第18回	5月22日	ネイルケア9		安全なキューティ					タラリスル!	支货检索試験筆記	
第19回	5月22日	ネイルケア10					ーンの方法を理解す	` శ్		支柴粹宏試験等契	
第20回	5月22日	ネイルケア11		キューティクルニ		いキューティクル	クリーンができる 		サラリスル	き失学宏述験筆 ヲ	
第21回	5月29日	ネイル理論8		消毒法について理	解する				ラ ラグ<u>リ</u>スル :	支货炉宏封购等习	
第22回	5月29日	ネイルケア12		ネイルケアの手順	について理解する				ラ ラグニスル!	支货掺宏过腌等习	
第23回	5月29日	ネイルケア13		手順に沿ってネイ	ルケアができる(施術者)			タ <u>ネチリスル</u>	支柴檢宏試験筆記	
第24回	5月29日	ネイルケア14		手順に沿ってネイ	ルケアができる(被施術者)			少 ラグニスル!	支货掺宏过腌等习	
第25回	6月5日	ネイル理論9		ネイル検定の要点	を理解する				タラリスル	支货掺宏过腌笔 契	
第26回	6月5日	カラーリング 1		ネイルポリッシュ	のカラーリング方	法について理解す	ర		⅓	ナ	
第27回	6月5日	カラーリング2		ネイルポリッシュ	を用いてカラーリ	ングができる(施	術者)		3	ラ	
第28回	6月5日	カラーリング3		ネイルポリッシュ	を用いてカラーリ	ングができる(被	施術者)		1 2	ラ 供給 宝球	
第29回	6月12日	ネイル理論10		ネイル検定学科試	験の要点を理解す	る			3 >	· · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
第30回	6月12日	ネイルケアカラー	1	正しいネイルカラ	ーリングの手順と	方法について理解	する		3 7	ラグ ウェス ランション ラグ ラグ ライン ライン アンフェー アンフェー アンフェー アンファイン アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	
第31回	6月12日	ネイルケアカラー	2	正しい手順に沿っ	てカラーリングが	できる(施術者)			1 5	ラステム ペーラ	
第32回	6月12日	ネイルケアカラー	3	正しい手順に沿っ	てカラーリングが	できる(被施術者)		少	ラステム ペーラ 支鉄検宏試験筆記	
第33回	6月19日	カラーリング4		効率的なネイルカ	ラーリングの方法	について理解する			1 9	シ失かな マーラ 支 集幹会試験筆 詞	
第34回	6月19日	カラーリング5		材料の扱い方につ	いて理解する				3 7		
第35回	6月19日	カラーリング 6		効率的にネイルカ	ラーリングができ	る(施術者)			1 5	5. 	
第36回	6月19日	カラーリング7		効率的にネイルカ	ラーリングができ	る (被施術者)			3	支货炉宏过晚等5 +***** 空 式晚等5	
第37回	6月26日	ネイル理論 1 1		ネイル検定学科試験問題が解ける			支货检索过降等习				
第38回	6月26日	ネイルケアカラー	4	安全な道具の扱い	方について理解す				 オグニスル b	支铁棒宏試験等記	

第39回	6月26日	ネイルケアカラー5	ネイルケアカラーの効果を高めることができる(施術者)	リケーカルンスリム ペーシッ り えイリフトは他絵字試験等記試
第40回	6月26日	ネイルケアカラー6	ネイルケアカラーの効果を高めることができる(被施術者)	リンニカルンスリム ペーシッ り えイリスト技能給完試験等記試
第41回	7月3日	ネイルアート1	ネイルアート材料の扱い方について理解する	ターバルンステム ・ シッ
第42回	7月3日	ネイルアート2	ブラシワークについて理解する	ナイルスルザ鉄幹宏球験等記載 り シイルストは鉄路空球験等記載
第43回	7月3日	ネイルアート3	検定課題のフラワーアートが描ける (施術者)	タ
第44回	7月3日	ネイルアート4	検定課題のフラワーアートが描ける (被施術者)	ラグルスルゼ鉄幹宏試験等記載 り
第45回	7月10日	検定対策 1	学科試験問題が解ける	ネチリストサ鉄拳宏球験筆記載 タ
第46回	7月10日	検定対策 2	検定試験課題を一連の流れでできる(施術者)	<u> </u>
第47回	7月10日	検定対策3	検定試験課題を一連の流れでできる (被施術者)	ラグリスルザ鉄幹宏球験等記載 タ
第48回	7月10日	検定対策4	実技採点の詳細について理解する	ラグリスルサ鉄鈴宏試験筆記載 り
第49回	7月17日	模擬試験 1	筆記模擬試験で合格基準を満たすことができる	ネラリスト技能検索試験筆記封 タ ネイリスト技能検索試験筆記封
第50回	7月17日	模擬試験 2	実技模擬試験で合格基準を満たすことができる(施術者)	タースパンスリム へ シリ
第51回	7月17日	模擬試験3	実技模擬試験で合格基準を満たすことができる(被施術者)	ラグルスルゼ鉄栓宏球験等記載 り
第52回	7月17日	模擬試験4	実技、筆記試験の課題を把握することができる	ラグリスルザ鉄拳会試験筆記載 タ
第53回	7月24日	セルフネイルアート1	幾何学模様の描き方について理解する	テクリスト技術会は 映等記述 タ ネイリスト技術格定試験等記述
第54回	7月24日	セルフネイルアート2	タータンチェックの描き方について理解する	テクニカルウザザム 映画 サラウン カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第55回	7月24日	セルフネイルアート3	幾何学模様、タータンチェックがセルフネイルできる (施術者)	ナラニカルラ大学五世典書ラッ り えイリフト技能給定試験等記試
第56回	7月24日	セルフネイルアート4	幾何学模様、タータンチェックがセルフネイルできる (被施術者)	プラニカルラ大学五世典書写明 タ ネイリフト技能給定試験等記試
第57回	7月31日	成績判定試験 1	成績判定試験 到達目標:実技試験 ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを65分で出来る(施術者)	
第58回	7月31日	成績判定試験2	成績判定試験 到達目標:実技試験 ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを65分で出来る(被施術者)	
第59回	7月31日	成績判定試験3	成績判定試験 到達目標:実技試験 ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを65分で出来る(施術者)	
第60回	7月31日	成績判定試験4	成績判定試験 到達目標:実技試験 ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを65分で出来る(被施術者)	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

出席率80%以上及び
①成績判定試験:実技試験60分(ネイルケア、カラーリング、ネイルアート) 筆記試験30分
②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する
上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位				l位	40	秀(S):100点~90点
②確認テスト	1位		2位			20	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	l位		40	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの		不合格の場合	再試験1回				

シラバフ作成者	シラバス作成者 福本真弓	シラバス承認 者	フルネームを記載	授業担当教員	平塚美千子・新宮・吉田
ノノハハ作成有			ノルイームを記載	実務経験紹介	該当なし
百新層隊					

人 物形及/正	.4917(8).112										
シラバス	更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)						
改1											
改2											
改3											
改4											
改5											

21.

科目名 1		メイクアップ基礎 (実習) 学科名 ^{2.} ビューティスペシャリスト科 (コース名)				学年] [学年			
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区7		必修	単位数 8.	2.	9. 時間数	60	10. 該当資格名称	日2	本メイクアップ技術を	金定試験3級
分割口の棚両	11.			±.4°1 ≠17. ±17±1			MAKE DIS			
科目の概要 (全コマ数を俯	敢して)		で何、追兵の扱い方、)印象管理、接客、1	身だしなみ、お客権 施術の際に役立つ	惊への戸街り 守を豹	付えりる				
科目の到達! (教育課程の位		将来卒業後に必要な 日本メイクアップも	は知識・技術を習得で 技術検定試験3級合格	各相当の技術を身に何	付ける	「~ベーフメイク其オ	k、リクルートメイク	の基本を身に	±11+2	
受講条件	13			スペシャリスト科に			<u>. 77770 72-17</u>	V)254X 7 3 (C.)	11/21	
教科書名	14	(25年度改訂版) E	本メイクアップ技行	析検定試験3級2級	公式テキスト	15. 教材名	メイクアップ道具-	一式		
設備名・機器	16 器名	該当なし				17. 関連サイト	一般社団法人JMA公 https://www.jma-m			
関連前科目	18	該当なし				19. 関連 後 科目	メイクアップ I (5	走習)		
授業計画(打	受業コマ単位		:目単位、実習・演	習:30コマ以上/単位	Ī	<u> </u>				20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)		各時間ごとの授	受業内容および授業	美コマの到達目標		使用	教科書・教材
第1回	4月16日	オリエンテーション	/	授業のルール、目標、	検定試験について理	解する				
第2回	4月16日	メイクアップ道具に	こついて	メイクアップ道具の村		!ッティングについて耳	里解する			
第3回	4月23日	セッティング		メイクアップ道具の†	セッティングの復習を	:する				
第4回	4月23日	スキンケア実習 I		ポイントクレンジング	グの手技、手順を理解	する こうしゅ				
第5回	5月7日	スキンケア実習Ⅱ		全体クレンジング、化粧水、乳液の手技、手順を理解する						
第6回	5月7日	スキンケア実習Ⅲ		相モデルで全体クレン	ンジング、化粧水、乳	液の施術ができる				
第7回	5月14日	ベースメイク実習]		メイクアップベース、	コントロールカラー	-、ファンデーション0	の手技、手順を理解する	3		
第8回	5月14日	ベースメイク実習『	[相モデルでメイクア	ップベース、コントロ	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	デーションの施術ができ	f 8		
第9回	5月21日	ベースメイク実習Ⅱ		コンシーラー、フェー						
第10回	5月21日	ベースメイク実習『	I	相モデルでコンシー	ラー、フェイスパウタ	一の施術ができる				
第11回	5月28日	ポイントメイク実習		チーク、ローライト、						
第12回	5月28日	ポイントメイク実習		相モデルでチーク、ロ						
第13回	6月4日	チークのバリエーシ		チークのバリエーショ						
第14回	6月4日	3級試験対策 I		3級試験課題所定の時間内で施術することができる						
第15回	6月11日	3級試験対策Ⅱ		3級試験課題を30分で施術することができる(施術者)						イク道具一式
第16回	6月11日	3級試験対策Ⅲ		3級試験課題を30分で施術することができる(被施術者))日本メイクアップ技術 級2級 公式テキスト
		3級試験対策IV		機械試験実施 到達目標:日本メイクアップ技術検定試験3級合格基準を満たすことができる(施術者)						
第17回	6月18日			到達目標:日本メイク 模擬試験実施						
第18回	6月18日	3級試験対策IV		到達目標:日本メイクアップ技術検定試験3級合格基準を満たすことができる(被施術者) 日本メイクアップ技術検定3級試験実施(施術者)						
第19回	6月25日	日本メイクアップ打		日本メイクアップ技術検定3級試験実施(施術者) 日本メイクアップ技術検定3級試験実施(被施術者)						
第20回	6月25日	日本メイクアップ打	(柳快疋 3							
第21回	7月2日	フルメイク実習Ⅰ		宝塚メイクの特徴を理					_	
第22回	7月2日	フルメイク実習Ⅱ				摘することができる				
第23回	7月9日	フルメイク実習Ⅳ					することができる(施行			
第24回	7月9日	フルメイク実習Ⅴ		リクルートメイク(月 トレンドメイクの特征			することができる(被放	施術者)		
第25回	7月16日	フルメイク実習VI		リクルートメイク(月トレンドメイクの特征	戎續判定試験)練習((施術者)				
第26回	7月16日	フルメイク実習VI		リクルートメイク(F リクルートメイク(F	成績判定試験)練習((被施術者)			_	
第27回	7月23日	成績判定試験対策		リグルートメイク(A 合格基準を満たすこと リクルートメイク(A	とができる				_	
第28回	7月23日	成績判定試験対策		合格基準を満たすこと	以順刊止試験課題)実 とができる	:心(饭虺帲石)				
第29回	7月30日	成績判定試験		実技試験 リクルートメイク5(0分 相モデルで実施	(施術者)				
第30回	7月30日	成績判定試験		実技試験 リクルートメイク5(0分 相モデルで実施	(被施術者)				
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対する	評価基準と評価方法) …「筆記試験」に	こおける試験(出題)	の適正化(正規分布)、「レポート」の記	評価等は別に定	める。	21.
②確認テスト ③授業態度 排	実技試験小テストの役提出物及び授業	リクルートメイク! 身点を合計し、全体の きへの出席状況を評し	の成績に反映する HTする							
上記評価点数を	と下表の配分% 足方法\該当**	6で按分し総合点6)点以上を合格とす 知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	市組	評価基準
①成績判定試験		y ₩ K/L/M *	1位	2位	大小小 尼山人	心以	1大比:	70	秀(S):100点~	
②確認テスト			2位	2位				20	優 (A) : 89点~	-80点
③課題レポート						良(B): 79点~				
④授業態度 2位 1位 ⑤作品 1位					10 なし	可(D): 69点~ 不可(E):59点以				
	⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点に属するも		ものか、優先順位を	をつける。上位1位・	~降順。	T	不合格の場合	再	試験1回		
シラバス作成	福本真弓		シラバス承認者			授業担当教員	渡辺幸美・奥谷千田	青		
者 田平県行 ジブバル外総・台				実務経験紹介	該当なし					
更新履歴 シラバス	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成者	Ť	Check	者(確認者)
改1	改1		更新箇所			1F/W/E				
改2 改3										
改4										
改5										

·												
科目名	_	ヘアアレンジ基	礎	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティフ	ビューティスペシャリスト科 学年 7学年					
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	該当なし				
教育課程区 ^{7.} 分		必修	8. 単位数	1	時間数	. 30	該当資格名称	該当なし				
科目の概要(全コマ数を俯瞰		・ヘアアレンジのま 当該内容は現場で	基礎知識と技術、 での印象管理の際	I 道具の扱い方、 系に役立つ	セルフヘアセッ	トまでを教授する	l					
科目の到達目 (教育課程の位)	^{11宗} 置づけ)		かのセルフヘアセ	₫付けは学則上の マット技術を身に 「入れたオリジナ」	付ける		業後に必要な知識	戦・技術として↑	位置付ける。			
受講条件	13	! YIC京都ビューテ	ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	リスト科に在籍し	ていること。						
教科書名	14	該当なし				数材名 15	オリジナルプリ	ント				
設備名・機器		ヘアアイロン用作	電気設備(コンセ	(ント)		17 関連サイト		oiteki.com/ha	ir/hair-arrange,	/369907		
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	撮影メイク・ブ	ライダルメイク	,			
授業計画(授	受業コマ単位	立) 学科:15コマレ	以上目単位、実習	冒・演習:30コマ	以上/単位					20.		
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	=	各時間ごとの授	受業内容および挑	受業コマの到達日	目標	使用教	枚科書・教材		
第1回	4月14日	オリエンテーショ	ョン	道具の種類と使用	方法について理解	する			ヘアアレンジ	道具一式		
第2回	4月21日	セルフヘアセッ	ト基礎 I	夜会巻きのセルフ セルフでのヘアア	ヘアセットの方法 イロンの使い方、	について理解する 巻き方の基本を習	する ヘアアレンジ道具一式					
第3回	4月28日	セルフヘアセッ	ト基礎Ⅱ	セルフで夜会巻き	が出来る		ヘアアレンジ道具一式					
第4回	5月12日	ヘアアレンジ基础	楚技術 I	ブラッシング、ブ	゚ロッキング、ピン	ニングを習得する	ヘアアレンジ道具一式					
第5回	5月19日	ヘアアレンジ基値	楚技術Ⅱ	ゴムの結び方、根	留め(土台)、逆	毛の技法を習得する	得する ヘアアレンジ道具一式					
第6回	5月26日	ヘアアレンジ基础	楚技術Ⅲ	一東(すき毛あり	・すき毛なし等】	にまとめることが	できる		ヘアアレンジ	道具一式		
第7回	6月2日	ヘアアレンジ基础	アレンジ基礎技術IV 三つ編みの表編み、裏編みの基本を習得する ヘアアレンジ道						道具一式			
第8回	6月9日	ヘアアレンジ基礎技術V フィッシュボーン、ローブ編みの基本を習得する							ヘアアレンジ	道具一式		
第9回	6月16日	ヘアアレンジ基础	楚技術VI	ホットカーラーの	巻き方の基本を習	得する			ヘアアレンジ	道具一式		
第10回	6月23日	ヘアアレンジ基础	楚技術Ⅷ	ヘアアイロンの注	意点、基本の巻き	ヘアアレンジ	道具一式					
第11回	6月30日	ヘアアレンジ基础	楚技術IX	四編みを習得する					ヘアアレンジ	道具一式		
第12回	7月7日	ヘアアレンジ基础	楚技術 X	各セクションより	髪をすくい取り編	み込みのヘアアレン	ンジができる		ヘアアレンジ	道具一式		
第13回	7月14日	アップスタイルの	の創作	編み込みを取り入	れたオリジナルへ	アアレンジを創作	することができる		ヘアアレンジ	道具一式		
第14回	7月28日	ヘアアレンジま	とめ			レンジを50分で作り	成することがででき	F &	ヘアアレンジ	道具一式		
第15回	8月4日	成績判定試験		成績判定試験実施 到達目標:50分で		試験課題へアアレ	ンジの作成すること	ごができる	ヘアアレンジ			
成績評価方法	法(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	 面方法)						21.		
出席率80%及成績判定試験: 授業態度:提出 作品:課題作品	50分でセル 物及び出席4		課題へアアレンシ	ジの作成								
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	F価基準		
①成績判定試験	È		2位				1位	70	秀 (S):100点			
②確認テスト			- 1				- 1-44	なし	優(A): 89点·			
③課題レポート							+	なし	良(B): 79点·			
会 課題レホート会 授業態度					2 / 	1 1/2						
_			0.14		2位	1位	1 /4-	20	可 (D) : 69点·			
③作品 ③ ポ ンパン ニ	N		2位				1位 10 不可(E):59点以下					
⑥プレゼンテー							なし					
	上記の	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	をつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	補修、追	試の有無等		
			シラバス承認			授業担当教員	田村綾加・小林	昌子				
シラバス作成者	福本真弓		オ			実務経験紹介						
更新履歴				<u> </u>		ノヘッパリエの人作はノー						
史 利 限 歴 シラバス 貝	 更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者	(確認者)		
改1		22/01					11 72		,			
改2							1					
改3												
改4												
改5												

科目名 ⁴ 授業形態 ⁴ 教育課程区 ⁷ 分 科目の概要 (全コマ数を解け 科目の到達) 教育課程の位 受講条件 教科書名 設備名・機器	11 瞰して)	着付け 実習 必修 着物の種類、着	学期 単位数 8.	(コース名) 後期	開講年月 5	9月	スペシャリスト科 該当資格区分	該当なし	学年	2学年	
教育課程区 ⁷ 分 科目の概要 (全コマ数を俯 科目の到達 (教育課程の位 受講条件 教科書名	11 瞰して)	必修 I	8	伎 期	用蔣牛月	9月	該当實格区分	該当なし			
分 科目の概要 (全コマ数を俯 科目の到達 (教育課程の位 受講条件 教科書名	11 職して) 目標 ¹²	<u> </u>	単位数		9						
(全コマ数を俯 科目の到達! (教育課程の位 受講条件 教科書名	12	着物の種類、着		2	時間数	60	該当資格名称	該当なし			
(教育課程の位 受講条件 教科書名		当該内容は	付けの方法につい								
教科書名	.旦 2())	Diploma Policy	の要件を満たすネ	置づけは学則上の 4目 0違いについて理							
		Y I C京都ビュ・	ーティ専門学校と	ごューティスペシ	ャリスト科に1年	三以上在籍してい	ること				
設備名・機器	14	該当なし				教材名	オリジナルプリ	ント/着物小物一	式		
関連前科目											
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	該当なし				
授業計画(打	受業コマ単位	1)学科:15コマ.	以上目単位、実習	習・演習∶30コマ	以上/単位					20	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの搭	業内容および控	受業コマの到達目	目標	使用教	(科書・教材	
第1回	9月29日	オリエンテーシ	ョン	授業の目標、目的	、成績評価につい	て理解する			着物小物一式		
第2回	9月29日	浴衣の着付け		浴衣の自装着付け	方法、浴衣の畳み	方を理解する			着物小物一式		
第3回	10月6日	小紋の着付け1		タオルを使った補	正方法について理	解する			着物小物一式		
第4回	10月6日	小紋の着付け2		小紋の着付け、蝶	々結び、、袴の着	付けができる			着物小物一式		
第5回	10月20日	小紋の着付け3		タオルとガーゼを	使った補整ができ	る			着物小物一式		
第6回	10月20日	小紋の着付け4		小紋の着付け、二	重太鼓の帯結びが	できる			着物小物一式		
第7回	10月27日	小紋の着付け5		タオルとガーゼを	使った補整ができ	る(第5回の課題)	点の改善)		着物小物一式		
第8回	10月27日	小紋の着付け6		留袖の着付け、袋	帯の二重太鼓結び	ができる			着物小物一式		
第9回	11月10日	留袖の着付け1		タオルとガーゼを					着物小物一式		
第10回	11月10日	留袖の着付け2		留袖の着付け、袋					着物小物一式		
第11回	11月17日	留袖の着付け3				る (第9回の課題点	の改善)		着物小物一式		
第12回	11月17日	留袖の着付け4				ができる (第10回の			着物小物一式		
							の味風点の以音)		着物小物一式		
第13回	12月1日										
第14回	12月1日	振袖着付け2		振袖の着付け方法	着物小物一式						
第15回	12月8日	振袖着付け3		タオル5枚とガー	着物小物一式						
第16回	12月8日	振袖着付け4		振袖の着付け、袋	着物小物一式						
第17回	12月15日	振袖着付け5		タオル5枚とガー	着物小物一式						
第18回	12月15日	振袖着付け6		振袖の着付け、袋	帯のふくら雀結び	ができる(第16回の	の課題点の改善)		着物小物一式		
第19回	12月22日	振袖着付け7		タオル5枚とガー	ゼを使った補整が	できる(第17回の)	課題点の改善)		着物小物一式		
第20回	12月22日	振袖着付け8		振袖の着付け、袋	帯のふくら雀結び	ができる(第18回の	の課題点の改善)		着物小物一式		
第21回	1月19日	振袖着付け9		タオル5枚とガー	ゼを使った補整が	できる(第19回の)	課題点の改善)		着物小物一式		
第22回	1月19日	振袖着付け10		振袖の着付け、袋	帯のふくら雀結び	ができる(第20回の	の課題点の改善)		着物小物一式		
第23回	1月26日	振袖着付け11		タオル5枚とガー	ゼを使った補整が	できる(第21回の	課題点の改善)		着物小物一式		
第24回	1月26日	振袖着付け12		振袖の着付け、袋	帯のふくら雀結び	ができる(第22回の	の課題点の改善)		着物小物一式		
第25回	2月2日	振袖着付け13		タオル5枚とガー	ぜを使った補整が	できる(第23回の)	課題点の改善)		着物小物一式		
第26回	2月2日	振袖着付け14		振袖の着付け、袋					着物小物一式		
第27回	2月9日	成績判定試験1				びができる(施術			着物小物一式		
		成績判定試験2				びができる(被施行			着物小物一式		
第28回	2月9日						na-cl /				
第29回	2月16日	袴の着付け1		袴の着付け、自装					着物小物一式		
第30回 成績評価方法	2月16日 去(当該コマ	袴の着付け2 の到達目標に対す	る評価基準と評	袴の着付け、自装 価方法) … 「筆言			直正化(正規分布)、	、「レポート」 <i>の</i>	着物小物一式 の評価等は別に	2:	
出席率80%以	以上及び										
		振袖の着付け、		田本、畑畑	明心 李弥	44.44	壮 化, 丰田	報編和△0/	市藝和	価基準	
→ 判定 ①成績判定試馴 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	方法\該当す 	⊘ 既 从 →	知識・理解	思考・判断 2位	関心・意欲	態度	技能·表現 l位	評価配分%			
②確認テスト	^			2 12			1 1111		· (B) · 100点 憂(A): 89点~		
③課題レポー)	-								。 良(B): 79点~		
④授業態度								なし	可(D): 69点~	~60点	
③作品								なしっ	不可 (E):59点以	大下	
⑥プレゼンテ-		D判定方法がどの	観点に届するた	のか、優生順位さ	トウける ト☆1	位~降順		なし 不合格の場合	補修 迫!	式の有無等	
シラバス作成者		- 13/C/J/AM-C0)	シラバス承認	フルネームを記		授業担当教員	株式会社さがの		間吟、 起節	4-> D M T	
更新履歴	THE TOTAL OF		者			実務経験紹介	該当なし				
シラバス!	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者	(確認者)	
改1	1										
改2 改3	-										
改4											

科目名 1.		メイクセラピー基礎 学科名 ^{2.} (コース名) ビューティスペシャリスト科 (昼) 学年					1学年				
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5.	2025年4月	該当資格区分		民間検定	•	
7. 教育課程区分		必修	単位数 8.	1	9. 時間数	30	10. 該当資格名称	,	メイクセラピー検定3約	<u></u>	
科目の概要(全コマ数を俯瞰し	11. (T)			る心理的効果、ス 、接客の際に役立 [*]		アップの基本を教持	受する。				
科目の到達目 (教育課程の位置	12. 票 づけ) 13.	将来卒業後に必要 メイクセラピー検	な知識・技術を習 定3級合格相当の	けは学則上の卒業 得する科目。 知識を身に付ける。 を変えるセルフメ		もに、					
受講条件		YIC京都ビューティ	ィ専門学校ビューラ	ティスペシャリスト	・科に在籍している	らこと。					
教科書名	14.			F結美子/一般在団 務局/2019年10月1		15. 教材名	オリジナルPowerP	oint/オリジナルブ	プリント/メイク道具		
設備名・機器名	16.	教材投影用プロジ	ェクター・PC(講	師用)		17. 関連サイト	メイクセラピー検定 https://www.m	aketherapy.com	/		
関連前科目	18.	該当なし				19. 関連後科目	メイクセラピー I				
授業計画(授業	美コマ単位)	学科:15コマ以上目	単位、実習・演習	:30コマ以上/単位	江					20.	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	:題(タイトル)		各時間ごとの)授業内容および	授業コマの到達目	標	使用教	科書・教材	
第1回	4月18日	メイクセラピーと	は	オリエンテーショ メイクセラピーの	ン)目的・役割を理解	する			メイクセラピー オリジナルPowe	入門 (3級対策) rPoint	
第2回	4月25日	メイクセラピーの	手法について	メイクセラピーの	流れ、カウンセリ	ングの必要性につ	いて理解する		メイクセラピー オリジナルPowe	入門 (3級対策) rPoint	
第3回	5月9日	顔と心と化粧の関	係	表情と感情の関係 化粧をする理由に	について理解する こついて考える	•			メイクセラピー オリジナルPowe	入門 (3級対策) rPoint	
第4回	5月16日	スキンケア概論		肌タイプの特徴と基礎化粧品の目的と使用方法について理解する メイクセラビー入門 (3級なオリジナルPowerPoint							
第5回	5月23日	カウンセリング概	論	カウンセリングの意義、基本テクニックについて理解する メイクセラビー入門(3級 オリジナルPowerPoint							
第6回	5月30日	カウンセリング実	習		たカウンセリング がら会話をするこ				メイクセラピー オリジナルPowe	入門 (3級対策) rPoint	
第7回	6月6日	メイクアップ概論	I	パーツバランスに	よって与える印象	の違いについて理	解する		メイクセラピー オリジナルPowe	入門 (3級対策) rPoint	
第8回	6月13日	メイクアップ概論	П	色彩学の概要につ	いいて理解する				メイクセラピー オリジナルPowe	入門 (3級対策) rPoint	
第9回	6月20日	メイクアップ概論	Ш	ポイントメイクの	色、形、質感によ	って与える印象の	違いについて理解す	⁻ る	オリジナルPowe		
第10回	6月27日	セルフメイク実習			系の印象にセルフ				メイク教材一式 メイクセラピー オリジナルPowe	入門(3級対策)	
第11回	オンデマン ド課題	セルフメイク実習	П			ポイントについて説 €、習得度を把握す	明することができる ることができる)	メイクセラピー オリジナルPowe	入門(3級対策) rPoint	
第12回	7月4日	3級試験対策Ⅱ			で合格基準を満た	すことができる			オリジナルPowe		
第13回	7月11日	メイクセラピー検	定3級試験	メイクセラピー検 到達目標:メイク	定3級試験実施 'セラピー検定3級 ₁	合格			オリジナルPowe		
第14回	7月18日	メイクセラピーま	とめ		:復習し理解度を高	がる			メイクセラピー オリジナルPowe	入門(3級対策) rPoint	
第15回	7月25日	成績判定試験		成績判定試験実施 到達目標:筆記試		述式問題)を解く	ことができる		オリジナル試験		
成績評価方法	(当該コマの到	達目標に対する評価	西基準と評価方法)							21.	
①記述式問題 授②確認テスト 小④授業態度 提出	(選択問題・記 受業内で出てき トテストの得点 よ物及び授業へ	述式問題) 設問数 たワード(専門用記 を合計し、全体の成 の出席状況を評価す 按分し総合点60点	吾)とそれに伴う沼 対績に反映する 「る	5用場面について 1	0分 00文字以上記述	さすること					
↓判定	方法\該当する	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評		
①成績判定試験 ②確認テスト			1位 1位	2位 2位				70 20	秀(S):100点~9 優(A):89点~8		
③課題レポート			1 177	2 126				なし	良(B): 79点~7		
④授業態度					2位	1位		10	可(D): 69点~6		
⑤作品					To To To To To To To To						
⑥プレゼンテーシ	/ョン							なし			
	上	記の判定方法がどの	の観点に属するも	のか、優先順位を	つける。上位1位~	~降順。		不合格の場合	再試馴	剣回	
						授業担当教員	福本真弓				
シラバス作成者	福本真弓		シラバス承認者	山根大助		実務経験紹介	https://www.yi	c-kyoto-beauty.	ac.jp/voice/fuku	moto/	
更新履歴			- vm -t-				-	4.4	-	Yofe Date of V	
シラバス引	E 新履歴	更新	理由		更新箇所		作品	战者	Check者((
改1 改2		1		1							
改3											
改4				İ							
改5		1		İ			İ				

科目名1.		エステ基礎 学科名 (コース名) ビューティスペシャリスト科 学年					7学年				
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分		•	•	
教育課程区分	:	必修	単位数 8.	3	時間数 9.	90	該当資格名称				
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して		脚の構造理解にまた、エステテ	ステティックの基礎技 基づいたリンパ・血流 ィシャンはもちろん、 内なサービス提案力の	促進技術を身につ **美容部員やネイ)け、むくみ・冷 , リストとして活	え・セルライトへ	、の対応、そして	見た目の変化を	実感できる施術を 一部としての脚ク	を目指します。 ケアの重要性」**	
科目の到達目標(教育課程の位置づけ	(†) ₁₃	むくみや冷え、 衛生管理・禁忌 実技トレーニン	・リンパ・血流の基本 皮労、セルライトなど 事項・力加減など、安 ブを通じて、正しい姿 の効果や魅力を第三者	脚特有の悩みに対 全に配慮した施術 勢・手技の習得と	けして、理論に基 所を正しく実施で ともに、接客対	づいたマッサージ きる。 応の基本も身につ	ジアプローチができ けられる。	きる。			
受講条件		YIC京都ビューテ 出席80%以上:	ィ専門学校ビューティ が前提となる。出席時	スペシャリスト 間不足のための補	科に在籍している	こと 。					
教科書名	14					教材名 15	オリジナルPowe	rPoint			
設備名・機器名	16	教材投影用プロコ	ジェクター・PC(講師)	用) TVモニター		17 関連サイト					
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	エステ(ボディ)			
授業計画(授業:	コマ単位)学	科:15コマ以上	目単位、実習・演習:3	30コマ以上/単位						20	
回(コマ)	開講日	授業コマの	主題(タイトル)	:	各時間ごとの授	業内容および搭	受業コマの到達	目標	使用	教科書・教材	
第1回~第3回	4月15日	オリエ	ンテーション	エステティックと	は 授業の受け方	美脚マッサージを	学ぶ意義 身だし	なみ 正しい姿	勢 オリジナルF	PowerPoint	
第4回~第6回	5月13日	HJ.	前準備 ホットタオルの作り方・ワゴンセット・ベッドセット ・ターパンの巻き方・タオルセットの方法を学ぶオンデマンド課題1コマ分 オリ							PowerPoint	
第7回~第9回	5月20日	ヒップアップ	ップアップの手技、指圧を学ぶ オイル塗布・軽擦 (圧を抜く・密着する・姿勢に気をつける) バイブレーション・プレシオン(指圧)								
第10回~第12回	5月27日	足裏のマ 強擦法	足裏のマッサージを学ぶ 強療法 切打法を学ぶ かかとの強擦・足の裏の切打・足の裏の圧迫								
第13回~第15回	6月3日		ッサージを学ぶ 7促進方法を学ぶ	オリジナルPowerPoint							
第16回~第18回	6月10日)マッサージを学ぶ グ法を習得する	腓腹筋のマッサー	-ジ ①腓腹筋のマ	ッサージ ②タッ	ピング		オリジナルF	PowerPoint	
第19回~第21回	6月17日)マッサージを学ぶ ッチ法を習得する	内分泌のツボ・足	! 首のストレッチ・	足のストレッチ			オリジナルF	PowerPoint	
第22回~第24回	6月24日		ジ後の効果検証	オイル塗布から足 疑問点・苦手部分		通し(左右の脚で	実践)		オリジナルF	owerPoint	
第25回~第27回	7月1日	マッサペトリサー	にアプローチする -ージを学ぶ -ジュを習得する の血行を促進する	ペトリサージュ (体の移動・密着	音を習得する)				オリジナルF	owerPoint	
第28回~第30回	7月8日	マッサ- 切打法	-ジを学ぶ 1 を習得する	切打 (体の動き・手の)動きを習得する)				オリジナルF	owerPoint	
第31回~第33回	7月15日	マッサ- 拍打法	の皿行を促進する −ジを学ぶ 2 <を習得する	拍打 (手の動きを習得	計する)				オリジナルF	PowerPoint	
第34回~第36回	7月22日		の沈静方法を学ぶ げを習得する)圧・密着を習得す [認(左右の脚で実				オリジナルF	PowerPoint	
第37回~第39回	7月29日	フットマッサ-	ージ全工程 復習 1	疑問点・苦手部分 下肢背面 通し計	トの克服 ト測	://ts/			オリジナルF	PowerPoint	
第40回~第42回	8月5日	フットマッサ-	ージ全工程 復習 2	期末テスト詳細連 下肢背面 通し計					オリジナルF	PowerPoint	
第43回~第45回	8月6日	期末	試験実施	期末試験実施					オリジナルF		
成績評価方法(当	当該コマの到途	達目標に対する評	価基準と評価方法) …	「筆記試験」に	おける試験(出題)の適正化(正規タ	う布)、「レポー	ト」の評価等は	別に定める。	21	
			構、衛生面、モデルへ(トージの各工程が	正しくできている	かを評価、(詳細	細は別紙参照)			
			中の私語、居眠り:-3	1					_D. John -	50 /m: 1-1: 344	
→ 判定方 ①実技期末試験	去\該当する	観点→	知識·理解 2位	思考·判断 3位	関心・意欲	態度	技能·表現 1位	評価配分%	成績記 秀(S):100点	平価基準	
②授業態度			<u> ۲۱۳</u>	311/L	2位	1位	111/1	10	秀(S) · 100点 優(A) · 89点		
	與 BT · 79点~70										
	-							Ş.	可 (D) : 69点		
									不可(E):59点	以下	
	上記	の判定方法がどの)観点に属するものか、	優先順位をつけ	」 ける。上位1位~降	¥順。	1	不合格の場合	再記		
シラバス作成者	田澤 初美		シラバス承認者	フルネームを記	載	授業担当教員	田澤 初美	3女女女臣公共・ロ へ ~	A. 20011	h ±. ∃□ ±4.	
更新履歴						実務経験紹介	子仪HP内の実	務経験教員の絽	介ページのリン	ンを記載	
シラバス更新	斤履歴	9	三新理由		更新箇所		作成	社	Check*	音(確認者)	
改1											
改2 改3											
改4											
改5			-						-		

科目名	,	ビジネスと仕事の	実践	学科名 ^{2.} (コース名) ビューティス・			ペペシャリスト科		学年	2学年	
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	なし	•		
教育課程区 ^{7.} 分		必修	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称		該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11 敢して)	社会人基礎力・	ビジネスマナー・ 人としての振る舞	サロン運営につい いに役立つ	いて教授する						
科目の到達目 (教育課程の位	目標	社会人として必要	な知識・技術を習 な基礎知識を身に		覚を養う	もに、					
受講条件		YIC京都ビュー	ティ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	スト科に1年以上在	E籍していること					
教科書名	14	該当なし				和 数材名	オリジナルPowe	rPoint/オリジ:	ナルプリント		
設備名・機器	16 器名		クター/PC(講師)	用)		17 関連サイト					
関連前科目	18	ブライダル概論、	, サービス接遇特	許論		関連後科目	サロン運営Ⅰ、	サロン運営Ⅱ、	、ソーシャルメディア活用概論		
授業計画(哲	受業コマ単位	7)学科:15コマ	以上目単位、実習							20	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および搭	受業コマの到達	目標	使用教	科書・教材	
第1回	4月14日	オリエンテーシ	ョン	授業の目標・目的 仕事と作業につい	、成績評価について理解する	て理解する			オリジナルPow オリジナルプ!	erPoint リント	
第2回	5月19日	ビジネスマナー	オー 基本的なとン不入マケーについて説明することができる オ						オリジナルPow オリジナルプ!		
第3回	5月26日	ストレスについ	τ	ストレスについて	理解し、体調管理	やストレスマネジ	メントに活かすこ	とができる	オリジナルPow オリジナルプ!	erPoint リント	
第4回	6月2日	クレーム対応 I		クレーム発生のメカニズムについて理解する オリジナルPowerPr オリジナルブリン						erPoint リント	
第5回	6月9日	クレーム対応Ⅱ		クレーム発生の対応について理解する オリジナルPower オリジナルブリン							
第6回	6月16日	プレゼンテーシ	эン I	プレゼンテーションの目的について理解する※確認テスト オリジナルPow オリジナルプ!						erPoint リント	
第7回	6月23日	プレゼンテーシ	ョンⅡ	序論・本論・結論の構成で商品のプレゼンテーションができる オリジナルPC オリジナルブ							
第8回	6月30日	お金と仕事 I ※	特別講師	家計管理、給与明	細の見方について	理解する			SMBC様オリジラ リジナルPower	ナルプリント・オ Point	
第9回	6月30日	お金と仕事Ⅱ※4	特別講師	ローン、クレジッ	トについて理解す	-S			SMBC様オリジラ リジナルPower	ナルプリント・オ Point	
第10回	7月7日	サロン考案I		サロン運営につい	て理解する※確認	テスト			オリジナルPow オリジナルプ!		
第11回	7月14日	サロン考案Ⅱ		個人サロンの事業	計画書が作成でき	` వ			オリジナルPow オリジナルプ!		
第12回	オンデマン ド課題	サロン考案Ⅲ		個人店のチラシを	作成することがて	きる					
第13回	7月28日	プレゼンテーシ	эンШ	個人サロンのプレ	ゼンテーションか	『出来る(成績評価	·)				
第14回	7月28日	プレゼンテーシ	ョンIV	個人サロンのプレ	ゼンテーションを	:聞き評価すること	ができる				
第15回	8月4日	成績判定試験		成績判定試験実施							
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	西方法)…「筆記	【試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に定め	かる。 ²¹	
①記述式問題②確認テスト④授業態度 拐⑤プレゼンテー	会:筆記試験 授業内で出る 小テストの行 と出物及び授 ・ション:序記	(選択問題・記述専 てきたワード(全 导点を合計し、全 業への出席状況を 会	門用語)を記入す 体の成績に反映す 評価する ストーリーが組み	する y立てられている	か						
	<u>: 下表の配分:</u> 方法\該当す	%で按分し総合点 る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評値	西基準	
①成績判定試駁	Ŕ		1位	2位				50	秀(S):100点~	90点	
②確認テスト		-	2位	2位				10	優(A): 89点~	80点	
③課題レポート								なし	良(B): 79点~		
④授業態度⑥/k-□					2位	1位		20	可(D): 69点~		
⑤作品 なし 不可(E):59点以 ⑥プレゼンテーション 2位 1位 20			r.								
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。			1 11/	- 20 不合格の場合	再試駁	利					
シラバス作成 者	福本真弓		シラバス承認 者	フルネームを記		授業担当教員	福本真弓				
更新履歴			相			実務経験紹介	nttps://www.y	ric-kyoto-bea	uty.ac.jp/voice/f	ukumoto/	
シラバス	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者(確認者)	
改1											
改2 改3									<u></u>		
改4											
改5											

科目名	サービス接遇				i学年					
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区 ^{7.} 分	:	必修	8. 単位数	1	時間数	30	該当資格名称		サービス接遇検定	3級
科目の概要(全コマ数を俯瞰	11.数して)	ビューティ業界で		・ ・要な心構えと基準 の立ち居振る舞り		エ 妾遇マナーを教授	する	I		
科目の到達目 (教育課程の位		Diploma Policyのサービス接遇3級	の要件を満たす程 試験合格相当の	┋つけは字則上の 斗目 知識を身に付ける 基本的な接客、接	5					
受講条件	13	YIC京都ビューテ		ーティスペシャリ			_			
教科書名		サービス接遇検定 A5判/146P サービス接遇検定 サービス接遇検定	3級 実問題集 (第	第52回~第58回)	务技能検定協会 編	数材名 15	i. オリジナルプリ	ント		
設備名・機器	8名	ホワイトボード				関連サイト	公益財団法人 隻 https://jitsum			
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	サービス接遇特	論		
授業計画(控	受業コマ単位	五) 学科:15コマリ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ.	以上/単位	-				20
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および打	受業コマの到達	目標		科書・教材
第1回	4月18日	オリエンテーショ	ョン	授業の目的、目標	、検定試験につい	て理解する			スト	検定 3級公式テキ 検定3級 実問題集
第2回	4月25日	3級試験対策1		必要とされる要件	、従業要件を理解	し、表現が出来る			サービス接遇 スト サービス接遇	検定 3級公式テキ 検定3級 実問題集
第3回	5月9日	3級試験対策2		サービスの意義、	機能、種類を理解	する/商業用語、紹	経済用語が理解でき	3	スト	検定 3級公式テキ 検定3級 実問題集
第4回	5月16日	3級試験対策3		社会常識、時事問	題が理解できる				サービス接遇	検定 3級公式テキ 検定3級 実問題集
第5回	5月23日	3級試験対策4	及試験対策 4 一般駅な人間関係や対人心理、マナーが理解できる							検定 3級公式テキ 検定3級 実問題集
第6回	5月30日	3級試験対策5	級試験対策 5 接週用語を理解し、基本的な話し方ができる						サービス接遇 スト	検定 3級公式テキ 検定3級 実問題集
第7回	6月6日	3級試験対策6		問題処理、環境整	備、金品管理につ	いて理解する			サービス接遇	検定 3級公式テキ 検定3級 実問題集
第8回	6月13日	2級・準1級対策	1	丁寧語、謙譲語、	尊敬語を理解する				サービス接遇	検定 3級公式テキ 検定1-2級 実問題
第9回	6月20日	2級・準1級対策	2	基本の挨拶言葉、	お辞儀ができる				サービス接遇	検定 3級公式テキ 検定1-2級 実問題
第10回	6月27日	2級・準1級対策	3	TPOに合わせた話し	ン方、服装ができる	ప			サービス接遇	検定 3級公式テキ
第11回	7月4日	2級・準1級対策	4	サービスの種類を	理解する				スト	検定1-2級 実問題 検定 3級公式テキ 検定1-2級 実問題
第12回	7月11日	2級・準1級対策	5	接遇用語を理解し	、基本的な話し方	ができる			サービス接遇	検定 3級公式テキ 検定1-2級 実問題
第13回	7月18日	2級・準1級対策	: 6	接客実習 お会計	対応ができる				サービス接遇 スト サービス接遇	検定 3級公式テキ 検定1-2級 実問題
第14回	7月25日	2級・準1級対策	7	1~13回の授業	を復習し理解度を	を高める			スト	検定 3級公式テキ 検定1-2級 実問題
第15回	8月1日2限	成績判定試験		成績判定試験実施 目標:実技試験	i				2 - 1 322	<u> </u>
成績評価方法	去(当該コマ(の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	己試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」	の評価等は別に定	める。 ^{21.}
④授業態度 携	実技試験 - 小テストの役出物及び授業	导点を合計し、全 業への出席状況を	評価する							
	・ト表の配分9 方法\該当す	<u>%で按分し総合点</u> る観点→	6()点以上を合成 知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
①成績判定試験	È			2位			l位	70	秀(S):100点~	-90点
②確認テスト			l位	2位				10	優 (A) : 89点~	-80点
③課題レポート	- 1,000						5	良(B): 79点~		
④授業態度 2位 1位 ⑤作品						15 なし	可(D): 69点~ 不可(E):59点以			
	ジプレゼンテーション							なし	· u (D) • 00 m/F	× 1
	上記の判定方法がどの観点に属する。				をつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	再試勵	負 1回
シラバス作成者	垣太吉戸		シラバス承認			授業担当教員	城戸さち子			
ン ノハヘTFIX.石	旧个具力		者			実務経験紹介	該当なし			
更新履歴	E 本居底		珊山		THE SECTION OF		/L		011 *	(70tc ±371±12.\
シラバス!	也机履膛	更新	任 出		更新箇所		作成	相	UNECK者	(確認者)
改2	ätz									
改3										
改4										
改5		ĺ		Ī			Í			

科目名 ¹	×	「イクアップⅠ(栞	里論)	学科名 ^{2.} (コース名)			スペシャリスト科 アドバイザーコー)	ス	学年	7 了学年			
授業形態 4.		講義	学期	後期	開講年月	^{5.} 9月	該当資格区分	民間検定	•	1			
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	8. 単位数	1	時間数	9. 30	該当資格名称	日本メイク	アップ知識検定試	験アドバンス			
利目の概要 (全コマ数を俯瞰	11 敵して)	メイクアップ、		1 住品、皮膚、顔分 施術の際に役立		プの修整方法など	「のメイクアップ知	1識を教授する					
科目の到達目 (教育課程の位	目標		要な知識・技術を プ知識検定アドノ	と習得する科目。 バンス合格相当の	知識を身に付け	వ	[*] ののメイクアッフ	『知識が説明で	きる				
受講条件	13	Y I C京都ビュ [、]		ごューティスペシ			ザーコースに在籍						
教科書名	14	日本メイクアップ	知識検定試験アド		ト [61500] [61080]	教材名 ¹⁵	オリジナルPowe	rPoint/オリジ:	ナルプリント				
設備名・機器	場名 ¹⁶	投影用プロジェ	クター/講師用PC			関連サイト ¹⁷		ホームページ					
関連前科目	18	メイクアップ基础	滋			関連後科目	1						
授業計画(批	受業コマ単位	1 江)学科:15コマ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位	<u>I</u>	Į.			20			
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)		各時間ごとの担	受業内容および打	受業コマの到達日	目標	使用教	科書・教材			
第1回	9月29日	オリエンテーシ	ョン	授業の目標・ルー 現在の習得度、理		ご理解する							
第2回	10月6日	顔の成り立ちI				をについて理解する	इ क्ट						
第3回	10月20日	顔の成り立ちⅡ		肌タイプ・季節と	肌・紫外線と肌に	こついて理解する							
第4回	10月27日	化粧品学		化粧品の定義につ	いて理解する								
第5回	11月10日	顔のバランスと	印象Ⅰ	顔のバランス、肌	色の印象について	ご理解する							
第6回	11月17日	顔のバランスと	印象Ⅱ	顔の印象の分類に	[の印象の分類について理解する 日本メイク								
第7回	12月1日	メイクアップ理	論 I	メイクアップの効	アドバンス 公式テキスト メイクアップの効果、色彩とメイクアップについて理解する 日本メイクアップ知識検定 アドバンス 公式問題集								
第8回	12月8日	メイクアップ理	論Ⅱ	メイクアップの質	感、形とイメージ	ジについて理解する			YIC京都オリジ				
第9回	12月15日	メイクアップの	テクニック	ベースメイク、ボ	パイントメイクにつ	ついて理解する							
第10回	12月22日	メイクアップの・	イメージ理論	メイクアップの強	弱のポイントにつ	ついて理解する							
第11回	1月19日	顔分析と修整メ	イク	加齢による顔の変	化とメイクアップ	プの修整について理	解する						
第12回	2月2日	メイクアップ理	論Ⅲ	男性の肌、アイラ	ッシュについて理	里解する							
第13回	2月9日	模擬試験		総復習									
第14回	2月10日	日本メイクアッ? バンス	プ知識検定アド	日本メイクアップ	別職検定アドバン	ノス試験実施							
第15回	2月16日	期末試験		筆記試験									
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評	価方法)…「筆詞	己試験」における	る試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に定	める。 ^{21.}			
①記述式問題 ②確認テスト	第記試験授業内で出る小テストの名	(選択問題・記述 てきたワード(専 导点を合計し、全	門用語)を記入す体の成績に反映す										
	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準			
①成績判定試験			1位	2位				70	秀(S):100点~				
②確認テスト			2位	2位				20	優(A): 89点~				
③課題レポート	`				9 /-L	1 <i>l-l-</i>		なし	良(B): 79点~ 可(D): 69点~				
④授業態度 ⑤作品	業態度:口				2位	1位		10 なし	可 (D): 69点~ 不可 (E):59点以				
	作品 プレゼンテーション							なし	(·) (□) •03点以				
	上記の判定方法がどの観点に属する。				をつける。上位	1位~降順。	1	不合格の場合	再試駁	1回			
シラバス作成者	垣木官己		シラバス承認	フルネームを記	#1	授業担当教員	福本真弓						
ンプバス肝成石	個學與力		者	ノルホームと記	甲 基	実務経験紹介	https://www.y	<u>ric-kyoto-bea</u>	uty.ac.jp/voice/f	ukumoto/			
更新履歴シラバス	手新履隊	百年	理由		更新箇所		作成	老	Check者(確認者)			
改1	~州/汉址	× 141	- 14		人//1回//1		11-74	н	UIICUAT	HEND'D /			
改2													
改3													
改4 atrs													
改5		Ì		ĺ			1						

科目名		イクアップ I (5	<u>—</u> 実習)	学科名 ^{2.} (コース名)			スペシャリスト科 アドバイザーコー	_ _	学年 1	i 学年
授業形態 4.	:	実習	学期	後期	開講年月 5	9月	該当資格区分	民間検定		L
教育課程区7.			8.	12791	9		10			7-1-FA O VII
分	進:	択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	日本メ	イクアップ技術検定	三試験乙級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰		容は顧客や社会の		ンック〜応用技術 思いを持って提供		識を教授する プに携わる職業に	こ役立つ			当該内
科目の到達目 (教育課程の位		コ欧行口の統門	2級合格相当の知	口識を身に付ける					習得する科目。日本 5。メイクアイテム	
受講条件	13	メイクアップ基	儊(理論)、メイ	イクアップ基礎(実習)履修済み		「ザーコースに在	籍していること	:	
教科書名	14	(25年度改訂版) テキスト・YICオ		ップ技術検定試験	3級2級 公式	教材名	メイクアップ道	具一式		
設備名・機器	景名	該当なし				関連サイト	一般社団法人JM https://www.jm	A公式ホームペ・ a-makeup.or.jp		
関連前科目	18	メイクアップ基	儊 (実習)			関連後科目	メイクアップⅡ			
授業計画(哲	受業コマ単位	五)学科:15コマ.	以上目単位、実習	習・演習∶30コマ	以上/単位					20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	f	各時間ごとの授	受業内容および 持	受業コマの到達	目標	使用教	科書・教材
第1回		オリエンテーシ	ョン	JMA2級試験内容、	授業の目標、目的	1、成績評価につい	て理解する		1	
第2回		手技確認		現在の習得度を把	握する				1 6	
第3回		顔分析		顔分析について理	解する					
第4回		ベースメイク		ブラシを使ったべ	ースメイクの施術	ができる				
第5回		スキンケア概論		スキンケアの目的	を理解する					
第6回		スキンケア実習		ポイントクレンジ	ング~クリームま	でスキンケアがセ	ルフで出来る			
第7回		スキンケア・ベ	ースメイク	スキンケア~ベー	スメイクまでの施	術ができる				
第8回		アイブロウ実習		アイブロウの基本	のバランス理解し	施術ができる				
第9回		メイク技術復習		スキンケア、ベー	スメイク、アイブ	ロウの復習ができ	క			
第10回		アイメイク実習		縦グラデーション	のアイシャドウ、	切れ長のアイライ	ン方法を理解する			
第11回		アイブロウ実習応用 アイブロウのバリエーションを増やし、施術ができる								
第12回		アイメイク実習	応用	横グラデーション	のアイシャドウの	施術ができる				
第13回		チーク・リップ	チーク・リップ チーク、リップの基本のバランスを理解する							
第14回		チーク・リップ	実習			メイクの施術がで			アップ技術検	汀版)日本メイク 定試験3級2級 公
第15回		修整メイク1					メイクができる(旅		式テキスト	・メイク道具一式
第16回		修整メイク2					メイクができる(被	(施術者)		
第17回		JMA2級試験対策		JMA2級試験課題を						
第18回		JMA2級試験対策		JMA2級試験課題を						
第19回		JMA2級試験対策				術者) (第17回の				
第20回		JMA2級試験対策		JMA2級試験課題を			の課題点の改善)			
第21回		JMA2級試験対策				(術者) (第19回の				
第22回		JMA2級試験対策				施術者)(第20回	の課題点の改善)			
第23回		イメージメイク		イメージメイク理						
第24回		イメージメイク			ージュを作成する		uc +x.)			
第25回		イメージメイク				イクができる(施行				
第26回		イメージメイク 期ま試験対策 1	4			イクができる(被)		晒よのお美		
第27回		期末試験対策1					術者)(第25回の調 施術者)(第26回の			
第28回		期末試験対策2 成績判定試験1					旭帆石)(第40回0. たスキンケア〜フル		で実	
第29回 第30回		成績判定試験2		施(施術者) 成績判定試験:実	技試験 モデルの	イメージに合わせ	たスキンケア〜フル	/メイクを50分	で実	
	去(当該コマ		る評価基準と評	施(被施術者) 価方法) …「筆記	記試験」における	る試験(出題)の通	直正化(正規分布)	、「レポート」	の評価等は別に気	主める。 ^{21.}
②確認テスト	実技試験小テストの行	(モデルのイメー 専点を合計し、全	体の成績に反映		イク50分)					
上記評価占数を	・下表の配分の	常状況を評価する %で按分し総合占	60占以上を合		Г			,		
_	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	
①成績判定試験 ②確認テスト	Ę		1位 1位	2位	1位		1	70 15	秀(S):100点~ 優(A):89点~	
③課題レポート			1.177	7.177	1.177			なし	傻 (A) · 69点~ 良 (B) : 79点~	
④授業態度					2位	1位		15	可 (D) : 69点~	
⑤作品							なし 不可(E):59点以下			
⑥プレゼンテー								なし		
	上記0	D判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	をつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	再試	検l回
シラバス作成者	福本真弓		シラバス承認	フルネームを記	載	授業担当教員	奥谷千晴			
			者			実務経験紹介	学校HP内の実	務経験教員の紹	習介ページのリンク	/を記載
更新履歴 シラバス 夏	F新屬 歷	百糸	理由	Ī	更新箇所		作成	者	Check者((確認者)
改1		~41			- 4971 944771		11-794		-2000	/
改2										_
改3										
	改4 改5									

科目名 1		メイクアップロ	I	学科名 ^{2.} (コース名)			スペシャリスト科 アドバイザーコーフ		学年	2学年
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月	5. 4月	該当資格区分		<u> </u>	
教育課程区 ^{7.}	選	択必修	単位数	8. 4	時間数	9. 120	10. 該当資格名称	日本メイ	イクアップ技術	f検定1級
ト 科目の概要 全コマ数を俯瞰		技術力・接客力 当該内容は現場で		り、メイクアップのf 売、メイクアップのf						
科目の到達目 教育課程の位		日本メイクアップ	プ技術検定1級	位置付けは学則上の2 合格相当の知識、技 7を習得し、イメー:	術を身に付け	る。		、技術として位置	づける。	
受講条件	13	メイクアップI	(理論)、メイ	イクアップ I (実習))履修済み	_				
教科書名	14	日本メイクアップ	プ技術検定試験	剣]級公式テキスト		教材名 1		/ト/メイク道具一	式	
設備名・機器	署名 18	教材投影用プロシ	ジェクター・P	С		関連サイト		na-makeup.or.jp	<u> </u>	
関連前科目	10	メイクアップ I	(理論)、メイ	イクアップⅠ(実習))	関連後科目	メイクアップ総合	ì		
授業計画(哲	受業コマ単位	(15コマリング) 学科:15コマリ	以上目単位、写	尾習・演習:30コマ 』	以上/単位					
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル) í	各時間ごとの	授業内容および	授業コマの到達目	標		教科書・教材
第1回	4月15日	オリエンテーショ	ョンI	授業の目的、目標	、内容を理解す	る			日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級: ク道具一式
第2回	4月15日	オリエンテーショ	ョンⅡ	日本メイクアップ	技術検定1級試験	食の合格基準、内容:	を理解する		日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 ウ道具一式
第3回	4月15日	カウンセリング	去	顔分析、メイクア	ップにおけるカ	ウンセリング法を理	解する		日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 ウ道具一式
第4回	4月15日	アドバイス法		メイクアップにお	けるアドバイス	法を理解する				ップ技術検定1級
第5回	4月22日	キュートメイク	I	キュートメイクの	基本の理論につ	いて理解する				ップ技術検定1級:
第6回	4月22日	キュートメイクⅠ		キュートメイクの	色彩、パーツバ	ランス、コスメティ	クスの質感について	 理解する	日本メイクア	ップ技術検定1級
第7回	4月22日	キュートメイク[相モデルでキュー)) () () () () () () () () ()	五/开 7 0		ップ技術検定1級
									キスト/メイ:	プ道具一式 ップ技術検定1級
第8回	4月22日	キュートメイク『		相モデルでキュー					キスト/メイ:	7道具一式 ップ技術検定1級
第9回	5月13日	キュートメイクル					クについて理解する		キスト/メイ:	
第10回	5月13日	キュートメイクル	応用Ⅱ	キュートメイクを	利用したエイジ		キスト/メイ:	ウ道具一式		
第11回	5月13日	キュートメイクル	5月Ⅲ	相モデルでキュー	トメイク応用実		キスト/メイ:			
第12回	5月13日	キュートメイクル	芯用IV	相モデルでキュー	トメイク応用実		キスト/メイ:			
第13回	5月20日	フレッシュメイク	ל I	フレッシュメイク	の基本の理論に	ついて理解する			日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 ウ道具一式
第14回	5月20日	フレッシュメイク	プロ	フレッシュメイク	の色彩、パーツ	バランス、コスメテ	・ィクスの質感につい	て理解する	日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 フ道具一式
第15回	5月20日	フレッシュメイク	ÞШ	相モデルでフレッ	シュメイク実習	(施術者)			日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 ウ道具一式
第16回	5月20日	フレッシュメイク	VIV	相モデルでフレッ	シュメイク実習	(被施術者)			日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 フ道具一式
第17回	5月27日	フレッシュメイク	ウ応用 I	顔分析、フレッシ	ュメイクの似合	わせメイクと修整メ	イクについて理解す	<u></u>		ップ技術検定1級
第18回	5月27日	フレッシュメイク		フレッシュメイク	を利用したエイ	 ジングメイクとスキ	ンケアアドバイス		日本メイクア	ップ技術検定1級
第19回	5月27日	フレッシュメイク	カ 応用Ⅲ	相モデルでフレッ	シュメイク応用	実習(施術者)			キスト/メイ:	ップ技術検定1級
第20回	5月27日	フレッシュメイク		相モデルでフレッ						ップ技術検定1級
		エレガントメイク		エレガントメイク						ップ技術検定1級
第21回	6月3日						. , カコ 小所 🖶 : :	アエ田名カーナッ	キスト/メイ:	
第22回	6月3日	エレガントメイク					・ィクスの質感につい	C理解 9 る	キスト/メイ:	
第23回	6月3日	エレガントメイク		相モデルでエレガ					キスト/メイ:	
第24回	6月3日	エレガントメイク		相モデルでエレガ					キスト/メイ:	ク道具一式
第25回	6月10日	エレガントメイク	ウ応用 I	顔分析、エレガン	トメイクの似合	わせメイクと修整メ	イクについて理解す	გ 	キスト/メイ:	
第26回	6月10日	エレガントメイク	た用Ⅱ	エレガントメイク	を利用したエイ	ジングメイクとスキ	ンケアアドバイス		キスト/メイ:	
第27回	6月10日	エレガントメイク	た用Ⅲ	相モデルでエレガ	ントメイク応用	実習(施術者)			キスト/メイ:	
第28回	6月10日	エレガントメイク	ウ応用IV	相モデルでエレガ	ントメイク応用	実習(被施術者)			日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 ク道具一式
第29回	6月17日	クールメイク I		クールメイクの基	本の理論につい	て理解する			日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 ウ道具一式
第30回	6月17日	クールメイクⅡ		クールメイクの色	彩、パーツバラ	ンス、コスメティク	スの質感について理	解する	日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 ウ道具一式
第31回	6月17日	クールメイクⅢ		相モデルでクール	メイク実習(施	術者)			日本メイクア キスト/メイ:	ップ技術検定1級 フ道具一式
第32回	6月17日	クールメイクIV		相モデルでクール	メイク実習(被	施術者)				ップ技術検定1級
第33回	6月24日	クールメイク応用	Ħ I	顔分析、クールメ	イクの似合わせ	メイクと修整メイク	について理解する		日本メイクア	ップ技術検定1級
第34回	6月24日	クールメイク応月						ップ技術検定1級		
	6月24日	クールメイク応月	-		日本メイクアップ 日本メイクアップ				ップ技術検定1級	
第35回	レノコムキロ	- · · · · · / // // // // // // // // //		THE - / / C/	/ ////1大日	(See Lis Ci)			キスト/メイ:	ノ迫具一式

			(
第37回	7月1日	エイジングメイク [加齢とメイクアップについて理解する	日本メイクアップ技術検定!級公式テ キスト/メイク道具一式
第38回	7月1日	エイジングメイクⅡ	エイジングメイクアップのポイントについて理解する	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第39回	7月1日	エイジングメイクⅢ	相モデルでメイク実習(施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第40回	7月1日	エイジングメイクⅣ	相モデルでメイク実習(被施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第41回	7月8日	メンズメイク I	男性の肌とスキンケアアドバイスについて理解する	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第42回	7月8日	メンズメイクⅡ	メンズメイクの基本のポイントについて理解する	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第43回	7月8日	メンズメイクⅢ	相モデルでメンズメイク実習(施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第44回	7月8日	メンズメイクIV	相モデルでメンズメイク実習(被施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第45回	7月15日	l級試験対策 V	1級試験課題を通しで実施することができる(施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第46回	7月15日	l級試験対策VI	1級試験課題を通しで実施することができる(被施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第47回	7月15日	l級試験対策Ⅷ	問題点、課題の発見をすることができる	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第48回	7月15日	l級試験対策Ⅷ	問題点、課題の修整が出来る	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第49回	7月22日	l級試験対策Ⅸ	1級試験課題を時間内に実施することができる(施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第50回	7月22日	l級試験対策X	1級試験課題を時間内に実施することができる(被施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第51回	7月22日	l級試験対策XI	課題のメイクの修整、改善が出来る(施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第52回	7月22日	l級試験対策Ⅶ	課題のメイクの修整、改善が出来る (被施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第53回	7月29日	期末試験 I	成績判定試験:事前審査・カウンセリング・イメージメイクが出来る(施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第54回	7月29日	期末試験Ⅱ	成績判定試験:アドバイスシートが書ける。実技審査実施する(施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第55回	7月29日	期末試験Ⅲ	成績判定試験:事前審査・カウンセリング・イメージメイクが出来る(被施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第56回	7月29日	期末試験IV	成績判定試験:アドバイスシートが書ける。実技審査実施する(被施術者)	日本メイクアップ技術検定1級公式テ キスト/メイク道具一式
第57回	8月5日	日本メイクアップ技術検定!級試験	日本メイクアップ技術検定1級試験の前半課題が出来る (施術者)	
第58回	8月5日	日本メイクアップ技術検定!級試験	日本メイクアップ技術検定1級試験の後半課題が出来る (施術者)	
第59回	8月5日	日本メイクアップ技術検定!級試験	日本メイクアップ技術検定1級試験の前半課題が出来る(被施術者)	
第60回	8月5日	日本メイクアップ技術検定!級試験	日本メイクアップ技術検定1級試験の後半課題が出来る(被施術者)	

21. 成績評価方法

出席率80%以上及ひ ①成績判定試験 実技試験(カウンセリングスキンケア15分、下地~モデルリクエストをふまえたイメージメイク30分、アドバイスシート5分) ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び出席状況を評価する

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準				
①成績判定試験		2位			l位	70	秀(S):100点~90点				
②確認テスト		2位			l位	10	優 (A) : 89点~80点				
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点				
④授業態度			2位	l位		20	可 (D) : 69点~60点				
⑤作品						なし	不可(E):59点以下				
⑥プレゼンテーション	プレゼンテーション										
上記の判定方法がどの		不合格の場合	再試験 1 回								

シラバス作成者	短卡直口		シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	毛利美保	
ンプハス作成名	伸坐具与		者	ブルイームを記載	実務経験紹介	務経験紹介 該当なし	
更新履歴							
シラバス	更新履歴	更新	理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)
改1							
改2							
改3							
改4					•		
改5							

科目名 ¹		ブライダルメイ		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティンメイクアップ	スペシャリスト科 アドバイサーコー		学年	2学年	
授業形態 ^{4.}		実習	学期	前期	開講年月 ⁵		該当資格区分			1	
教育課程区7.			8.	ועצהים	9		10				
分		択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし			
科目の概要 (全コマ数を俯						教授する。					
科目の到達 (教育課程の位						る 。					
受講条件	13		濋、イメージメ ~	イク基礎、メイク	アップI(実習)、メイクセラヒ	ピー I 履修済み				
教科書名	14	該当なし				数材名 15	オリジナルプリ	ント			
設備名・機器		ヘアアイロン用	電気設備(コンヤ	セント)		17 関連サイト	https://zexy.n	et/article/ap	p000002195/		
関連前科目	11 ブライダル業界における/ 当該内容は卒業後のキャ! 目標 置づけ) 2 当該授業の教育課程におけ成人式、卒業式、結婚式の ハアアレンジ基礎、イメー 該当なし					関連後科目	メイクアップ総	合			
授業計画(持	受業コマ単位	立) 学科:15コマ	以上目単位、実習	習・演習∶30コマ	'以上/単位					20	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの授	受業内容および抗	受業コマの到達	目標		科書・教材	
第1回	4月14日	オリエンテーシ	ョン	授業の目的、目標	、内容を理解する				ヘアアレンジ メイク道具一	式	
第2回	4月14日			現時点でのヘアメ	イク技術の理解度	、習得度を把握す	る		ヘアアレンジメイク道具一	式	
第3回	4月21日	カウンセリング		ブライダルヘアメ	イクのカウンセリ	ングについて理解	する		ヘアアレンジメイク道具一	式	
第4回						(ターンの方法を理)	解する		ヘアアレンジ メイク道具一: ヘアアレンジ	大	
第5回					クの違いについて				ペアアレンジョ メイク道具一 ペアアレンジョ	式	
第6回						イクを仕上げるこ	とができる		メイク道具一:	式	
第7回					ンドについて理解				ヘアアレンジ メイク道具一 ヘアアレンジ	式	
第8回	5月12日	ヘアメイク実習	П	相モデル実習、和	装のオーダーにメ	イクを仕上げるこ	とができる		ペアアレンジ メイク道具一 ペアアレンジ		
第9回	5月19日	ヘアメイク実習		洋装から和装への	ヘアチェンジ方法	について理解する			メイク道具一	式	
第10回	5月19日	ヘアメイク実習	V			゚メイクチェンジが	できる		ヘアアレンジメイク道具一	式	
第11回						について理解する			ヘアアレンジ メイク道具一:	式	
第12回			VI			'メイクチェンジが	出来る		ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式 ヘアアレンジ道具一式		
第13回					結婚式の衣装につ				メイク道具一: ヘアアレンジ	世兵 八 式 第目一才	
第14回	6月2日		VII	相モデル実習、式	典に合わせたヘア	メイクが出来る			メイク道具一: ヘアアレンジ	式	
第15回				ドレスフィッティング、衣装合わせについて理解する ドレスフィッティング、衣装合わせができる					メイク道具一: ヘアアレンジ	式	
第16回						メイク道具一: ヘアアレンジ	世 大 第 <u>1</u> 二 世				
第17回					スにに合わせたへ	メイク道具一 ヘアアレンジ	式				
第18回			–		スに合わせたヘア		メイク道具一 ヘアアレンジ	式			
第19回				カラードレスに合わせたヘアメイク実習 (施術者)					メイク道具一: ヘアアレンジ	式	
第20回					わせたヘアメイク				メイク道具一: ヘアアレンジ	式	
第21回							きる(施術者前半)		メイク道具一: ヘアアレンジ	式	
第22回							きる(施術者後半)		メイク道具一: ヘアアレンジ	式	
第23回							きる(被施術者前半		メイク道具一: ヘアアレンジ	式	
第24回							きる(被施術者後半	≚)	メイク道具一: ヘアアレンジ	世兵 八 式 第目一步	
第25回						:げることができる			メイク道具一: ヘアアレンジ	世兵 八 式 第目一步	
第26回			メイク実習Ⅱ			:げることができる	(被施術者)		メイク道具一	式	
第27回					の制作、発表 前				メイク道具一 ヘアアレンジ	大	
第28回					の発表 前半(施				メイク道具一 ヘアアレンジ	式	
第29回						半(被施術者前半))		メイク道具一 ヘアアレンジ	之八 八 式 首旦一元	
第30回	8月4日	 放績判定試験Ⅳ		成績判定試験課題	!の発表 後半(被	(施術者前半)			メイク道具一	式 21	
				価方法)…						21	
授業態度:提出	出物及び出席	状況を評価する									
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準	
①成績判定試験)		2位				1位	70	秀(S):100点~		
②確認テスト								なし	優(A): 89点~		
③課題レポート ④授業態度	•				2位	1位		なし 20	良(B): 79点~ 可(D): 69点~		
⑤作品				2位	411/	1111/	1位	10	可 (D): 69点~ 不可 (E):59点以		
©1Fin ⑥プレゼンテ-	-ション			P 17F			1 177	なし	1 3 (1) 100 110	• •	
		の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	・ をつける。上位l	位~降順。	1	不合格の場合	補修、追討	式の有無等	
						授業担当教員	田村綾加	•			
シラバス作成 者	福本真弓		シラバス承認 者	フルネームを記	載						
更新履歴]		実務経験紹介	該当なし				
史析 腹座 シラバス!	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者((確認者)	
改1											
改2			-		-						
改3									 		
改4 改5									 		
LiXJ	i	1		1			1		Ī		

科目名		撮影メイク		学科名 ^{2.} (コース名)			スペシャリスト科 アドバイサーコー)	z	学年	2学年
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月	^{5.} 4月	該当資格区分	該当なし		
教育課程区 7.	選	択必修	単位数	3. 4	時間数	9. 120	10. 該当資格名称	該当なし		
」 科目の概要 全コマ数を俯瞰	1 11 敢して)	表現力、創造力		⊥ レンジ応用、メイ ップや創造力、技			1			
科目の到達 教育課程の位				直付けは字則上の 合わせたメイクア 応用技術を習得し						
受講条件	13	1	楚、イメージメ	イク基礎、メイク	アップI(実習)、メイクセラビ	゜ーⅠ履修済み			
教科書名	14	MAKE UP SKILLS	TEXT BOOK BAS	IC		教材名	オリジナルプリ	ント/メイク道!	具一式	
設備名・機器	器名	ヘアアイロン用	電気設備、フォ	トスタジオ		関連サイト	https://www.i	camjapan.cor	<u>n</u>	
関連前科目	18	イメージメイク	基礎			関連後科目	メイクアップ総合			
授業計画(哲	受業コマ単位	1)学科:15コマ	以上目単位、実	習・演習:30コマ	以上/単位					
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	2	各時間ごとの打	受業内容および打	受業コマの到達目	目標	使用	教科書・教材
第1回	4月16日	オリエンテーシ	ョン	授業の目的、目標	、内容を理解する	5			メイク道具一:	式/ヘアアレンジ道
第2回	4月16日	ヘアアレンジ技術	析確認	ヘアアレンジの習	得度を把握する				メイク道具一:	式/ヘアアレンジ道
第3回	4月16日	メイクアップ技術	析確認 I	メイクアップの習	得度を把握する	(施術者)			メイク道具一	式/ヘアアレンジ違
第4回	4月16日	メイクアップ技術	析確認Ⅱ	メイクアップの習	得度を把握する	(被) 施術者)			メイク道具一	式/ヘアアレンジ道
第5回	4月23日	ヘアアレンジ I	1.1 UTTIND TT	編み込みを取り入					メイク道具一:	式/ヘアアレンジ道
	-/3								式 メイク道具一:	式/ヘアアレンジ』
第6回	4月23日	顔分析メイクⅠ		縦 横 内心 外					式	式/ヘアアレンジョ
第7回	4月23日	顔分析メイクⅡ				心を意識したフルメ			式	
第8回	4月23日	顔分析メイクⅢ		相モデル実習 縦	横内心、外心	心を意識したフルメ	イクが出来る(被施	術者)	式	式/ヘアアレンジョ
第9回	5月7日	ヘアアレンジⅡ		ハーフアップにへ	アアレンジができ	きる			式	式/ヘアアレンジョ
第10回	5月7日	顔分析メイクⅣ		上方 下方メイク	について理解する	3			メイク道具一: 式	式/ヘアアレンジi
第11回	5月7日	顔分析メイクⅤ		相モデル実習 縦	上方 下方を記	意識したフルメイク:	が出来る(施術者)		メイク道具一:	式/ヘアアレンジi
第12回	5月7日	顔分析メイクVI		相モデル実習 縦	上方 下方を意	意識したフルメイク:	が出来る(被施術者	·)	メイク道具一	式/ヘアアレンジi
第13回	5月14日	ヘアアレンジⅢ		編み込みまとめ髪	を取り入れたへこ	アアレンジができる			メイク道具一	式/ヘアアレンジi
第14回	5月14日	顔分析メイクVI		上方 下方メイク	について理解する	5			メイク道具一	式/ヘアアレンジ』
第15回	5月14日	顔分析メイクVII				 したフルメイクがで	キス (施術者)		メイク道具一	式/ヘアアレンジ;
							(,,,,,,,		式 メイク道具一:	式/ヘアアレンジ』
第16回	5月14日	顔分析メイクIX				したフルメイクがで	ざる(攸肔何石)		式	式/ヘアアレンジ』
第17回	5月21日	ヘアアレンジⅣ		コテ巻き、巻きお	ろし、ピンワータ	クが出来る			式	式/ヘアアレンジ道
第18回	5月21日	メイクテクニッ	クΙ	アイカラーの中抜	きテクニックをF	里解する			式	
第19回	5月21日	フルメイク実習	I	相モデル実習 中	抜きテクニックを	を取り入れたフルメ	イクができる(施術	者)	式	式/ヘアアレンジョ
第20回	5月21日	フルメイク実習	П	相モデル実習 中	抜きテクニックを	を取り入れたフルメ	イクができる(被施	術者)	メイク道具一: 式	式/ヘアアレンジョ
第21回	5月28日	海外風へアアレ	ンジ I	海外風へアアレン	ジができる				メイク道具一:	式/ヘアアレンジョ
第22回	5月28日	海外メイクI		海外のメイク特徴	、違いを理解する	5			メイク道具一	式/ヘアアレンジ』
第23回	5月28日	海外メイクⅡ		相モデル実習 海	外メイクの特徴を	を取り入れたフルメ	イクが出来る(施術	者)	メイク道具一	式/ヘアアレンジi
第24回	5月28日	海外メイクⅢ		相モデル実習 海	外メイクの特徴を	を取り入れたフルメ	イクが出来る(被施	(術者)	メイク道具一	式/ヘアアレンジョ
第25回	6月4日	海外風へアアレ	ンジΠ	トレンドのヘアア		- ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		メイク道具一	式/ヘアアレンジ』
	*/,		- / ц						式 メイク道具一:	式/ヘアアレンジョ
第26回	6月4日	海外メイクⅣ		トレンドメイクに		h よ コ fl コ ノ ト ロ・・・・・	tr 7 (HeAlt: +r)		式	式/ヘアアレンジ』
第27回	6月4日	海外メイクV				hたフルメイクが出			式	式/ヘアアレンジ道
第28回	6月4日	海外メイクVI				hたフルメイクが出 ·	米る(被施術者)		式	式/ヘアアレンジ道
第29回	6月11日	ヴィランズメイ	7 Ι	ヴィランズメイク					式	
第30回	6月11日	ヴィランズメイ	クⅡ	ヴィランズメイク	をデッサンするこ	ことができる			式	式/ヘアアレンジョ
第31回	6月11日	ヴィランズメイ	クⅢ	相モデル実習 ヴ	゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゚゚	が出来る(施術者)			式	式/ヘアアレンジi
第32回	6月11日	ヴィランズメイ:	ク(4)	相モデル実習 ヴ	゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゚゚	が出来る(被施術者))		メイク道具一:	式/ヘアアレンジ፤
第33回	6月18日	撮影I		中間テスト テー	マに合わせたへこ	アメイクができる()	施術者)		メイク道具一:	式/ヘアアレンジi
第34回	6月18日	撮影Ⅱ		中間テスト テー	マに合わせへア	メイクを施し、撮影	ができる(施術者)		メイク道具一:	式/ヘアアレンジi
第35回	6月18日	撮影Ⅲ		中間テスト テー	マに合わせたへこ	アメイクができる(被施術者)		ペ メイク道具一: #	式/ヘアアレンジ;
第36回	6月18日	撮影IV				メイクを施し、撮影		·)	メイク道具一	式/ヘアアレンジ;
	6月25日	コンテスト準備	T			又集することができ		,	メイク道具一:	式/ヘアアレンジ道
第37回							Ψ		式 メイク道具一	式/ヘアアレンジ』
第38回	6月25日	コンテスト準備		コンテスト作品①			ا ملا المالية (المالية)		式	式/ヘアアレンジョ
第39回	6月25日	コンテスト準備]		コンテスト作品用						・ / レン イガ

第41回	7月2日	コンテスト対策 I	コンテストテーマのイメージ②を収集することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第42回	7月2日	コンテスト対策Ⅱ	コンテスト作品②の構成を考案することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第43回	7月2日	コンテスト対策Ⅲ	コンテスト作品用へアメイク②を実践することができる(施術者)	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第44回	7月2日	コンテスト対策IV	コンテスト作品用へアメイク②を実践することができる(被施術者)	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第45回	7月9日	コンテスト対策V	コンテスト作品①②の課題点を把握する	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第46回	7月9日	コンテスト対策VI	コンテスト作品①の課題点の改善、修整を行う	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第47回	7月9日	コンテスト対策VII	コンテスト作品②の課題点の改善、修整を行う	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第48回	7月9日	コンテスト対策Ⅷ	デザインを確定することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第49回	7月16日	コンテスト対策IX	コンテスト作品制作 (施術1) することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第50回	7月16日	コンテスト対策X	コンテスト作品制作(施術2)することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第51回	7月16日	コンテスト対策XI	コンテスト作品制作(施術3)することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第52回	7月16日	コンテスト対策XII	コンテスト作品制作(施術4)することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第53回	7月23日	撮影準備I	撮影準備(セッティング等)、エントリーシートの作成ができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第54回	7月23日	撮影準備Ⅱ	撮影準備 (施術 1) 、エントリーシートの作成ができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第55回	7月23日	撮影準備Ⅲ	撮影準備(施術2)、エントリーシートの作成ができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第56回	7月23日	撮影準備IV	撮影準備(チェック)、エントリーシートの作成ができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第57回	7月30日	コンテスト作品撮影 I	コンテスト作品作成(成績判定作品)することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第58回	7月30日	コンテスト作品撮影Ⅱ	コンテスト作品作成し撮影することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一 式
第59回	8月6日1限	コンテスト作品提出準備	応募写真選定することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第60回	8月6日2限	コンテスト作品提出準備	応募作品エントリーシート(成績評価)を作成し提出することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
				八

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)

出席率80%以上及び 確認テスト:中間テストの得点を全体の成績に反映する 授業態度:提出物及び出席状況を評価する 作品:コンテスト提出作品を評価する

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位			1位	20	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	l位		30	可 (D) : 69点~60点
⑤作品		2位			1位	50	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1년	立~降順。		不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	妇术官司		シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	福田有麻	
ンプハハ下风石	佃平共力		者	フルイ ムを記載	実務経験紹介	該当なし	
更新履歴					-		
シラバス『	更新履歴	更新	理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版: 2024.7.16_YIC京都_校長

										_
科目名	7	スメティック販売	定実習	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペペシャリスト科		学年	学年
授業形態 4.		実習	学期	後期	開講年月 5.	4月	該当資格区分		該当なし	
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.	2	時間数	60	該当資格名称		該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11.敵して)	店頭でのカウンク	ター業務・接客方	法を教授する。	お客様の肌悩みに	こ応じたアドバイ	スと商品の提案に	役立つ。		
科目の到達 (教育課程の位	置づけ)	百貨店研修・メー	ーカー研修での学	*習内容をいち早ぐ	く取得し即戦力と	こなるよう販売方	法を身につける。			
受講条件	13	YIC京都ビューテ	・ィ専門学校ビュ	ーティスペシャ!	リスト科メイクフ		ーコースに在籍し	していること。		
教科書名	14	YIC京都オリジナ	ル教材			教材名 15	オリジナルプリン	ント		
設備名・機器		該当なし				17 関連サイト	該当なし			
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	接客マナー実習	(応用)		30
		() 学科:15コマリ		1			±			20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主オリエンテーショ		í	各時間ごとの授	業内容および技	受業コマの到達目	目標	使用教	対書・教材
第1回	〇月〇日	スリエンテーシ: ティアドバイザ- 条件	一に求められる				貨店模擬研修につい		正式な名称を	記述する。
第 2回	〇月〇日	アプローチ~打	接客までの流れ	購買心理『褒める 送りが出来る	』『ネガティブ→	・ボジティブ』コミ	ュニケーション・st	金銭受け取り・お	見	
第 3回	〇月〇日		マー業務				が出来る※特別講館	π i		
第 4回	〇月〇日	, , ,	, .	ニーズの把握を知						
第 5回	〇月〇日			提案の流れを知る						
第 6回	〇月〇日	百貨店	店見学			ポート作成※私服		u エマ… ゴ : , :	4	
第 7回	○月○日	クカウンセリンク		肌悩みをカウンセ 習が出来る	ッノクし似合うべ	一人メイクの提案	・ベースメイクタッ	ッテァツノメイク		
第 8回	〇月〇日	タッチア	ップ実習	アイメイク・リッ	プのご提案・タッ	チアップ実習が出	来る		小テスト	
第 9回	〇月〇日	肌診断に	こついて	肌診断~スキンケ	アアドバイスが出	来る				
第 10回	〇月〇日	お出迎え~		ロープレ メイク						
第 11回	〇月〇日		ーション大会	化粧品メーカー		ションが出来る				
第 12回	○月○日	合同		メイクレッスンを						
第 13回	〇月〇日					案・各ブランドの	アンチエイジングラ	ラインを理解する		
第 14回	〇月〇日	サロン		サロン運営プレオ						
第 15回	〇月〇日	期末		お客様の悩みに対	応できる知識と接	客知識を高める				
第回	〇月〇日	↓以降は行数								21.
席率80%以上 ①成績判定試験 ②確認テスト ③授業態度 扱	:及び 食 実技試験 小テストの得 提出物及び出席	の到達目標に対す (お客様ののイメ・ 身点を合計し、全 ま状況を評価する 6で按分し総合点	ージに合わせたス 体の成績に反映す	スキンケア〜フル <i>.</i> -る		試験(出題)の適」	E化(正規分布)、	· レボート] σ)評価等は別に定	Ø) \$.
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
①成績判定試影	È		1位	2位		1		70	秀(S):100点	
②確認テスト ③課題レポート			2位	2位				15 なし	優(A): 89点 良(B): 79点	
④ 供送 レ ボ					2位	1位		15	可(D): 69点	
⑤作品								なし	不可 (E):59点	以下
⑥プレゼンテー		の判定方法がどの	組占に属するよ	のか 原生順位を	とつける 上位1:	位~降順		なし	始 枚 泊:	式の有無等
	上記	ク判を刀伝がるの	既尽に属りるも	いが、 変元順位を	こりいる。 上刊 I1			不合格の場合	T相修、坦i	AVJ有無ず
シラバス作成 者	奥谷千晴		シラバス承認 者	フルネームを記載	載	授業担当教員 実務経験紹介	フルネームを記述		介ページのリンク	かい おおおり かいましょう かいましょう かいまい おおお かいまい おおお かいまい かいまい かいかい かいかい か
更新履歴						人。4万小王州大小口 八	」 (人工工 下100)大0	1カリエのハラ人 シスマンか日	,,	○ HU TRV
シラバス	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者	(確認者)
改1 改2										
改3										
改4										
改5		l		l			1			

科目名		接客マナー実	P	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティフ	ペペシャリスト科		学年	³ 学年
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5	5. 4月	該当資格区分	該当なし	•	
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称		該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11 敢して)		に付けると同時に	こ社会人基礎力の	知識を教授する					
科目の到達 (教育課程の位	置づけ)		接客マナーの基本	で身に付け電話	対応・企業訪問	マナーを身に付け	る 。			
受講条件	13		イ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	ノスト科に在籍し	ていること。				
教科書名	14	該当なし				¹⁵ 教材名	オリジナルプリ	ント		
設備名・機器		該当なし				17 関連サイト	該当なし			
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	接客マナー実習	(基礎)		
授業計画(推	受業コマ単位	7)学科:15コマ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位	•				20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの招	受業内容および技	受業コマの到達日	目標	使用教	科書・教材
第 l回	〇月〇日	接客マナーにつ	いて	授業の目標・マナ	ーの基本について	て理解する			正式な名称を	記述する。
第 2回	〇月〇日	接客マナー	ーの基本①	表情・笑顔の演出	トレーニング・等	笑顔の効果について	理解する			
第 3回	〇月〇日	接客マナー	ーの基本②	挨拶言葉とお辞儀	実習(基本の挨拶	災言葉・お辞儀) が	出来る			
第 4回	〇月〇日	接客マナ	ーの基本③	身だしなみを整え	る事が出来る					
第 5回	〇月〇日	コミュニケー	ションスキル①	話し方の基本スキ	・ル(聴き方・話し	_ン 方のポイント)を	学ぶ			
第 6回	〇月〇日	コミュニケー	ションスキル②	言葉遣い 敬語の	種類(尊敬語・詞	兼譲語・丁寧語)を	理解する			
第 7回	〇月〇日	コミュニケー	ションスキル③	言葉遣い 相手にる	合わせた正しい荀	汝語・クッション言	葉を用いたロール	プレイングを実施	ां के	
第 8回	〇月〇日	電話	対応①	電話の受け方(応対の基本・電話を受ける流れ・よく使われる用語)を理解する						
第 9回	〇月〇日	電話								
第 10回	〇月〇日	電話	対応③	電話対応ロールフ る	プレイング・お客村	・社内など様々な	ケースを想定した	ペアワークを実施	. च	
第 11回	〇月〇日	来客・訪	問対応①	来客応対について	(基本の流れ・原	忘対の流れ) 理解す	· \$			
第 12回	〇月〇日	来客・訪	問対応②	案内(誘導)案内]マナー・エレベ-	ーターが出来る				
第 13回	〇月〇日	来客・訪	i問対応③	訪問のマナー (事	前準備・当日のマ	マナー・手順)につ	いて理解する			
第 14回	〇月〇日	期末試	験対策	1~14回目までの	復習・ロールプレ	ノイングが出来る				
第 15回	〇月〇日	期末討	験対策	企業様への電話対	†応・企業訪問の、	マナーのロールプレ	イングが出来る			
第回	〇月〇日	↓以降は行	数を増やす。							
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評	価方法)…「筆記	己試験」における	る試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	評価等は別に定	める。 ^{21.}
授業態度 提出	接客販売コン	ノテスト審査表を への出席状況を評	価する							
	たるの配分り 方法\該当す	6で按分し総合点 る観点→	知識・理解	Bとする 思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
①成績判定試驗	Ê		1位	2位		-		t	秀(S):100点~	~90点
②確認テスト			2位	2位					優(A): 89点~	
③課題レポート ④授業態度	`				2位	1位			良(B): 79点~ 可(D): 69点~	
⑤作品					7 17	1 3/.			不可 (E):59点以	
⑥プレゼンテー	-ション							なし		
	上記の	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	をつける。上位1	位~降順。	_	不合格の場合	補修、追討	ぱの有無等
シラバス作成者	奥谷千晴		シラバス承認 者	フルネームを記	載	授業担当教員	フルネームを記		A	. ≠. === 4± F. === 4 + 1
更新履歴			П			実務経験紹介	字校HP内の実	務経験教員の紹 ^っ	介ページのリンク	を記載
史利 腹座 シラバス!	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者	(確認者)
改1										
改2 改3										
改4										
改5										

科目名	接	客マナー実習(点	5用)	学科名 ^{2.} (コース名)			スペシャリスト科 アドバイサーコー	<u>ス</u>	学年	2学年
授業形態 4.	:	実習	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分	1		.1
教育課程区 ^{7.}	選	択必修	8. 単位数	1	9. 時間数	30	該当資格名称	該当なし		
分 科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11. 敵して)			にキルについて教技 反売、接客の際に行			l			
科目の到達目 (教育課程の位		当該科目の教育記 接客販売コンテン	課程における位置 ストにてお出迎 <i>え</i>	置づけは学則上の2 ・ニーズの把握	卒業要件をである ・カウンセリンク	るとともに、将来 ブ・商品提案、説	卒業後に必要な5 明、商品決定まで	口識・技術として ごをロールプレイ	「位置付ける。 'ング形式で実施'	することができる
受講条件	13	接客マナー実習	(基礎)履修済み	k						
教科書名	14	該当なし				教材名 15	オリジナルプリ	ント・メイク道	具	
設備名・機器	16 器名	コスメカウンタ-	_			17 関連サイト		イト(日本版O-1 o.mhlw.go.jp/U	NET) ser/Occupation/	'Detail/464
関連前科目	18.	接客マナー実習	(基礎)			関連後科目	メイクアップ総	合、サロン運営	I	
授業計画(批	受業コマ単位	7)学科:15コマリ	以上目単位、実習	冒・演習:30コマ	以上/単位					20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および搭	受業コマの到達	∃標	使用教	(科書・教材
第1回	4月17日	コンテスト対策	1	オリエンテーショ コンテストのシナ		成ができる			オリジナルプ	リント
第2回	4月24日	コンテスト対策	2	オリエンテーショ コンテストのシナ		成ができる			オリジナルプ	リント
第3回	5月8日	コンテスト対策	3	オリエンテーショ コンテストのシナ		成ができる			オリジナルプ	リント
第4回	5月15日	コンテスト対策・	4	接客ロープレ タ	ッチアップの仕方	を理解する			オリジナルプ	リント
第5回	5月22日	コンテスト対策!	5	接客ロープレ お	出迎え〜お見送り	までの接客の流れ	を理解する		オリジナルプ	リント
第6回	オンデマン ド課題	コンテスト対策(6	お出迎え〜お見送	りまでの接客ロー	プレを2パターン』	助画提出		オリジナルプ	リント
第7回	6月5日	コンテスト対策'	7	6週目の接客ロー	プレ動画を用いて	修整、改善すること	とができる		オリジナルプ	リント
第8回	6月12日	コンテスト対策	8	コンテスト対策	お出迎え〜商品決	定までロールプレー	イングをすることか	ぶできる(l色目)	オリジナルプ	リント
第9回	6月19日	コンテスト対策!	9	コンテスト対策	お出迎え〜商品決	定までロールプレー	イングをすることか	べきる (2色目)	オリジナルプ	リント
第10回	6月26日	コンテスト対策	1 0	コンテスト対策	お出迎え〜商品決	定までロールプレー	イングをすることか	ぶできる (3色目)	オリジナルプ	リント
第11回	7月3日	コンテスト対策	1 1	コンテスト対策	お出迎え〜商品決	定までロールプレー	イングをすることか	ヾできる(ランダ <i>1</i>	ふ) オリジナルプ	リント
第12回	7月10日	コンテスト対策	1 2	コンテスト対策	お出迎え〜商品決	定までロールプレー	イングをすることか	ができる(総合 I)	オリジナルプ	リント
第13回	7月17日	コンテスト対策	1 3		お出迎え〜商品決	定までロールプレー	イングをすることか	ヾできる(総合Ⅱ)	オリジナルプ	リント
第14回	7月24日	接客販売コンテス	ストI		定までロールプレ	イングをすることが	ができる			
第15回	7月24日	接客販売コンテス	ストⅡ	成績判定試験 お出迎え〜商品決	定までロールプレ	イングをすることが	ができる			
成績評価方法	去(当該コマロ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	 面方法)						21.
④授業態度 拼	策 接客販売コ 是出物及び授業	コンテスト審査表 養への出席状況を るで按分し総合点	評価する							
	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
①成績判定試験	ĝ.			2位	/		1位	t	秀(S):100点~	-90点
②確認テスト								なし	優(A): 89点~	~80点
③課題レポート								なし	良(B): 79点~	~70点
④授業態度	·				2位	l位		40	可 (D) : 69点~	~60点
⑤作品								なし	不可 (E):59点以	人下
⑥プレゼンテー	-ション							なし		
	上記6	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1·	位~降順。		不合格の場合	補修、追討	式の有無等
シラバス作成者	福本真弓		シラバス承認 者	フルネームを記載	載	授業担当教員	村上燈里			
西 並尼麻			н	<u> </u>		実務経験紹介	該当なし			
更新履歴 シラバス	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者	(確認者)
改1		2.471					11:794	4		
改2										
改3										
改4										
改5		1								

科目名		メイクセラピー	I	学科名 ^{2.} (コース名)			、ペシャリスト科 'ドバイザーコー <i>'</i>	z		学年	i学年
授業形態 4.	講	義実習	学期	後期	開講年月 5.		該当資格区分				
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.	2	時間数	60	該当資格名称 該当資格名称		メイク・	セラピー検定2	
科目の概要(全コマ数を俯瞰			メイクセラピーの)一つとして、心 概念を教授する ī売、接客の際に		必要な「心理学」	」「コミュニケー	-ション」メイ	クアッ	プに必要な	メイク理論」
科目の到達目 (教育課程の位)	기계		寅定 2 級合格相当	でけは学則上の その知識を身に付け カオーダーに伴った	ける。		卒業後に必要な知	1識・技術を習	得する	5科目。	
受講条件	13.	YIC京都ビュー メイクセラピー		ニューティスペシ	ャリスト科メイク	7アップアドバイ	ザーコースに在籍	手していること			
教科書名	14.	メイクセラピー	倹定2級対策			15. 教材名	オリジナルPower	rPoint/オリジ	ナルフ	プリント	
設備名・機器		投影用プロジェク	クター/講師用PC			17. 関連サイト	メイクセラピー材 https://www.ma				
関連前科目	18.	メイクセラピー	基礎			19. 関連後科目	メイクセラピー	П			
授業計画(哲	受業コマ単位	[) 学科:15コマリ	以上目単位、実習	『・演習:30コマ.	以上/単位						20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および授	受業コマの到達目	目標		使用教제	科書・教材
第1回		オリエンテーショ	ョン	授業の目標・目的	、成績評価につい	て理解する				メイクセラピー	-検定2級対策
第2回		メイクセラピー的	的心理学 l	精神分析と無意識	について理解する					メイクセラピー	
第3回		メイクセラピー的	的心理学 2	論理療法、交流分	析について理解す	ర				メイクセラピー	-検定2級対策
第4回		メイク実習 1		キャリア系or癒し	系の印象にメイク	することができる				メイクセラピー メイク道具一式	
第5回		化粧心理学1		化粧の歴史、役割	、印象分析につい	て理解する			_	メイクセラピー	
第6回		メイク実習 2		遠心メイク、求心	メイクについて理	解する				メイクセラピー メイク道具一式	
第7回		化粧心理学2		承認欲求について	理解する					メイクセラピー	-検定2級対策
第8回		メイク実習3		知的で大人っぽく	仕事ができる印象	に半顔メイクができ	§ 8			メイクセラピー メイク道具一式	
第9回		カウンセリング	既論	クライアントとの	接し方について理	解する				メイクセラピー	-検定2級対策
第10回		メイク実習4		上品で優しく女性	らしい印象に半顔	メイクができる				メイクセラピー メイク道具一式	
第11回		印象分析		印象分析、パーツ	バランスについて	理解する				メイクセラピー	
第12回		メイク実習5		明るく健康的で元	気な印象に半顔メ	イクができる				メイクセラピー メイク道具一式	
第13回		メイクアップに	必要な3要素	色彩、コスメティ	ックスの質感が与	える印象について理	里解する			メイクセラピー	
第14回		メイク実習6		華やかでエレガン	トな印象に半顔メ	イクができる				メイクセラピー メイク道具一式	-検定2級対策 :
第15回		2級試験対策1		論述問題の出題傾	向を把握する					メイクセラピー	-検定2級対策
第16回		2級試験対策2		2級試験課題が時間	間内に施術すること	だできる				メイクセラピー メイク道具一式	
第17回		2級試験対策3		筆記試験の出題傾	向を把握すること	ができる				メイクセラピー	
第18回		2級試験対策4		苦手オーダーの課	題が克服すること	ができる				メイクセラピー メイク道具一式	
第19回		2級試験対策5		筆記試験の出題傾	向を把握すること	ができる(第17回の	の課題点の改善)			メイクセラピー	-検定2級対策
第20回		2級試験対策6		苦手オーダーの課	題が克服すること	ができる (第18回の	D課題点の改善)			メイクセラピー メイク道具一式	
第21回		模擬試験 1		2級試験通し (筆詞	己試験)					メイクセラピー	-検定2級対策
第22回		模擬試験 2		2級試験通し(実持	支試験)					メイクセラピー メイク道具一式	
第23回		メイクセラピーヤ	検定試験 l	メイクセラピー検	定2級試験実施(筆	注記試験)					
第24回		メイクセラピー村	倹定試験 2	メイクセラピー検	定2級試験実施(ま	区技試験)				メイク道具一式	s v
第25回		メイクセラピー	実習 l	オーダーカウンセ	リング~フォロー	カウンセリングまて	でできる(施術者)			メイク道具一式	s.
第26回		メイクセラピー	実習 2	オーダーカウンセ	リング~フォロー	カウンセリングまで	でできる(被施術者	÷)		メイク道具一式	s. V
第27回		成績判定試験対策	策 l	1~26回の授業の	復習ができる					メイクセラピー	
第28回		成績判定試験対策	策2	会話をしながらオ	ーダーに伴ったメ	イクアップが半顔に	こできる			メイクセラピー メイク道具一式	
第29回		成績判定試験 1		成績判定試験:筆	記試験(選択問題	、記述問題、論述問	 題)				
第30回		成績判定試験2		成績判定試験:実	技試験 会話をし	ながらオーダーに伴	半ったメイクアップ	『半顔にできる			
成績評価方法	去(当該コマの	の到達目標に対す	る評価基準と評価	西方法)…「筆記	[試験] における	試験(出題)の適正	E化(正規分布)、	「レポート」	の評価	画等は別に定&	かる。 ^{21.}
②確認テスト / ④授業態度 提出	(選択問題・記 トテストの得点 出物及び授業へ	述式問題) 記述: を合計し、全体の原の出席状況を評価で お分し総合点60原	成績に反映する する		『門用語)とそれに	伴う活用場面につい	いて記述すること				
	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%		成績評価	西基準
①成績判定試験	ŧ		l位	2位				70	-	S):100点~!	
②確認テスト ③課題レポート			2位	2位				20		A): 89点~	
●財殴レルート				1	l .	I .	1	なし	及 (B): 79点~	/ UM

④授業態度					2位	1位		10	可 (D) : 69点~60点
⑤作品								なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテー	-ション							なし	
	上記0	D判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1位	立~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	ガナ東コ		シラバス承認	フルネームを記載	44	授業担当教員	福本真弓		
ンフハ人作成石	備本具与		者	ノルネームを記載	/ルイームを記載		https://www.y	ric-kyoto-bea	uty.ac.jp/voice/fukumoto/
更新履歴									
シラバス	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者(確認者)
改1									
改2									
改3			•			•			
改4									
改5									

科目名		メイクセラピー	П	学科名 ^{2.} (コース名)			スペシャリスト科 アドバイザーコース	<u> </u>	学年	2学年		
受業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分	民間検定				
改育課程区 ^{7.}	3	選択必修	8. 単位数	2	9. 時間数	60	数当資格名称		メイクセラピー検り	定1級		
斗目の概要 全コマ数を俯瞰	11 敢して)	心理学を応用した力 当該内容は現場での	ウンセリング技術	── 「、傾聴をしながら、彡 接客の際に役立つ				技術を教授す	る			
科目の到達目 教育課程の位	1標	メイクセラピー検定	[1級合格相当の知	は学則上の卒業要件を 1識を身に付ける。 ・ダーに伴った印象にメ			必要な知識・技術を	習得する科目	•			
講条件	13		・ィ専門学校ビュー	ティスペシャリスト和	斗2年生に在籍して	ていること						
枚科書名	14	メイクセラピー検定	1級対策第2版			教材名	15. オリジナルPowe インサイドヘッ		ジナルプリント			
設備名・機器	器名	投影用プロテクター	-/PC			関連サイト		<u>maketherap</u>	y.com/about			
関連前科目	18	メイクセラピーI	DOWN TO SHOW THE SHE	- 00		関連後科目	メイクアップ総	合				
		T		【習:30コマ以上/単位		サーニン しゃが	**	#	#m:	*LTVI == */LLL		
回(コマ)	開講日	授業コマの主					業コマの到達目標	Ř	-	教科書・教材 ピー検定1級対策		
第1回	4月17日	オリエンテーション	•	授業の目標・目的、成 メイクセラピーIの復					メイクセラリ	ピー検定2級対策 ピー検定1級対策		
第2回	4月17日	感情について		感情の役割について理	里解する	メイクセラリ	ピー検定2級対策					
第3回	4月24日	カウンセリング 1		カウンセリングの目的	り、自己理解と他社	里解について理解	する		メイクセラリ	ピー検定1級対策 ピー検定2級対策		
第4回	4月24日	メイク実習 1		職業に合わせたオータ	ダーのメイクが施術	できる			メイクセラリ	ピー検定1級対策 ピー検定2級対策		
第5回	5月8日	傾聴スキル1		コミュニケーション、	傾聴スキルを用い	て会話ができる			メイクセラリ	ピー検定1級対策 ピー検定2級対策		
第6回	5月8日	メイク実習2		傾聴スキルを用いて会	会話をしながら半顔.	メイクができる				ピー検定1級対策 ピー検定2級対策		
第7回	5月15日	傾聴スキル2		要約・沈黙の処理・貿	質問について学び、	会話の中で意識的	に使えるようになる		メイクセラリ	ピー検定1級対策 ピー検定2級対策		
第8回	5月15日	メイク実習3		カウンセリングをした	よがら半顔メイクが	できる			メイクセラリ	ピー検定1級対策		
第9回	5月22日	傾聴スキル3		IメッセージとYOUメッ	yセージを会話の中 [*]	で使い会話ができ	<u> </u>		メイクセラピー検定2級対メイクセラピー検定1級対メイクセラピー検定1級対			
第10回	5月22日	傾聴スキル4		フィードバック、フォ					メイクセラリ	メイクセラピー検定2級対策 メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策		
第11回	5月29日	対話分析		逐語録からカウンセリ		て理解する※確認	テスト		メイクセラリ	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策		
		メイク実習4		オーダーに伴ったメイ					メイクセラリ	ピー検定1級対策		
第12回	5月29日		1.1						メイクセラリ	ピー検定2級対策 ピー検定1級対策		
第13回	6月5日	メイクセラピー実習			オーダーカウンセリング~メイクアップまでができる メインカウンセリング~フォローカウンセリングまでができる							
第14回	6月5日	メイクセラピー実習	12	メインカウンセリンク	メイクセラリ	ピー検定1級対策 ピー検定2級対策						
第15回	6月12日	1級試験対策1		筆記試験、実技試験の	メイクセラリ	ピー検定1級対策 ピー検定2級対策 ピー検定1級対策						
第16回	6月12日	1級試験対策2		1級試験課題を通しで	1級試験課題を通しで実施する							
第17回	6月19日	1級試験対策3		対話分析、論述問題の	対話分析、論述問題の課題点の発見をする							
第18回	6月19日	1級試験対策4	-	苦手オーダー、課題点	点の発見、修整を行	<u></u>	-		メイクセラピー検定2級対 メイクセラピー検定1級対 メイクセラピー検定2級対			
第19回	6月26日	1級試験対策5		1級試験の注意点につ	いて理解する					ピー検定1級対策 ピー検定2級対策		
第20回	6月26日	1級試験対策6		1級試験課題出題傾向	を把握し、メイクア	'ップができる			メイクセラリ	ピー検定1級対策 ピー検定2級対策		
第21回	7月3日	1級試験対策7		筆記試験対策 1、出題	重傾向の把握と解説	を理解する			メイクセラリ	□ 検定2級バタ ピー検定1級対策 ピー検定2級対策		
第22回	7月3日	1級試験対策8		実技試験対策2 オー	ーダーに伴ったメイ	クアップを実施す	 రే		メイクセラ۱	ピー検定1級対策		
第23回	7月10日	1級試験対策9		筆記試験対策 1、出是					メイクセラリ	ピー検定2級対策 ピー検定1級対策		
							z		メイクセラリ	ピー検定2級対策 ピー検定1級対策		
第24回	7月10日	1級試験対策10		実技試験対策2 オー		ノテックを美施す	<i>a</i>		メイクセラリ	ピー検定2級対策 ピー検定1級対策		
第25回	7月17日	模擬試験 1		メイクセラピー検定!					メイクセラリ	ピー検定2級対策 ピー検定1級対策		
第26回	7月17日	模擬試験 2		メイクセラピー検定1						ピー検定2級対策		
第27回	7月31日	メイクセラピー検定	1 級試験 1	メイクセラピー検定]	l 級試験(筆記)実施 	他						
第28回	7月31日	メイクセラピー検定	1 級試験 2	メイクセラピー検定]	l 級試験(実技)実施	他						
第29回	8月7日	成績判定試験 1		成績判定試験 筆記試験(選択問題、	記述問題、論述問題	題)						
第30回	8月7日	成績判定試験2		成績判定試験 実技試験(オーダーに	こ伴ったメイクアッ	プ40分)						
龙績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対する	評価基準と評価方法	去)…「筆記試験」に	おける試験(出題)の適正化(正規	分布)、「レポート	」の評価等は	別に定める。			
)確認テスト /)授業態度 提出	(選択問題・訓 小テストの得点 出物及び授業へ	記述式問題) 記述式問題を合計し、全体の成績への出席状況を評価するで按分し総合点60点以	に反映する	たワード(専門用語)と	それに伴う活用場	面について記述す	3CE					
↓ 判定	官方法\該当		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績	評価基準		
成績判定試験	£		1位	2位				70	秀(S):100点			
確認テスト の課題レポート	<u> </u>		2位	2位				20 なし	優(A): 89点 良(B): 79点			
授業態度					2位	1位		10	可 (D) : 69点			
作品								なし	不可 (E):59点	以下		
/ I F H H				1								

	上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 補修、追試の有無等										
シラバス作成 者	垣太直己		シラバス承認者	m v 2) & 5140	授業担当教員	福本真弓					
者	佃平具与		ンプハス承認有	フルイーム と 山東	実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumo					
更新履歴											
シラバス	更新履歴	更新	理由	里由 更新箇所		作成者	Í	Check者(確認者)			
改1											
改2											
改3											
改4											
改5											

科目名		解剖生理学 I	学科名 (コース名)	(コース名) (コース名) 6				I ³ 学年
授業形態 4.		講義 学期	後期	開講年月	5. 10月	該当資格区分.		
教育課程区 ^{7.} 分		択必修 単位数		2 時間数	9. 60	該当資格名称		
科目の概要 (全コマ数を俯	12	効果を高め、安全で的確な 上での科学的根拠に基づ、 ② 皮膚の構造を理解し、 ② 血流やリンパを意識し ② 筋肉や骨格を考慮した ② 自律神経や内臓の働き ② 免疫機能を考慮し、安	なケアを提供するため、 へた施術・アドバイス、 適切なスキンケアや脱 たマッサージで、より フェイシャル・ボディ を理解し、ストレスや 全な施術・アドバイス	に不可欠です。「 が可能になります 転術ができる)効果的なケアを打 施術ができる >食事からのケアを いできる	解剖生理学の応用。 ・ 是供できる と提案できる	5月」を学ぶことは、単に体の 月」を学ぶことで、単なる美彩 では、単なる美彩 では、単なる美彩	容技術ではなく、体	の仕組みを理解し
科目の到達 教育課程の位		皮膚・筋肉・骨格などの身血液循環・リンパ・自律神体の構造と機能の関係性を 美容と健康のつながりを利施術中の身体反応(発赤・	申経などの生理機能を∃ と学び、個々の顧客の≥ 斗学的根拠に基づいて	理解し、美容効果 伏態に応じた安全 説明できるように	を高める施術やすかつ効果的なケラなる。	アドバイスに活用できる。 アを提案できる。		
受講条件		人体の構造と機能 皮膚科	斗学 履修程度の知識					
教科書名	14	INFA (Theorie) テキスト			教材名	5. オリジナルPowerPoint		
設備名・機	16 器名	教材投影用プロジェクター	- • PC		1 ¹ 関連サイト	7.		
関連前科目	18	人体の構造と機能 皮膚科	4学		関連後科目	9. 解剖生理学Ⅱ		
授業計画(打	受業コマ単位	Z)学科:15コマ以上目単位	立、実習・演習:30コ	マ以上/単位			1	
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイ	トル)	各時間ごとの打	受業内容および	授業コマの到達目標		教科書・教材
第1回	9月30日	導入 解剖生理学復習	前期に学んだ解	割生理学の復習テス	スト		オリジナル	orie) テキスト PowerPoint
第2回	9月30日	細胞 l	細胞の構造につ	いて学ぶ(各名称を		orie) テキスト PowerPoint		
第3回	10月7日	細胞 2		いて学ぶ(各名称を		orie) テキスト PowerPoint		
第4回	10月7日	骨格系統 1	骨の働きを理解 骨の名称を覚え 骨を形状別に区	. 3		prie) テキスト PowerPoint		
第5回	10月14日	骨格系統 2	骨と関節の構造	と役割について学ん		orie) テキスト PowerPoint		
第6回	10月14日	筋肉 l	筋肉の働きを理 筋肉の名称を覚 筋肉の種類を理	える	INFA (Theo オリジナル	orie) テキスト PowerPoint		
第7回	10月21日	筋肉 2	筋の収縮と疲労		学ぶ		INFA (Theo オリジナル	orie) テキスト PowerPoint
第8回	10月21日	皮膚 1	皮膚の役目を理表皮、真皮、につ	解する いて学ぶ				orie) テキスト PowerPoint
第9回	10月28日	皮膚 2	皮下組織につい 皮膚の付属器に	て学ぶ ついて学ぶ(汗腺・	・皮脂腺・毛・爪)			orie) テキスト PowerPoint
第10回	10月28日	皮膚 3	様々な皮膚トラ アトピー性皮膚	ブルについて学ぶ 炎、アレルギー、紫	紫外線により肌への	影響、にきびの発生の仕方		orie) テキスト PowerPoint
第11回	11月4日	消化器 1	消化器の構造を 概論、口腔と付	学ぶ ・ 「属器官、咽頭と食道	<u> </u>			orie) テキスト PowerPoint
第12回	11月4日	消化器 2	消化器官につい胃潰瘍、便秘に	て学ぶ(胃・小腸・	・大腸)			orie) テキスト PowerPoint
第13回	11月11日	消化器 3		て学ぶ(肝臓・すい	`臓)		INFA (Theo	orie) テキスト PowerPoint
第14回	11月11日	栄養学 l	主要栄養素を学	ネラル、ビタミン0	の働きと欠乏症状		INFA (Theo	orie) テキスト PowerPoint
第15回	11月18日	栄養学 2		ぶ ネラル、ビタミン <i>0</i>	の働きと欠乏症状		INFA (Theo	orie) テキスト PowerPoint
第16回	11月18日	栄養学 3	栄養素の吸収を 主要栄養素を学 三大栄養素、ミ	ぶ ネラル、ビタミン <i>0</i>	D働きと欠乏症状		INFA (Theo	orie) テキスト PowerPoint
第17回	11月25日	呼吸器	栄養素の吸収を 呼吸器系につい 気道、肺、横隔	学ぶ て学ぶ 膜、胸式呼吸と腹ェ			INFA (Theo	orie) テキスト PowerPoint
第18回	11月25日	循環器 l	喫煙のデメリッ 循環器について 心臓疾患につい	学ぶ(血液の循環系	圣路・心臓の働き)		INFA (Theo	rowerroint orie) テキスト PowerPoint
第19回	12月2日	循環器 2	血液成分とその		D特徴		INFA (Theo	orie) テキスト PowerPoint
第20回	12月2日	循環器 3	リンパについて	学ぶ(リンパとは何	可か・リンパの循環	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	INFA (Theo	rie) テキスト PowerPoint
第21回	12月9日	排泄器	排泄器について	学ぶ(腎臓の働き)			INFA (Theo	orie) テキスト
第22回	12月9日	神経系 1	腎臓疾患につい 神経系を学ぶ(申経系を学ぶ (概論・神経系の分類)				PowerPoint orie) テキスト
第23回	12月16日	神経系 2			INFA (Theo	PowerPoint orie) テキスト PowerPoint		
				大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路(うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み) 自律神経 交感神経、副交感神経の働き(自律神経失調症発症の原因)				
第24回	12月16日	神経系 3	目律神経 交感	仲栓、副交感神経の	ツ뗈さ(目律神経失	調征発狂の原因)		orie) テキスト PowerPoint

第25回	1月20日	内分泌 1	ホルモンについて学ぶ(ホルモンの作用・ホルモン分泌をコントロールしているもの)	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第26回	1月20日	内分泌系 2	主な内分泌腺とホルモンの働き(刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモン)	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第27回	1月27日	内分泌系 3	性腺と性ホルモン(更年期障害について その対処法)	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第28回	1月27日	総合確認テスト	各章の確認テスト実施	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第29回	2月3日	総合確認テスト 振り返り	総合テストの振り返り学習 各章の復習	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第30回	2月3日	期末試験	期末試験実施	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

①記述式筆記試験(配点70%)穴埋め問題:30間×1点 記述問題:10間×3点 短答式問題:40間×1点 ②提出物(配点10%)1回末提出:-3点 ③確認テストの点数(配点10%)80点以下:-2点 ④授業態度(配点10%)1コマ欠席:-1点 授業中の私語、居眠り:-3点

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①記述式筆記試験	l位					70	秀(S):100点~90点
②提出物			1位	2位		10	優(A): 89点~80点
③確認テストの点数	l位		2位			10	良(B): 79点~70点
④授業態度				1位		10	可 (D) : 69点~60点
							不可(E):59点以下
上記の判定方法がどの	不合格の場合	再試験1回					

シュバフルボギ	シラバス作成者 田澤 初美		シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美			
フノハATFIX名			者		実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹	8介ページのリンクを記載		
更新履歴									
シラバス	更新履歴	更新	理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1									
改2									
改3									
改4									
改5					•				

科目名		解剖生理学 I		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティフ	スペシャリスト科		学年	i学年
授業形態 4.	į	講義	学期	後期	開講年月 5	10月	該当資格区分	民間検定	•	
教育課程区 ^{7.}	選	択必修	単位数 8.	2	時間数 9	60	該当資格名称	INFA∄	国際ライセンス	(ボディ)
, 科目の概要 全コマ数を俯瞰	12.	術・アドバイスが可 ※ 皮膚の構造を理角 ※ 血流やリンパをえ ※ 筋肉や骨格を考慮 ※ 自律神経や内臓の ※ 免疫機能を考慮し	供するために不能になります。 なります。 なりまなスキ は は は は は は は し 、 で な が は で で で で で で で で で で で で で	可欠です。「解剖生 -ンケアや施術がで -ジで、より効果的 ・ル・ボディ施術が ストレスや食事か アドバイスができ	E理学の応用」を含 きる なケアを提供でき できる らのケアを提案で る	学ぶことで、単なる る きる	美容技術ではなく、	の仕組みを理解するが 体の仕組みを理解し なの仕組みを理解し を身につけることが	,た上での科学	術の効果を高め 的根拠に基づい
科目の到達目 教育課程の位		皮膚・筋肉・骨格な 血液循環・リンパ・ 体の構造と機能の関 美容と健康のつなが 施術中の身体反応(自律神経などの: 係性を学び、個 りを科学的根拠	生理機能を理解し、 々の顧客の状態に応 に基づいて説明でき	美容効果を高める なじた安全かつ効果 るようになる。	る施術やアドバイス 果的なケアを提案で	に活用できる。 きる。			
受講条件		人体の構造と機能	皮膚科学 履修	程度の知識						
教科書名	14	INFA (Theorie) ラ	ーキスト			数材名 15	オリジナルPowe	rPoint		
設備名・機器	16 景名	教材投影用プロジ	ェクター・PC			17 関連サイト				
関連前科目	18	人体の構造と機能	皮膚科学			期連後科目	解剖生理学Ⅱ			
授業計画(授	受業コマ単位	Z) 学科:15コマ以	上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位					
回(コマ)	開講日	授業コマの主題	(タイトル)	:	ーー 各時間ごとの授	受業内容および技	受業コマの到達	目標	使用教	対書・教材
第1回	9月30日	導入 解剖生理学	復習	前期に学んだ解剖	生理学の復習テス	٠, ١			INFA (Theori	
第2回	9月30日	細胞	1	細胞の構造につい	て学ぶ(各名称を	覚える・細胞の役割	割・分裂について学	::3)	INFA(Theori	
第3回	10月7日	細胞	2		細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)					e) テキスト werPoint
第4回	10月7日	骨格系統	t l	骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する					INFA(Theori オリジナルPo	
第5回	10月14日	骨格系統	₹ 2	骨と関節の構造と役割について学ぶ					INFA(Theori	
第6回	10月14日	筋肉	1	筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する					INFA(Theori	
第7回	10月21日	筋肉	2	筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ				INFA(Theori オリジナルPo		
第8回	10月21日	皮膚	1	皮膚の役目を理解 表皮、真皮、につい					INFA(Theori	
第9回	10月28日	皮膚	2	皮下組織について 皮膚の付属器につ	学ぶ いて学ぶ (汗腺・	皮脂腺・毛・爪)			INFA(Theori オリジナルPo	e) テキスト werPoint
第10回	10月28日	皮膚	3	様々な皮膚トラブ アトピー性皮膚炎	'ルについて学ぶ 、アレルギー、紫	外線により肌への	影響、にきびの発生	の仕方	INFA (Theori	e) テキスト werPoint
第11回	11月4日	消化器	1	消化器の構造を学 概論、口腔と付属		į			INFA (Theori	
第12回	11月4日	消化器	2	消化器官について 胃潰瘍、便秘につ		大腸)			INFA (Theori	
第13回	11月11日	消化器	3	消化器官について	学ぶ(肝臓・すい	臓)			INFA (Theori	
第14回	11月11日	栄養学	1	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネ 栄養素の吸収を学	ラル、ビタミンの	働きと欠乏症状			INFA(Theori	
第15回	11月18日	栄養学	2	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネ 栄養素の吸収を学	ラル、ビタミンの	働きと欠乏症状			INFA(Theori	
第16回	11月18日	栄養学	3	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネ 栄養素の吸収を学	ラル、ビタミンの	働きと欠乏症状			INFA (Theori	
第17回	11月25日	呼吸	분	呼吸器系について	学ぶ 、胸式呼吸と腹式	呼吸			INFA (Theori	
第18回	11月25日	循環器	1	循環器について学 心臓疾患について	ぶ(血液の循環経	路・心臓の働き)			INFA (Theori	
第19回	12月2日	循環器	2	血液成分とその役	割・各血管の	特徴			INFA (Theori	
第20回	12月2日	循環器	3	リンパについて学ぶ (リンパとは何か・リンパの循環経路)					INFA (Theori	
第21回	12月9日	排泄된	띺	排泄器について学 腎臓疾患について					INFA (Theori	
第22回	12月9日	神経系	1	神経系を学ぶ(概論・神経系の分類)					INFA (Theori	
第23回	12月16日	神経系	2	大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路(うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み)				INFA (Theori		
第24回	12月16日	神経系	3	自律神経 交感神	経、副交感神経の	働き(自律神経失詞	調症発症の原因)		INFA (Theori	
第25回	1月20日	内分泌	1	ホルモンについて	学ぶ(ホルモンの	作用・ホルモン分	必をコントロールし	ているもの)	INFA (Theori	

第26回	1月20日	内分泌系 2	主な内分泌腺とホルモンの働き(刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホ ルモン)	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第27回	1月27日	内分泌系 3		INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第28回	1月27日	総合確認テスト		INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第29回	2月3日	総合確認テスト 振り返り	総合テストの振り返り学習 各章の復習	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第30回	2月3日	期末試験		INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

①記述式筆記試験(配点70%)穴埋め問題:30間×1点 記述問題:10間×3点 短答式問題:40間×1点 ②提出物(配点10%)1回末提出:-3点 ③確認テストの点数(配点10%)80点以下:-2点 ④授業態度(配点10%)1コマ欠席:-1点 授業中の私語、居眠り:-3点

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①記述式筆記試験	1位					70	秀(S):100点~90点
②提出物			1位	2位		10	優(A): 89点~80点
③確認テストの点数	1位		2位			10	良(B): 79点~70点
④授業態度				1位		10	可 (D) : 69点~60点
							不可(E):59点以下
上記の判定方法がどの	不合格の場合	再試験1回					

シラバス作成者	口運 如主		シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美	
ン ノハス IFIX 相	山伴 彻天		者	フルイ ムを山戦	実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹	3介ページのリンクを記載
更新履歴							
シラバス貝	巨新履歴	更新	理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)
改1							
改2							
改3							
改4							
3 <i>H</i> 5							

科目名 1		解剖生理学Ⅱ		学科名 ^{2.} (コース名)	(コース名)				2学年
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月	^{5.} 4月	該当資格区分6.	•	
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	8. 単位数	2	時間数	9. 60時間	該当資格名称 該当資格名称		
, 科目の概要 全コマ数を俯瞰		また、解剖生理学の5	印識を元に皮膚 確にアドバイス 美容知識を持ち を最大限に引き	との関係性を享受で なできる 、 信頼を得られる ま出せる	ける		牧善方法をアドバイスができ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る知識を教授する。	
科目の到達目 教育課程の位置	目標 置づけ) ₁₃	1. 皮膚の構造と機能 2. 皮膚の健康に影響 3. 皮膚トラブルの種 4. スキンケア成分の 5. 皮膚に安全な施術 6. 皮膚科学の最新ト	を与える内的・ 類と原因を理解 作用と効果を理 を行うための基	外的要因を分析で 詳し、適切なケア方 詳解し、適切に選択 は礎知識を習得する	法を提案できる できる				
受講条件		人体の構造と機能 原	皮膚科学 解剖	生理学 I 履修程度	度の知識				
教科書名	14	INFA (Theorie) テキ	スト			教材名	5. オリジナルPowerPoint		
設備名・機器	16 器名	教材投影用プロジェク	ウター・PC			17 関連サイト	7.		
関連前科目	18	. 人体の構造と機能 . 5	皮膚科学 解剖	生理学 I		関連後科目	9. サロン運営		
授業計画(授	受業コマ単位	Ⅰ ☑)学科:15コマ以」	上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位				
回(コマ)	開講日	授業コマの主題	(タイトル)	:	各時間ごとの	授業内容および	授業コマの到達目標	使用	教科書・教材
第1回	4月25日	オリエンテーション 皮膚学 復習		授業内ルールの確 皮膚科学 期末試		説明 評価方法の説 を解く	明	INFA (Theo	rie) テキスト
第2回	4月25日	皮膚学 応用①		表皮の構造を深く ターンオーバー、	理解する 保湿因子、バリフ	ア機能		INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint
第3回	5月9日	皮膚学 応用②		真皮の構造を深く 基底膜、各細胞と				INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint
第4回	5月9日	皮膚の生理機能とは	D	皮膚の生理機能 生理機能7つを理	皮膚の生理機能 生理機能 7 つを理解する				
第5回	5月16日	皮膚の生理機能とは②	2	皮膚の生理機能 生理機能7つを理	解する	INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint		
第6回	5月16日	皮膚のアルカリ中和能	<u>با</u>	皮膚のアルカリ中 ODT 経皮吸収	和能	INFA (Theor	rie) テキスト OowerPoint		
第7回	5月23日	にきびについて①		にきびの発生の仕 にきびの種類	方	INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint		
第8回	5月23日	にきびについて②		常在菌 アダルトにきびと大人ニキビ にきびの有効成分 手入れ方法				INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint
第9回	5月30日	皮膚の乾燥について		皮膚の乾燥とはど 表皮の乾燥 真皮 お手入れの方法				INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint
第10回	5月30日	皮膚と紫外線①		皮膚と紫外線の関 紫外線の分類と皮 紫外線防御とSP	膚への作用 光素	老化について		INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint
第11回	6月6日	皮膚と紫外線②		メラニンの生成過メラニン合成経路	程と美白剤を理解			INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint
第12回	6月6日	皮膚と色素異常 皮膚	と湿疹①	皮膚と色素異常に 肝斑、そばかす等				INFA (Theor	rie) テキスト PowerPoint
第13回	6月13日	皮膚と色素異常 皮膚	と湿疹②	皮膚と湿疹につい 湿疹の分類方法と				INFA (Theor	rie) テキスト OowerPoint
第14回	6月13日	皮膚とストレスの関係		ホルモンの復習 (ストレスとホメオ	各ホルモンの働き	き)			rie) テキスト
第15回	6月20日	皮膚とストレスの関係	<u>*</u>	ランゲルハンス細	胞、NK細胞、i	副腎皮質ホルモン、	自律神経	INFA(Theor	rie) テキスト PowerPoint
第16回	6月20日	皮膚と女性ホルモンの	D関係①	皮膚と女性ホルモ 月経周期による肌		する		INFA(Theor	rie) テキスト PowerPoint
第17回	6月27日	皮膚と女性ホルモンの	の関係②	更年期と肌の関係				INFA(Theor	rie) テキスト PowerPoint
第18回	6月27日	皮膚と老化		皮膚の老化とは老化した皮膚の表				INFA(Theor	rie) テキスト PowerPoint
第19回	7月4日	皮膚と睡眠の関係		老化した皮膚の真 皮膚と睡眠の関係 成長ホルモン、レ	を理解する	ム睡眠		INFA(Theor	rie) テキスト PowerPoint
第20回	7月4日	皮膚と睡眠の関係		睡眠とホルモンの	関係を理解する			INFA(Theor	rie) テキスト PowerPoint
第21回	7月11日	美しい皮膚になるため いて①	かの食生活につ	肌が美しくなる栄 脂質 糖質 タン				INFA(Theor	rie) テキスト PowerPoint
第22回	7月11日	美しい皮膚になるため いて②	かの食生活につ		養素を理解する			INFA(Theor	rie) テキスト PowerPoint
第23回	7月18日	アレルギーについて		アレルギーについ 一次刺激性とアレ	て理解する ルギー性皮膚炎の	の違い			rie) テキスト
第24回	7月18日	アトピー性皮膚炎につ	ついて	定義と症状、かゆ	一次刺激性とアレルギー性皮膚炎の違い アレルギーを起こす原因物質 アトピー性皮膚炎について理解する 定義と症状、かゆみの発症過程と治療法、				
第25回	7月25日	皮膚生理学 皮膚と	△内臓	スキンケアのポイ 皮膚と内臓の関係 内臓疾患が肌に与	を理解する	学の復習		オリジナルF INFA(Theor オリジナルF	rie) テキスト
第26回	7月25日	皮膚生理学 皮膚と	・内職	肝臓 大腸 胃					ie) テキスト

第27回	8月1日	美容皮膚科の新技術とその応用①	レーザー治療はどのようなものか 治療の実際 注意点 コラーゲン注入療法はどのようなものか 療法の実際 注意点 ケミカルピーリングはどのようなものか 有効性 注意点 トレチノイン療法はどのようなものか 有効性 注意すること	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第28回	8月1日	美容皮膚科の新技術とその応用 ②		INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第29回	8月6日	期末試験対策 総復習		INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第30回	8月6日	期末試験実施	期末試験の実施	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

①記述式筆記試験(配点70%)穴埋め問題:30間×1点 記述問題:10問×3点 短答式問題:40問×1点 ②提出物(配点10%)1回末提出:-3点 ③確認テストの点数(配点10%)80点以下:-2点 ④授業態度(配点10%)1コマ欠席:-1点 授業中の私語、居眠り:-3点

(Hamilton) 1 - 170/H 1/M	XX/IIIX (IIIXXXVV) 1— VXIII XXX I V IXIII X IIIX V										
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準				
①記述式筆記試験	1位					70	秀(S):100点~90点				
②提出物			l位	2位		10	優(A): 89点~80点				
③確認テストの点数	1位		2位			10	良(B): 79点~70点				
④授業態度				1位		10	可 (D) : 69点~60点				
							不可(E):59点以下				
上記の判定方法がどの	不合格の場合	再試験1回									

上記の判定方法がとの観点に属するものが、優先順位をつける。上位1位~除順。 不合格の場合 再試験1回							
シラバス作成者	田澤初美		シラバス承認 者	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美	
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)
改1							
改2							
改3							
改4					•		
改5					•		

科目名		解剖生理学Ⅱ		学科名 ^{2.} (コース名)		1	スペシャリスト科		学年	2学年	
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分.	民間検定			
教育課程区 ^{7.} 分			単位数	2	時間数	60時間	該当資格名称		祭ライセンス(ご	フェイシャル)	
科目の概要 (全コマ数を俯		エステティシャンや また、解剖生理学の ∜ お客様の悩みに的 ∜ 科学的根拠のある ∜ 施術や商品の効身 美容業界でのキャリ	知識を元に皮膚。 可確にアドバイス 5美容知識を持ち 見を最大限に引き	との関係性を享受す できる 、信頼を得られる 出せる	ける				授する。		
科目の到達! 教育課程の位	聖べけ)	1. 皮膚の構造と機能 2. 皮膚の健康に影響 3. 皮膚トラブルの移 4. スキンケア成分の 5. 皮膚に安全な施術 6. 皮膚科学の最新ト	₹を与える内的・ ₤類と原因を理解 〕作用と効果を理 近を行うための基	外的要因を分析で し、適切なケア方 解し、適切に選択 一礎知識を習得する	法を提案できる						
受講条件		人体の構造と機能	皮膚科学 解剖生	生理学 I 履修程度	度の知識						
教科書名	14	INFA (Theorie) ラ	ナスト			教材名	オリジナルPower	rPoint			
設備名・機器	16 器名	教材投影用プロジ	ェクター・PC			関連サイト	7.				
関連前科目	18	人体の構造と機能	皮膚科学解	剖生理学 I		関連後科目	サロン運営				
授業計画(抽	受業コマ単位	7)学科:15コマ以	上目単位、実習	・演習:30コマ	以上/単位						
回(コマ)	開講日	授業コマの主題	i(タイトル)	í	各時間ごとの授	受業内容および打	受業コマの到達目	目標	使用	教科書・教材	
第1回	4月25日	オリエンテーション 皮膚学 復習		授業内ルールの確 皮膚科学 期末試		明 評価方法の説 解く	明		INFA (Theo	rie) テキスト	
第2回	4月25日	皮膚学 応用①		表皮の構造を深く ターンオーバー、		機能			INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint	
第3回	5月9日	皮膚学 応用②			真皮の構造を深く理解する 基底膜、各細胞と線維の働き					rie) テキスト OowerPoint	
第4回	5月9日	皮膚の生理機能とは	D	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第5回	5月16日	皮膚の生理機能とは	2	皮膚の生理機能 生理機能7つを理		INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint				
第6回	5月16日	皮膚のアルカリ中和	能	皮膚のアルカリ中 ODT 経皮吸収		INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint				
第7回	5月23日	にきびについて①		にきびの発生の仕方 にきびの種類 常在菌					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint	
第8回	5月23日	にきびについて②		アダルトにきびと にきびの有効成分 手入れ方法	大人ニキビ				INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint	
第9回	5月30日	皮膚の乾燥について		皮膚の乾燥とはど 表皮の乾燥 真皮 お手入れの方法					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第10回	5月30日	皮膚と紫外線①		皮膚と紫外線の関	膚への作用 光老	化について			INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第11回	6月6日	皮膚と紫外線②		メラニンの生成過 メラニン合成経路	程と美白剤を理解 、適応する美白剤				INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第12回	6月6日	皮膚と色素異常 皮膚	*と湿疹①	皮膚と色素異常に 肝斑、そばかす等					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint	
第13回	6月13日	皮膚と色素異常 皮膚	と湿疹②	皮膚と湿疹につい 湿疹の分類方法と					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第14回	6月13日	皮膚とストレスの関	係①	ホルモンの復習(ストレスとホメオ)			INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第15回	6月20日	皮膚とストレスの関	条②	ランゲルハンス細	胞、NK細胞、副	腎皮質ホルモン、	自律神経		INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第16回	6月20日	皮膚と女性ホルモン	の関係①	皮膚と女性ホルモ 月経周期による肌		· る			INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第17回	6月27日	皮膚と女性ホルモン	の関係②	更年期と肌の関係					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第18回	6月27日	皮膚と老化		皮膚の老化とは 老化した皮膚の表 老化した皮膚の真					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第19回	7月4日	皮膚と睡眠の関係		皮膚と睡眠の関係 成長ホルモン、レ	を理解する	睡眠			INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint	
第20回	7月4日	皮膚と睡眠の関係		睡眠とホルモンの	関係を理解する				INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint	
第21回	7月11日	美しい皮膚になるた いて①	めの食生活につ	D 肌が美しくなる栄養素を理解する 脂質 糖質 タンパク質					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint	
第22回	7月11日	美しい皮膚になるた いて②	めの食生活につ	こつ 肌が美しくなる栄養素を理解する ビタミン、ミネラル					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト OowerPoint	
第23回	7月18日	アレルギーについて		アレルギーについて理解する 一次刺激性とアレルギー性皮膚炎の違い アレルギーを起こす原因物質					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第24回	7月18日	アトピー性皮膚炎に	ついて	アレルギーを起こり原囚物員 アトピー性皮膚炎について理解する 定義と症状、かゆみの発症過程と治療法、 スキンケアのポイント					INFA (Theorie) テキストオリジナルPowerPoint		
第25回	7月25日	皮膚生理学 皮膚	と内臓	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	
第26回	7月25日	皮膚生理学 皮膚	と内臓	肝臓 大腸 胃 心臓 卵巣 子宮					INFA (Theo:オリジナル)	rie) テキスト PowerPoint	

第27回	8月1日	美容皮膚科の新技術とその応用①	レーザー治療はどのようなものか 治療の実際 注意点 コラーゲン注入療法はどのようなものか 療法の実際 注意点 ケミカルピーリングはどのようなものか 有効性 注意点 トレチノイン療法はどのようなものか 有効性 注意すること	INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第28回	8月1日	美容皮膚科の新技術とその応用 ②		INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第29回	8月6日	期末試験対策 総復習		INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint
第30回	8月6日	期末試験実施	期末試験の実施	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

①記述式筆記試験(配点70%)穴埋め問題:30間×1点 記述問題:10問×3点 短答式問題:40問×1点 ②提出物(配点10%)1回末提出:-3点 ③確認テストの点数(配点10%)80点以下:-2点 ④授業態度(配点10%)1コマ欠席:-1点 授業中の私語、居眠り:-3点

(Hamilton) 1 - 170/H 1/M	72/K 19 All 1	3424 2 07/10					
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①記述式筆記試験	1位					70	秀(S):100点~90点
②提出物			l位	2位		10	優(A): 89点~80点
③確認テストの点数	1位		2位			10	良(B): 79点~70点
④授業態度				1位		10	可 (D) : 69点~60点
							不可(E):59点以下
上記の判定方法がどの	再試験1回						

	上記0	り判定万法かとの	観点に属するも	不合格の場合	再試験1回			
シュラバフルボチ	ンラバス作成者 田澤 初美		シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美		
フラハスTFIX名			者	ノルハームと記載	実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴								
シラバス	更新履歴	更新	理由	更新箇所		作成者 Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4					•			
改5					•			

科目名 1		解剖生理学(口)	<u>术</u>)	学科名 ^{2.} (コース名)	2. ビューティスペシャリスト科 学年 『					7学年
授業形態 4.	İ	講義	学期	後期	開講年月 5	10月	該当資格区分	民間検定	•	
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称		INFA国際ライセン	ンス
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11.数して)					里学・皮膚科学) ートメントの根拠				に対応できる表現
科目の到達目 (教育課程の位	PP -31.1.\	各器官(皮膚、) 美容施術の効果 INFA試験の口頭	筋肉、骨格、循環 を生理学的に説明	器、神経系、リ し、安全性と根 論理的・的確に	ンパ系、内分泌系 処を持って施術な 答える練習ができ	きる。	る。 美容との関係性を	セ理解できる。		
受講条件		人体の構造と機	能 皮膚科学 履	修程度の知識						
教科書名	14	INFA (Theorie)	テキスト			数材名 15	オリジナルPowe	rPoint		
設備名・機器	16 景名	教材投影用プロ	ジェクター・PC			17 関連サイト				
関連前科目	18	人体の構造と機	能皮膚科学			型連後科目	解剖生理学Ⅱ	サロン運営		
授業計画(哲	受業コマ単位	L () 学科:15コマ	以上目単位、実習	冒・演習:30コマ	以上/単位	I.	l			20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	受業内容および!	受業コマの到達	目標	使用教	対書・教材
第1回	9月30日	オリエンテーシ	ョン	INFA国際ライセン	スとは? 試験概	要と合格のポイン	・理解		INFA (Theori	ie) テキスト
第2回	10月7日	解剖生理等	学の応用①	解剖生理学の基礎	①:細胞・組織 <i>の</i>)構造と役割			INFA(Theori オリジナルPo	
第3回	10月14日	解剖生理等	学の応用②	解剖生理学の基礎	②:筋肉・骨格系	系の構造と美容への	応用		INFA (Theori オリジナルPo	ie) テキスト owerPoint
第4回	10月21日	解剖生理等	学の応用③	解剖生理学の基礎	③:循環器・リン	/パ系の機能とトリ	ートメント効果		INFA (Theori オリジナルPo	ie) テキスト owerPoint
第5回	10月28日	解剖生理等	学の応用④	解剖生理学の基礎	④:神経系・内気	分泌系とストレスケ	ア		INFA(Theorie)テキスト オリジナルPowerPoint	
第6回	11月4日	皮膚科学	の応用①	皮膚科学の基礎①):皮膚の構造とタ	マーンオーバー			INFA(Theori オリジナルPo	
第7回	11月11日	皮膚科学	の基礎②	皮膚科学の基礎②):皮膚タイプ・ト	、ラブルの見分けと	対策		INFA(Theori オリジナルPo	ie) テキスト owerPoint
第8回	11月18日	美容施術の科学	学的根拠と効果	美容施術の科学的	根拠と効果:例)	フェイシャル・ボ	ディ		INFA(Theori オリジナルPo	
第9回	11月25日	各系統の行	复習と応用	各系統の復習と応	用:ケア提案に約	ちびつける力を養う			INFA (Theori オリジナルPo	ie) テキスト owerPoint
第10回	12月2日	口頭試問	問対策①	模擬Q&Aと回答の約	組み立て練習				INFA (Theori オリジナルPo	ie) テキスト owerPoint
第11回	12月9日	口頭試問	問対策②	英語・フランス語	用語の確認(補助	b)			INFA(Theori オリジナルPo	ie) テキスト owerPoint
第12回	12月16日	ケース	スタディ	お客様の悩みに対	しての説明と提案	E練習			INFA(Theori オリジナルPo	
第13回	1月20日	総復習テストと	フィードバック	総復習テストとフ	ィードバック				INFA(Theori オリジナルPo	
第14回	1月27日	模擬口	頭試問	個別形式 グルー	プ形式・相互フィ	ードバック			INFA(Theori オリジナルPo	
第15回	2月3日	期末試	験実施	期末試験実施						
①記述式筆記記②口述式試験	【験(配点45%) (配点45%)	の到達目標に対す 6) 穴埋め問題: 過去に出題された マ欠席: -1点	30問×1点 記述 口頭試問問題から	問題:10問×3点 510問を出題 評	短答式問題:		正化(正規分布)、	「レポート」(の評価等は別に定	21.
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	·価基準
①記述式筆記記			1位	2位				45	秀(S):100点~	~90点
②口述式試験			2位	2位	014	1 /		45	優(A): 89点。 良(B): 79点。	
③授業態度										~70点 ~60点
							不可 (E):59点」	以下		
	上記の	の判定方法がど <i>の</i>	観点に属するも	属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合						験1回
シラバス作成	田澤 初美		シラバス承認	フルネームを記	11	授業担当教員 田澤 初美				
者	四1年 701天		者	ノルイ みで配	東 務経験紹介 学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記					アを記載
更新履歴 シラバス ً	更新履歴	更新	理由		更新箇所	所作成者 Check者(確認者)				(確認者)
改1										
改2 改3										
改4										
改5				Ì			1		I	

科目名		メイクアップ総	合	学科名 ^{2.} (コース名)			スペシャリスト科 アドバイザーコー:	Z	学年	2学年
授業形態 4.	:	実習	学期	後期	開講年月 5.	9月	該当資格区分	なし		<u></u>
教育課程区 7.	選	択必修	8. 単位数	6	時間数	180	数当資格名称	該当なし		
ネリス 科目の概要 全コマ数を俯瞰	11. (UT)	メイク講座開講に当該内容は現場で		構成、運営、接客、 ご役立つ	施術について教	女授する				
科目の到達目 教育課程の位置		今まで学んだメー	イクアップの知識	置づけは学則上の 歳、技術をお客様 医の開講ができる				1識・技術を習得す	る科目。	
受講条件	13	Y I C京都ビュー メイクアップⅡ、			ャリスト科メイク	7アップアドバイ	ザーコースに在籍	手していること		
教科書名	14	該当なし				数材名 15	オリジナルPowe	rPoint/オリジナル	プリント	
設備名・機器	名	投影用プロジェク	クター/Pcorタブ	レット		17 関連サイト		ーティ専門学校ホー c-kyoto-beauty.ac		
関連前科目	18.	メイクアップⅡ、	メイクセラピー	- П		関連後科目	サロン運営I			
授業計画(授	業コマ単位	:) 学科:15コマル	以上目単位、実習	習・演習:30コマ.	以上/単位					
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および担	受業コマの到達目	目標	使用	教科書・教材
第1回	水	オリエンテーショ	ョン	授業の目標、目的	、評価方法につい	て理解する			オリジナル	プリント
第2回	水	コミュニケーショ	ョンスキル 1	非言語コミュニケ	ーションについて	グループワークが	できる		オリジナル	プリント
第3回	水	コミュニケーシ:	ョンスキル2	オープンクエスチ	ョン、クローズド	クエスチョンを使り	い分けることができ	3	オリジナルこ	プリント
第4回	水	コミュニケーショ		ジョハリの窓ワー					オリジナル	
第5回	- 木	メイク動画オリン							オリジナル	. , . ,
第6回	木	メイクと色彩	-,		メイク動画作成の目的、目標について理解する メイクにおけるカラーの提案について理解する					プリント
-		色彩ワーク1		色彩ワークができ						
第7回	木					オリジナルプリント				
第8回	木	色彩ワーク2	town a	色彩ワークでの課題点の発見ができる					オリジナルプリント	
第9回	水	メイクセラピー		カウンセリングの重要性について復習ができる オーダーカウンセリングでなりたい印象を引き出す						
第10回	水	メイクセラピー	実習 2 					N4 4 /-> 9 9 1, 18-	オリジナル	プリント
第11回	水	メイクセラピー	実習3	オーダーに伴った きる						プリント
第12回	水	メイクセラピー	実習4	フォローカウンセリングとメイクの課題点の発見ができる					オリジナル	プリント
第13回	木	メイクに必要な	色彩学 1	色彩理論について説明ができる					オリジナル	プリント
第14回	木	メイクに必要なも	色彩学2	パーソナルカラー	、4シーズンの特徴	対について理解する)		オリジナル	プリント
第15回	木	メイクに必要な色	色彩学3	パーソナルカラー	診断ができる(施	術者)			オリジナル	プリント
第16回	木	メイクに必要なも	5 多 学 4	パーソナルカラー	診断ができる(被	施術者)			オリジナル	プリント
第17回	水	模写メイク 1		顔分析とメイクア	ップの修整につい	て理解する			オリジナル	 プリント
第18回	水	模写メイク2		メイクアッププラ	ンが作成できる				オリジナル	プリント
第19回	水	模写メイク3		顔分析とメイクア		横写メイクがで	きる (施術者)		オリジナル	
ii		模写メイク4		顔分析とメイクア					オリジナル	
第20回	水		1			、快手グイジがで	さる (板)心(相)			
第21回	- 木	パーソナルカラー		配色の方向性につ					オリジナル	
第22回	木	パーソナルカラー		4シーズンのコー		(埋解する			オリジナル	
第23回	木	パーソナルカラー		色彩心理について					オリジナル	
第24回	木	パーソナルカラー		カラーカードワー	クができる				オリジナル	プリント
第25回	水	メイク講座の組み	み立て方 1	メイク講座におけ	る注意点を理解す	る			オリジナル	プリント
第26回	水	メイク講座の組み	み立て方2	メイク講座の内容	を考案することが	できる			オリジナル	プリント
第27回	水	メイク講座の組み	み立て方3	導入、展開、まと	めの構成を考案す	る			オリジナル	プリント
第28回	水	メイク講座の組み	み立て方4	資料、ビジュアル	ツールの作成準備	ができる			オリジナル	プリント
第29回	木	メイク動画作成	1	メイク動画の内容	 を考案する				オリジナル	プリント
第30回	木	メイク動画作成	2	メイク動画の構成を考える					オリジナルこ	プリント
第31回	木	メイク動画作成	3	メイク動画撮影に必要な材料のピックアップができる					オリジナル	プリント
第32回	木	メイク動画作成	4	メイク動画撮影の準備を行う					オリジナルこ	プリント
第33回	水	サロン運営 1		メイクサロンの事業計画書作成することができる					オリジナルこ	プリント
第34回	水	サロン運営2			パイクサロンメニューを考案することができる				オリジナル	
第35回	水水	サロン運営3								
AD O III		サロン運営4			コンメニューの施術内容を考案することができる				オリジナルプリント	
笛って 戸	水	ッロノ理呂4		ッロンメーユー()	1ンメニューの施術マニュアルの作成ができる				オリジナルプリント	
第36回		ノノカ新元ルル	=	動画のメイクプラン作成できる						₹11 N / 1
第36回 第37回 第38回	木	メイク動画作成!		動画のメイクプラ 動画のメイクが施					オリジナルこ	

90回	水	成績判定試験2	講座を受講することができる(成績判定試験)	オリジナルプリント
89回	水	成績判定試験 1	講座を開講することができる(成績判定試験)	オリジナルプリント
88回	木	百貨店見学4	商品のプレゼンテーションができる	1
87回	木	百貨店見学3	タッチアップ、接客を受けての振り返りができる	
86回	木	百貨店見学2	コスメカウンターブランド2でタッチアップを受けることができる	
85回	木	百貨店見学1	コスメカウンターブランド1でタッチアップを受けることができる	
84回	水	メイク講座実践4	メイクアドバイス~お見送りまでできる(被施術者)	オリジナルプリント
83回	水	メイク講座実践3	お出迎え~カウンセリング、メイク講座を受講するができる(被施術者)	オリジナルプリント
82回	水	メイク講座実践2	メイクアドバイス〜お見送りまでできる(施術者)	オリジナルプリント
81回	水	メイク講座実践 1	お出迎え〜カウンセリング、メイク講座が開講ができる(施術者)	オリジナルプリント
80回	木	カラーメイク講座考案8	カラーメイク講座2の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
79回	木	カラーメイク講座考案7	考案したカラーメイク講座2を実践することができる	オリジナルプリント
第78回	木	メイク動画発表 2	鑑賞したメイク動画のフィードバックができる	オリジナルプリント
第77回	木	メイク動画発表 1	撮影したメイク動画の鑑賞をする	オリジナルプリント
第76回	水	メイク講座準備12	メイク講座3のレッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第75回	水	メイク講座準備11	第74回の課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
第74回	水	メイク講座準備10	第73回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第73回	水	メイク講座準備9	考案したメイク講座3を実践することができる	オリジナルプリント
第72回	木	メイク動画撮影・編集4	撮影した動画の編集を行う	オリジナルプリント
第71回	木	メイク動画撮影・編集3	メイク動画の撮影を実施する(後半)	オリジナルプリント
970回	木	メイク動画撮影・編集2	メイク動画の撮影を実施する(前半)	オリジナルプリント
€69回	木	メイク動画撮影・編集 1	メイク動画撮影の流れを把握する	オリジナルプリント
第68回	水	メイク講座準備8	メイク講座2のレッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第67回	水	メイク講座準備7	第66回の課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
₹66回	水	メイク講座準備6	第65回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
₹65回	水	メイク講座準備5	考案したメイク講座2を実践することができる	オリジナルプリント
第64回	木	カラーメイク講座考案6	カラーメイク講座の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第63回	木	カラーメイク講座考案5	考案したカラーメイク講座を実践することができる	オリジナルプリント
第62回	木	メイク動画作成18	メイク動画撮影練習ができる(被施術者)	オリジナルプリント
第61回	木	メイク動画作成17	メイク動画撮影練習ができる(施術者)	オリジナルプリント
第60回	水	メイク講座準備4	メイクアドバイス〜お見送りまでできる(被施術者)	オリジナルプリント
第59回	水	メイク講座準備3	お出迎え〜カウンセリング、サロンメニューの施術ができる(被施術者)	オリジナルプリント
第58回	水	メイク講座準備2	メイクアドバイス〜お見送りまでできる(施術者)	オリジナルプリント
第57回	水	メイク講座準備1	お出迎え~カウンセリング、サロンメニューの施術ができる(施術者)	オリジナルプリント
第56回	木	カラーメイク講座考案4	カラーメイク講座に必要な材料のピックアップできる	オリジナルプリント
555回	木	カラーメイク講座考案3	カラーメイク講座のレッスンプラン2を作成することができる	オリジナルプリント
第54回	木	メイク動画作成14	動画の課題点の修整を行う	オリジナルプリント
第53回	- 木	メイク動画作成13	動画作成の編集を行い、課題点を発見する	オリジナルプリント
552回	水	メイク講座考案8	レッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第51回	水	メイク講座考案7	課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
第50回	水	メイク講座考案6	第49回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第49回	水	メイク講座考案5	考案したメイク講座を実践することができる	オリジナルプリント
548回	木	カラーメイク講座考案2	カラーメイク講座のレッスンプランが作成することができる	オリジナルプリント
547回	木	カラーメイク講座考案1	カラーメイク講座を考案することができる	オリジナルプリント
46回	- 木	メイク動画作成10	動画作成、編集2ができる	オリジナルプリント
[45回	木	メイク動画作成9	動画作成、編集1ができる	オリジナルプリント
344回	水	メイク講座考案4	メイク講座のレッスンプラン4を作成することができる	オリジナルプリント
43回	水	メイク講座考案3	メイク講座のレッスンプラン3を作成することができる	オリジナルプリント
42回	水.	メイク講座考案2	メイク講座のレッスンプラン2を作成することができる	オリジナルプリント
41回	水	メイク講座考案1	メイク講座のレッスンプラン1を作成することができる	オリジナルプリント
40回	木	メイク動画作成8	動画のシナリオ作成ができる	オリジナルプリント
		1 1 1 mm "		

YIC京都ビューティ専門学校

出席率80%以上及び ①成績判定試験;接客ロープレ、メイクカルテ、アドバイスシート作成 ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する ⑤作品:ビジュアルツール、動画作成を成績に反映する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定7	方法\該当する	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	ì			2位			1位	40	秀(S):100点~90点
②確認テスト								なし	優(A): 89点~80点
③課題レポート								なし	良(B): 79点~70点
④授業態度					2位	1位		30	可 (D) : 69点~60点
⑤作品				2位			1位	30	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテー	ション							なし	
	上記の判定方法がどの		観点に属するもの	のか、優先順位を	をつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等
> = W = /k + *	短上古口		シラバス承認	- 1 2 1 2 = 1	445	授業担当教員	毛利美保・福本	真弓	
シラバス作成者	備 本具与		者	フルネームを記	載	実務経験紹介	学校HP内の実	務経験教員の紹	3 介ページのリンクを記載
更新履歴									
シラバス更	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者(確認者)
改1						•			
改2		·		·	·	<u> </u>			
改3									

科目名		ネイル I	1	学科名 ^{2.} (コース名)		ネイリ	スペシャリスト科 リストコース		学年	『学年
授業形態 4.		実習	学期	後期	開講年月	5. 9月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区 ⁷ 、	選	択必修	単位数	8. 4	時間数	9. 120	該当資格名称	ネー	イリスト技能検	定2級
斗目の概要 全コマ数を俯	11 瞰して)	ネイル技術のネー当該内容は現場		ップ&ラップ、カラ [、] 立つ	ーリング、ネイ	ルアートについて	て教授する			
科目の到達 教育課程の位		当該科目の教育		位置づけは学則上の2 合格相当の知識を身		るとともに、将来	マ業後に必要な知识	コ識・技術を習得 ^ー	する科目。	
Z講条件	13	ビューティスペシャリスト		コースに在籍してい			-1			
教科書名	14	ネイリスト技能		ク第4版2025年3月発 己試験公式問題集	6行	教材名 1	ネイル道具一式			
設備名・機	器名	水道				関連サイト	公益財団法人日 https://www.na	本ネイリスト検定 il-kentei.or.jp		
関連前科目	18	ネイル基礎				関連後科目		ルVI、ネイルVII、	ネイルVⅢ	
授業計画(拮	受業コマ単位	立) 学科:15コマ.	以上目単位、領	実習・演習:30コマ .	以上/単位					
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル) 1	各時間ごとの	授業内容および	授業コマの到達日	標	使用	教科書・教材
第1回	10月2日	オリエンテーシ	ョン	授業の内容、目標	、評価についてヨ	理解する			ネイル道具	一式
第2回	10月2日	ネイリスト技能検				について理解する			ネイル道具	
第3回	10月2日	ネイリスト技能検		2級試験課題ラウン					ネイル道具	
				2級試験課題ケアフ						
第4回	10月2日	ネイリスト技能検							ネイル道具	
第5回	10月9日	ネイリスト技能検				について理解する			ネイル道具	
第6回	10月9日	ネイリスト技能検	定2級対策5	2級試験課題チップ	7&ラップの手技	、手順を理解する			ネイル道具	一式
第7回	10月9日	ネイリスト技能検	定2級対策6	チップ&ラップ施	術ができる				ネイル道具	一式
第8回	10月9日	ネイリスト技能検	定2級対策7	ラウンドにファイ	リングすることフ	ができる		ネイル道具	一式	
第9回	10月16日	ネイリスト技能検	定2級対策8	ラウンドにファイ	リングすることフ	ができる(両手)		ネイル道具一式		
第10回	10月16日	ネイリスト技能検	定2級対策9					ネイル道具	一式	
第11回	10月16日	ネイリスト技能検	定2級対策10	チップ&ラップ施	チップ&ラップ施術ができる(第7回の課題点の改善)					
第12回	10月16日	ネイリスト技能検			チップ&ラップの施術ができる(第11回の課題点の改善)					
		ネイリスト技能検			級試験課題(前半)の施術ができる					
第13回	10月23日									
第14回	10月23日	ネイリスト技能検			2級試験課題(前半)の課題点が把握できる					一式
第15回	10月23日	ネイリスト技能検		2級試験課題(後半	半) 施術ができる)			ネイル道具	一式
第16回	10月23日	ネイリスト技能検	定2級対策15	2級試験課題(後半	¥)の課題点の把	!握ができる			ネイル道具	一式
第17回	10月29日	ネイリスト技能検	定2級対策16	2級試験課題の練習	図(第14回、16回]の課題点の改善)			ネイル道具	一式
第18回	10月29日	ネイリスト技能検	定2級対策17	2級試験課題アート	トについて理解す	⁻ る			ネイル道具	一式
第19回	10月29日	ネイリスト技能検	定2級対策18	2級試験課題アート	トの手技、手順に	ついて理解する			ネイル道具	一式
第20回	10月29日	ネイリスト技能検	定2級対策19	2級試験課題アート	トの施術ができる)			ネイル道具	一式
第21回	11月6日	ネイリスト技能検	定2級対策20	2級試験課題前半の	り施術ができる ((第17回の課題点のご			ネイル道具	一式
第22回	11月6日	ネイリスト技能検				(第17回の課題点のご			ネイル道具	
	11月6日	ネイリスト技能検				(第20回の課題点の			ネイル道具	
第23回									_	
第24回	11月6日	ネイリスト技能検				点、改善点を発見で	することができる		ネイル道具	
第25回	11月13日	ネイリスト技能検		2級試験課題前半0					ネイル道具	一式
第26回	11月13日	ネイリスト技能検	定2級対策25	2級試験課題前半0	り通し練習ができ	る2			ネイル道具	一式
第27回	11月13日	ネイリスト技能検	定2級対策26	2級試験課題後半0	の通し練習ができ	る1			ネイル道具	一式
第28回	11月13日	ネイリスト技能検	定2級対策27	2級試験課題後半0	D通し練習ができ	る2			ネイル道具	一式
第29回	11月20日	ネイリスト技能検	定2級対策28	2級試験課題前半0	の施術ができる((第25回の課題点のご	<u></u> 改善)		ネイル道具	一式
第30回	11月20日	ネイリスト技能検	定2級対策29	2級試験課題前半0	D施術ができる((第26回の課題点のご	改善)		ネイル道具	一式
第31回	11月20日	ネイリスト技能検	定2級対策30	2級試験課題アート	トが所定の時間内]で施術することが~	できる		ネイル道具	一式
第32回	11月20日	ネイリスト技能検		第31回の課題点と					ネイル道具	
第33回	11月27日	ネイリスト技能検				(第30回の課題点のご	少 善)		ネイル道具	
		ネイリスト技能検		チップ&ラップの			м П/		ネイル道具	
第34回	11月27日								ネイル道具	
第35回	11月27日	ネイリスト技能検			チップ&ラップの施術ができる(被施術者)					
第36回	11月27日	ネイリスト技能検		2級試験課題後半の施術ができる(第28回の課題点の改善)					ネイル道具	
第37回	12月4日	ネイリスト技能検	定2級対策36	2級試験課題前半の施術ができる(第33回の課題点の改善)					ネイル道具	一式
第38回	12月4日	ネイリスト技能検	定2級対策37	2級試験課題前半0	級試験課題前半の課題点と改善点の発見ができる(第37回)				ネイル道具	一式
第39回	12月4日	ネイリスト技能検	定2級対策38	2級試験課題後半0	り施術ができる((第36回の課題点のご	改善)		ネイル道具	走一
第40回	12月4日	ネイリスト技能検	定2級対策39	2級試験課題後半0	の課題点と改善点	(の発見ができる(賃	第39回)		ネイル道具	一去
第41回	12月11日	ネイリスト技能検	定2級対策40	2級筆記試験の出足	2級筆記試験の出題傾向を把握する				ネイル道具	一式
第42回	12月11日	ネイリスト技能検	定2級対策41		2級筆記試験問題を解くことができる				ネイル道具	一式
第43回	12月11日	ネイリスト技能検			2級試験課題前半を所定の時間内で施術ができる				ネイル道具	
第44回	12月11日	ネイリスト技能検							ネイル道具	
勿박박ഥ	16/311	・・・・ノハドX肥快	~~1/1Xハ1 水 仕 ろ	2級試験課題後半を所定の時間内に施術ができる					_	24
第45回	12月18日	ネイリスト技能検	中が在れが、	2級筆記試験練習問題を解くことができる					ネイル道具	

第47回	12月18日	ネイリスト技能検定2級対策46	2級試験課題後半を所定の時間内に施術ができる(第44回の改善)	ネイル道具一式
第48回	12月18日	ネイリスト技能検定2級対策47	第45, 46, 47回の課題点と改善点の発見ができる	ネイル道具一式
第49回	1月15日	ネイリスト技能検定2級対策48	模擬試験実施(2級筆記試験)	ネイル道具一式
第50回	1月15日	ネイリスト技能検定2級対策49	模擬試験実施 (2級試験前半)	ネイル道具一式
第51回	1月15日	ネイリスト技能検定2級対策50	模擬試験実施 (2級試験後半)	ネイル道具一式
第52回	1月15日	ネイリスト技能検定2級対策51	2級試験の課題点と改善点の発見ができる(第48,49.50回)	ネイル道具一式
第53回	1月22日	ネイリスト技能検定 1 級対策 1	2級試験の振り返りができる	ネイル道具一式
第54回	1月22日	ネイリスト技能検定1級対策2	1級試験課題の概要を把握することができる	ネイル道具一式
第55回	1月22日	ネイリスト技能検定1級対策3	1級試験課題アクリルスカルプの手技、手順を理解する	ネイル道具一式
第56回	1月22日	ネイリスト技能検定1級対策4	アクリルスカルプの施術ができる	ネイル道具一式
第57回	1月29日	成績判定試験 1	実技試験:ネイルケア	ネイル道具一式
第58回	1月29日	成績判定試験2	実技試験:チップ&ラップ	ネイル道具一式
第59回	1月29日	成績判定試験3	実技試験: カラーリング	ネイル道具一式
第60回	1月29日	成績判定試験4	実技試験:ネイルアート	ネイル道具一式

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

田席率80%以上及ひ

①成績判定試験:実技試験:ネイルケア・チップ&ラップ・カラーリング・ネイルア

②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する

④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する
上記評価点数を下表の配外%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	l位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	l位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの	観点に属するもの	のか、優先順位を	つける。上位1位	立~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等

シニバフルポネ	岩木吉豆		シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載				
ンプハス作成名	ラバス作成者 福本真弓		者	フルイ ひと山戦	実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載				
更新履歴										
シラバス勇	更新履歴	更新	理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)			
改1										
改2										
改3										
改4										
改5										

科目名		ネイルⅡ		学科名 ^{2.} (コース名)		ネイリ	スペシャリスト科 ストコース		学年	学年	
授業形態 ^{4.}		実習	学期	後期	開講年月	^{5.} 9月	該当資格区分	民間検定			
教育課程区 ^{7.}	選	択必修	単位数	8. 4	時間数	9. 120	該当資格名称	ネイ	リスト技能検兌	 E1級	
ト 科目の概要 全コマ数を俯瞰	11. なして)	スタイリング、当該内容は現場			プ、チップオー		教授する				
科目の到達目 教育課程の位置				置づけは学則上の 格相当の知識を身		るとともに、将来	卒業後に必要な知	口識・技術を習得す	る科目。		
受講条件	13		科ネイリストコ	ースに在籍してい	ること						
教科書名	14	テクニカルシス・ ネイリスト技能 ^材		7第4版2025年3月 試験公式問題集	験公式問題集 教材名 ネイル追具一式						
設備名・機器		水道			関連サイト 公益財団法人日本ネイリスト検定制 https://www.nail-kentei.or.jp/a						
関連前科目	10	ネイル基礎			関連後科目 ネイルV、ネイルVI、ネイルVI、						
授業計画(授	業コマ単位	[) 学科:15コマリ	以上目単位、実	習・演習:30コマ	以上/単位						
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの	授業内容および	受業コマの到達日	目標	使用教	対書・教材	
第1回		オリエンテーシ	ョン	授業の内容、目標	、評価方法につい	ハて理解する			ネイル道具ー	式	
第2回		ネイル技術応用	1	ワンボールをとり	、広げることがつ	できる	·		ネイル道具ー	式	
第3回		ネイル技術応用	2	ワンボールをとり	、広げることが	できる(第2回の改	善善善善		ネイル道具ー	式	
第4回		ネイル技術応用	3	ワンボールをとり	、広げることが	できる(第3回の改	善)		ネイル道具ー	式	
第5回		ネイル技術応用・	4	ワンボールをとり	、広げることが	できる(第4回の改	善 善		ネイル道具ー	式	
第6回		ネイル技術応用	5	ワンボールをとり	、広げることが~	できる(第5回の改	善善善		ネイル道具ー	式	
第7回		ネイル技術応用		ハンドにフォーム	を付けることがで	できる			ネイル道具ー	式	
第8回		ネイル技術応用	7	ハンドにフォーム	を付けることが~	できる(第7回の改	善)		ネイル道具ー	式	
第9回		ネイル技術応用	8	3ボールまでのア	3ボールまでのアプリケーションができる						
第10回		ネイル技術応用			3ポールまでのアプリケーションができる(第9回の改善)						
第11回		ネイル技術応用			4ボールまでのアプリケーションができる (第10回の改善) 4ボールまでのアプリケーションができる (第11回の改善)						
第12回		ネイル技術応用				ができる(第11回	の改善)		ネイル道具ー		
第13回		ネイル技術応用		チップオーバーレ					ネイル道具ー		
第14回		ネイル技術応用		チップオーバーレ					ネイル道具ー		
第15回		ネイル技術応用		チップオーバーレ					ネイル道具一式ネイル道具一式		
第16回		ネイル技術応用			チップオーバーレイができる(第15回の改善)						
第17回		ネイル技術応用		苦手箇所の改善ができる(第2~16回の改善)						式	
第18回		ネイル技術応用		苦手箇所の改善ができる(第17回の改善) 苦手箇所の改善ができる(第18回の改善)						式	
第19回		ネイル技術応用							ネイル道具ー		
第20回		ネイル技術応用			苦手箇所の改善ができる(第19回の改善) ナチュラルスカルプ3本揃えることができる						
第21回		ネイル技術応用					同のお茶)		ネイル道具ー		
第22回		ネイル技術応用				とができる(第21 			ネイル道具ー		
第23回 第24回		ネイル技術応用				とができる(第22 とができる(第23			ネイル道具ー		
第24回 第25回		ネイル技術応用				ができる(施術者)	四00以告)		ネイル道具ー		
第26回		ネイル技術応用				ができる(被施術者)		ネイル道具ー		
第20回 第27回		ネイル技術応用		フォーム装着の課			,		ネイル道具ー		
第27回 第28回		ネイル技術応用		フォーム装着の課	,				ネイル道具ー		
第29回 第29回		ネイル技術応用		ナチュラルスカル					ネイル道具ー		
第30回		ネイル技術応用				ことができる(第2	9回の改善)		ネイル道具ー		
第31回		ネイル技術応用				ことができる(第3			ネイル道具ー		
第32回		ネイル技術応用				ことができる(第3			ネイル道具ー		
第33回		ネイル技術応用				バーレイの施術者が			ネイル道具ー		
第34回		ネイル技術応用	3 3	ナチュラルスカル	プ、チップオー	バーレイの施術者が	できる(第33回の)改善)	ネイル道具ー		
第35回		ネイル技術応用	3 4	ナチュラルスカル	プ、チップオール	バーレイの施術者が	できる(第34回の)改善)	ネイル道具ー	式	
第36回		ネイル技術応用	3 5	ナチュラルスカル	プ、チップオー	バーレイの施術者が	できる(第35回の	改善)	ネイル道具ー	式	
第37回		ネイル技術応用	3 6	各工程ごとのタイ	ム計測ができる				ネイル道具ー	式	
第38回	<u>- </u>	ネイル技術応用	3 7	各工程ごとのタイ	ム計測ができる	(第37回の改善)			ネイル道具ー	式	
第39回	-	ネイル技術応用	3 8	各工程ごとのタイ	ム計測ができる	(第38回の改善)			ネイル道具ー	式	
第40回		ネイル技術応用	3 9	各工程ごとのタイ	ム計測ができる	(第39回の改善)			ネイル道具ー	式	
第41回		ネイル技術応用・	4 0			プ3本、チップオー			ネイル道具ー		
第42回		ネイル技術応用・	4 1	改善				できる(第41回の	ネイル道具ー	式	
第43回		ネイル技術応用・	4 2	改善				できる(第42回の	不1 ル道具一式		
第44回		ネイル技術応用・	4 3	所定の時間内にナ 改善	アユフルスカル:	ノ3争、ナツフオー	ハーレイ2本が施術	できる(第43回の	ネイル道具ー	式	
第45回		ネイル技術応用・	4 4	各工程ごとの苦手	箇所の改善がで	所の改善ができるネイル道具一式					
第46回		ネイル技術応用・	4 5	各工程ごとの苦手	・箇所の改善がで:	きる(第45回の改	善)		ネイル道具一式		
第47回		ネイル技術応用・	4 6	各工程ごとの苦手	箇所の改善がで	きる(第46回の改	善)	_	ネイル道具一式		
第48回		ネイル技術応用・				きる(第47回の改			ネイル道具ー	式	
45 4 O FeT						カルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる ネイル道具一式 カルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる (第49回の コール フェール フェール フェール フェール フェール フェール フェール フェ					
第49回 第50回					エュニルフェッ				ネイル道具ー		

第52回	ネイル技術応用51	所定の時間内にナチュフルスカルフ5本、チッフオーハーレイ2本が施術できる(第5 I 回の 改善)	ネイル道具一式
第53回	ネイル技術応用52	改善 放着) 所定の時間内にナチュラルスカルフ5本、チップオーバーレイ2本が脆術できる(第52回の 改善)	ネイル道具一式
第54回	ネイル技術応用53	改善) 所定の時間内にナチュラルスカルブ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる(第53回の 改善)	ネイル道具一式
第55回	ネイル技術応用54	所足の時間内にナチュラルスカルブ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる(第54回の 改善)	ネイル道具一式
第56回	ネイル技術応用55	所定の時間内にナチュラルスカルブ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる(第55回の 改善)	ネイル道具一式
第57回	ネイル技術応用56	技術の見直し、苦手箇所の改善ができる(前半)	ネイル道具一式
第58回	ネイル技術応用57	技術の見直し、苦手箇所の改善ができる(後半)	ネイル道具一式
第59回	成績判定試験3	ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの施術できる	ネイル道具一式
第60回	成績判定試験4	ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの施術できる	ネイル道具一式

②確認子スト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	l位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	l位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの	観点に属するもの	のか、優先順位を	とつける。上位1位	立~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等

	上記6	不合格の場合	補修、追試の有無等						
シラバス作成者	711.7 - 1 =	. #== #== #== #== #== #== #== #== #== #=	シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載			
フラハスTFIX.有	フルホームで 	. 百匹单X,	者	ノルイ ム と 山 戦	実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			
更新履歴	_				-				
シラバスリ	更新履歴	更新	理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

科目名 ¹		ネイルⅢ		学科名 ^{2.} (コース名)			学年	7学年				
授業形態 4.		実習	学期	後期	開講年月 ⁵	5. 9月	ストコース 該当資格区分	民間検定				
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数	. 4	時間数	60	該当資格名称	ジュ	ェルネイル検定	初級		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11数して)	ネイル技術のジョ当該内容は現場で		レカラーリング、 O	ジェルアートの	- 手技、手順を教授	きする					
科目の到達目 (教育課程の位)		当該科目の教育 ジェルネイル検欠	課程における位記 定初級合格相当の	置づけは学則上の の知識を身に付け	卒業要件をであ る。	るとともに、将来	そ卒業後に必要な知	口識・技術を習得す	する科目。			
受講条件	13		科ネイリストコ	ースに在籍してい	ること							
教科書名	14	JNAテクニカルシ	ステム ジェル	ネイル								
設備名・機器	景名	ジェルランプ用	コンセント	関連サイト 日本ネイリスト協会ホーム https://www.nail.or.jp/								
関連前科目	18	ネイル基礎				関連後科目	^{3.} ネイル∇、ネイ.	ルVI、ネイルVII、	ネイルVII			
授業計画(招	受業コマ単位	1)学科:15コマリ	以上目単位、実	習・演習∶30コマ	以上/単位					20		
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの挑	受業内容および打	受業コマの到達	目標	使用	教科書・教材		
第1回		オリエンテーシ	ョン	授業の内容、目標	、授業評価につい	、て理解する			JNAテクニカ ネイル/ネイ	ルシステム ジェル ル道具一式		
第2回		ジェルネイル技術	析 1	フローターについ	て理解し、自爪5	5本に施術すること	ができる		JNAテクニカ ネイル/ネイ	ルシステム ジェル ル道具一式		
第3回		ジェルネイル技行	析2	フラットアート1	の手技、手順を理	1解する			JNAテクニカ ネイル/ネイ	ルシステム ジェル ル道具一式		
第4回		ジェルネイル技行	析3	フラットアート1	の施術ができる				JNAテクニカ ネイル/ネイ	ルシステム ジェル ル道旦一式		
第5回		ジェルネイル技行	析4	ジェル初級の試験	内容について理解	字する				ルシステム ジェル		
第6回		ジェルネイル技行	 析5	片手5本カラージ	ェルの手順、ジェ	: ルオフの手順につ	いて理解する			ルシステム ジェル		
第7回		ジェルネイル技行	————— 析6	フラットアート2	の手技、手順を理	 理解する				ルシステム ジェル		
第8回		ジェルネイル技行	析7	フラットアート2	の施術ができる			ルシステム ジェル				
第9回		ジェルネイル技行	析8	ピーコックの手技	、手順を理解する		JNAテクニカ	ルシステム ジェル				
第10回		ジェルネイル技行		ピーコックの施術	ができる			ルシステム ジェル				
第11回		ジェルネイル技行		エンボス、3Dア-				ルシステム ジェル				
第12回		ジェルネイル技行		エンボス、3Dア-	- トの施術ができ			ルシステム ジェル				
第13回		ジェルネイル技行		ジェルの工程につ					ネイル/ネイル道具一式 JNAテクニカルシステム ジェ/ ネイル/ネイル道具一式			
第14回		ジェルネイル技行		片手5本にカラー			JNAテクニカルシステム ジェネイル/ネイルが真具一式					
第15回		ジェルネイル技行				<u></u>)		JNAテクニカ	ルシステム ジェル		
第16回		ジェルネイル技行				「ができる (被施術	-			ルシステム ジェル		
第17回		ジェルネイル技行		ジェル初級課題の			47			ルシステム ジェル		
第18回		ジェルネイル技行		ジェル初級課題の						ルシステム ジェル		
第19回		ジェルネイル技行					(梅华美)		ネイル/ネイ JNAテクニカ	ル道具一式 ルシステム ジェル		
第20回		ジェルネイル技行	-	37.03311		重術することができ				ルシステム ジェル		
第21回		ジェルネイル技行		ジェル初級課題の						ルシステム ジェル		
第22回		ジェルネイル技行		ジェル初級課題の					ネイル/ネイ JNAテクニカ	ル道具一式 ルシステム ジェル		
第23回		ジェルネイル技行				のジェルオフがで	きる (拡衝者)			ルシステム ジェル		
		ジェルネイル技行				· のジェルオフがで ・ のジェルオフがで				ルシステム ジェル		
第24回		ジェルネイル技行					きる (旅術者) 第23	日の改革		ルシステム ジェル		
第25回		ジェルネイル技行					きる (被施術者) 第23			ルシステム ジェル		
							こる(1双爬帆名)朱	25年間の以告		ルシステム ジェル		
第27回		ジェルネイル技行		ジェル初級課題の					ネイル/ネイ			
第28回		ジェルネイル技行		ジェル初級課題の					JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式 JNAテクニカルシステム ジェル			
第29回		ジェルネイル技行			試験:ジェルオフ、ジェルカラーリング、ジェルアート					JNAデクニカルンステム ジェル ネイル/ネイル道具一式 JNAテクニカルシステム ジェル		
第30回		ジェルネイル技行	析29	成績判定試験:ジ	ェルオフ、ジェル	レカラーリング、ジ	ェルアート		JNAテクニカ ネイル/ネイ			

YIC京都ビューティ専門学校

②確認テスト ④授業態度 提	策:実技試験:小テストの得提出物及び授業	ジェルオフ、ジ 导点を合計し、全 養への出席状況を 6で按分し総合点	体の成績に反映す 評価する	ける					
	<u>・ ト表の配分》</u> 方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
 ①成績判定試駁 		- 1,2	1位	2位.	IXI'U ZUKEK	76.72	32,136 22,76	70	秀(S):100点~90点
②確認テスト	``		2位	2位				15	優(A): 89点~80点
③課題レポート	`		2 112	2 112				良(B): 79点~70点	
④授業熊度					2位	1位		可(D): 69点~60点	
⑤作品					2111.	1111/		不可(E):59点以下	
								小司(E)·35点以下	
⑥プレゼンテー	ーション							なし	
	上記の判定方法がどの観点に								
	上記6	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等
シニバフルポメ		の判定方法がどの	観点に属するも シラバス承認	1		位~降順。 授業担当教員	フルネームを記		補修、追試の有無等
シラバス作成者		の判定方法がどの		のか、優先順位を フルネームを記		1		載	補修、追試の有無等
シラバス作成者更新履歴		の判定方法がどの 	シラバス承認	1		授業担当教員		載	
	福本真弓		シラバス承認	1		授業担当教員		載 務経験教員の紹	
更新履歴	福本真弓		シラバス承認 者	1	載	授業担当教員	学校HP内の実	載 務経験教員の紹	3介ページのリンクを記載
更新履歴シラバス	福本真弓		シラバス承認 者	1	載	授業担当教員	学校HP内の実	載 務経験教員の紹	3介ページのリンクを記載
更新履歴 シラバス § 改1	福本真弓		シラバス承認 者	1	載	授業担当教員	学校HP内の実	載 務経験教員の紹	3介ページのリンクを記載
更新履歴 シラバス 改1 改2	福本真弓		シラバス承認 者	1	載	授業担当教員	学校HP内の実	載 務経験教員の紹	3介ページのリンクを記載

科目名 1		ネイルⅣ		学科名 ^{2.} (コース名)	ネイリストコース			学年	7学年	
授業形態 4.		実習	学期	後期	開講年月 5.	9月	該当資格区分	民間検定		<u> </u>
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	¥位数 8.	4	時間数	60	就当資格名称 該当資格名称	ジェルネー	イル初級/ネイリスト打	支能検定2級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11 敬して)	ネイル技術のネー	イルケア、チッフ での施術に役立っ		ーリング、ネイノ	レアート、ジェル	ネイルについて教	対授する		
科目の到達目 (教育課程の位)	置づけ)	ネイリスト技能材	課程における位置 検定2級試験・ジ	置づけは学則上のジェルネイル初級	卒業要件をである 試験合格相当の知	るとともに、将来2 口識を身に付ける。	卒業後に必要な知 。	口識・技術を習	得する科目。	
受講条件	13		科ネイリストコー	-スに在籍してい	ること					
教科書名		テクニカルシス・ JNAテクニカルシ			行					
設備名・機器	16 景名	水道				17. 関連サイト	公益財団法人日 https://www.na			
関連前科目	18	ネイル基礎				19. 関連 後 科目	ネイルV、ネイ	ルVI、ネイルVI	I、ネイルⅧ	
授業計画(哲	受業コマ単位	7) 学科:15コマリ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ.	以上/単位					20
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	á	各時間ごとの授	業内容および授	受業コマの到達目	目標	使用教	科書・教材
第1回		オリエンテーシ	ョン	授業の内容、目標	、評価表方法につ	いて理解する			ネイル道具一豆	.
第2回		検定対策 1		ネイルケアが施術	できる				ネイル道具一式	式
第3回		検定対策2		カラージェル塗布	の手技、手順を理	解する			ネイル道具一式	-
第4回		検定対策3		カラージェル塗布	を片手5本に施術	ができる			ネイル道具一式	 式
第5回		検定対策4		ネイルケア、プッ	シュアップの施術	ができる			ネイル道具一式	 £
第6回		検定対策5		ネイルケア、プッ	シュアップの施術	ができる(第5回の	D改善)		ネイル道具一式	 £
第7回		検定対策6				ができる(第6回の			ネイル道具一式	
第8回		検定対策7				ネイル道具一式				
第9回		検定対策8		ネイルケア、プッシュアップの施術ができる(第7回の改善) 					ネイル道具一式	
第10回		検定対策9			ンド〜ニッパー、	ネイル道具一式				
第11回		検定対策10		ネイルケアの施術ができる (施術者) ネイルケアの施術ができる (被施術者)						
第12回		検定対策 1 1				ネイル道具一式				
第13回		検定対策12		ネイルケア、カラ		ネイル道具一式				
第14回		検定対策13		ネイルケア、カラ	ーリングの施術者	ができる 			ネイル道具一式	
第15回		検定対策14		ジェルネイル初級	のテーブルセッテ	ネイル道具一式	₹			
第16回		検定対策15		ジェルネイル理論	を理解する		ネイル道具一式	弐		
第17回		検定対策16		ネイルケアが所定	の時間内に施術す	ることができる			ネイル道具一式	戋
第18回		検定対策17		カラーリングの施	術ができる(第 1	4回の改善)			ネイル道具一式	弌
第19回		検定対策18		ネイルケアの施術	ができる(第17	回の改善)			ネイル道具一式	式
第20回		検定対策19		第19回のネイル	ケアの課題点の発	見ができる			ネイル道具一式	£
第21回		検定対策20		ネイルケア、カラ	ーリングの模擬試	験実施 (前半)			ネイル道具一式	£
第22回		検定対策21		ネイルケア、カラ	ーリングの模擬試	験実施(後半)			ネイル道具一元	式
第23回		検定対策22		技術確認テスト実	施(ネイルケア、	カラーリング)前半	Ē		ネイル道具一式	式
第24回		検定対策23		技術確認テスト実	施(ネイルケア、	カラーリング)後半	Ē		ネイル道具一式	 式
第25回		検定対策24		ジェルネイル校内	テスト対策(ジェ	ル初級試験課題1)			ネイル道具一式	
第26回		検定対策25		ジェルネイル校内	テスト対策(ジェ	ル初級試験課題2)			ネイル道具一式	
第27回		検定対策26		ジェルネイル校内	テスト対策(ジェ	ル初級試験課題1)	(第25回の改善)	ネイル道具一式	式
第28回		検定対策27		ジェルネイル校内	テスト対策(ジェ	ル初級試験課題2)	(第26回の改善	()	ネイル道具一式	
第29回		成績判定試験 1		ジェルネイル初級	校内テスト実施				ネイル道具一式	
第30回		成績判定試験2		ジェルネイル初級	校内テスト実施				ネイル道具一式	
成績評価方法	去(当該コマ	 の到達目標に対す	る評価基準と評価		試験」における	試験(出題)の適7	E化(正規分布)、	「レポート」	の評価等は別に定る	かる。 ^{21.}
田席率80%以 ①成績判定試験 ②確認テスト ④授業態度 携	(上及ひ 食:実技試験 小テストの役 提出物及び授業	: ネイルケア、カ 导点を合計し、全 美への出席状況を	ラーリング 体の成績に反映で 評価する	ける						
	・下表の配分9 方法\該当す	<u>6で按分し総合点</u> る観点→	6()点以上を合札 知識・理解	8とする 思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準

		i i	ī	1	1	1	i .	1	Ī	
①成績判定試駁	ф		1位	2位				70	秀(S):100点~90点	
②確認テスト			2位	2位				15	優(A): 89点~80点	
③課題レポート	`							なし	良(B): 79点~70点	
④授業態度					2位	1位		15	可(D): 69点~60点	
⑤作品								なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテー	-ション							なし		
	上記0	D判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位	をつける。上位]	位~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等	
			2, 2, W 2 -3, -31			授業担当教員	フルネームを記	載		
シラバス作成者	フルネームを	記載	シラバス承認 者	フルネームを記載		-				
						実務経験紹介	学校HP内の実	D実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴										
シラバス頭	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者(確認者)	
改1										
改2										
改3										
改4										

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」 ューティスペシャリスト科 彩日名 1 学年 2学年 該当資格区分 民間検定 授業形態4 学期 開講年月 教育課程5 JNAフットケア理論検定 JNAジェルネイル技能検定試験中級 選択必修 単位数 4 時間数 該当資格名称 f 科目の概要 全コマ数を俯瞰して) 1臓・技術、ジェルネイルの知識、技術を教授で 1ンワーク、お客様への指板の際に合立つ。 酸授業の教育課程における位置付けは学則上の卒業要件である3 Rフットケア理論検定試験合格相当の知識、技術を身に付ける Rシェルネイル技能検定試験中級相当の知識、技術を身に付ける 日本ネイリスと選手欄に出場する 科目の到達目標 教育課程の位置づけ) 受講条件 ネイルⅠ、ネイルⅡ、ネイルⅢ、ネイルⅣ履修済み 教科書名 JNAテクニカルシステム~フットケア~ ネイル道具一式 設備名・機器名 フットバス 関連サイト 関連前科目 ネイルⅠ、ネイルⅡ、ネイルⅢ、ネイルⅣ 関連後科目 ネイル総合 授業計画(授業コマ単位)学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 - · -各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標 回(コマ) 開講日 授業コマの主題(タイトル) 使用教科書・教材 授業の目標、日的、評価方法について理解する 第1回 4月16日 オリエンテーション マイン ロス NAテクニカルシステム~フッ 第2回 4月16日 檢定対策1 検定試験課題を所定時間内に維術することができる ロッー・・ マ∼ 1 ル道具一式 !テクニカルシステム~フッ 検定対策2 第3回 4月16日 試験課題の課題点、改善点の発見ができる けっー。 ア〜 イル道具一式 ・テクニカルシステム〜フッ 第4回 48168 給定対策3 舞類古の修正、改善ができる リン・・ マン 1 ル道具一式 !テクニカルシステム~フッ 第5回 4 E 2 3 E フットケア理論 1 第6回 4月23日 ネイルケアアドバンス 1 フットケアの手技、手順を理解する ロッール.. マ〜 イル道具一式 Aテクニカルシステム〜フッ 第7回 4月23日 ジェルアート1 ジェルフレンチカラーリングができる (施術者) マ〜 イル道具一式 ユテクニカルシステム〜フッ ジェルフレンチカラーリングができる(被除術者) 第8回 H23H ジェルアート2 リンー・・・・ ア〜 1ル道具一式 Iテクニカルシステム〜フッ フットケア理論2 Eの名称、足のトラブルについて覚える 第9回 5月7日 ファ イル選集一式 ドテクニカルシステム〜フッ ネイルケア(ハンド)の一連の流れが施術できる 第10回 B7H ファー... | 万道典一式 |テクニカルシステム〜フッ 第11回 5月7日 ットのポリッシュカラーリングができる(施術者 はソン・・・・ マン イン道具一式 以テクニカルシステム〜フッ 第12回 F7F ツトのポリッシュカラーリングができる(被施術者) ッ イル道典一式 (テクニカルシステム〜フッ 第13回 5月14日 フットケア理論3 の皮膚や病気とトラブルについて理解する ア〜 イル道具一式 4テクニカルシステム〜フッ ットケアの一連の流れで施術ができる 第14回 5月14日 / | ル道典一式 | テクニカルシステム〜フッ 第15回 5月14日 ジェルアート3 ェルグラデーションカラーリングができる (施術者) |アッー・| |予選具一式 |テクニカルシステム〜フッ ジェルグラデーションカラーリングができる(被除術者 第16回 F14F ジェルアート4 ロッー... マ〜 イル道具一式 4テクニカルシステム〜フッ 第17回 5月21日 フットケア理論4 ツトトリートメント理論について理解する マー イル道具一式 Aテクニカルシステム〜フッ f定の時間内にネイルケア (ハンド) ができる 第18回 月21日 ハンドケア2 ソン・・・ マン 1 万道典一式 1 テクニカルシステム〜フッ 第19回 5月21日 ツトのポリッシュカラーリングができる(施術者) ップ マン | ル道具一式 |テクニカルシステム〜フッ| 第20回 月21日 フットケアカラー2 フットのポリッシュカラーリングができる(被施術者) 脳テクール… とマン オイル道具一式 『UIテクニカルシステム~フッ 第21回 F128F1 フットケア理論5 新生管理と消毒法について理解する A) ッー・・ マ〜 イル道具一式 Aテクニカルシステム〜フッ 定の時間内にフットケアができる 第22回 月28日 ネイルケアアドバンス3 マー 1万道典一式 1テクニカルシステム〜フッ 第23回 5月28日 ジェルアート5 ェルイクステンションができる(施術者) ップ イル選集一式 ドテクニカルシステム〜フッ 第24回 月28日 ジェルアート6 ジェルイクステンションができる(被施術者) 。 | ル道具一式 |テクニカルシステム〜フッ 第25回 6月4日 フットケアカラー3 ットケア及びポリッシュカラーリングができる (施術者) 製テクニカル・ ケア〜 ネイル選兵=式 明Aテクニカルシステム〜フッ ツトケア及びポリッシュカラーリングができる(被施術者) 第26回 6月4日 フットケアカラー4 NAテッ- . トマー . イイル道具一式 ペパークニカルシステム~フッ 第27回 6月4日 角質ケア1 角質ケアの手技、手順を理解する NAアッー.. トマン イアル道具一式 ド4テクニカルシステム~フッ 第28回 6月4日 角質ケア2 角質ケアができる ファ イル選集一式 (テクニカルシステム〜フッ 第29回 6月11日 フットケアカラー5 フットケア及びジェルカラーリングができる (施術者) 。 | ル道具一式 |テクニカルシステム〜フッ ットケア及びジェルカラーリングができる(被施術者) 第30回 6月11日 フットケアカラー6 用品テクニルル・ ケア〜 ネイル選典=エ 用品テクニカルシステム〜フッ 第31回 6月11日 角質ケア3 角質除去ができる (施術者) Aテッー・ マンカース イル道具一式 ペテクニカルシステム~フッ 第32回 月11日 角質ケア4 角質除去ができる(被施術者) 脳テクニ n ∧ . ケマ〜 ネイル連具一式 ペーテクニカルシステム〜フッ 第33回 6月18日 フットケアカラー7 f定の時間内にフットケア及びカラーリングができる (施術者) ッ-マン イル直典一式 ドテクニカルシステム〜フッ 第34回 6月18日 フットケアカラー8 定の時間内にフットケア及びカラーリングができる(被施術者) 。 | ル道具一式 |テクニカルシステム〜フッ 小テスト実施 日標:所定の時間内に角質除去ができる (維術者) 第35回 6月18日 角質ケア5 MAナッー.. ケア〜 ネイル道具一式 ^{PQ1}テクニカルシステム〜フッ 第36回 月18日 角質ケア6 ロッ・・・ イル道具一式 (テクニカルシステム〜フッ 第37回 6月25日 JNAフットケア理論検定試験 1 ットケアの理論について理解する (前半) はテクニカル。 マデル選集一式 叫テクニカルシステム~フッ 第38回 6月25日 JNAフットケア理論検定試験2 フットケアの理論について理解する(後半) ン マー 1 元道典一式 ドテクニカルシステム~フッ 第39回 6月25日 JNAフットケア理論検定試験3 筆記試験準備 ファ ファ | ル道具一式 |テクニカルシステム〜フッ 5月25日 JNAフットケア理論検定試験4 筆紀試験30分 マークシート 第40回 第41回 月2日 ジェルネイル検定中級対策1 **(験課題ジェルフレンチカラーリングの手技、手順を理解する** イル道具一式 験課題ジェルフレンチカラーリングの施術ができる 第42回 月2日 ジェルネイル検定中級対策2 イル道具一式 第43回 7月2日 ジェルネイル検定中級対策3 ジェルオフの手技、予順を理解する イル道具一式 ジェルネイル検定中級対策4 第44回 月2日 ジェルオフの施術ができる イル道具一式 ジェルネイル検定中級対策5 検課題ジェルグラデーションの手技、手順を理解する イル道具一式 第45回 月9日 験課題ジェルグラデーションの施術ができる 第46回 月9日 ジェルネイル検定中級対策6 イル道具一式 第47回 月9日 ジェルネイル検定中級対策7 検課題ジェルイクステンションの手技、手順を理解する イル道具一式 ジェルネイル検定中級対策8 験課題ジェルイクステンションの施術ができる トイル道具一式 第48回 月9日 月14日 (月) 「月14日 (月) 「月14日 (月) 「月14日 (月) 「月14日 (月) 日本ネイリスト選手権出場 ンテスト権機及びセッティングができる 日本ネイリスト選手権出場 ンテスト機関作成: ナチュラルスカルブチュアができる (前半) イル道具一式 第49回 第50回 コンテスト2 トイル道具一式 第51回 1ンテスト3 ンテスト課題作成:ナチュラルスカルプチュアができる(後半) イル道具一式 全日本ネイリスト選手権 作品評価、結果確認ができる イル道具一式 第52回 コンテスト4 7月16日 ジェルネイル検定中級対策9 ジェルネイル中級試験課題1を所定時間内に施術することができる イル道具一式 第53回 7月16日 ジェルネイル検定中級対策10 ジェルネイル中級試験課題2を所定時間内に施術することができる 第54回 ネイル道具一式 第55回 7月16日 ジェルネイル検定中級対策 1 1 試験課題の課題点、改善点の発見ができる トイル道具一式 ジェルネイル検定中級対策12 題点の修正、改善ができる イル道具一式 第56回 月16日 模擬試験 l 目標:ジェルネイル検定中級課題 l 合格相当の施術ができる 7月23日 ジェルネイル検定中級試験1 イル道具一式 第57回 7月23日 ジェルネイル検定中級試験 2 日標・ジェルネイル検定中級課題 2 合格相当の態筋ができる ネイル道具一式 第58回 第59回 ネイル道具一式 第60回 ネイル道具一式 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 が終めますパンニ、この 起車名の名以上及び 或者側で注解: 実好記録 第257 スト・ルライスの過去を合計し、全体の成績に反映する 環準態度: 提出他、持参修及び資本の出版状況を評価する 作者: 所定機能性を成績に反映する 主記評価点数を下表の配分%で按り、総合点60点以上を合格とする 判定方法∖該当する観点→ 知識・理解 思考・判断 関心・意欲 態度 技能・表現 評価配分% 成績評価基準)成績判定試験 優(A): 89点~80点 負(B): 79点~70点 可(D): 69点~60点 2位 20 授業態度 2位 1位 表面 (Ε):59曲以下 2位 に属する ンラバス承認 者 授業担当教員 ラバス作成

58

科目名 ¹		ネイルVI		学科名 ^{2.} (コース名)			ペペシャリスト科 ストコース)		学年	2学年	
授業形態 4.	:	実習	学期	前期	開講年月 5		該当資格区分	民間検定	•		
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.	4	時間数	120	30. 該当資格名称	ネイ!	リスト技能検急	三1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11. 敵して)			-ト、コンテスト 食への施術の際に		する					
科目の到達目 (教育課程の位)		ネイリスト技能検	定1級合格相当の知	けは学則上の卒業要 1識、技術を身に付 地区大会に出場する	ける	こ、将来卒業後に必	要な知識、技術とし	_ノ て位置づける。			
受講条件	13			ネイルⅣ履修済る	み						
教科書名	14	JNAテクニカルシ ネイリスト技能		<i>D</i>		教材名	5. ネイル道具一式				
設備名・機器		該当なし				17 関連サイト	¹⁷⁻ 日本ネイリスト協会 https://www.nail.or.jp/				
関連前科目	18.	ネイルI、ネイル	イルⅠ、ネイルⅡ、ネイルⅢ、ネイルⅣ				ネイル総合				
授業計画(哲	受業コマ単位	:) 学科:15コマリ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位					2	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの搭	受業内容および拡	受業コマの到達目	標	使用教	教科書・教材	
第1回	4月17日	オリエンテーショ	ョン	授業の目標、目的	、評価方法につい	て理解する			ネイル道具-	-式	
第2回	4月17日	アクリルアドバン	ンス l	アクリル用材を使	用し、造形的な人	、工爪をつくること	ができる		ネイル道具-	·式	
第3回	4月17日	アクリルアドバン	ンス2	チップの装着、ミ	クスチュアで人工		きる		ネイル道具-	·式	
第4回	4月17日	ネイルマシン 1		ネイルマシンの使	用方法を理解する)			ネイル道具-	·式	
	4月24日	アクリルアドバン	ンス3			作品を作ることがで	·きる		ネイル道具-		
	4月24日	アクリルアドバン		アクリル用材を使					ネイル道具-		
	4月24日	ネイルマシン2	- / . 1	ネイルマシンを用					ネイル道具ー		
	4月24日	ネイルマシン3		ネイルマシンを用					ネイル道具-		
							? /b- ph-or. *. *?		ネイル道具ー		
	5月8日	アクリルアドバン									
	5月8日	アクリルアドバン	ンス 6 				エンボスが作成する	ることができる 	ネイル道具-		
第11回	5月8日	ネイルマシン4		ネイルマシンを用	いてジェルオフの)手技、手順を理解 [*]	する 		ネイル道具-	·式 	
第12回	5月8日	ネイルマシン5		ネイルマシンを用	いてジェルオフか	できる			ネイル道具-	·式	
第13回	5月15日	アクリルアドバン	ンス7	アクリル用材を用	いて造形的な人口	爪を作成し、チッ	プ装着することがで	きる	ネイル道具-	一式	
第14回	5月15日	アクリルアドバン	ンス8	アクリル用材を用	いて3Dアート+フ	'ラットアート+エ	ンボスが作成できる		ネイル道具-	·式	
第15回	5月15日	ネイルマシン6		ネイルマシンを用	いて角質除去がて	きる(施術者)			ネイル道具-	·式	
第16回	5月15日	ネイルマシン7		ネイルマシンを用	いて角質除去がて	きる(被施術者)			ネイル道具-	-式	
第17回	5月22日	地区大会コンテス	スト対策1	オンライン地区大	会の要項を理解す	-S			ネイル道具-	·式	
第18回	5月22日	地区大会コンテス	スト対策 2	トレーニングハン	ドにチップ到着し	、スクエアオフにイ	仕上げることができ		ネイル道具-	-式	
第19回	5月22日	地区大会コンテス	スト対策3	フリーエッジの長	さをバランスよく	仕上げることがで	きる		ネイル道具-	·式	
第20回	5月22日	地区大会コンテス	スト対策4	課題点の発見、修	正することができ	· る			ネイル道具-	·式	
第21回	5月29日	地区大会コンテス	スト対策5	前回の課題点をも できる	とにトレーニンク	ハンドをを用いて	ナチュラルスカルプ	チュアを施すことが	ネイル道具ー	·式	
第22回	5月29日	地区大会コンテス	スト対策 6		とにトレーニンク	「ハンドをを用いて	ナチュラルスカルブ	チュアを完成させる	ネイル道具ー	·式	
第23回	5月29日	地区大会コンテス	スト対策 7		点、改善点を発見	しすることができる			ネイル道具-	·式	
	5月29日	地区大会コンテス		今回の課題点の修					ネイル道具-	·式	
	6月5日	地区大会コンテン		第21回、第22回の		・レーニングハンド	を用いてナチュラル	スカルプチュアを施			
	6月5日	地区大会コンテン		すことができる 第21回、第22回の 成させることがで		レーニングハンド	を用いてナチュラル	スカルプチュアを完			
	6月5日	地区大会コンテン		就させることがで 第25回、第26回の		発見ができる			ネイル道具-		
	6月5日	地区大会コンテン		第25回、第26回の					ネイル道具-		
	6月12日	地区大会コンテン		コンテスト通し①					ネイル道具-		
	6月12日	地区大会コンテン		コンテスト準備、コンテスト通し①			L = 1, 10 - 5 -		ネイル道具-		
	6月12日	地区大会コンテン		コンテスト通し①		、カルプチュアを施			ネイル道具ー		
				所定の時間内にナ コンテスト通し①		゚チュアを完成させん	ることができる				
	6月12日	地区大会コンテン		写真撮影、画像ア コンテスト通し②		できる			ネイル道具ー		
	6月19日	地区大会コンテン		コンテスト準備、コンテスト通し②	セッティングがて	きる			ネイル道具ー		
	6月19日	地区大会コンテン			ドにナチュラルス	.カルプチュアを施 [*]	すことができる		ネイル道具-		
	6月19日	地区大会コンテス			チュラルスカルフ	゚チュアを完成させん	ることができる		ネイル道具-		
第36回	6月19日	地区大会コンテス	スト対策20	写真撮影、画像ア	ップロード練習か	できる			ネイル道具-	-式	

第37回	6月21日 (土)	コンテスト1	オンライン地区大会出場 コンテスト準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第38回	6月21日 (土)	コンテスト2	オンライン地区大会出場 競技開始、ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第39回	6月21日 (十)	コンテスト3	オンライン地区大会出場 ナチュラルスカルプチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第40回	6月21日 (土)	コンテスト4	オンライン地区大会出場 画像をアップロードする。結果を確認する	ネイル道具一式
第41回	6月26日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策 1	全日本ネイリスト選手権通し① 準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第42回	6月26日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策 2	全日本ネイリスト選手権通し① ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第43回	6月26日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策3	全日本ネイリスト選手権通し① ナチュラルスカルブチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第44回	6月26日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策4	全日本ネイリスト選手権通し①の課題点、改善点の発見を行う	ネイル道具一式
第45回	7月3日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策5	全日本ネイリスト選手権通し② 準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第46回	7月3日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策 6	全日本ネイリスト選手権通し② ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第47回	7月3日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策7	全日本ネイリスト選手権通し② ナチュラルスカルプチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第48回	7月3日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策8	全日本ネイリスト選手権通し②の課題点、改善点の発見を行う	ネイル道具一式
第49回	7月10日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策9	全日本ネイリスト選手権通し③ 準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第50回	7月10日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策 10	全日本ネイリスト選手権通し③ ナチュラルスカルブチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第51回	7月10日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策 1 1	全日本ネイリスト選手権通し③ ナチュラルスカルブチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第52回	7月10日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策 1 2	全日本ネイリスト選手権通し©の課題点、改善点の発見を行う	ネイル道具一式
第53回	7月17日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策13	全日本ネイリスト選手権通し④ 準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第54回	7月17日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策 1 4	全日本ネイリスト選手権通し④ ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第55回	7月17日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策 15	全日本ネイリスト選手権通し④ ナチュラルスカルプチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第56回	7月17日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策16	全日本ネイリスト選手権通し④の課題点、改善点の発見を行う	ネイル道具一式
第57回	7月25日 (金)	成績判定試験 1	成績判定試験 目標:実技試験(ナチュラルスカルプチュア 1)	ネイル道具一式
第58回	7月25日	成績判定試験2	成績判定試験 目標:実技試験(ナチュラルスカルプチュア2)	ネイル道具一式
第59回	7月25日 (金)	成績判定試験3	成績判定試験 目標:実技試験(ナチュラルスカルプチュア3)	ネイル道具一式
第60回	7月25日 (金)	成績判定試験4	成績判定試験 目標:実技試験(ナチュラルスカルプチュア4)	ネイル道具一式

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

出席率80%以上及び 成績判定試験:実技試験 90分 確認テスト:小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する 授業態度:提出物、持参物及が授業への出席状況を評価する 作品:所定課題作品を成績に反映する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位				1位	30	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位				1位	20	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	l位		20	可 (D) : 69点~60点
⑤作品		2位			1位	30	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの)観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1位	立~降順。		不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者		シラバス承認	フルネールを記載	授業担当教員	齋藤多恵子
ンプハス作成名	佃平县与	者	ノルホームを記載	実務経験紹介	該当なし

文 机 液 ル								
シラバス	更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)			
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

21.

科目名		学科名 ジューティスペシャリスト科 (コース名) デューティスペシャリスト科 ネイリストコース 学生					学年	2学年			
授業形態 4.	実	習	学期	前期	開講年月	5. 4月	該当資格区分6.	なし			
教育課程区 ^{7.} 、	選	択	単位数 8	. 2	時間数	9. 60	該当資格名称		該当なし		
科目の概要 全コマ数を俯	11.	サロンワークで打	是供するネイル	技術を教授する							
科目の到達 教育課程の位		お客様に満足して	ていただける施行	置づけは学則上の 析内容を考えて施 的に実施すること	i術することがて		ともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。				
講条件	13.	YIC京都ビューテ	ィ専門学校ビコ	.ーティスペシャ!	リスト科2年生に	在籍していること					
教科書名	14.	JNAテクニカルシ	ステムベーシッ	ク		教材名	ネイル教材一式				
投備名・機	16. 器名	フットチェア				17. 関連サイト	https://www.y	ic-kyoto-beaut	y.ac.jp/blog		
関連前科目	18.	ネイルI・ネイノ	レⅡ・ネイルⅢ	・ネイルIV		関連後科目	ネイル総合				
受業計画(打	受業コマ単位)	学科:15コマ以上	目単位、実習・	演習:30コマ以上	上/単位	•	•				
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)		各時間ごとの	授業内容および招	受業コマの到達目	標		対書・教材	
第1回	4月18日	オリエンテーショ	ョン	授業の目的、目標	票、評価方法につ	いて理解する			オリジナルフ オリジナルPo	owerPoint	
第2回	4月18日	サロンワーク実習	¥ 1	サロンワークにつ	ついて理解する				オリジナルフ オリジナルPo		
第3回	4月25日	サロンワーク実習	图 2	サロンワークで0	のコミュニケーシ	ョンについて理解す	る		オリジナルフ オリジナルPo		
第4回	4月25日	サロンワーク実習	望3	サロンワークで0	Dネイルケアにつ	いて理解する			オリジナルフ オリジナルPo		
第5回	5月9日	サロンワーク実習	월 4	ネイルケア+リィ	ペア1本ができる	(施術者)			オリジナルフ オリジナルPo		
第6回	5月9日	サロンワーク実習	望 5	ネイルケア+リイ	ペア1本ができる	(被施術者)		オリジナルプリント オリジナルPowerPoin			
第7回	5月16日	サロンワーク実習	멸 6	サロンワークで払	是供するネイル技	術のチェックができ	ナロジナルプロント				
第8回	5月16日	サロンワーク実	图 7	サロンワークで払	是供するネイル技	術のチェックができ	できる (被施術者) オリジナルプリント オリジナルPowerPoi				
第9回	5月23日	サロンワーク実習	¥8	サロンメニュー実践 1 ができる (施術者) オリジナルブリ オリジナルPowe						プリント	
第10回	5月23日	サロンワーク実習	골 9							プリント	
第11回	5月30日	サロンワーク実習	雪 1 0	サロンメニュー写	実践2ができる(施術者)			オリジナルフオリジナルPo	プリント	
第12回	5月30日	サロンワーク実習	≅ 1 1	サロンメニュー写	実践2ができる(被施術者)			オリジナルフ オリジナルPo	プリント	
第13回	6月6日	サロンワーク実習	图 1 2	サロンワークで払	是供するチップ作	成1ができる			オリジナルフ オリジナルPo	プリント	
第14回	6月6日	サロンワーク実習	图 1 3	サロンワークで払	是供するチップ作	成2ができる			オリジナルフ オリジナルPo	プリント	
第15回	6月13日	サロンワーク実習	图 1 4	プレオープン準備	備、サロンレイア	ウト確認することが	できる		オリジナルフ オリジナルPo	プリント	
第16回	6月13日	サロンワーク実	图 1 5	サンプルチップ	1 作成ができる				オリジナルフ	プリント	
第17回	6月20日	サロンワーク実		サロンメニューの	D技術チェックが	できる (施術者)			オリジナルPo	プリント	
第18回	6月20日	サロンワーク実				できる(被施術者)			オリジナルPo	プリント	
第19回	6月27日	サロンワーク実		サロンメニュー統		CC W (IXABINI II)			オリジナルPo	プリント	
第20回	6月27日	サロンワーク実				イアウト確認するこ	レができる		オリジナルPo	プリント	
第21回	7月4日	サロンワーク実質		サロンメニュー総		イナクト権略するこ			オリジナルPo	プリント	
		サロンワーク実				イアウト確認するこ	レができる		オリジナルPo	プリント	
第22回	7月4日	サロンワーク実質		サロンメニュー系		i / / l'HEpúyるし			オリジナルPc オリジナルフ	プリント	
第23回	7月11日					イアウト確認するこ	レができて		オリジナルPc オリジナルフ	プリント	
第24回	7月11日	サロンワーク実				コノント催認りるこ	これできる		オリジナルP(owerPoint	
第25回	7月18日	サロンワーク実		サロンメニュー約		Jung Jak 1 Trinder 1 on 1	1. 10-2 -		オリジナルPo	owerPoint	
第26回	7月18日	サロンワーク実		サロンオープン4準備、サロンレイアウト確認する			オリジナルPowerPoin			owerPoint	
第27回	7月24日(木)	サロンワーク技術				一の施術ができる	オリジナルPowerPoint			owerPoint	
第28回	7月24日(木)	サロンワーク技術				一の施術ができる	できる オリジナルPowerPoin オリジナルアリント			owerPoint	
第29回	7月31日 (木)	サロンワーク技術	析28	合同授業3モデノ	レの所定のメニュ	定のメニューの他何かできる オリジナルPowerPoir			owerPoint		
第30回	7月31日 (木)	サロンワーク技術		合同授業4モデノ	レの所定のメニュ <u></u> -	ーの施術ができる			オリジナルフ オリジナルPo		

出席率80%以上及び ①確認テスト 技術チェック及び小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ②授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する ③作品 所定の課題をふまえたサンブルチップ作成を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①確認テスト	2位			2位	1位	40	秀(S):100点~90点
③授業態度			1位	2位		30	優(A): 89点~80点
④作品		2位			1位	30	良(B): 79点~70点
							可(D): 69点~60点
						なし	不可(E):59点以下
						なし	
上記の判定方法がどの観	点に属するもの	か、優先順位をつ	oける。上位1位 [,]	~降順。		不合格の場合	再試験1回

	工品が刊た方伝がこの戦点に勝りるものが、後元限立とフりる。工位1位「陸限。										
シラバス作成 者	万 木直己		シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	新宮恵理菜					
者			者	ノルイ・ムと記載	実務経験紹介	該当なし					
更新履歴											
シラバン	ス更新履歴	更新	理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)				
改1											
改2											
改3											
改4					•						
改5											

科目名		ネイルⅧ		学科名 ^{2.} (コース名)		*19XF3 X			2学年		
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月	5. 4月	該当資格区分	該当なし			
教育課程区 ^{7.}	選	択必修	単位数 8.	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11 敬して)	トレンドのネイ	ルデザインを教持		ロンワークに役	立てる					
科目の到達目 (教育課程の位		就職後のサロン 見栄えする写真:			、ネイルデザイ	ンを考える力を身	たつけ, センスを	磨く。			
受講条件	13		・ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	スト科ネイルコ	1ース2年に在籍し	ていること				
教科書名	14	JNAテクニカルシ	′ステムベーシッ	ク第4版2025年3月	発行	教材名 ¹⁵ オリジナルプリント/ネイル道具一式					
設備名・機器	16 景名	水道/Z00M用端末	ŧ			関連サイト This://www.nail-kentei.or.jp/about/					
関連前科目	18	該当なし				関連後科目 ^{19.} ネイル総合/サロン運営Ⅱ					
授業計画(授	受業コマ単位	Z) 学科:15コマ	以上目単位、実習	習・演習∶30コマ	以上/単位					2	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	=	各時間ごとの打	受業内容および打	受業コマの到達	目標		教科書・教材	
第1回	4月15日	ジェルアート1		サロンワークで定	番のモチーフア-	-トの方法を理解す	<u></u> る		ネイリスト技能 題集	ステム ベーシック 指検定試験筆記試験公式	
第2回	4月15日	ジェルアート2		サロンワークで定	番のモチーフアー	-トを練習し、サン	プルチップとして作	成する	ネイリスト技能	くテム ベーシック 指検定試験筆記試験公式	
第3回	4月22日	オリエンテーシ	ョンl	授業の内容、目標	、成績評価につい	って理解する			デラニカルシン ネイリスト技能	マテム ペーシック を検定試験筆記試験公式	
第4回	4月22日	オリエンテーシ	ョン2	ZOOM授業でのルー トレンドアートの		・を理解する			ネイリスト技能	ステム ベーシック E検定試験筆記試験公式	
第5回	5月13日	サロンアート概認	論 1			ア層、トレンドを理	解する		競集 デクニカルシン ネイリスト技能	くテム ベーシック 指検定試験筆記試験公式	
第6回	5月13日	トレンドアート	1	インクアートの方 インクアートのサ		一成する			ネイリスト技能	マテム ベーシック も検定試験筆記試験公式	
第7回	5月20日	トレンドアート	2	インクアートの方	法を復習する	テルスッセ ジしてサンプルチッ	プな <i>ル</i> : ホナス		ネイリスト技能	マテム ペーシック 指検定試験筆記試験公式	
第8回	5月20日	サロンアート概認	<u></u> 論 2	サンプルチップの	撮影の方法を理角		J ETFIX 9 TO		デクニカルシン	ステム ベーシック を検定試験筆記試験公式	
第9回	5月27日	トレンドアート	3	SNSで魅力的な見せ	法を理解する	D. 1. m			類集	くテム ベーシック を検定試験筆記試験公式	
第10回	5月27日	トレンドアート・		ミラーアートのサ		F成する ^ジ してサンプルチッ	プを作成する		類集	ステム ベーシック も検定試験筆記試験公式	
第11回	6月3日	トレンドアート		ミラーアートのサ			> CIFA() 0		デグーカルン	マテム ペーシック を検定試験筆記試験公式	
第12回		サロンアート概認				xホンダヘン コウンセリングの方	法を理解する		競集 アクニカルシン		
	6月3日			サロンワークにお マグネットアート		避するカウンセリ 	ングを理解する		顕集	を快た試験事品試験公式 ペテム ペーシック を検定試験筆記試験公式	
第13回	6月10日	トレンドアート		マグネットアートマグネットアート					新生 変生 アクニカルシ	を できる できる できる できる できる マーシック を できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	
第14回	6月10日	トレンドアート	-	マグネットアート	のデザインをアレ	ンジしてサンプル	チップを作成する				
第15回	6月17日	トレンドアート	8	マグネットアート					ネイリスト技能 顕生	ペテム ペーシック 指検定試験筆記試験公式	
第16回	6月17日	サロンアート概認	論 4	ニュアンスアート	を施術する際の抗	是案力を理解する			類集	を を を を を を を を を を を を を を	
第17回	6月24日	トレンドアート	9	ニュアンスアート	のデザインを用い	て定額デザインを	試作する		類集	を検定試験筆記試験公式 ペテム ペーシック	
第18回	6月24日	トレンドアート]	.0	ニュアンスアート	のデザインを用い	、て定額デザインの	サンプルチップを作	成する	ネイリスト技能 顕生	E検定試験筆記試験公式	
第19回	7月1日	トレンドアート	1	ニュアンスアート		プを撮影する			ネイリスト技能 顕集	ステム ベージック 指検定試験筆記試験公式	
第20回	7月1日	サロンアート概認	論 5	ネイルデザイン着 ファッションとネ		係させて理解する			乳イリスト技f	マテム ヘーシック を検定試験筆記試験公式	
第21回	7月8日	サロンアート概認	論 6	ネイルデザインを	着想するためのも	ンスを磨く方法を	理解する		テクニカルシン ネイリスト技能 顕集	くテム ベーシック 指検定試験筆記試験公式	
第22回	7月8日	サロンアート概認	論7	ニュアンスアート	のバランスを理角	掌する			デクニカルシン ネイリスト技能 顕集	くテム ベーシック 指検定試験筆記試験公式	
第23回	7月15日	サロンアート概認	論8	ネイルデザインを	ファッション雑誌	きをつかって着想す	る方法を理解する		アクニカルシ	ステム ベーシック E検定試験筆記試験公式	
第24回	7月15日	トレンドアート	.2	ファッション雑誌	から着想したデナ	· ・インのサンプルチ	ップを作成する			ヘアム ヘーンツク も検定試験筆記試験公式	
第25回	7月22日	トレンドアート	.3	テキスタイルアー			作成する			くテム ベーシック 指検定試験筆記試験公式	
第26回	7月22日	トレンドアート	4	テキスタイルアー	トのドット柄とフ	ク州のリンフルテックと下ルリる 類集 アクニカルシステム ペー オクニカルシステム ペーネイリスト技能検定試験筆			マス ベーシック 比検定試験筆記試験公式		
第27回	7月29日	成績判定試験 1				下州とノーマル州のサンフルケックをTFIXより					
第28回	7月29日	成績判定試験2		サロンワーク実習	用の定額デザイン	類デザインのサンプルチップを試作する 1					
第29回	8月5日	成績判定試験3				E額デザインのサンプルチップを課題作成する					
第30回	8月5日	成績判定試験4					を課題作成し提出す				
治りの国	아기키니	P XWAIDALI BUNK		,一, , , 大日	,,,, /CB() / 1 -	/-///////////////////////////////////	CHAMOITIM CIMELLI 9	•			

出席率80%以上及び ①成績判定試験: 定額デザインのサンプルチップを指定のアート台に作成しサロンワーク実習に相応しいかを基準に判定する ②確認テスト : 撮影したサンプルチップの写真から正確性・理解度を確認する ④授業態度 : 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位				l位	40	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位				l位	20	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	l位		40	可 (D) : 69点~60点

⑤作品								なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテー	-ション							なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつけ						位~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成 者 平塚美千子			シラバス承認	フルネームを記載		授業担当教員	矢田美香			
者	者		者			実務経験紹介	該当なし			
更新履歴										
シラバス	更新履歴	更新	理由	里由 更新箇所			作成者		Check者(確認者)	
改1										
改2										
改3										
改4										
改5										

科目名 1	(コース名) イイリストコース				学年	2学年					
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	民間検定	<u>.</u>	<u> </u>	
教育課程区 ^{7.}	選	択必修	単位数 8.	2	時間数	180	10	JNAジェルネイル核	食定上級		
が 科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11. 放して)			口識、技術を教授で 像への施術の際に行		I					
科目の到達目 教育課程の位置				けは学則上の卒業要 り知識を身に付ける	長件であるととも に	こ、将来卒業後に必	が要な知識、技術と1	_ン て位置づける。			
受講条件	13	YIC京都ビューテ	ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	スト科ネイルコ						
教科書名	14	JNAテクニカルシ	ステムベーシッ	ク第4版2025年3月	発行	教材名 	オリジナルプリ	ント/ネイル道具一	式		
設備名・機器	16 器名	水道/Z00M用端末	:			17 関連サイト	公益財団法人日	本ネイリスト検定詞 il-kentei.or.jp/a			
関連前科目	18	ネイルⅤ、ネイル	νVI、ネイルVII、	ネイルVII		関連後科目	サロン運営Ⅱ				
授業計画(授	受業コマ単位	() 学科:15コマリ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位						
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および	受業コマの到達目	目標	使用都	枚科書・教材	
第1回	水	オリエンテーシ	ョン	授業の内容、目標	、成績評価につい	て理解する			ネイル道具-	- 武	
第2回	水	検定対策 1		ジェルスカルプの	施術ができる				ネイル道具-	-式	
第3回	水	検定対策2		ジェルスカルプの	施術ができる(第	2回の改善)			ネイル道具-	-式	
第4回	水	検定対策3	定対策3 ジェルスカルブの施術ができる(第3回の改善)						ネイル道具-	·式	
第5回	木	コンテスト対策	1	校内ネイルアート	コンテストの概要	を理解する			ネイル道具-	·式	
第6回	木	コンテスト対策	2	ネイルアートデザ	インの考案ができ				ネイル道具-	-式	
第7回	木	コンテスト対策	3	ネイルアートデザ	インの試作ができ	る(前半)			ネイル道具-	-式	
第8回	木	コンテスト対策・	4	ネイルアートデザ	インの試作ができ	る(後半)			ネイル道具一式		
第9回	水	食定対策4 ジェルチップオーバーレイの施術ができる						ネイル道具一式			
第10回	水	検定対策5 ジェルチップオーバーレイの施術ができる(第9回の改善)						ネイル道具-	·式		
第11回	水	検定対策 6 ジェルチップオーバーレイの施術ができる(第10回の改善)						ネイル道具-	·式		
第12回	水	検定対策 7 ジェルチップオーバーレイの施術ができる(第11回の改善)						ネイル道具-			
第13回	- 木	コンテスト対策							ネイル道具-		
第14回	木	コンテスト対策							ネイル道具-		
第15回	- 木	コンテスト対策		ネイルアートデザインの試作ができる(第13回の改善) ネイルアートデザインの試作ができる(第14回の改善)					ネイル道具一式		
					デザインの試作ができる (第14回の改善) - デザインの試作ができる (第15回の改善)						
第16回	木	コンテスト対策	5						ネイル道具ー		
第17回	水	検定対策8		チップオーバーレ					ネイル道具ー		
第18回	水	検定対策9					(第17回の改善)		ネイル道具-		
第19回	水	検定対策10					(第18回の改善)		ネイル道具-		
第20回	水	検定対策 1 1		チップオーバーレ	イ フレンチルッ	クの施術ができる	(第19回の改善)		ネイル道具-	-式	
第21回	木	コンテスト対策		コンテスト作品の					ネイル道具-		
第22回	木	コンテスト対策	1 0	コンテスト作品の	作成ができる(第	21回の改善)			ネイル道具-	式	
第23回	木	コンテスト対策	1 1	コンテスト作品の	作成ができる(第	22回の改善)			ネイル道具-	-式	
第24回	木	コンテスト対策	1 2	コンテスト作品の	作成ができる(第	23回の改善)			ネイル道具-	-式	
第25回	水	検定対策12		ネイリスト技能検	定1級の試験課題	が通しで出来る			ネイル道具-	式	
第26回	水	検定対策13		ネイリスト技能検	定1級の試験課題	が通しで出来る(第25回の改善)		ネイル道具-	-式	
第27回	水	検定対策14		ネイリスト技能検	定1級の試験課題	が通しで出来る(第26回の改善)		ネイル道具-	-式	
第28回	水	検定対策15		ネイリスト技能検	定1級の試験課題	が通しで出来る(第27回の改善)		ネイル道具-	-式	
第29回	木	コンテスト対策	1 3	コンセント作品の	作成ができる(第	24回の改善)			ネイル道具-	-式	
第30回	木	コンテスト対策	1 4	コンセント作品の作成ができる(第25回の改善)					ネイル道具-	-式	
第31回	木	コンテスト対策	1 5	コンセント作品の作成ができる (第26回の改善)				ネイル道具-	·式		
第32回	木	コンテスト対策	1 6	コンセント作品の作成ができる(第27回の改善)				ネイル道具-	·式		
第33回	水	検定対策16	ジェル上級試験課題が通しできるネイ				ネイル道具-	-式			
第34回	水	検定対策17	対策 17 ジェル上級試験課題が通しできる(第33回の改善) ネイル				ネイル道具-	-式			
第35回	水	検定対策18		ジェル上級試験課題が通しできる(第34回の改善)					ネイル道具-		
第36回	水	検定対策19		ジェル上級試験課題が通しできる(第35回の改善)					ネイル道具-		
	-4-		フェル上被試験課題が通しできる(第 3 コンセント作品の作成ができる(第3								

I				T
第38回	木	コンテスト対策 18	コンセント作品の作成ができる(第33回の改善)	ネイル道具一式
第39回 -	木	コンテスト対策 19	コンセント作品の作成ができる(第34回の改善)	ネイル道具一式
第40回	木	コンテスト対策20	コンセント作品の作成ができる(第35回の改善)	ネイル道具一式
第41回	水	検定対策20	ジェル上級試験課題が通しできる(第36回の改善)	ネイル道具一式
第42回	水	検定対策21	ジェル上級試験課題が通しできる(第37回の改善)	ネイル道具一式
第43回	水	検定対策22	ジェル上級試験課題が通しできる(第38回の改善)	ネイル道具一式
第44回	水	検定対策23	ジェル上級試験課題が通しできる(第39回の改善)	ネイル道具一式
第45回	木	コンテスト対策21	コンセント作品の作成ができる(第40回の改善)	ネイル道具一式
第46回	木	コンテスト対策22	コンセント作品の作成ができる(第41回の改善)	ネイル道具一式
第47回	木	コンテスト対策23	コンセント作品の作成ができる(第42回の改善)	ネイル道具一式
第48回	木	コンテスト対策24	コンセント作品の作成ができる (第43回の改善)	ネイル道具一式
第49回	水	検定対策24	ジェル上級試験課題の通しができる(第44回の改善)	ネイル道具一式
第50回	水	検定対策25	ジェル上級試験課題の通しができる(第45回の改善)	ネイル道具一式
第51回	水	検定対策26	ジェル上級試験課題の通しができる(第46回の改善)	ネイル道具一式
第52回	水	検定対策27	ジェル上級試験課題の通しができる(第47回の改善)	ネイル道具一式
第53回	木	コンテスト対策25	コンセント作品の作成ができる(第48回の改善)	ネイル道具一式
第54回	木	コンテスト対策26	コンセント作品の作成ができる(第49回の改善)	ネイル道具一式
第55回	木	コンテスト対策27	コンセント作品の作成ができる(第50回の改善)	ネイル道具一式
第56回	木	コンテスト対策28	作品を所定の場所に展示することができる	ネイル道具一式
第57回	水	検定対策28	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる	ネイル道具一式
第58回	水	検定対策29	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第57回の改善)	ネイル道具一式
第59回	水	検定対策30	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第58回の改善)	ネイル道具一式
第60回	水	検定対策31	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第59回の改善)	ネイル道具一式
第61回	木	検定対策32	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第60回の改善)	ネイル道具一式
第62回	木	検定対策33	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第61回の改善)	ネイル道具一式
<u> </u>		検定対策34		
第63回	木		アクリルオフ、ナチュラルスカルブの施術ができる(第62回の改善)	ネイル道具一式
第64回	木	検定対策35	アクリルオフ、ナチュラルスカルブの施術ができる(第63回の改善)	ネイル道具一式
第65回	水	検定対策36	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第64回の改善)	ネイル道具一式
第66回	水	検定対策37	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第65回の改善)	ネイル道具一式
第67回	水	検定対策38	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第66回の改善)	ネイル道具一式
第68回	水	検定対策39	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第67回の改善)	ネイル道具一式
第69回	木	検定対策40	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第68回の改善)	ネイル道具一式
第70回 -	木	検定対策41	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第69回の改善)	ネイル道具一式
第71回	木	検定対策42	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第70回の改善)	ネイル道具一式
第72回	木	検定対策43	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第71回の改善)	ネイル道具一式
第73回	水	検定対策44	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第72回の改善)	ネイル道具一式
第74回	水	検定対策45	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第73回の改善)	ネイル道具一式
第75回	水	検定対策46	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第74回の改善)	ネイル道具一式
第76回	水	検定対策47	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第75回の改善)	ネイル道具一式
第77回	木	検定対策48	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第76回の改善)	ネイル道具一式
第78回	木	検定対策49	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる(第77回の改善)	ネイル道具一式
第79回	木	成績判定試験対策 1	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(施術者前半)	ネイル道具一式
第80回	木	成績判定試験対策2	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(施術者後半)	ネイル道具一式
第81回	水	成績判定試験対策3	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(被施術者前半)	ネイル道具一式
第82回	水	成績判定試験対策4	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(被施術者後半)	ネイル道具一式
第83回	水	成績判定試験対策5	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(施術者前半)	ネイル道具一式
第84回	水	成績判定試験対策 6	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(施術者後半)	ネイル道具一式
第85回	木	成績判定試験対策7	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(被施術者前半)	ネイル道具一式
第86回	木	成績判定試験対策8	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(被施術者後半)	ネイル道具一式
第87回	木	成績判定試験 1	実技試験:アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本 (施術者前半)	ネイル道具一式
第88回	木	成績判定試験 2	実技試験:アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本 (施術者後半)	ネイル道具一式
第89回	水	成績判定試験3	実技試験:アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本 (被施術者前半)	ネイル道具一式
	-	1	1	

第90回 成績判定試験4 実技試験:アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本(被施術者後半) ネイル道具一式 21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 出席率80%以上及び 成績判定試験:実技試験ネイルアート、アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 確認テスト:小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する 授業態度:提出物、持参物及び授業への出席状況を評価する 作品:所定理照作品を成績に反映する ↓判定方法\該当する観点→ 成績評価基準 知識・理解 思考・判断 関心・意欲 態度 技能・表現 評価配分% ①成績判定試験 1位 2位 70 秀(S):100点~90点 ②確認テスト 2位 2位 15 優(A): 89点~80点 ③課題レポート なし 良(B): 79点~70点 ④授業態度 2位 1位 15 可(D): 69点~60点 ⑤作品 なし 不可(E):59点以下 ⑥プレゼンテーション なし 上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 補修、追試の有無等 授業担当教員 フルネームを記載 シラバス承認 フルネームを記載 シラバス作成者 フルネームを記載 者 実務経験紹介 学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載 更新履歴 シラバス更新履歴 更新理由 更新箇所 Check者(確認者) 作成者 改1 改2 改3 7.574 改5

科目名		エステ(ボディ)	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティン	スペシャリスト科 学年 『学年			
授業形態 4.		実習	学期	後期	開講年月 5	10月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区 ^{7.} 分	選:	択必修	単位数 8.		時間数	240	該当資格名称	INF.	A国際ライセンス	.(ボディ)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	散して)	姿勢、手技、リズ で、総合的な実践	ム、圧のコントロ 力を養う。 沿った模擬実技試	ールをはじめ、ク 験やタイムマネジ	ライアントに合わ メントのトレーニ)せたコンサルテー -ングを重ね、合格	■ エステティック技術 ション技術、トリ− に必要なスピード原	ートメントプラン	ニング、施術後の	目的とする。正しい)フィードバックま
科目の到達日 (教育課程の位	目標 置づけ) 	クライアントの状 サロンワークに必 実技試験における	態に合わせた適切 要なホスピタリテ	なトリートメント ィマインドを理解 トとセルフチェッ	計画を立て、実施 し、施術に活かせ	! できる				
受講条件	13		の構造と機能 履	修程度の技術と知	識					
教科書名	14	INFA (technique	e) テキスト			教材名	オリジナルプリ	ント オリジナ	ル動画教材	
設備名・機器	景名	TVモニター				関連サイト				
関連前科目	18	エステ基礎 人	基礎 人体の構造と機能 関連後科目 19 エステ(フェイシャル)							
授業計画(推	受業コマ単位	() 学科:15コマ.	科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							20.
回(コマ)	開講日		題(タイトル)		_ ,,,	受業内容および打	受業コマの到達日	目標	使用	教科書・教材
第1回~第8回	10月2日10月 3日	導入 確認テスト		実習室使用方法、 コース内のルール 下肢背面確認テス	⁄を決定。				INFAテキス オリジナル:	ト(Technique) プリント 動画教材
第9回~第16回	10月9日10月 10日	ヒップアップ	ナージの習得 の手技を習得 メイキングの手技	ヒップ軽擦、ヒッ 3点プッシュ、ヒッ					INFAテキス オリジナル	ト(Technique) プリント 動画教材
第17回~第24 回	10月16日10 月17日	背中のマッキ 背中の痛みを	ナージの習得 和らげる手技 促進の手技	背中軽擦、8点プ	ッシュ、のこぎり	、6点圧				ト(Technique) プリント 動画教材
第25回~32回	10月23日10 月24日	背面のマッサー注 上げる①(下肢す 中	ジのクオリティを 背面、ヒップ、背)	下肢背面、ヒップ 連続性、リズム、	プ、背中のマッサー 効果を意識しマッ	-ジの復習 yサージを行う			INFAテキス オリジナル:	ト (Technique) プリント 動画教材
第33回~第36 回	10月30日	上げる②(下肢†		苦手箇所、修正箇 背面マッサージを	:完璧に施術できる					ト(Technique) プリント 動画教材
第37回~第44 回	11月6日11月 7日	むくみ 立体的なふく	ジを習得する の解消 らはぎをつくる	下肢前面軽擦、脚ペトリサージュ、 さすりあげ、9点:	切打、拍打	<i>"</i>				ト(Technique) プリント 動画教材
第45回~第52 回	10月13日10 月14日	理想的なウェス ん 細いウェン	ト作りの手技を習 导 ストを作る	腹部軽擦、ふなこ 三角形のマッサー	.ぎ、ベトリサーシ -ジ、大腸マッサー	ブュ −ジ				ト(Technique) プリント 動画教材
第53回~第60 回	10月20日10 月21日	前面のマッサー: 上げる①(下月	ジのクォリティを 技前面、腹部)	下肢前面、腹部の 連続性、リズム、					INFAテキス オリジナル:	ト(Technique) プリント 動画教材
第61回~第68 回	10月27日10 月28日	上げる②(下月		苦手箇所、修正箇 前面マッサージを	完璧に施術できる					ト(Technique) プリント 動画教材
第69回~第76 回	12月4日12月 5日	サージ 細い指先	宛を細くするマッ の習得 をつくる	上腕の軽擦、8点: 脇のリンパを流す フットケア、ネイ		ら、ストレッチ、			INFAテキス オリジナル:	ト(Technique) プリント 動画教材
第77回~第84 回	12月11日12 月12日	肩こり 顔のむく		頚部マッサージ ペディキュア					INFAテキス オリジナル:	ト(Technique) プリント 動画教材
第85回~第92 回	12月18日12 月19日	を習行	ジ成のマッサージ 导する 匈の谷間の皺とり	バスト軽擦、3点の エバンターユ、輪	のつぼ、リサージ 計上軽擦、バイブレ	ュ、エフルラージ ィーション	1			ト(Technique) プリント 動画教材
第93回~第100 回	1月15日1月 16日	美しいバストを	メイキングする	バストマッサージ バストパック、O						ト(Technique) プリント 動画教材
第101回~第 108回	1月22日1月 23日	バスト	パック	パックの選別、バ	パックの調合、バス	ストパック塗布 OI	OT パックオフ		INFAテキス オリジナル:	ト(Technique) プリント 動画教材
第109回~第 116回	1月29日1月 30日	INFA試験項	頁目の復習 ①			、お客様に的確な 式験項目の施術がて	アドバイスをした. きるようになる	上で、施術時間を		ト(Technique) プリント 動画教材
第117回~第 120回	2月6日	INFA試験項	頁目の復習 ②	カウンセリング、 理し、効果、目的	カルテ作成を行い]を意識しながら記	、、お客様に的確な 式験項目の施術がて	マドバイスをした. きるようになる	上で、施術時間を	管 INFAテキス オリジナル	ト(Technique) プリント 動画教材
成績評価方法	去(当該コマロ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	已試験」における	5試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の)評価等は別に気	主める。 ^{21.}
①実技期末試験	(配点90点)	身だしなみ、事	前準備、衛生面、	モデルへの気遣	い、マッサージ	の各工程が正しく	できているかを討	平価、(詳細は別	川紙参照)	
②授業態度(酢	E点10%)1コ	マ欠席:-1点	授業中の私語、周	⊰眠り:−3点						
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績訓	评価基準
①実技期末試験	<u> </u>		2位	3位			l位	90	秀(S):100点	
②授業態度					2位	1位		10	優(A): 89点	
									良(B): 79点 可(D): 69点	
									不可(E):59点	
	上記6	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	をつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	再記	は験1回
シラバス作成者	田澤 初美		シラバス承認 者	フルネームを記	載	授業担当教員	田澤 初美			
			白			実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			クを記載
更新履歴 シラバス!	更新履歴	更新理由		更新箇所			作成者 Check者(確認者)			音(確認者)
改1										
改2										
改3	 									
改5										

-											
科目名 1	I	ステ(フェイシ	ャル)	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティク	スペシャリスト科		学年	2学年	
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	民間検定			
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.		時間数	240	10. 該当資格名称	INFA	国際ライセンス(こ	7ェイシャル)	
科目の概要(全コマ数を俯		フェイシャルマ INFAの基準に基 意味と効果を理 完成度の向上を	ッサージ・デコノ づいた「姿勢・st 解し、安全で美し 目指します。	レテマッサージの 手順・スピード・ _レ さを引き出す施)正確な手順と技 タッチ」の正確 i術力を養います	。すでにボディ記	ます。 女膚構造や筋肉の	走行を意識した	理論に裏付けら	ンジングオフ・ られたマッサージの ・ル分野での実践的	
科目の到達目 (教育課程の位		皮膚の構造、筋 クレンジングオ デコルテ・フェ	肉の走行、リン/ フ(コットン・2 イシャルマッサー	スポンジ)の手順 −ジの手順を通し	マッサージを正 ・手技を、安全 て、リズム・圧	反映できる。 確に行うことがで かつ衛生的に実施 ・・方向性を意識し って行うことがで	もできる。 √たタッチを身に	つける。			
受講条件		エステ(ボディ)履修程度の技術	析と知識							
教科書名	14	INFAテキスト (Technique)			数材名 15	オリジナルプリ	ント オリジナ	ル動画教材		
設備名・機器	16 器名	TVモニター		関連サイト							
関連前科目	18	エステ(ボディ)			関連後科目	サロン運営				
授業計画(推	受業コマ単位	7)学科:15コマ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位					20.	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	-	各時間ごとの授	受業内容および抗	受業コマの到達日	目標	使用	教科書・教材	
第1回~第12回	4月16日17日 18日	INFA特別授業		INFA国際試験 実	技試験 受験				INFAテキス	ト (Technique)	
第13回~第20 回	4月23日24日	INFA国際ライセン フルボディチェッ	ク	マッサージの目的	理解 各部位の朝	経擦 ハードテクニ	ック		INFAテキス	ト (Technique)	
第21回~第32 回	4月30日5月1 日5月2日	INFA国際ライセン フルボディチェッ		エステティシャン	の心構えと職業額	見 カルテ発表 口	頭試問対策		INFAテキス INFA特別授	ト(Technique) 業	
第33回~第40 回	5月7日8日	INFA国際ライセン フルボディチェッ		試験項目最終確認	!				INFAテキス	ト (Technique)	
第41回~第44 回	5月14日	INFA国際試験	ボディ 受験	INFA国際ライセン	⁄ス ボディ 受駒	į.					
第45回~第48 回	5月21日	フェイシャルケア	の流れを理解する	INFA国際試験(フ デコルテマッサー		試験項目、流れの説	明 デコルテ周りの	の筋肉の確認	INFAテキス オリジナル	ト(Technique) プリント	
第49回~第56 回	5月28日5月 29日	デコルテマ	マッサージ	ペトリサージュ、	頸椎捻り、プレシ				オリジナル	ト(Technique) プリント 動画教材	
第57回~第64 回	6月4日6月5 日	デコルテマ	マッサージ	首筋と肩のエフルラージュ、顎から鎖骨にかけてドレナージュ、胸骨→鎖骨にかけてエフル ラージュ、胸鎖乳突筋のエフルラージュ、顎線からデコルテのエフルラージュ オリジナルプリント 動画教							
第65回~第68 回	6月11日	フェイシャノ	レマッサージ	口角下制筋、上唇鼻翼拳筋に沿ってのエフルラージュ、顎線に沿ってフラージュ、首の皺のリ サージュ、ほうれい線のリサージュ、顎線に沿ってエフルラージュ、首のエフルラージュ、顎 の回転エフルラージュ、							
第67回~第74 回	6月18日	フェイシャノ	レマッサージ	沿ってのエフルラ 口輪筋に沿ってエ に沿ってエフルラ	ージュ、大小頬骨 フルラージュ、ロ ージュ		ラージュ、目の下の 翼挙筋に沿ってのコ	の眼輪筋リサージ エフルラージュ、	ュ、 INFAテキス 鼻筋 オリジナル	ト(Technique) プリント 動画教材	
第75回~第86 回	6月25日6月 26日6月27日	フェイシャノ	レマッサージ	に沿ってエフルラ ンポワンテ、鼻の	ージュ、目じりて 付け根のフラージ)下の眼輪筋に沿っ ・指先を回転させる ・ュ、額の皺のリサ	、プレシオンシル [‡] ージュ、バイブレ -	キュレール、プレ ーション	シオ INFA特別授		
第87回~第90 回	7月2日	フェイシャノ	レマッサージ	ンスモン、頬のエ	バンターユ、首の	・モン、目尻のリサ)エバンターユ、頬	のパタージュ		オリジナル	プリント 動画教材	
第91回~第98 回	7月9日7月10 日	フェイシャノ	レマッサージ	レシオン、顔全体	の静脈プレシオン				オリジナル	プリント 動画教材	
第99回~第110 回	7月16日7月 17日7月18日		ングオフ	クレンジング べ り クレンジング	ースクレンジンク 通し	[*] ポイントクレン	ジング スポンジョ	オフ コットンふ			
第111回~118	7月23日24日		ージエ程 ングエ程 	クレンジング〜デ	「コルテマッサージ	ジ〜フェイシャルマ	ッサージ			ト(Technique) プリント 動画教材	
第119回~第 120回	7月30日	期末試	験実施	期末試験実施							
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評	価方法)…「筆	記試験」におけ	る試験(出題)の通	適正化(正規分布)	、「レポート」	の評価等は別り	こ定める。 ^{21.}	
	. ,,,_,,,,				書い、マッサーシ	グの各工程が正し	くできているかを	:評価、(詳細に	は別紙参照)		
		マ欠席:-1点		T	H \	مسلس بالمثلث	المراجا	an bree o	ىكى <u>دا</u> ب	50 压甘油	
→ 判定: ①実技期末試験	方法\該当す 食	る観点→	知識・理解 2位	思考・判断 3位	関心・意欲	態度	技能·表現 1位	評価配分%	成績 秀(S):100点	評価基準 i~90点	
②授業態度			- 1-44		2位	1位	- 1	10	優 (A) : 89点	[∼80点	
									良(B): 79点 可(D): 69点		
									可 (D): 69点 不可 (E):59点		
		a sted when I is to a first	FR S. C.	m). Imm it i i i i		II. He tone					
	上記の)判正万法がどの	観点に属するも	いか、慢先順位 8	先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 再試験1回 Rive 471 W # F			心験1凹			
シラバス作成 者	田澤 初美		シラバス承認 者	フルネームを記	載	授業担当教員 実務経験紹介	田澤 初美 学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記			クを記載	
更新履歴		1				- and the second of the 2 f					
シラバス!	更新履歴 	更新	理由		更新箇所		作成者 Check者(確認者)			香(確認者)	
改2											
改3											
改4 改5											
.								1			

科目名		エステ総合		学科名 (コース名) ビューティスペシャリスト科 学年					2学年	
授業形態 4.	4	実習	学期	後期	開講年月 5	10月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.		時間数	180	該当資格名称		INFA国際試験	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	敢して)	れ・タイムマネ: ルプレイやケー:	ジメント・衛生管 ススタディも実施	『理を含めた総合印 印ます。	的なサロンワーク	7を学びます。技行	術のブラッシュア	な施術が提供できないプとともに、ま	るよう、接客で に際のサロン現場	マナー・施術の流 景を想定したロー
科目の到達目 (教育課程の位	目標	学内サロンで一 施術前後のカウ	股のお客様に対応 ンセリング・クロ	できるよう、施術 ロージングトークス	析手順・時間配名 など、サロン運営	専現し、実践レベ。 }・接客スキルを∂ 含に必要なコミュ− 処など、安全で信?	統合的に身につけ ニケーション力を	ける。 と強化する。 意を構築する力を養	きう。	
受講条件	15.	エステ(ボディ)	、エステ(フェ	イシャル)履修種	程度の知識と技術	ប៊ី				
教科書名	14	INFAテキスト (7	Technique)			数材名 15.		ント オリジナル	動画教材	
設備名・機器		TVモニター				17. 関連サイト				
関連前科目	18.	エステ(ボディ)	、エステ(フェ	イシャル)		19. 関連後科目	サロン運営			
授業計画(哲	受業コマ単位	() 学科:15コマ	以上目単位、実習	『・演習:30コマリ	以上/単位					20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主		í	各時間ごとの授	業内容および授	(業コマの到達	目標	使用教	科書・教材
第1回~第8回	月1日10月2	フェイシャルパッ 術の確認	ック・仕上げ技	パックの選別、パ	ックの調合、パッ	ク塗布 ODT パッ	・ クオフ		INFAテキスト	(Technique)
第9回~第16回	月8日10月9	パーティン ネイルケア		ができるようにな 爪の構造を理解し	る フィードバッ 、正しく消毒、フ	・を分析し、パーテ ・クをもらい改善点 ・アイル、キューテ ・ッジを意識しムラ	を見つける ィクルクリーンが		INFAテキスト	(Technique)
第17回~第24回	月15日10月1	試験項目全工程	通しで実施①	試験項目の全工程	の実施 課題点を	:見つけ修正を行う	1		INFAテキスト	(Technique)
第25回~第32回	月22日10月2	試験項目全工程	通しで実施②	試験項目の全工程	の実施 課題点を	:見つけ修正を行う	2		INFAテキスト	(Technique)
第32回~第40回	月29日10月3	試験項目全工程(① (時間計測)	時間項目全工程を	試験時間を考慮し	実施 課題点を見	つけ修正を行う①		INFAテキスト	(Technique)
第41回~第48回	月5日11月6	試験項目全工程の	②(時間計測)	時間項目全工程を	試験時間を考慮し	実施 課題点を見	つけ修正を行う②		INFAテキスト	(Technique)
第49回~第56回	月12日11月1	試験項目全工程(③ (時間計測)	時間項目全工程を	試験時間を考慮し	実施 課題点を見	つけ修正を行う③		INFAテキスト	(Technique)
第57回~第60回	11月19日	テーション・サロ	コン実施の目的と	サロン運営の意義	と今後の授業の流	れを理解する			INFAテキスト	(Technique)
第61回~第64回	11月20日	NFAボディ技術の	手順確認 (背面)	ボディマッサージ	の背面技術を正し	く再現できる			INFAテキスト	(Technique)
第65回~第68回	11月26日	ボディマッサージ	ジ(前面)の復習	流れ・方向・圧の	調整を習得する				INFAテキスト	(Technique)
第69回~第72回	11月27日	ボディ技術	の通し練習	実践的に流れを把	握し、技術の精度	きを高める			INFAテキスト	(Technique)
第73回~第76回	12月3日	ンャル技術の手順	確認(クレンジ)	フェイシャルの基	本手順を再確認し	、正確に行えるよ	うにする		INFAテキスト	(Technique)
第77回~第80回	12月4日	フェイシャルマ	ッサージの復習	リズム・圧・姿勢	を再確認し、効果	めなマッサージが	できる		INFAテキスト	(Technique)
第81回~84回	12月10日	フェイシャル打	支術の通し練習	通し練習で時間配	分と一連の流れを	確認する			INFAテキスト	(Technique)
第85回~第90回	12月11日	期末試	験実施	期末試験実施					INFAテキスト	(Technique)
成績評価方法	去(当該コマの	の到達目標に対す	る評価基準と評価	而方法)···「筆記	【試験」における	試験(出題)の適正	E化(正規分布)、	「レポート」の記	平価等は別に定め	かる。 21.
		身だしなみ、事 マ欠席:-1点			い、マッサージの	の各工程が正しく	できているかを訂	平価、(詳細は別約	氏参照)	
	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価	
①実技期末試験 ②授業態度	È		2位	3位	2位	1位	1位		;(S):100点~ ﴿E(A): 89点~	
⊌Ⅸ禾芯尺					411/	111/			ē(A) · 89点~ ↓(B) : 79点~	
								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「(D): 69点~	
	不可(E):59点以下						下			
	上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位を				とつける。上位1・	 位~降順。		不合格の場合	再試験	 自回
3.7.3-7.7	投業担当教員 田澤 初美									
シラバス作成 者	プラバス作成 田澤 初美 フルス争略 フルネームを記載				を記載					
更新履歴			TEE	更新箇所 作成者 Check者(確認者				70fr = 311 · fr. \		
シラバス 動	史	更新	理由		更	所作成者 Check者(確認者)				唯秘 自 /
改2										
改3 改4										
改5										

科目名		ヘアアレンジ応	用	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペペシャリスト科		学年	1学年		
授業形態 4.	4	実習	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分 該当なし					
教育課程区 ^{7.} 分	3	選択	8. 単位数	1	9. 時間数	30	該当資格名称	, 該当なし				
科目の概要(全コマ数を俯瞰	11. 数して)	相モデルを取りた立つ	入れた『聴く』「	『観る』『実際に行	行う』の3つのパ	ターンで成り立つ	■ 10 ○知識とそれを使	 った技術を教授	する フォトコン	ンテスト制作に役		
科目の到達目 (教育課程の位)	置づけ)	ビューティスペ	シャリストとして	の美容の知識・	テクニックを実践	浅しながら創造力	と感性を高めクリ	リエイティブなイ	作品作りを取得す	る		
受講条件	13.	YIC京都ビューテ	イ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	ィスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名	14.	該当なし				数材名 15	オリジナルプリ	ント				
設備名・機器	16. 景名	ヘアアイロン用作	電気設備(コンセ	マント)		17 関連サイト	該当なし					
関連前科目	18.	ヘアアレンジ基础	楚			関連後科目	該当なし			20.		
授業計画(招	授業計画(授業コマ単位)学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位											
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および担	受業コマの到達	目標	使用教	枚科書・教材		
第 1回	〇月〇日	オリエンテーシ	ョン	オリエンテーショ	ンを理解する・ヘ	アアレンジ基礎の行	复習		ヘアアレンジ	道具一式		
第 2回	○月○日	ヘアアレ	ノンジ①	編み込をを習得す	「ADD ADD ADD ADD ADD ADD ADD ADD ADD ADD							
第 3回	〇月〇日	ヘアアレ	/ンジ②	ピン留め・ハーフ	アップスタイルを	習得する			ヘアアレンジ	道具一式		
第 4回	〇月〇日	ヘアア	ノンジ③	編み込み・まとめ	髪を習得する				ヘアアレンジ	道具一式		
第 5回	〇月〇日	ヘアアレ	/ンジ④	コテ巻き・巻きお	ろし・ピンワーク	を習得する			ヘアアレンジ	道具一式		
第 6回	〇月〇日	年代別へて	アアレンジ	80年代ディスコ風	ヘアメイクを習得	する			ヘアアレンジ	道具一式		
第 7回	〇月〇日	トレント	ドヘア①	トレンドへアメイクを習得する ヘアアレンジ道具								
第 8回	〇月〇日	トレント	ドヘア②	外国人風・巻き髪	を習得する				ヘアアレンジ	道具一式		
第 9回	〇月〇日	ヘアアレン	ノジテスト	ヘアアレンジテス	トを実施する				ヘアアレンジ	道具一式		
第 10回	〇月〇日	コンテスト応	募用作品作り	テーマ・コンセプ	トを決める事が出	来る			ヘアアレンジ	道具一式		
第 11回	〇月〇日	コンテスト応	募用作品作り	イメージ収集・チ	ェック・ヘアアレ	ンジ実践が出来る			ヘアアレンジ	道具一式		
第 12回	〇月〇日	コンテスト応	募用作品作り	イメージ収集・チ	ェック・ヘアアレ	ンジ実践が出来る			ヘアアレンジ	道具一式		
第 13回	〇月〇日	コンテスト応	募用作品作り	イメージ収集・チ	ェック・ヘアアレ	ンジ実践が出来る			ヘアアレンジ	道具一式		
第 14回	〇月〇日	撮影最終	チェック	撮影最終チェック					ヘアアレンジ	道具一式		
第 15回	〇月〇日	コンテスト	エントリー	コンテストエント	リーが出来る				ヘアアレンジ			
成績評価方法	法(当該コマの	の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	【試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」(の評価等は別に定	ごめる。 ^{21.}		
②小テストの得④授業態度: 提	: 試験課題^ 点を合計し、 出物及び出席	、アアレンジの作 全体の成績に反 ま状況を評価する	映する									
	· <u>下表の配分%</u> 方法\該当す	<u>6で按分し総合点</u> る観点→	<u>60点以上を合格</u> 知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	平価基準		
①成績判定試験			1位	2位	124 m 100 HV	1012	1/1/10 X//U	70	秀(S):100点~			
②確認テスト	•		1位	2位				15	優(A): 89点~			
③課題レポート								なし	良(B): 79点~			
④授業態度					2位	1位		15	可(D): 69点~			
⑤作品					- 1			なし	不可(E):59点以			
⑥プレゼンテー	ション							なし	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
		り判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	<u>.</u> とつける。上位1-	 位~降順。	1	不合格の場合	補修、追請	試の有無等		
						1	-12 -1-					
シラバス作成者	奥谷千晴		シラバス承認 者	フルネームを記	散	授業担当教員 実務経験紹介	フルネームを記 学校HP内の実		介ページのリンク	7を記載		
更新履歴			<u> </u>									
シラバス勇	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	社	Check者	(確認者)		
改1												
改2												
改3												
改4 改5												

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				1	7							
科目名 1		メイクアップ応	用	学科名 ^{2.} (コース名)			ビューティスペシャリスト科 エステティシャンコース 学年 ³ 学年					
授業形態 4.	:	実習	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分	なし	·			
教育課程区 ^{7.}	:	選択	8. 単位数	2	9.	60	10. 該当資格名称	該当なし				
分 科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11.数して)	顔分析、肌トラン 印象管理、話した			ス、ドレスアップ	I プに合わせたメイ	ク法を教授する					
科目の到達目 (教育課程の位)	目標	エステティシャン	な知識・技術を習行	得する科目。 アップの技術を身に		5E.						
受講条件	13				ャリスト科エスラ	テティシャンコー	スに在籍している	こと				
教科書名	14	該当なし				数材名 15	·メイクアップ道! ント	具一式、オリシ	シナルPowerPoint/	オリジナルプリ		
設備名・機器	16 景名		ター/PC/Goog	; l e クラスルー.	leクラスルーム 関連サイト INFA国際ライセンスHP http://www.infa-japan.gr.jp/infa/							
関連前科目	18.	メイクアップ基础	從	関連後科目 エステ総合								
授業計画(哲	受業コマ単位	L :) 学科:15コマJ	以上目単位、実習	3・演習:30コマ.	以上/単位	<u>. </u>	J			20.		
回(コマ)	開講日	授業コマの主				業内容および控	受業コマの到達目	1標	使用拳	数科書・教材		
第1回	4月15日	オリエンテーシ					理について理解する		メイク道具ー			
第2回	4月15日	セルフメイク実		技術チェック・セ		- 2/11 / -/- 1/- 2-1		_	メイク道具ー			
第3回	4月22日	イメージメイクヨ		エレガントメイク					メイク道具ー			
第4回	4月22日	セルフメイク実		エレガントイメー		ができる			メイク道具ー			
第5回		セルフメイク実	-			イクができる※小・	テスト		メイク道具ー			
第6回		セルフメイクま				ついて説明すること			メイク道具ー			
第7回	5月20日	ベースメイク実		肌トラブルに合わ			24.63.9					
第8回	5月20日	ベースメイク実				ベースメイクができ	キス		メイク道具一式メイク道具一式			
第9回	5月27日	ポイントメイク		骨格に合わせたア			3.9		メイク道具一式			
第10回	5月27日	ポイントメイク				/#/ドッ゚~ 対称に描くことが [*]	できる		メイク道具一式			
第11回	6月3日	ポイントメイク				ク方法について理解			メイク道具ー			
	6月3日	ポイントメイク		モデルの目の形に			9# 9 O		メイク道具ー			
第12回	.,,			リップ・チークの				メイク道具ー				
第13回	6月10日	ポイントメイク		モデルのパーツバ	メイク道具ー							
第14回	6月10日	ポイントメイク复										
第15回	6月17日			モデルにエレガンモデルにエレガン	メイク道具一式							
第16回	6月17日	フルメイク実習				メイク道具一式						
第17回	6月24日	フルメイク実習		タイム計測 モデルにエレガントイメージにフルメイクができる (施術者) タイム計測 モデルにエレガントイメージにフルメイクができる (被施術者)						_		
第18回	6月24日	フルメイク実習・					グがじさる (牧他側	<i>名)</i>	メイク道具一式			
第19回	7月1日	フルメイク実習		タイム計測 課題					メイク道具ー			
第20回	7月1日	フルメイク実習		タイム計測 課題			/+/4: *\		メイク道具ー			
第21回	7月8日	エレガントメイ				ルメイクができる			メイク道具ー			
第22回	7月8日	エレガントメイ				ルメイクができる			メイク道具ー			
第23回	7月15日	エレガントメイク				イクの課題点が修習		.)	メイク道具ー			
第24回	7月15日	エレガントメイ					整できる(被施術者	,	メイク道具ー			
第25回	7月22日	エレガントメイ				メイクができる(カ 			メイク道具ー			
第26回	7月22日	エレガントメイ	グ 美省 6			メイクができる(ネ 	牧他何者)		メイク道具ー			
第27回	7月29日	期末試験対策1		30分でエレガン					メイク道具ー			
第28回	7月29日	期末試験対策2		30分でエレガン 成績判定試験実施		(メイク道具ー			
第29回	8月5日	成績判定試験 1		30分で所定課題	のフルメイクを施	し、メイクカルティ	の作成ができる		メイク道具ー			
第30回	8月5日	成績判定試験2		成績判定試験実施 プレゼンテーション 施したメイクのポイント・修正点について説明ができる メイク道具一式								
成績評価方法	去(当該コマロ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	西方法)…「筆記	『試験』における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」	の評価等は別に定	≅める。 ^{21.}		
④授業態度 提出 ⑤作品 所定の記	気を合計し、全 出物及び授業へ 果題をクラスル	体の成績に反映す の出席状況を評価 一ムに提出	する									
	<u>ション 施した</u> 方法\該当す	メイクについて顔 <i>。</i> る観点→	<u>分析・修正ポイン</u> 知識・理解	について説明が出思考・判断	<u>来ているか</u> 関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績割	平価基準		
①成績判定試験		.,		2位	124 7 VEVEV	7017%	1位	60	秀(S):100点			
②確認テスト				2位			1位	10	優 (A): 89点			
③課題レポート	,							なし	良(B): 79点	~70点		
④授業態度					2位	1位		10	可 (D) : 69点	~60点		

YIC京都ビューティ専門学校

補修、追試の有無等

不可(E):59点以下

1位

l位

10

10

不合格の場合

2位

2位

上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。

⑤作品

⑥プレゼンテーション

シラバス作成者	石 十 古 コ		シラバス承認	フルネームを記載	授業担当教員	福本真弓				
ンプハス作成名	佃平共与		者	ノルイームを記載	実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/				
更新履歴										
シラバス更新履歴 貝		更新	理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)			
改1										
改2										
改3										
改4										
改5										

科目名		パーツケア実習	I	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペシャリスト科 学年 2学年					
授業形態 4.	4	実習	学期	前期	開講年月 5.	4月	該当資格区分	民間検定	•			
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称	INFA	」国際ライセンス(ボディ)		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	数して)	WAX脱毛、バスト 力を身につけま [*]	パックの各分野 す。受験対策とし	がした技術指導 における正しい手 がての実践的な内容	・順、使用する用 容も含まれ、試験	具・化粧品の取り 食本番に向けた総)扱い、安全性や	衛生管理の基礎を	:理解し、実技演	ネイルカラー、 [習を通して応用		
科目の到達目 (教育課程の位)	1標	各技術(ネイル 衛生管理・消毒	ケア、ネイルカラ 去・施術時の安全	を埋解し、止催い ・一、WAX脱毛、パ 対策について正 スムーズな動作。	《ストパック)に しい知識を持ち、	必要な用具・商标 実践に活かせる	•		~る。			
受講条件	13.		ステ(ボディ)履	修程度の知識と	技術							
教科書名	14.	1 INFA (techniqu	e) テキスト			数材名 15	WAX脱毛用ウォー	マー/ネイル基礎教材/メイク基礎教材				
設備名・機器		WAX脱毛用ウォー		17. 関連サイト								
関連前科目	18.	エステ基礎 エ 剖生理学 I 解	ステ(ボディ)人 削生理学(口述)	体の構造と機能	皮膚科学 解	関連後科目	エステ(フェイ	シャル)				
授業計画(哲	受業コマ単位	:) 学科:15コマ!	以上目単位、実習	₹・演習:30コマ	以上/単位					20.		
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標							
第1回	4月14日	口頭試問対策		過去の口頭試問の	出題傾向を説明し	、口頭試問試験のス	ポイントを理解する	•				
第2回	4月14日	バストマッサー: パック塗布とオ		乳腺解剖学を学び	、パック成分、OD	T方法を理解して正	しいバストケアを	行う				
第3回	4月28日	WAX脱毛		毛の構造を理解し	、正しく安全にWA	X脱毛を行う			WAX脱毛用ウォ			
第4回	4月28日	ネイルカラー(・	ネイルカラー (ペデュキュア) キューティクルライン、サイド、エッジを意識しムラなくネイルカラーを行う									
第5回	5月12日	口頭試問対策(頁試問対策(前半) カルテを完成させ、カルテに基づいた口頭試問に答えることができる									
第6回	5月12日	口頭試問対策(
第7回	6月30日	ネイルケア ネー	イルカラー	爪の構造を理解し、正しく消毒、ファイル、キューティクルクリーンができるようになる キューティクルライン、サイド、エッジを意識しムラなくネイルカラーを行う 骨格や顔の立体感について学びローライトハイライトを入れる事ができる 骨格にあったアイ						材		
第8回	7月7日	メイクアップ基 ク アイブロウ	イメイク基礎教	p								
第9回	7月7日	メイクアップ基 ク アイブロウ		骨格や顔の立体感 ブロウを描けるよ		ライトハイライトも	を入れる事ができる	骨格にあったア	イメイク基礎教	p		
第10回	7月14日	メイクアップ基 リップメイク	楚 アイメイク	モデルの目の形(リップラインに合	のメイク基礎教	Ħ						
第11回	7月14日	メイクアップ基 リップメイク	楚 アイメイク	モデルの目の形(リップラインに合	のメイク基礎教	Ħ						
第12回	7月28日	パーティメイク	ウヘア (前半)	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを30分で行う事ができるようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。(前半)						材		
第13回	7月28日	パーティメイク	ヘア (後半)	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを30分で行う事ができるようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。(後半)						材		
第14回	8月4日	期末試験	(前半)	期末試験実施(前	半)				ネイル基礎教	材/メイク基礎教材		
第15回	8月4日	期末試験	(後半)	期末試験実施(後	半)				ネイル基礎教	材/メイク基礎教材		
				西方法)···「筆記				「レポート」の	評価等は別に定	める。 ^{21.}		
			等であるか、立体	-リングの状態で 体的であるかを判 居眠り:-3点								
	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準		
①実技期末試験	È		2位	3位	0.11:	* 11.	1位		秀(S):100点~			
②授業態度					2位	1位			憂(A): 89点~ § B): 79点~			
								\sim	可(D): 69点~			
								7	不可 (E):59点以	下		
	上記0	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	トレフける。上位le		不合格の場合	再試	検 1回			
シラバス作成者	田澤 初美		シラバス承認			授業担当教員	田澤 初美					
			者			実務経験紹介						
更新履歴 シラバス勇	 毛新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者	(確認者)		
改1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2.471			= ==1/1 pml//1		11.794			/		
改2			•		•							
改3 改4												
改5												

科目名		パーツケア実習	П	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペシャリスト科		学年	2学年		
授業形態 4.	Š	実習	学期	前期	開講年月 5	5. 4月 該当資格区分 民間検定						
教育課程区 ^{7.} 分	選	択必修	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称	I	INFA国際ライセン	ر _۲		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰		用力を養います。	らず、「お客様の						・顔・体)のケア 、サロン現場で即戦			
科目の到達目 (教育課程の位置)	目標	顧客ニーズ・TPOに 各技術を高い衛生 パーツごとの特徴 美的センスやカラ	こ合わせたパーツ かっこう できまる こうしょう できる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	で正確に実施でき ・毛の状態に応じ トータルバランス	る。 た施術アプローチ の取れたパーツケ	み合わせ提案ができ ができる。 アを提供できる。 テーション力を身り						
受講条件		パーツケア実習	I 履修程度の技	術力								
教科書名	14			教材名 ** ネイル基礎教材/メイク基礎教材								
設備名・機器	16. 景名					17. 関連サイト						
関連前科目	18.	パーツケア実習	I			関連後科目						
授業計画(授	受業コマ単位	() 学科:15コマリ	以上目単位、実習	30コマ	以上/単位	•				20.		
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	受業内容および授	(業コマの到達)	目標	使用教	科書・教材		
第1回	4月14日	ガイダンス/応り ツケアとは	用としてのパー	自分の強みと課題	の整理、TPO別事	例紹介						
第2回	4月14日	ハンドケア&ネー 色選びの応用	イル①:ケアと	肌色・シーンに合	わせたネイルデサ	デイン実習 アイン			ネイル基礎教材	प्रि		
第3回	4月28日	ハンドケア&ネー と時短施術	イル②:アート	5本指仕上げ・時知	短&アート提案				ネイル基礎教材	₩		
第4回	4月28日	フットケア&ペラ 足元の印象設計		フットケア衛生・	カラー提案				ネイル基礎教材	र्घ		
第5回	5月12日	フットケア&ペラ 季節感の演出	ットケア&ペディキュア②: サンダル映えカラー&パーツアレンジ ネイル基礎教材									
第6回	5月12日	WAX脱毛①:顔周 ケア応用	X脱毛①:顔周り・眉・鼻下の ア応用 安全なWAX操作と形づくりの練習 WAX脱毛ウォー									
第7回	6月30日	WAX脱毛②:腕・ 別応用	IX脱毛②:腕・脚・ボディ部位 状態に合わせた声かけ・冷却対応 WAX脱毛ウォーマー									
第8回	7月7日	カラープランニ: 和と提案力	ング:全体の調	顔色・爪色・メイク色の統一感演習						Ħ		
第9回	7月7日	パーティメイク(自然さのバラン)		トレンドメイクと	アイメイク重点線	メイク基礎教材	a वि					
第10回	7月14日	パーティメイク(別・シーン別演		顔立ち別&衣装別の提案演習						Ħ		
第11回	7月14日	シーン別パーツ? 呼ばれ系)	アア実習①(お	ネイル+メイク+手肌ケアのトータル提案						材/ネイル基礎教材		
第12回	7月28日	シーン別パーツ? ゾート系)	アア実習②(リ	肌見せ対応のWAX・ペディ・メイク構成演習						材/ネイル基礎教材		
第13回	7月28日	モデル実習①:カ テーション	布術+プレゼン	モデルを使った全体ケア・解説プレゼン						Ħ		
第14回	8月4日	モデル実習②: 『 ルプレイング	芯用提案のロー	カウンセリング→施術→説明を一貫して実施						Ħ		
第15回	8月4日	期末試験実施		トータルケア実演	[&口頭解説、相互	江評価			ネイル基礎教材	材/メイク基礎教材		
成績評価方法	去(当該コマの	の到達目標に対す	る評価基準と評価	面方法)…「筆記	『試験』における	試験(出題)の適正	E化(正規分布)、	「レポート」の)評価等は別に定め	める。 ^{21.}		
			等であるか、立体	的であるかを判		紙参照)35点配分 参照)55点配分						
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準		
①実技期末試験			2位	3位	- **		1位		秀(S):100点~			
②授業態度					2位	1位			優(A): 89点~ 良(B): 79点~			
									可(D): 69点~			
									不可 (E):59点以	ト		
	上記の判定方法がどの観点に属するも				ト つける ト位1	位~降順		不合格の場合	再試験1	回まで		
	그===	- 13/C/1/W.C0)		/ / 交 / L / I I L C	- ~ いめ。 丁川	授業担当教員	田澤 初美	・1・ロコロック物口	十十八月大1	1 6		
シラバス作成 者	田澤 初美		シラバス承認 者	フルネームを記	載	授業担当教員 実務経験紹介		務経験教員の紹々	介ページのリンク	を記載		
更新履歴						> < 3/3 (ELIG/X)PH / I	, 3 / 3-			7- 77		
シラバス勇	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者(確認者)		
改1 改2												
改3												
改4 改5												
ųζJ				l			l					

科目名		イメージメイクル	5用	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティフ	スペシャリスト科		学年	2学年		
授業形態 4.		実習	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	該当なし	当なし			
教育課程区 ^{7.} 分		選択	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし				
利目の概要 (全コマ数を俯瞰	11 敬して)		活用し理解力を高	話める・フォトコ	ンテスト時の創設	」 造力、テクニック						
科目の到達日 (教育課程の位	置づけ)	フォトコンテス する。様々なへ		oせたメイクを創え 現場で活かせる』			イクで学んだ知諳	銭を活かし技術を	た行う事でメイク表	長現の違いを理解		
受講条件	13		・ィ専門学校ビュ・	ーティスペシャリ	スト科に在籍し	ていること。						
教科書名	14	該当なし				教材名	·メイクアップ道 _: ト	具一式、オリジ	ナルPowerPoint/オ	トリジナルプリン		
設備名・機器		投影用プロテク	ター/PC			17 関連サイト	該当なし					
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	該当なし					
授業計画(推	受業コマ単位	Z) 学科:15コマ.	以上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位	-			T	20.		
回(コマ)	開講日	授業コマの主	コマの主題(タイトル) 各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標									
第1回	〇月〇日	顔分析メイク①		横・内心・外心の	顔分析を理解しっ	イクが出来る			メイク道具一	£		
第 2回	〇月〇日	顔分析メイク②		縦・内心・外心の	顔分析を理解しっ	イクが出来る			メイク道具一	đ		
第 3回	〇月〇日	顔分析メイク③		上方、下方の顔分	析を理解しメイク	7が出来る			メイク道具一つ	đ		
第 4回	〇月〇日	顔分析メイクま	<u></u> とめ	顔分析によるメイ	クの実施				メイク道具一つ	đ		
第 5回	〇月〇日	モードメイク	アイカラー①	アイカラーの中抜	きテクニックを実	運践する事が出来る			メイク道具一	.		
第 6回	〇月〇日	モードメイク	アイカラー②	アイカラーの目頭	抜きテクニックを	実践する事が出来	3		メイク道具一	£		
第 7回	〇月〇日	モードメイク	'アイカラー③	アイカラーのシャ	ープテクニックを	と実践する事が出来	:S		メイク道具一	đ.		
第 8回	〇月〇日	モードメイク	アイカラー④	アイカラーのラウ	ンドテクニックを	と実践する事が出来	ే		メイク道具一	ž.		
第 9回	〇月〇日	モードメイク	アイライン①	アイラインのスリ	ムラインとオーフ	プンアイのテクニッ	クを実践すること:	が出来る	メイク道具一つ	£		
第 10回	〇月〇日	モードメイク	アイライン②	アイラインのキャ	ッツアイとアーモ	:ンドアイのテクニ	ックを実践するこ	とが出来る	メイク道具一	式		
第 11回	〇月〇日	コンテスト応	募作品作り①	イメージ収集、チ	エック、メイク舅	芝施			メイク道具一	大		
第 12回	〇月〇日	コンテスト応	募作品作り②	イメージ収集、チ	エック、メイク第	淫施			メイク道具一	đ.		
第 13回	〇月〇日	コンテスト応	募作品作り③	イメージ収集、チ	エック、メイク第	尾施			メイク道具一	đ.		
第 14回	〇月〇日	コンテスト応	募作品作り④	最終確認					メイク道具一	đ.		
第 15回	〇月〇日	撮影(コンテ	スト応募用)	コンテストエント	リー				メイク道具一	式		
第回	〇月〇日	↓以降は行勢	数を増やす。						メイク道具一	đ.		
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法) ··· 「筆記	試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	D評価等は別に定め	かる。 ^{21.}		
②小テストの得④授業態度 携	∮点を合計し、 ≹出物及び授業	3 0 分フルメイク 全体の成績に反 業への出席状況を	評価する	ダレナス								
	方法\該当す	%で按分し総合点 る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準		
①成績判定試驗	Ê			2位			1位	70	秀(S):100点~	90点		
②確認テスト								15	優 (A) : 89点~			
③課題レポート	`				0.H	4 14		なし	良(B): 79点~			
④授業態度⑤作品					2位	1位		15 なし	可(D): 69点~ 不可(E):59点以			
	⑤作品 なし 不可(E):59点以下 ⑥プレゼンテーション なし							` '				
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 補修、追試の						の有無等						
シラバス作成 者	奥谷千晴		シラバス承認	フルネームを記	散	授業担当教員	フルネームを記					
			者			実務経験紹介	学校HP内の実	務経験教員の紹	介ページのリンク	を記載		
更新履歴 シラバス!	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成者 Check者(確認者)					
改1												
改2												
改3								+				
改4												

科目名		サービス接遇特	論	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	スペシャリスト科		学年]]学年		
授業形態 4.		講義	学期	後期	開講年月 5	9月	該当資格区分	民間検定		L		
教育課程区 ^{7.} 分		選択	8. 単位数	1	時間数	30	10. 該当資格名称		サービス接遇検定			
科目の概要(全コマ数を俯瞰		ビューティ業界当該内容は卒業行	後、社会人として	・ ・要な心構えと基準 ・の立ち居振る舞り	ハに役立つ		する		CANADANA			
科目の到達目 (教育課程の位	目標 置づけ) 	社会人基礎力の「	の要件を満たすネ 吸試験、サービス	ででは字則上の 科目 ・接遇準1級試験 ・本的な接客、接	合格相当の知識を	を身に付ける						
受講条件	13		ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	スト科に在籍し	ていること。						
教科書名	14	サービス接遇検定 サービス接遇検定	2級公式テキスト 1-2級 実問題集	·公益財団法人 実務 (第52回~第58回)								
設備名・機器		ホワイトボード				17 関連サイト	· 公益財団法人 集 https://jitsum					
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	サービス接遇特	論				
授業計画(招	受業コマ単位	立) 学科:15コマリ	以上目単位、実習	冒・演習:30コマ.	以上/単位					20		
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	美内容および	受業コマの到達目	目標	使用	教科書・教材		
第1回	9月29日	オリエンテーショ	ョン	授業の概要、評価	について理解する							
第2回	10月6日	2級試験対策1	吸試験対策 l 2級試験課題を解くことができる									
第3回	10月20日	2級試験対策2		2級試験課題を解ぐ	くことができる(タ	第2回の課題の改善)					
第4回	10月27日	2級試験対策3	対策 3 2級試験模擬試験実施。合格基準に達することができる									
第5回	11月10日	準1級試験対策1	11級試験対策 1 準1級試験課題について理解する									
第6回	11月17日	準1級試験対策2		準1級試験課題接答	客ロールプレインク	グを実施し、接遇者	fとしての基本対応:	ができる				
第7回	12月1日	準1級試験対策3 準1級試験課題接客ロールプレイングを実施し、接遇者としての基本対応ができる(第6回課題 の改善)										
第8回	12月8日	準1級試験対策4		準1級試験課題接名 題の改善)	客ロールプレインク	がを実施し、接遇者	fとしての基本対応7	ができる(第7回]課			
第9回	12月15日	準1級試験対策5		模擬試験実施 準1級試験合格基準	単に達することが7	できる						
第10回	12月22日	所作実習		物の渡し方、受け	方について理解し	、実践することが	できる					
第11回	1月19日	敬語・言葉遣い	1	正しい敬語につい	て理解する							
第12回	2月2日	敬語・言葉遣い	2	正しい敬語で話すことができる								
第13回	2月9日	企業リサーチ		職業別企業リサー	チができる							
第14回	2月10日	文章作成		企業研究発表のシ	ナリオ作成ができ	る						
第15回	2月16日	成績判定試験		実技試験:正しい	敬語を用いて所定	課題について話す	ことができる					
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	面方法)…「筆記	[試験] における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に欠	定める。 ^{21.}		
④授業態度 携	東技試験 小テストの得 出物及び授業	导点を合計し、全々 業への出席状況を	評価する									
1.300.001.000.000.004.2.10	・下表の配分? 方法\該当す	%で按分し総合点 る観点→	60点以上を合札 知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績	評価基準		
①成績判定試験	t		1位	2位				70	秀 (S):100点			
②確認テスト			2位	2位				15	優 (A) : 89点			
③課題レポート	•							なし	良(B): 79点	.~70点		
④授業態度					2位	l位		15	可 (D) : 69点	~60点		
⑤作品								なし	不可 (E):59点	以下		
⑥プレゼンテー	-ション							なし	<u>. </u>			
	上記の	の判定方法がどの	観点に属するも	 のか、優先順位をつける。上位1位~降順。				不合格の場合	補修、追	試の有無等		
シラバマ作品セ	福木直己		シラバス承認	フルネームを記	₩	授業担当教員	城戸さち子					
	プラハス作成者 1世半呉ウ 者				1954	実務経験紹介	学校HP内の実	務経験教員の紹	介ページのリン	クを記載		
更新履歴 更新理由 更新箇所							作成	者	Chack	皆(確認者)		
改1	~-∂1/IX/IE	92.701			~ 和日/月		117/93	• 14	OHOURA	→ \##### □ /		
改2												
改3												
改4												
改5		1		<u> </u>			1					

科目名		基本IT技術		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティン	スペシャリスト科		学年	2学年			
授業形態 4.	į	講義	学期	後期	開講年月 5.	9月	該当資格区分	資格区分 ^{6.} 該当なし					
教育課程区 ^{7.} 分	:	選択	8. 単位数	1	時間数	30	該当資格名称		該当なし				
科目の概要(全コマ数を俯瞰	11. 放 して)	Excel、Wordの基	基本的な操作方法	を教授する			•						
科目の到達目	11示	Excelを使って商	品の管理や売上	の計算、平均・合	計などの関数が	使えるようになる	5.						
(教育課程の位	直7007	Wordを使ってお	客様への案内文や	文書を適切に作り	成できるようにな	よる 。							
受講条件				`ューティスペシャリスト科		ていること							
教科書名		Microsoft Power	rosoft Word 202 rPoint 2024	24 & Microsoft Excel 2024 & 教材名 ¹⁵ オリジナルプリント									
設備名・機器		学生用パソコン/	/教員用パソコン	/投影用プロジェ:	クター	関連サイト	online-for-the	crosoft.com/ja	a-jp/microsoft-3	865/free-office-			
関連前科目	18.	該当なし			関連後科目 19 該当なし								
授業計画(哲	受業コマ単位	7) 学科:15コマリ	以上目単位、実習	冒・演習:30コマ	以上/単位					20.			
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	業内容および持	受業コマの到達	目標		(科書・教材			
第1回	9月30日	ガイダンス・ICT	「の基礎知識	授業の進め方を理	解し、Excel・Wor	dの目的を知る			2024 & Micro	icrosoft Word soft Excel 2024 & werPoint 2024			
第2回	10月6日	Excelの基本操作 ト・入力・書式)		表計算ソフトの基	本的な操作ができ	るようになる			よくわかる M 2024 & Micro Microsoft Po	icrosoft Word soft Excel 2024 & werPoint 2024			
第3回	10月14日	表の作成と書式記 ルの結合、文字		美しく整った表を	作成できるように	なる			2024 & Micros Microsoft Po	icrosoft Word soft Excel 2024 & werPoint 2024			
第4回	10月21日	四則演算の入力 と相対参照・絶対	則演算の入力(+, -, *, /) 数式の基本と参照の考え方を理解する										
第5回	10月28日	関数①:SUM、AV MIN	数①:SUM、AVERAGE、MAX、										
第6回	11月4日	関数②:IF関数の	の基礎	条件によって異な	る処理ができるよ	うになる			2024 & Micros Microsoft Po	icrosoft Word soft Excel 2024 & werPoint 2024			
第7回	11月11日	商品管理表の作品 価、売上計算)	成(在庫数、単	実用的な表を作成	し、合計や平均を	求められる			2024 & Micros Microsoft Po	icrosoft Word soft Excel 2024 & werPoint 2024			
第8回	11月18日	グラフの作成(^材 ラフ)	棒グラフ、円グ	売上や在庫のデー	タを視覚的に表現	できる			2024 & Micros Microsoft Po	icrosoft Word soft Excel 2024 & werPoint 2024			
第9回	11月25日	印刷設定とページ	ジレイアウト	見やすく印刷でき	るように設定でき	2024 & Micros Microsoft Po	icrosoft Word soft Excel 2024 & werPoint 2024						
第10回	12月2日	Wordの基本操作 集、保存)		文書作成ソフトの	基本が身につく	2024 & Micros Microsoft Po	icrosoft Word soft Excel 2024 & werPoint 2024 icrosoft Word						
第11回	12月9日	書式設定(フォン間、余白)	ント、段落、行	読みやすく整った	文書に仕上げられ	2024 & Micros Microsoft Po	soft Excel 2024 & werPoint 2024						
第12回	12月16日	表の挿入と編集		案内文に表を組み	込んで見やすくで	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 Microsoft PowerPoint 2024 よくわかる Microsoft Word							
第13回	1月20日	ビジネス文書の作けの案内文:構成		目的に応じた文章	の構成を理解する		2024 & Micros Microsoft Po	soft Excel 2024 & werPoint 2024 icrosoft Word					
第14回	1月27日	ビジネス文書の作 けの案内文:完成		案内文を実際に作	成し完成できる				2024 & Micros Microsoft Po	soft Excel 2024 & werPoint 2024 icrosoft Word			
第15回	2月3日	総まとめ・課題	発表・振り返り	Excel・Wordを活月	目した成果物を発え	長し、学びを定着さ	せる		2024 & Micro	soft Excel 2024 & werPoint 2024			
		の到達目標に対す	る評価基準と評価	西方法)…「筆 記	試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に定	21.			
③課題 授業年	諫題 Excel €の課題の提出	・Wordを活用した H よ と への出席状況を		8						21.			
↓判定	方法\該当す	る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準			
①成績判定試験								30	秀 (S):100点~	-90点			
②確認テスト							- **	該当なし	優(A): 89点~				
③課題④授業態度			2位		2位	1位	1位	50 20	良(B): 79点~ 可(D): 69点~				
⑤作品			2位		∠ <u>17</u> /.	1 11/1	1位	20 該当なし	可 (D) . 69点~ 不可 (E) :59点以				
©プレゼンテー	-ション		- 124				- 1-14	該当なし	(=)				
	上記6	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1・	位~降順。	·	不合格の場合	再試廳	倹 1回			
	L= _L		シラバス承認		+10.	授業担当教員	佐川奈都子						
シラバス作成者	福本真弓		者	フルネームを記		実務経験紹介	該当なし						
更新履歴 シラバス更新履歴 更新理由					亩 並广44 = r*		/h	作成者 Check者(
シラハス り	C村/復座	史新	性 中		更新箇所		作成	·18	UNECK有	(確認者)			
改2													
改3													
改4													
改5		Ì		l									

科目名		キャリアデザイ	ン	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペペシャリスト科		学年]学年			
授業形態 4.	1112	講義	学期	後期	開講年月 5.	10月	該当資格区分		_ I I				
教育課程区 ^{7.} 分	į.	必修	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称		該当資格なし				
科目の概要	11.		ループワークを通	して自分への洞線	察を深め、仕事会	全般についての理	解を高めて、仕事	罫選択ができる。	ようになる。				
科目の到達目	目標	2. 希望する企業(こ自分の強みが伝	「出来る事」「ねまえられるよう、、 ニーション能力を見	プレゼンテーショ		ける。						
受講条件	13.	出席率80%以上7	が前提となる。										
教科書名	14.	未来ノート、NAV	IIノート			数材名 15	PowerPoint、内	定ロードマップ	,				
設備名・機器	19: 景名 16.	プロジェクター				17 関連サイト	特になし						
関連前科目	18.	特になし				関連後科目	特になし						
授業計画(授	受業コマ単位) 学科:15コマリ	以上目単位							20.			
回(コマ)	開講日	 類講日 授業コマの主題(タイトル) 各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標											
第1回	9月29日	オリエンテーシ	ョン	就活の流れ、シラ	バス、NAVIノート	の説明、マイナビ	・リクナビの登録、	就職先希望調査	未来ノート、京	沈活NAVIノート			
第2回	10月6日	キャリアマップ	登録会	キャリアマップ登	録				未来ノート、肩	沈活NAVIノート			
第3回	10月20日	自己理解 I (私の し、ネガポジマッ		自分の価値観を知	る 「自己イメー	ジ」を言語化・明矾	確化する		未来ノート、肩	沈活NAVIノート			
第4回	10月27日	自己理解Ⅱ (過去を振り返	理解Ⅱ 去を振り返ろう) 過去のライフイベントを振り返り、自分らしさや「やる気」を形づくってるものについて洞察 を深める 未来ノート、就活NAV										
第5回	11月10日	自己理解Ⅲ (ジョハリの窓)											
第6回	11月17日	自己PR文をつくる	i 己PR文をつくろう 自己分析の結果を他己分析の結果を元に自己PR文を作成する 未来ノート、就活NAV										
第7回	12月1日	敬語、ビジネススキルを学ぶ (外部講師 ジョブパーク) 敬語の基本、ビジネススキルを習得する								就活NAVIノート			
第8回	12月8日	仕事理解 I (企業研究グル・	ープワーク)	グループごとに企	業を調査し、業界	把握や具体的な企業	業情報検索方法を学	ジン	未来ノート、京	沈活NAVIノート			
第9回	12月15日	仕事理解Ⅱ (企業研究発表)	ı	企業の人事担当者	として、グループ	ごとに調べた企業の	のプレゼンをする		未来ノート、肩	就活NAVIノート			
第10回	12月22日	履歴書の書き方		履歴書の書き方、	就職活動に必要な	書類の書き方を学。	ž		就活NAVIノー				
第11回	1月19日	合同企業説明会	事前セミナー	合同企業説明会前	の諸注意、所作に	ついて学ぶ			就活NAVIノー	\			
第12回	1月26日	合同企業説明会		合同企業説明会(京都テルサ)				就活NAVIノート				
第13回	2月2日	志望動機を書いる	てみよう	志望動機の書き方	を学ぶ				就活NAVIノー	\			
第14回	2月9日	模擬面接 (外部講師 キ・	ャリア形成)	講義でグループ面	接について学び、	実践する			就活NAVIノー	\			
第15回	2月16日	後期試験		後期試験(筆記試	験、面接)								
成績評価方法	去(当該コマの	の到達目標に対す	る評価基準と評価	面方法)…「筆記	『試験』における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に定る	かる。 ^{21.}			
	6成績判定①成	遠續判定試験(筆			述要件3行以上、	選択問題5問10点	(と模擬面接30点詞	式験時間90分の	計70点満点) ②課/	題レポート			
	- / での / レモ 方法 \ 該当す	ヹンテーション5% る観点→	知識・理解	評価を行う。 思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準			
①成績判定試験			1位	2位				70	秀(S):100点~				
②確認テスト								なし	優 (A) : 89点~				
③課題レポート	•			2位	1位			25	良(B): 79点~				
④授業態度⑤作品								なし なし	可(D): 69点~ 不可(E):59点以				
⑤ プレゼンテー	-ション				2位	1位		なし 5	- 1:51 (五) •33無以	1			
		D判定方法がどの	観点に属するも	 のか、優先順位を			1	不合格の場合	補修、追討	の有無等			
			シュニップラ			授業担当教員	森田 有香						
シラバス作成者	土井 宏美		シラバス承認 者	澤智春		実務経験紹介	110						
更新履歴							7#r≠=1 +v.\						
シラバス 改1	足和腹膛	更新	理出		更新箇所		作成	伯	Check者(唯認有)			
改2													
改3													
改4													
改5				l	·		<u></u>						

YIC京都ビューティ専門学校

		٠		学科名 ^{2.}		1.0 -				3
科目名		プレゼンテーショ	ョン	(コース名)		ビューティン	スペシャリスト科	T	学年	2学年
授業形態 4.		講義	学期	後期	開講年月 5	9月	該当資格区分	なし		
教育課程区 ^{7.} 分		選択	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称		該当なし	
科目の概要(全コマ数を俯瞰	11数して)	話し方や立ち居技	振る舞い、資料作での商品説明等の	F成、自己PR方法 D接客販売の際に	など、効果的な 役立つ	プレゼンテーショ	ンスキルを教授す	る		
科目の到達目 (教育課程の位	^{コ1宗} 置づけ)	自己紹介や作品	青、ボディランク	と話し方の技術を デージの重要性を よどのプレゼンを	理解し、適切に位	吏いこなせる				
受講条件	13		ーティ専門学校と	ごューティスペシ	ャリスト科に在続	籍していること				
教科書名	14	該当なし				教材名	オリジナルPowe		ナルプリント	
設備名・機器	景名	投影用プロジェク	クター/講師用PC	ygー/講師用PC 関連サイト 関連サイト <u>リクルートホームページ</u> https://www.recruit-ms.co.jp/g					jp/glossary/dtl	/000000174/
関連前科目	18	18 該当なし 関連後科目 19 サロン運営 I								
授業計画(哲	受業コマ単位	7)学科:15コマリ	以上目単位、実習	習・演習∶30コマ	以上/単位					20
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの搭	受業内容および打	受業コマの到達目	目標	使用	教科書・教材
第1回	第1回 ○月○日 オリエンテーション 授業の目標・目的、成績評価について理解する プレゼンテーションとは何かを理解する									
第2回	〇月〇日	話し方の基本		基本的な声の出し	方、滑舌、話すス	.ピードについて理	解する			
第3回	〇月〇日	非言語コミュニ	ケーション	表情、姿勢、視線	の重要性について	理解する				
第4回	〇月〇日	プレゼンテーシ	ョンの構成 1	導入、展開、まと	めの構成を理解す	ేఠ				
第5回	〇月〇日	プレゼンテーシ	ョンの構成2	SDS法、PREP法を理	理解する					
第6回	〇月〇日	自己紹介プレゼン	ンテーション 1	自己紹介の台本作	:成をすることがて	きる				
第7回	〇月〇日	自己紹介プレゼン	ンテーション 2	第6回の台本を元に発表を行う。発表者のフィードバックができる						
第8回	〇月〇日	商品プレゼンテー	ーション l	プレゼンテーショ	プレゼンテーションの内容を選定、アピールポイントを作成することができる					
第9回	〇月〇日	商品プレゼンテー	ーション2	プレゼンテーション内容のビジネスプランを作成することができる						
第10回	〇月〇日	商品プレゼンテー	ーション3	プレゼンテーショ	ン内容についてマ	ーケティングを行	うことができる			
第11回	〇月〇日	商品プレゼンテー	ーション4	プレゼンテーショ	ンに必要な資料作	成ができる				
第12回	〇月〇日	商品プレゼンテー	ーション5	プレゼンテーショ	ンに必要な資料作	:成ができる(第11	回の課題点の改善)			
第13回	〇月〇日	商品プレゼンテー	ーション6	お気に入り商品台	*本作成ができる					
第14回	〇月〇日	商品プレゼンテー	ーション7	プレゼンテーショ	ンリハーサルを集	施する				
第15回	〇月〇日	成績判定試験		成績判定試験:お	気に入り商品のフ	゚レゼンテーション				
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	己試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に気	さめる。 21.
④授業態度 携⑥プレゼンテー	導入、展開出物及び出席ション お	開、まとめの構成 客状況を成績に反 気に入り商品のプ	映する レゼンテーション	ンができる						
	・下表の配分9 方法\該当す	%で按分し総合点 る観点→	<u>60点以上を合札</u> 知識・理解	<u> </u>	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績調	平価基準
①成績判定試験		.,	/*FHM *1±/7*	2位	1×1-n. VEV HV	ILNIX	1位	50	秀(S):100点	
②確認テスト	·			- 1-22			* 1:24	なし	優(A): 89点	
③課題レポート	`							なし	良(B): 79点	
④授業態度					2位	1位		10	可 (D) : 69点	
⑤作品									不可 (E):59点	以下
⑥プレゼンテー	ション			2位 1位 40						
	上記の	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	をつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	補修、追	試の有無等
シラバス作成者	プラバス作成者 フルネームを記載 シラバス承認 者			フルネームを記	載	授業担当教員	フルネームを記述 学校HP内の実		介ページのリン:	クを記載
更新履歴				<u> </u>		人 3万 小工 何大 小口 ノ	1 1/2-11 130/大	*****************************	,,	— HC-9N
シラバス	 更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者	台(確認者)
改1										
改2										
改3										
改4										
ux.u	i e									

1	学科夕 2.									
科目名		硬筆書写		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペペシャリスト科		学年	I学年
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	該当なし		
教育課程区 ^{7.} 分		選択	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし		
科目の概要(全コマ数を俯瞰	11数して)	硬筆書写の基礎的 当該内容は就職》		を教授する 客応対の際に役	立つ					
科目の到達目 (教育課程の位	置づけ)	履歴書、お客様・				職、技術として位 のよい手書き文字				
受講条件	13	YIC京都ビューテ								
教科書名		協会	3格のポイント (* ック 著者川端比/						クボールペン黒0.	5
設備名・機器	16 景名	ホワイトボード			関連サイト 一般財団法人 日本書写技能検定協 https://www.nihon-shosha.or.jp/					
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	サロン運営 I			
授業計画(授業コマ単位)学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位										
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの搭	業内容および招	受業コマの到達!	■ 標	使用教	枚科書・教材
第1回	4月14日		授業コマの主題(タイトル)					便率書与模定3歳 ペン習字ハンド 無地レポート用	文合格のホイント ブック 紙R5	
第2回	4月21日	楷書の基礎・基準	本 I	楷書の基礎につい					ゲルインクボー 使業書与検定3級 ベン習字ハンド 無地レポート用	ルベン里0.5 対合格のポイント ブック 紙R5
第3回	4月28日	楷書の基礎・基準	本Ⅱ	楷書で手書き文字	をバランスよく書	くことができる			ゲルインクボー 便事書与便足3根 ペン習字ハンド 無地レポート用	ブック 紙R5
第4回	5月12日	平仮名・片仮名の	の基礎・基本Ⅰ	平仮名・片仮名の	正しい書き方を理	解する			ゲルインクボー 使業書与検定3線 ペン習字ハンド 無地レポート用	ブック 紙R5
第5回	5月19日	平仮名・片仮名の	の基礎・基本Ⅱ	平仮名・片仮名を	手書き文字でバラ	ンスよく書くこと	ができる		ゲルインクボー 使事	ブック 紙B5
第6回	5月26日	横書きの基礎・	基本	横書きの正しい書	き方を理解する				使業書与模定3級 ペン習字ハンド 無地レポート用 ゲルインクボー 使業書与模定3級	ブック 紙R5
第7回	6月2日	行書の基礎・基準	本 I	行書の書き方について理解する						対合格のホイント ブック 紙B5 ルベン里0.5 な合格のホイント
第8回	6月9日	行書の基礎・基準	本Ⅱ	行書で手書き文字	をバランスよく書	くことができる			使率書与快定3歳 ベン習字ハンド 無地レポート用 ゲルインクボー 使業書与快定3歳	ブック 紙R5
第9回	6月16日	縦書きの基礎・	基本I	縦書きの正しい書	き方について理解	する			使率書与快定3歳 ペン習字ハンド 無地レポート用: ゲルインクボー 使率書与快定3歳	ブック 紙B5
第10回	6月23日	縦書きの基礎・	基本Ⅱ	縦書きで手書き文	字をバランスよく	書くことができる			(収率音号快定3版 ペン習字ハンド 無地レポート用: ゲルインクボー 使業書与検定3級	ブック 紙R5
第11回	6月30日	添え状の書き方		就職活動、インタ	ーンシップに向け	た添え状をバラン	スよく美しく書くこ	ことができる	ペン習字ハンド 無地レポート用 ゲルインクボー 使業書与使足3組	ブック 紙R5
第12回	7月7日	履歴書の書き方		就職活動の履歴書	をバランスよく美	しく書くことがで	きる		ベン習字ハンド 無地レポート用 がセンクボー 便筆書与模定3米	ブック 紙B5 ルペン里0 5
第13回	7月14日	お礼状の書き方		お客様へのお礼状	をバランスよく美	しく書くことがで	きる		ペンマンド 無地レポート用 ゲルインクボー 使事者与使足3服	ブック 紙B5
第14回	7月28日	硬筆書写まとめ		1~13回の授業を	復習し理解度を高	める			ペン習字ハンド 無地レポート用 ゲルインクボー 便筆書与模定3線	ブック 紙R5
第15回	8月4日	成績判定試験		成績判定試験実施 目標:縦書き、横		な大きさで的確な〕	正しい字を書くこと	ごができる	ペン習字ハンド 無地レポート用 ゲルインクボー	ブック 紙B5 ルペン里0 5
成績評価方法		の到達目標に対す	る評価基準と評価	西方法)…「筆記	記試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」	の評価等は別に定	Eめる。 21.
成績判定試験: 確認テスト: 小 授業態度: 授業	筆記試験 は	50分 点を合計し、全体 兄及び態度を評価 %で按分し総合点	する							
	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績到	F価基準
①成績判定試勵		.,	l位	2位	124 G 102 HV	101,5	1/1/10 X//U	70	秀 (S):100点	
②確認テスト	•		2位	2位				10	優(A): 89点	
③課題レポート	•							なし	良(B): 79点	
④授業態度					2位	1位		20	可 (D) : 69点	
⑤作品				21 <u>班 11班 20</u> なし					不可(E):59点」	
⑥プレゼンテ ー	-ション			なし						
		の判定方法がどの	観点に属するギ	ものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合					再制!	験 1 回
			,			1	1.111##75		1 2 112 11	
シラバス作成者	福本真弓		シラバス承認 者			授業担当教員 実務経験紹介	上川華代 該当なし			
更新履歴	1									
シラバス	 更新履歴	更新	更新理由 更新箇所 作成者 Check者(確認者				(確認者)			
改1										
改2										
改3										
改4		ļ								
改5										

4	サロン運営 I 学科名 ^{2.} (コース名)			ホ コツ.	ストコース		2学年
天	習 学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分 なし		.1
選	択 単位数	3. 2	時間数	60	該当資格名称 該当資格名称	該当なし	
11.			いて教授する	l			
12. 標 置づけ)	お客様に満足していただける施	術内容を考えて施	術することがで		卒業後に必要な知識・技術を習得す	る科目。	
13.				生籍していること			
14.	該当なし			教材名 15	オリジナルPowerPoint/オリジナル	レプリント	
16. 名	フットチェア			17 関連サイト	https://www.yic-kyoto-beauty.	ac.jp/blog	
関連前科目 ^{18.} ネイル I · ネール I ·							
業コマ単位)	- 学科:15コマ以上目単位、実習・	演習:30コマ以上	/単位	•			2
開講日	授業コマの主題(タイトル)	:	各時間ごとの搭	業内容および摂	受業コマの到達目標	使用教	科書・教材
4月18日	オリエンテーション	授業の目的、目標	(、評価方法につい	て理解する			
4月18日	サロン考案 I	事業計画書を作成	なすることができる	5			
4月25日	サロン考案Ⅱ	サロンメニュー内	容を考案すること	こができる			
4月25日	サロン考案Ⅲ	サロン施術内容を	:考案することがで	ごきる		オリジナルプ	リント
5月9日	サロン広告 I	パンフレット、ベ	ペーパーアイテムを	作成することがで		オリジナルプ	リント
5月9日	サロン広告Ⅱ	パンフレット発送	準備ができる	オリジナルプ	リント		
5月16日	サロン広告Ⅲ	メニュー内容施術	オリジナルプ	リント			
5月16日	サロン技術 I	メニュー内容施術	オリジナルプ	リント			
					オリジナルプ	リント	
					オリジナルプ	リント	
					目ができる(施術者)	オリジナルプ	リント
		111111					
		1					
		111111)改善ができる(被	施術者)	オリジナルPov	verPoint
						オリジナルPov	verPoint
6月13日	プレオープンⅡ	教職員をモデルに	:サロンメニュー0)施術ができる		オリジナルPov	verPoint
6月20日	オープン準備Ⅰ	プレオープンでの)課題点、改善点の)共有を行う		オリジナルPov	verPoint
6月20日	オープン準備Ⅱ	お出迎え〜お見送	りまでの流れを剝	延施する		オリジナルPov	verPoint
6月27日	サロン営業I①	営業1日目 ご予	約いただいたお客	様に施術を行う		オリジナルPov	verPoint
6月27日	サロン営業 I ②	営業1日目 施術	アンケートをご記	入いただき、次回6	D課題点の発見を行う	オリジナルPov	verPoint
7月4日	サロン営業Ⅱ①	営業2日目 ご予	約いただいたお	F様に施術を行う		オリジナルPov	verPoint
7月4日	サロン営業Ⅱ②	営業2日目 施術	デアンケートをご言	己入いただき、次回	の課題点の発見を行う		
7月11日	サロン営業Ⅲ①	営業3日目 ご予	約いただいたお客	F様に施術を行う			
7月11日	サロン営業Ⅲ②	営業3日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う					
7月18日	サロン営業IV①	営業4日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う					
7月18日	サロン営業IV②	営業4日目 施術	アンケートをご言	己入いただき、次回	の課題点の発見を行う		
7月24日(木)	サロン営業V①	1年生合同授業① モデルにサロンメニューの施術ができる				オリジナルプ	リント
7月24日 (木)	サロン営業 V②	1年生全国授業① 旅街製価をデに課題占の発見を行う オリジ				オリジナルプ	リント
7月31日 (木)	サロン営業VI①	1年生合同授業② モデルにサロンメニューの施術ができる オリジナルプリント オリジナルPowerPoint					リント
7月31日(木)	サロン運営まとめ	サロン運営振り返	5りを行い、レポ-	- ト提出(成績評価	j) ができる	オリジナルプ	リント
	(して) 標点(け) 13. 14. 16. 16. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19	11.	11. サロン運営における企画、運営、接客、施術につつ 当該内容は現場での接客、施術に役立つ お客様に満足していただける施術内容を考えて施サロン運営の企画・運営を組織的に実施すること 13. YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリ 14. 該当なし 16. フットチェア 18. ネイル I・ネイル I・ネイル II・ネイル II・ネイル II・ネース II・ストース II	# 11.	11. サロン素質における企画、深飲、終象、施術について教授する 当該内容に現場での接象、施術に役立つ	11.	1.1.

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

出席率80%以上及び ①接客技術:お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート:サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べることができる ③授業態度:提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度:施術教、予約数を成績に反映する 上記録価点数を下表の配分&で始分し総合点60点以上を全核とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①接客技術				2位	1位	25	秀(S):100点~90点
②課題レポート	2位	1位				25	優(A): 89点~80点
③授業態度			1位	2位		25	良(B): 79点~70点
			58				YIC京都ビューティ専門学校

④サロン貢献度	ŧ				l位	2位		25	可 (D) : 69点~60点
⑤作品								なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテ-	-ション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。								不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成	海上 まっ		シラバス承認		42	授業担当教員	新宮恵理菜		
者	シラバス作成 者 福本真弓		者	シラバス承認 オ オ		実務経験紹介	該当なし		
更新履歴									
シラバン	ス更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者(確認者)
改1									
改2									
改3					•	•			
改4					•	•		•	
改5	改5				•	•		•	

科目名	サロン運営 I			学科名 ^{2.} (コース名)	/ / / / / / / / / / / / / / / / / /			学年	2学年
受業形態 4.	実	習	学期	前期	開講年月	5. 4月	該当資格区分なし		
改育課程区 7.	選	択 .	8. 単位数	2	時間数	9. 60	10. 該当資格名称	該当なし	
斗目の概要 全コマ数を俯瞰	11.	サロン運営における当該内容は現場では			いて教授する				
科目の到達目 対育課程の位置		当該科目の教育課料 お客様に満足してい サロン運営の企画	いただける施 術	5内容を考えて施	術することがで	るとともに、将来 きる	卒業後に必要な知識・技術を	を習得する科目。	
講条件	13.	YIC京都ビューティ	専門学校ビュ	ーティスペシャリ	ノスト科2年生に	在籍していること			
放科書名	14.	該当なし				リジナルプリント			
投備名・機器	16. 機器名 施術用ベッド					17 関連サイト	https://www.yic-kyoto-	beauty.ac.jp/blog	
関連前科目	18.	エステ(ボディ)				型連後科目	サロン運営Ⅱ		
受業計画 (授	業コマ単位)	▲ 学科:15コマ以上目	単位、実習・泡		./単位	- !	<u> </u>		
回(コマ)	開講日	授業コマの主題	(タイトル)	:	各時間ごとの	授業内容および打	受業コマの到達目標	使用	教科書・教材
第1回	4月25日	オリエンテーショ	ン	授業の目的、目標	、評価方法につ	いて理解する		オリジナル	プリント
第2回	4月25日	サロン考案I		事業計画書を作成	なすることができ	ర		オリジナル	プリント
第3回	5月9日	サロン考案Ⅱ		サロンメニュー内	容を考案するこ	とができる		オリジナル	プリント
第4回	5月9日	サロン考案Ⅲ		サロン施術内容を	:考案することが	できる		オリジナル	プリント
第5回	5月16日	サロン広告 I		パンフレット、ベ	ペーパーアイテム	オリジナル	プリント		
第6回	5月16日	サロン広告Ⅱ		パンフレット発送	準備ができる	オリジナル	プリント		
第7回	5月22日 (木)	サロン広告Ⅲ		パンフレットを発送することができる。300件以上ポスティングができる				オリジナル	プリント
第8回	5月22日 (木)	サロン技術 I		接客、施術マニュアルを作成することができる				オリジナル	プリント
第9回	5月23日	サロン技術Ⅱ		相モデルでサロンメニューの施術を行う(施術者)				オリジナル	プリント
第10回	5月23日	サロン技術Ⅲ		相モデルでサロン	メニューの施術	を行う(被施術者)		オリジナル	プリント
第11回	5月30日	サロン技術IV		サロンメニューの	タイム計測を行	い、問題点の発見が	できる(施術者)	オリジナル	プリント
第12回	5月30日	サロン技術V		サロンメニューの	タイム計測を行	い、問題点の発見が	できる(被施術者)	オリジナル	プリント
第13回	6月6日	サロン技術VI		サロンメニュー施	術の問題点の改	善ができる(施術者	÷)	オリジナル	プリント
第14回	6月6日	サロン技術VII		サロンメニュー施	術の問題点の改	善ができる(被施術	者)	オリジナル	プリント
第15回	6月13日	プレオープン I		サロン営業準備を	:行う			オリジナル	プリント
第16回	6月13日	プレオープンⅡ		教職員をモデルに	サロンメニュー	の施術ができる		オリジナル	プリント
第17回	6月19日 (木)	オープン準備 I		プレオープンでの	課題点、改善点	の共有を行う		オリジナル	プリント
第18回	6月19日 (木)	オープン準備Ⅱ		お出迎え〜お見送	りまでの流れを	実施する		オリジナル	プリント
第19回	6月20日	サロン営業I①		営業1日目 ご予	約いただいたお客	客様に施術を行う		オリジナル	プリント
第20回	6月20日	サロン営業 I ②		営業1日目 施術	アンケートをご言	己入いただき、次回の	の課題点の発見を行う	オリジナル	プリント
第21回	6月27日	サロン営業Ⅱ①		営業2日目 ご予	·約いただいたお	客様に施術を行う		オリジナル	プリント
第22回	6月27日	サロン営業Ⅱ②		営業2日目 施術	jアンケートをご	記入いただき、次回	の課題点の発見を行う	オリジナル	プリント
第23回	7月4日	サロン営業Ⅲ①		営業3日目 ご予	約いただいたお	客様に施術を行う		オリジナル	プリント
第24回	7月4日	サロン営業Ⅲ②		営業3日目 施術	jアンケートをご	記入いただき、次回	の課題点の発見を行う	オリジナル	プリント
第25回	7月11日	サロン営業IV①		営業4日目 ご予	約いただいたお	客様に施術を行う		オリジナル	プリント
第26回	7月11日	サロン営業IV②		営業4日目 施術	jアンケートをご	記入いただき、次回	の課題点の発見を行う	オリジナル	プリント
第27回	7月18日	サロン営業V①		営業5日目 ご予	約いただいたお	客様に施術を行う		オリジナル	プリント
第28回	7月18日	サロン営業V②		営業5日目 施術	jアンケートをご	記入いただき、次回	の課題点の発見を行う	オリジナル	プリント
第29回	7月25日	サロン営業VI①		営業6日目 ご予	·約いただいたお	客様に施術を行う		オリジナルプリント	
第30回	7月25日	サロン運営まとめ		営業6日目 施術 レポート提出(成		オリジナル	プロント		

出席率80%以上及び ①接客技術:お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート:サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べることができる ③授業態度:提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度:施術数、予約数を成績に反映する 上記延価占数を下表の配分&で球分し終金占60占以上を全核とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①接客技術				2位	1位	25	秀(S):100点~90点
②課題レポート	2位	l位				25	優(A): 89点~80点
			58				YIC京都ビューティ専門学校

					1	1	1	1	1	
③授業態度					1位	2位		25	良(B): 79点~70点	
④サロン貢献度					1位	2位		25	可(D): 69点~60点	
⑤作品								不可(E):59点以下		
⑥プレゼンテー	ション							なし		
	上記の	判定方法がどの観	見点に属するもの	か、優先順位をつ	つける。上位1位	~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成 福本真弓			シラバス承認	プルネームを記載		授業担当教員	福本真弓・竹縄恵理			
者	仙 本具与		者	ノルネームを記す	1	実務経験紹介	https://www.y	uty.ac.jp/voice/fukumoto/		
更新履歴			•	•		•				
シラバス	東新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者(確認者)	
改1										
改2										
改3										
改4										

改5

			1 2										
科目名		サロン運営 I		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペシャリスト科		学年	2学年			
授業形態 4.	実	習	学期	後期	開講年月 5.	1月	該当資格区分	亥当資格区分。なし					
教育課程区 ^{7.} 分	選	択	単位数 8.	2	時間数	60	該当資格名称 該当なし						
科目の概要 (全コマ数を俯瞰		サロン運営における企画、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ											
科目の到達目 (教育課程の位)	当信	コンドロー・ 通信 の では、											
受講条件	13.	YIC京都ビューテ	ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	スト科に1年以上	:在籍しているこ	と						
教科書名		該当なし				15. 教材名	オリジナルPowe	rPoint/オリジナル	プリント				
設備名・機器	16. 署名	施術用ベッド、抗	施術用鏡、施術用	抓		17. 関連サイト	https://www.y	vic-kyoto-beauty.a	ac.jp/blog				
関連前科目	前科目 ^{18.} サロン運営 l 関連後科目 ^{19.} サロン運営 I												
授業計画(授	受業コマ単位)等	学科:15コマ以上	目単位、実習・液	寅習:30コマ以上	/単位					20.			
回(コマ)	マ) 開講日 授業コマの主題(タイトル) 各時間ご					受業内容および授業コマの到達目標 使用教科書・教材				科書・教材			

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回		オリエンテーション	授業の目的、目標、評価方法について理解する (全コース)	オリジナルプリント
第2回		サロン考案I	事業計画書を作成することができる (全コース)	オリジナルプリント
第3回		サロン考案Ⅱ	サロンメニュー内容を考案することができる(全コース)	オリジナルプリント
第4回	サロン考案Ⅲ		サロン施術内容を考案することができる (全コース)	オリジナルプリント
第5回	回 サロン広告 I		パンフレット、ペーパーアイテムを作成することができる(全コース)	オリジナルプリント
第6回		サロン広告Ⅱ	パンフレット発送準備ができる(全コース)	オリジナルプリント
第7回		サロン広告Ⅲ	パンフレットを発送することができる。300件以上ポスティングができる(全コース)	オリジナルプリント
第8回		サロン技術 I	接客、施術マニュアルを作成することができる(全コース)	オリジナルプリント
第9回		サロン技術Ⅱ	相モデルでサロンメニューの施術を行う(施術者)(全コース)	オリジナルプリント
第10回		サロン技術Ⅲ	相モデルでサロンメニューの施術を行う(被施術者)(全コース)	オリジナルプリント
第11回		サロン技術IV	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる (施術者) (全コース)	オリジナルプリント
第12回		サロン技術V	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる(被施術者)(全コース)	オリジナルプリント
第13回		サロン技術VI	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる (施術者) (全コース)	オリジナルプリント
第14回		サロン技術VII	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる(被施術者) (全コース)	オリジナルプリント
第15回		プレオープン I	サロン営業準備を行う(全コース)	オリジナルプリント
第16回		プレオープンⅡ	教職員をモデルにサロンメニューの施術ができる (全コース)	オリジナルプリント
第17回		オープン準備 I	プレオープンでの課題点、改善点の共有を行う(全コース)	オリジナルプリント
第18回		オープン準備Ⅱ	お出迎え~お見送りまでの流れを実施する (全コース)	オリジナルプリント
第19回		サロン営業 I ①	営業1日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う (全コース)	オリジナルプリント
第20回		サロン営業 I ②	営業1日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う(全コース)	オリジナルプリント
第21回		サロン営業Ⅱ①	営業2日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う(全コース)	オリジナルプリント
第22回		サロン営業Ⅱ②	営業2日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う(全コース)	オリジナルプリント
第23回		サロン営業Ⅲ①	営業3日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う(全コース)	オリジナルプリント
第24回		サロン営業Ⅲ②	営業3日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う(全コース)	オリジナルプリント
第25回		サロン営業IV①	営業4日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う(全コース)	オリジナルプリント
第26回		サロン営業IV②	営業4日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う(全コース)	オリジナルプリント
第27回	27回 サロン営業 V ①		営業5日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う (全コース)	オリジナルプリント
第28回	28回 サロン営業V②		営業5日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う(全コース)	オリジナルプリント
第29回		サロン営業VI①	営業6日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う(全コース)	オリジナルプリント
第30回		サロン運営まとめ	営業6日目 施術アンケートをご記入いただき、サロン営業全体の振り返りを行う レポート提出(成績評価)(全コース)	オリジナルプリント

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

出席率80%以上及び ①接客技術:お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート:サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べることができる ③授業態度:提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度:施術数、予約数を成績に反映する 上記述価点数を下素の配分公で按分1.終今点60点以上を全核とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①接客技術				2位	1位	25	秀(S):100点~90点
②課題レポート	2位	1位				25	優(A): 89点~80点
			58				YIC京都ビューティ専門学校

					1	1	1	1	1	
③授業態度					1位	2位		25	良(B): 79点~70点	
④サロン貢献度					1位	2位		25	可(D): 69点~60点	
⑤作品								不可(E):59点以下		
⑥プレゼンテー	ション							なし		
	上記の	判定方法がどの観	見点に属するもの	か、優先順位をつ	つける。上位1位	~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成 福本真弓			シラバス承認	フルネームを記載		授業担当教員	福本真弓・竹縄恵理			
者	仙 本具与		者	ノルネームを記す	1	実務経験紹介	https://www.y	uty.ac.jp/voice/fukumoto/		
更新履歴			•	•		•				
シラバス	東新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者(確認者)	
改1										
改2										
改3										
改4										

改5

科目名		サロン運営Ⅲ		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペペシャリスト科		学年	2学年
授業形態 4.	実	習	学期	後期	開講年月 5.	1月	該当資格区分。なし	•		•
教育課程区 ^{7.} 分	選	択	単位数 8.	2	9. 時間数	60	該当資格名称		該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11.		る企画、運営、接 の接客、施術に役	客、施術について 立つ	教授する					
科目の到達目 (教育課程の位)		お客様に満足して	いただける施術内	けは学則上の卒業 容を考えて施術す 実施することがで	ることができる	ちに、将来卒業後	に必要な知識・技術を習	得する科目。		
受講条件	13.	YIC京都ビューティ	ィ専門学校ビュー	ティスペシャリスト	ト科1年以上在籍して	ていること				
教科書名	14.	該当なし				15 教材名	オリジナルPowerPoint/	/オリジナルプリ	ント	
設備名・機器	16. 器名	施術用ベッド、施	術チェア			17 関連サイト	https://www.yic-kyoto	-beauty.ac.jp/blo	og	
関連前科目	18.	サロン運営Ⅱ				19 関連後科目	該当なし			
授業計画(哲	受業コマ単位)学	- 学科:15コマ以上	目単位、実習・液	寅習:30コマ以上	:/単位		l			20
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの授	業内容および搭	受業コマの到達目標		使用教	科書・教材
第1回		サロン営業 1		営業1日目 ご予	約いただいたお客様	兼に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第2回		サロン営業2		営業1日目 施術	アンケートをご記フ	いただき、次回の	の課題点の発見を行う	7	オリジナルプ	リント
第3回		サロン営業3		営業2日目 ご予	5約いただいたお客	様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第4回		サロン営業4		営業2日目 施術	「アンケートをご記	入いただき、次回	の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第5回		サロン営業5		営業3日目 ご予	5約いただいたお客	様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第6回		サロン営業6		営業3日目 施術	「アンケートをご記	入いただき、次回	の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第7回		サロン営業7		営業4日目 ご予	5約いただいたお客	様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第8回		サロン営業8		営業4日目 施術	「アンケートをご記	入いただき、次回	の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第9回		サロン営業9		営業5日目 ご予	5約いただいたお客	様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第10回		サロン営業10		営業5日目 施術	「アンケートをご記	入いただき、次回	の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第11回		サロン営業11		営業6日目 ご予	5約いただいたお客	様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第12回		サロン営業12		営業6日目 施術	「アンケートをご記	入いただき、次回	の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第13回		サロン営業13		営業7日目 ご予	5約いただいたお客	様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第14回		サロン営業14		営業7日目 施術	「アンケートをご記	入いただき、次回	の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第15回		サロン営業15		営業8日目 ご予	約いただいたお客	様に施術を行う		7	オリジナルプ	リント
第16回		サロン営業16		営業8日目 施術	「アンケートをご記	入いただき、次回	の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第17回		サロン営業17		営業9日目 ご予	5約いただいたお客	様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第18回		サロン営業 18		営業9日目 施術	「アンケートをご記	入いただき、次回	の課題点の発見を行う	7	オリジナルプ	リント
第19回		サロン営業 1 9		営業10日目 ご	ご予約いただいたお	客様に施術を行う		7	オリジナルプ	リント
第20回		サロン営業20		営業10日目 施	重術アンケートをご	記入いただき、次	回の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第21回		サロン営業21		営業11日目 ご	ご予約いただいたお	客様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第22回		サロン営業22		営業11日目 施	重術アンケートをご	記入いただき、次	回の課題点の発見を行う	7	ナリジナルプ	リント
第23回		サロン営業23		営業12日目 ご	ご予約いただいたお	客様に施術を行う		7	オリジナルプ	リント
第24回		サロン営業24		営業12日目 施	重術アンケートをご	記入いただき、次	回の課題点の発見を行う	7	オリジナルプ	リント
第25回	サロン営業25			営業13日目 ご	ご予約いただいたお	客様に施術を行う		7	ナリジナルプ	リント
第26回				営業13日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う 営業13日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う					ナリジナルプ	リント
第27回									オリジナルプ	リント
第28回				営業14日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う オリジナルプリン					リント	
第29回		サロン営業29		営業15日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う オリジナルプリント					リント	
第30回		サロン営業30		営業15日目 施 レポート提出(成	抵術アンケートをご 対績評価)	記入いただき、サ	ロン営業全体の振り返り	を行う	ナリジナルプ	リント

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

出席率80%以上及び ①接客技術:お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート:サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べることができる ③授業態度:提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度:施術数、予約数を成績に反映する 上記録価占数を下表の配合%で排分し終金も60点以上を全体とする

上記証価占数を下表の配分%で按分し終合占60	占川トな合枚レー	ナス					
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①接客技術				2位	1位	25	秀(S):100点~90点
②課題レポート	2位	l位				25	優(A): 89点~80点
③授業態度			l位	2位		25	良(B): 79点~70点
④サロン貢献度			1位	2位		25	可(D): 69点~60点

⑤作品								なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテ-	ーション							なし	
	上記の半	削定方法がどの観	見点に属するもの	か、優先順位を	つける。上位1位 [.]	~降順。		不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	短十萬日		シラバス承認	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	#	授業担当教員			
者	個 本具与		者	バス承認 フルネームを記載		実務経験紹介			
更新履歴	-								
シラバ	ス更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Check者(確認者)
改1									
改2									
改3									
改4		•			•			•	
改5									·

科目名 1	-	イベントプロデュ	ース	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	スペシャリスト科		学年	学年
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5	10月	該当資格区分.	該当なし	•	•
教育課程区 ^{7.} 分		選択	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11数して)	イベント企画段	階からプロセスを トの活動の企画力	:経て目標達成の 対・実行力・協調性	為に最高のパファ 性など社会人とし	ォーマンスが発揮 _ン て役立つ	10. 出来るようイベン	/トのノウハウや	プランニング方法	芸等を教授する。
科目の到達日 (教育課程の位	置づけ)	が役割に対する		ウハウを身に付い ・ム全体の力を発持			が来場者にどう評	P価されたかを調	査・分析しグルー	-プワークで各自
受講条件	13		ーティ専門学校ヒ		ャリスト科に在籍	 ひていること				
教科書名	14	該当なし				数材名 15	該当なし			
設備名・機器		該当なし				17 関連サイト	該当なし			
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	該当なし			
授業計画(持	受業コマ単位	() 学科:15コマ	以上目単位、実習	■・演習:30コマリ	以上/単位	-				20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	受業内容および	受業コマの到達目	目標	使用教	科書・教材
第 1回	〇月〇日	授業ガイダンス		2025年度のイベン	トについて理解す	T &			正式な名称を記	記述する。
第 2回	〇月〇日	イベント	について	イベントの意義に	ついて理解する					
第 3回	〇月〇日	イベン	トの目的	イベントを実施す	る側に明確な『目	目的』がある事を理	解する			
第 4回	〇月〇日	プランニングと	と運営について	プランニング(計	画性)の重要性と	運営について理解	!する			
第 5回	〇月〇日	イベント	企画会議	実際の行事の企画	会議を実施する	(ほりかわ祭)				
第 6回	〇月〇日	イベント運営の	グループワーク	イベント運営とグ	゛ループワーク(ほ	ほりかわ祭)				
第 7回	〇月〇日	イベント運営のシ	ンミレーション①	運営シュミレーシ	ョン(ほりかわ务	₹)				
第 8回	〇月〇日	イベント運	営の実際①	ほりかわ祭につい	T①					
第 9回	〇月〇日	ベントプロデュー	ースの分析と展望	ほりかわ祭につい	て②					
第 10回	〇月〇日	イベント	企画会議	実際の行事の企画	会議を実施する	(就職egg)				
第 11回	〇月〇日	イベント運営の	グループワーク	イベント運営とグ	ループワーク(京	t職egg)				
第 12回	〇月〇日	イベント運営のシ	ンミレーション②	運営シュミレーシ	ョン (就職egg)	を実施する				
第 13回	〇月〇日	イベント運	営の実際②	学生ショー準備①)					
第 14回	〇月〇日	ベントプロデュー	ースの分析と展望	学生ショー準備②)					
第 15回	〇月〇日	学生ショ	ョー実施	学生ショー実施						
第回	〇月〇日	↓以降は行数	敗を増やす。							
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	面方法)…「筆記	【試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	評価等は別に定め	かる。 ^{21.}
授業態度 提出	接客販売コン	ンテスト審査表を への出席状況を評 6で按分し総合点	価する	- #1 11-1 / -						
	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評値	価基準
①成績判定試驗	è		1位	2位				70	秀(S):100点~	90点
②確認テスト		-	2位	2位	-				優(A): 89点~	
③課題レポート					0.44-	1.11			良(B): 79点~	
④授業態度⑤作品					2位	1位			可(D): 69点~ 不可(E):59点以	
⑥プレゼンテー	-ション							なし	(2) / ooms	• •
	上記	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	さつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	補修、追試	の有無等
シラバス作成 者	奥谷千晴		シラバス承認 者	フルネームを記載	鼤	授業担当教員	フルネームを記録		\$ ^°3*\0.11.\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	た打掛
更新履歴						実務経験紹介	子伙ロド内の実	物在映教員の紹介	^{个ページのリンク}	て記載
シラバス	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者(確認者)
改1										
改2 改3										
改4										
改5		İ								

科目名		企業研究		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティフ	スペシャリスト科		学年]学年	
授業形態 4.		講義	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	該当なし		<u>.L</u>	
教育課程区7.		選択	単位数 8.	1	時間数	. 30	該当資格名称	該当なし			
科目の概要(全コマ数を俯	1 11 敢して)		ではどのような業	 	関連業種などに	ついて調査、ビュ	10 ーティ業界での勍	•			
科目の到達 (教育課程の位		ビューティ業界 習意欲を高め就		って業界内の様々	な職種を知る。	またそこで求めら	れる人物像、知識	歳などを各自が明	確にイメージする	ることによって学	
受講条件	13		ーティ専門学校と	ごューティスペシ	ャリスト科に在第	籍していること					
教科書名	14	該当なし				教材名	該当なし				
設備名・機能		該当なし				17 関連サイト	該当なし				
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	該当なし				
授業計画(打	受業コマ単位	7)学科:15コマ.	以上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位	•				20.	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの搭	受業内容および持	受業コマの到達日	目標	使用教	使用教科書・教材	
第 l回	〇月〇日	ガイダンス		美容業界がどのよ	うなものか理解す	する			該当なし		
第 2回	〇月〇日	業界企業	の特徴①	上場・未上場・親	会社が他業種など	ごブライダル企業の	現在を学ぶ		該当なし		
第 3回	〇月〇日	業界企業	の特徴②	グループワークで	デビューティ企業を	を調べる			該当なし		
第 4回	〇月〇日	業界調	査発表	前回調べた企業を	:発表する				該当なし		
第 5回	〇月〇日	企業研	研究①	企業理念・社長に	こついて・改革・事	該当なし					
第 6回	〇月〇日	企業研	研究②	企業理念・社長に	こついて・改革・事	べる	該当なし				
第 7回	〇月〇日	企業社	研究③	企業理念・社長に	チャーについて調	べる	該当なし				
第 8回	〇月〇日	企業研	研究④	企業理念・社長に	こついて・改革・事	『業展開・企業カル	チャーについて調	べる	該当なし		
第 9回	〇月〇日	企業社	研究⑤	企業理念・社長に	こついて・改革・事	『業展開・企業カル	チャーについて調	べる	該当なし		
第 10回	〇月〇日	企業研	研究⑥	企業理念・社長に	ついて・改革・事	F業展開・企業カル	チャーについて調	べる	該当なし		
第 11回	〇月〇日	合同企業	業説明会	YIC京都合同企業	説明会(京都テル	該当なし					
第 12回	〇月〇日	就職情報	サイト登録	就職情報サイトエ	ントリー企業の研	肝究をする			該当なし		
第 13回	〇月〇日	履歴書の書き方・自己	LPR・エントリーシート	履歴書・エントリ	ーシートの書きた	方・注意点を理解す	· \$		該当なし		
第 14回	〇月〇日	模擬	面接	グループディスカ	1ッション・グルー	-プ面接を実施			該当なし		
第 15回	〇月〇日	模擬	面接	期末テストを実施	<u> </u>				該当なし		
第回	〇月〇日	↓以降は行勢	数を増やす。						該当なし		
成績評価方法	去(当該コマ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	己試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	評価等は別に定む	める。 ^{21.}	
授業態度 提出	接客販売コン 出物及び授業/	ノテスト審査表を への出席状況を評 るで按分し総合点	価する								
	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準	
①成績判定試験	<u>—</u>		1位	2位					秀(S):100点~		
②確認テスト ③課題レポート			1位	2位					優(A): 89点~ 良(B): 79点~		
④授業態度					2位	1位			及(D): 75点 可(D): 69点~		
⑤作品								なし	不可 (E):59点以	人下	
⑥プレゼンテ-		の判定士社がビア	組占に屋子フェ	のか 原生暗にす	とつける した!	台~除順		なし 不合格の場合	補修、追討	よの右無等	
	上記の判定方法がどの観点に属するも				- ~ いる。 工业1		フルネームを記		11110、足即	マンロボゼ	
シラバス作成 者					載	授業担当教員 実務経験紹介			トページのリンク	を記載	
更新履歴	以 4 重数 開報								AL 1 de /	/ 7/m ≟sī ±k \	
シラバス]	ス更新履歴 更新理由				更新箇所		作成	石	Check者((唯認有)	
改2											
改3											
改4 改5											

科目名		ボランティア活動	助 I	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	スペシャリスト科		学年	2学年	
授業形態 4.	i	講義	学期	通期	開講年月 5	10月	1g, 該当資格区分	該当なし	•	•	
教育課程区 ^{7.} 分	;	選択	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし			
A目の概要 (全コマ数を俯瞰	11. 敢して)		理念・目的・意義	と 現状や問題を	講義する・ボラン	ンティアの理念・	10. 目的・意義・現状		する		
科目の到達目 (教育課程の位	置づけ)		理念・ボランティ	ア活動の基本原具	則を理解する・領	実際のボランティ	ア活動に参加する	・ボランティア	活動参加の意義を	を説明できる	
受講条件	13		シャリスト科1年	三以上在籍してい	ること						
教科書名	14	該当なし				数材名 15	該当なし				
設備名・機器	16 器名	該当なし				17 関連サイト	該当なし				
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	ボランティア活!	動Ⅱ			
授業計画(哲	受業コマ単位	1)学科:15コマ	以上目単位、実習	冒・演習:30コマ	以上/単位	•				20.	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	á	各時間ごとの授	受業内容および技	受業コマの到達日	目標	使用教	科書・教材	
第 l回	〇月〇日	ボランティアのヨ	理念	無償性・自主性・	公益性				正式な名称を	記述する。	
第 2回	〇月〇日	ボランティア	舌動の基本原則	自ら進んで行動す る	る・共に支えあい	・・学びあう『見返	りを求めないより	よい社会』を理解	す		
第 3回	〇月〇日	実際のボラン	ンティア活動	ボランティア活動	について話し合う)					
第 4回	〇月〇日	ボランティア	舌動参加の意義	他人同士が様々な 合うことを理解す	シチュエーション る	/で繋がりを持ちお	互いに学びあって	生きる喜びを確かる	め		
第 5回	〇月〇日	自分にあったボラ	ランティア活動は	自分にあったボラ	ンティア活動につ	ついて考察する					
第 6回	〇月〇日	ボランティ	ィア活動①	ボランティア活動	に参加する						
第 7回	〇月〇日	ボランティ	ィア活動②								
第 8回	〇月〇日	ボランテ	ィア活動③								
第 9回	〇月〇日	ボランティ	ィア活動④								
第 10回	〇月〇日	ボランテ	ィア活動⑤	ボランティア活動	に参加する						
第 11回	〇月〇日	ボランティ	ィア活動⑥	ボランティア活動	に参加する						
第 12回	〇月〇日	ボランティ	ィア活動⑦	ボランティア活動	に参加する						
第 13回	〇月〇日	ボランティ	ィア活動⑧	ボランティア活動	に参加する						
第 14回	〇月〇日	ボランティ	ィア活動⑨	ボランティア活動	に参加する						
第 15回	〇月〇日	振り	返り	レポート作成をす	ేఠ						
第回	〇月〇日	↓以降は行数	数を増やす。								
成績評価方法	去(当該コマの	の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	『試験』における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	評価等は別に定	める。 ^{21.}	
授業態度 提出	接客販売コン は物及び授業へ	ノテスト審査表を への出席状況を評	価する								
	をト表の配分9 方法\該当す	6で按分し総合点 る観点→	60点以上を合作 知識・理解	Bとする 思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準	
①成績判定試駁			1位	2位			.=		秀 (S):100点~		
②確認テスト									憂(A): 89点~		
③課題レポート ④授業態度					2位	1位			良(B): 79点~ 可(D): 69点~		
⑤作品					7.17r	171/			可 (D)・ 69点〜 不可 (E):59点り		
⑥プレゼンテー	-ション							なし			
	上記6	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	補修、追討	式の有無等	
シラバス作成 者	フルネームを	記載	シラバス承認 者	フルネームを記	載	授業担当教員	フルネームを記		. A. 38 A. 11 S. 12	4 ± □ = . ★	
更新履歴	<u> </u>		н			実務経験紹介	子校HP内の実	務経験教員の紹介	「ハーシのリンク	で記載	
シラバス	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者((確認者)	
改1											
改2 改3											
改4											
改5	1										

科目名		ボランティア活動	カΠ	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペシャリスト科		学年	2学年	
授業形態 4.	İ	講義	学期	通期	開講年月 5	10月	該当資格区分	該当なし	<u>-</u>	-	
教育課程区 ^{7.} 分	:	選択	単位数 8.	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし			
カ目の概要 (全コマ数を俯瞰		人たちに対して、		3もてなし「ヒュ [、]		L たは国籍やLGBTQな 人間性尊重精神"					
科目の到達目 (教育課程の位		・ボランティア	を実際に体験する	サービスの実践 ことで、コミュ ボランティア活動	ニケーションと	共感の大切さを学	<i>.</i> ∵.				
受講条件	13	ビューティスペ	シャリスト科1年	三以上在籍してい	ること						
教科書名	14	該当なし				教材名	該当なし				
設備名・機器	16 器名	該当なし				17 関連サイト	該当なし				
関連前科目	18	該当なし				関連後科目	ボランティア活!	助Ⅱ			
授業計画(控	受業コマ単位	() 学科:15コマ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ	以上/単位	•	•			20.	
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)			受業内容および 技		目標	使用教	科書・教材	
第 l回	〇月〇日	オリエンテーシ ボランティア活動		ボランティアの理	念、ボランティア	ついての説明・進 7活動の社会的意義 手引きなど)や現			心のバリアフ	リーの教材	
第 2回	〇月〇日	外部講師による	講義・体験授業	ボランティア入門	講座、車椅子体影 験し、今後同様の	、手引き体験)場面に出会うこと	·MCZAFCC D		心のバリアフ	リーの教材	
第 3回	〇月〇日	振り	返り	ボランティア入門 振り返りを行う	講座、車椅子体駅	険、手引き体験を受			心のバリアフリーの教材		
第 4回	〇月〇日	具体的なポランティア	活動への参加に向けて			も ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			心のバリアフ	リーの教材	
第 5回	〇月〇日	校外学習6	D事前学習	わかるようになる		レサービスについて			心のバリアフ	リーの教材	
第 6回	〇月〇日	校外学習(ホテ	ル施設の見学)	現場での体験を通ホスピタリティを	学ぶことができる	心のバリアフ	リーの教材				
第 7回	〇月〇日	振り	返り	施設見学を受けて 振り返りを行うこ ようになる		現場で学んだこと	を理解できる		心のバリアフ	リーの教材	
第 8回	〇月〇日	校外学習6	D事前学習	事前に校外学習す イメージがわかる		ことで、ボランティ	ア活動の		心のバリアフ	リーの教材	
第 9回	〇月〇日	校外 (ボランティア	学習 活動への参加)	実際にボランティの大切さがわかる		こで、コミュニケー	ションと共感する	こと	心のバリアフ	リーの教材	
第 10回	〇月〇日	振り	返り	での再発見するこ	とができる	(とのつながり」「		がり」	心のバリアフ	リーの教材	
第 11回	〇月〇日	ボランティア	舌動の発表準備	これまでのボランティア体験を振り返り、紙面にまとめることができる これまで取り組んできたボランティア活動の内容をパワーポイントに						リーの教材	
第 12回	〇月〇日		会に向けての整理	まとめる これまで取り組ん	これまで取り組んできたボランティア活動の内容をパワーポイントに						
第 13回	〇月〇日		発表会に向けて ン練習	これまで取り組ん まとめ、発表でき 発表会のリハーサ	るように準備する	ア活動の内容をパ	ワーポイントに		心のバリアフ	リーの教材	
第 14回	〇月〇日	発表会リ	ハーサル			目信をもって当日は	発表することが		心のバリアフ	リーの教材	
第 15回	〇月〇日	発表	長会	これまでの講義・	校外学習を受けて	の発表を行う			心のバリアフ	リーの教材	
第回	〇月〇日	↓以降は行数	数を増やす。							21.	
成績評価方法	去(当該コマロ	の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	『試験』における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	の評価等は別に定	める 。	
授業態度 提出	接客販売コン は物及び授業へ	ノテスト審査表を トの出席状況を評	価する								
	方法\該当す	6で按分し総合点 る観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準	
①成績判定試駁	ê							70	秀(S):100点~	-90点	
②確認テスト								15	優 (A) : 89点~		
③課題レポート			2位	1位	214	1 [-		なし	良(B): 79点~		
④授業態度⑤作品					2位	1位		15 なし	可(D): 69点~ 不可(E):59点以		
©プレゼンテー	-ション				2位		1位	なし	, - (=)		
	上記6	の判定方法がどの	観点に属するも	のか、優先順位を	とつける。上位1	位~降順。		不合格の場合	補修、追討	の有無等	
シラバス作成 者	奥谷千晴		シラバス承認	フルネームを記	載	授業担当教員	フルネームを記				
			者			実務経験紹介	学校HP内の実	務経験教員の紹	介ページのリンク	を記載	
更新履歴 シラバス!	更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成者 Che		Check者	(確認者)	
改1											
改2											
改3 改4											
改4											

科目名 1	ソー	・シャルメディア活	舌用概論	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	スペシャリスト科		学年	2学年
授業形態 4.	į	講義	学期	後期	開講年月 5	9月	該当資格区分	該当なし	•	<u>'</u>
教育課程区 ^{7.}		選択	8. 単位数	1	時間数	30	該当資格名称		該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11.数して)		ソーシャルメラ	・ ディア活用、広告(作成の基本につい	いて教授する				
科目の到達目 (教育課程の位)		情報セキュリテム 広告データの制作)扱い及びソーシ	ャルメディアにネ	おける著作権につ	いて理解する			
受講条件	13	ビューティスペ	シャリスト科 1 年	三以上在籍してい	ること					
教科書名	14	該当なし				数材名 15	オリジナル教材			
設備名・機器		パソコン、Goog]	leクラスルーム、	Inkscape		関連サイト	html/nd124200.	umu.go.jp/johot		tepaper/ja/r03/
関連前科目	18	ビジネスと仕事の	の実践			関連後科目				
授業計画(招	受業コマ単位	() 学科:15コマリ	以上目単位、実習	習・演習:30コマ.	以上/単位					20
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	受業内容および技	受業コマの到達	目標	使用教	科書・教材
第1回	〇月〇日	情報リテラシー	I	オリエンテーショ インターネットの		理解する			オリジナル教材	त्रं
第2回	〇月〇日	情報リテラシー	П	情報セキュリティ	、個人情報の取り	扱いについて理解で	する		オリジナル教材	त्रं
第3回	〇月〇日	情報リテラシーⅠ	Ш	ソーシャルメディ	アにおける著作権	の取扱について理解	解する		オリジナル教材	rd .
第4回	〇月〇日	ソーシャルメデ	ィア活用概論 I	ソーシャルメディ	アの歴史、SNSの物	寺性について理解す	- S		オリジナル教材	
第5回	〇月〇日	ソーシャルメデ	゚ィア活用概論Ⅱ	マーケティング戦略におけるSNSの位置付け、お客様を集める具体策について考案する						材
第6回	〇月〇日	顧客分析I		身近な題材を用い	てペルソナを理解	こし顧客分析を行う			オリジナル教材	· 청
第7回	〇月〇日	顧客分析I		エステ、メイク、ネイルサロンに来店するお客様についてベルソナを用いて分析する						材
第8回	〇月〇日	キャッチコピー(について	キャッチコピーの	考え方、作り方を	学ぶ			オリジナル教材	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
第9回	〇月〇日	テキスト構成に	ついて	見やすいフォント	、テキスト構成を	学ぶ			オリジナル教材	材
第10回	〇月〇日	広告データ作成	準備 I	WEB広告に必要な素	長材を集める				オリジナル教材	·
第11回	〇月〇日	広告データ作成	準備Ⅱ	集めた素材から広	告を作成する				オリジナル教材	 ਸ਼ੇ
第12回	〇月〇日	広告データ作成	I	個人サロンのWEBD	広告を作成すること	とができる			オリジナル教材	 ਸ਼ੀ
第13回	〇月〇日	広告データ作成	П	個人サロンのWEBD	広告を作成すること	とができる			オリジナル教材	 ਸ਼ੀ
第14回	〇月〇日	広告データ作成I	Ш	個人サロンのWEBD	広告を作成すること	とができる			オリジナル教材	
第15回	〇月〇日	広告データ作成I	V	個人サロンのWEBD	広告を作成すること	とができる			オリジナル教材	 ਸ਼ੀ
成績評価方法	去(当該コマ(の到達目標に対す	る評価基準と評価	価方法)…「筆記	己試験」における	試験(出題)の適	正化(正規分布)、	「レポート」の	評価等は別に定	める。 21.
③作品 個人サ	₽の課題の提出 ●出物及び授業 ・ロン広告デー	美への出席状況を		タレオス						21.
↓判定	方法\該当す		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	
①成績判定試験	į								秀(S):100点~	
②確認テスト ③課題レポート			o #=				1 /		憂(A): 89点~ 兔(B): 79点~	
④授業態度			2位		2位	1位	1位		艮(B) · 79点~ 玎(D) : 69点~	
⑤作品			2位			- 1.25	1位		下可 (E):59点以	
⑥プレゼンテー										
	上記の判定方法がどの観点に属するも			のか、優先順位を	とつける。上位1	位~降順。	<u> </u>	不合格の場合	再試駁	1日
シラバス作成者	ノラバス作成者 福本真弓 シラバス承認			フルネームを記	載	授業担当教員	福永健			
再			者			実務経験紹介	該当なし			
更新履歴 シラバス頭	 更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者((確認者)
改1	*	2 2 1/1					TFIX名			
改2										
改3										
改4										
改5		1								

科目名 ¹	Ī	論理的思考力基礎	<u> </u>	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペシャリスト科		学年 『学年		
授業形態 4.	講	義	学期	前期	開講年月 5	4月	該当資格区分	該当なし			
教育課程区 ^{7.} 分	選	 択	単位数 8.	1	時間数	. 30	該当資格名称		該当なし		
利目の概要 (全コマ数を俯瞰	11.					ビる把握力、定量: 削力、プレゼンテ			力、意思決定、 の基礎を教授する。		
科目の到達目 (教育課程の位置)		当該科目の教育 表現力、を養う	課程における位置 ための基基礎知証	置づけは、身近な 織を習得する。	問題を解くことを	を通して、読解力	、把握力、分析力	」、選択力、予測	l力、		
受講条件	13.	YIC京都ビューテ	- ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	リスト科に在籍し						
教科書名	14.	該当なし				数材名 15.	オリジナルプリ オリジナルPowe				
設備名・機器	16. 景名	教材投影用プロコ	ジェクター/PC(記	觜師用)		17. 関連サイト					
関連前科目	18.	該当なし				関連後科目					
授業計画(授	受業コマ単位)当	≱科:15コマ以上	目単位、実習・液	寅習:30コマ以上	/単位	·-			20.		
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	f	各時間ごとの授	業内容および摂	段業コマの到達	目標	使用教科書・教材		
第1回		オリエンテーショ 数学基礎学力テス		授業の進め方・評 数学基礎学力試験		たについて説明する			数学検定試験		
第2回		速さの基礎		速さの定義、秒速 速さを求める説明		恵さと距離時間の関	係の復習		オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto		
第3回		旅人算・流水算		動くものが2つあ	るとき、2つのも	のの隔たりの推移	に関する説明をす		オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto		
第4回		割合の基礎		単位の換算、百分 する	オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto						
第5回		損益算		売買による損益に 特に利益率、値引 問題を解く。	オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto						
第6回		仕事算		単位日数や単位時間にできる仕事の量や、仕上げるのにかかる日数や時間を求める説明をす。							
第7回		計算の基礎・虫食	い算	四則計算、四則混 問題を解く	合計算、Xを使う	式、連立方程式を記	说明をする。		オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto		
第8回		順列・確立		順列・確立の基本 る	的な考え方と、係	R険・銀行の融資・	株式市場の分散投	資について説明を	オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto		
第9回		集合		集合と要素・部分	集合・空集合・関	集合・和集合・全	体集合・補集合に	ついて説明する	オリジナルPowerPoinnto		
第10回		推理		リーグ戦の勝敗・ 問題を解く	対応関係・うそつ)き問題を説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto		
第11回		面積・体積		平行四辺形の面積錐体の体積を求め	・三角形の面積・ る説明をする	オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto					
第12回		展開図		直方体・立方体・	その他の図形の周	 関図から、体積・	表面積を求める説	明をする	オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto		
第13回		把握力と分析力		業界シェアの動向]・所得税を求める	説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto		
第14回		選択力と予測力		最適な通勤ルート	はどれか・来月の)売上予想はいくら	か求める説明をす	る	オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto		
第15回		表現力		売上高を棒グラフ	'で表す・データゲ	∱布のヒストグラム	を説明する		オリジナルプリント オリジナルPowerPoint		
	(当該コマの到	達目標に対する	評価基準と評価	西方法)					21.		
②記述式問題 ③確認テスト ④授業態度、提	スの (選択問題・記述 授業内で出てきた 小テストの得点を と出物及び授業への で表の配分%でも	とワード(専門用 と合計し、全体の D出席状況を評価	成績に反映する する。								
	上表の計分 70 C1 定方法\該当する		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験	1		1位	2位				50	秀(S):100点~90点		
②確認テスト			1位	3位	2位			30	優(A): 89点~80点		
③課題レポート	•			1位	2位	3位		-	良(B): 79点~70点		
④授業態度					2位	l位		-	可(D): 69点~60点		
⑤作品	Se . S :								不可(E):59点以下		
⑥プレゼンテー		ウナナメ いっち		ふ 厚井崎山ナ	71+2 1.14114	- 攻順		なし	遠校 当計の七無効		
	上記の	門化刀法かとの衝	は尽に偶りるもの	か、優先順位をつ	ノいる。 上位1位	"呼順。	ı	不合格の場合	補修、追試の有無等		
シラバス作成 者	竹縄恵理 ・シラバス承認 者			フルネームを記	載	授業担当教員 実務経験紹介	竹縄恵理 学校HP内の実	務経験教員の紹々			
更新履歴			<u> </u>	<u> </u>		/ヘッルルエミスポロ 川	- 1/1-11 11/7/20				
	ス更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	渚	Check者(確認者)		
改1	· 八文朝政正 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —										
改2											
改3											
改4 255											

科目名	ビ:	ジネスマネジメン	٢	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペシャリスト科		学年	2学年
授業形態 4.	講	義	学期	後期	開講年月 5	9月	該当資格区分	該当なし	•	
教育課程区 ^{7.} 分	選	択	8. 単位数	1	時間数	30	10. 該当資格名称		該当なし	
利目の概要 (全コマ数を俯瞰	11.		兼かつ重要な役割			ブョンの浸透」や 浮沈の鍵を握る要(
科目の到達目 (教育課程の位			果程における位置	づけは卒業後に娘を習得する。	必要な知識を習行	导する科目。				
受講条件	13.	YIC京都ビューテ	ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	ノスト科に在籍し	ていること				
教科書名	14.	該当なし				教材名	オリジナルプリ オリジナルPowe			
設備名・機器	16. 器名	教材投影用プロジ	ジェクター/PC(請	師用)		17. 関連サイト				
関連前科目	18.	該当なし				関連後科目				
授業計画(搭	受業コマ単位)等	学科:15コマ以上	目単位、実習・演	[習:30コマ以上	/単位	-				20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	í	各時間ごとの授	受業内容および摂	受業コマの到達	目標	使用教	科書・教材
第1回		マネージャーの行	受割と心構え	·		環境について説明す			オリジナルアov オリジナルPov オリジナルア	
第2回		マネージャーの行	受割と心構え	マネージャーに求	:められるミッショ 	ンと5つの役割につ	ついて説明する		オリジナルPov オリジナルプ	werPoinnto
第3回		マネージャーの行	ひ割と心構え かいしゅうしん	マネージャーの資	質について説明す	~る			オリジナルPov	werPoinnto
第4回		マネージャーの行	役割と心構え	マネージャーの資	質について説明す	る心得について説	明する		オリジナルPov	werPoinnto
第5回		人と組織のマ	マネジメント	マネージャー自身	·のマネジメントに	こついて説明する			オリジナルフ リント オリジナル オリジナルブ	
第6回		人と組織のマ	マネジメント	コミュニケーショ	ンの重要性につい	て説明する			オリジナルPov	werPoinnto
第7回		人と組織のマ	マネジメント	部下のマネジメン	/ト、上司・外部と	このコミュニケーシ	ョンについて説明	する	オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto	
第8回		人と組織のマ	マネジメント	人材育成と人事考	課・チームマネシ	ジメントと企業組織	論について説明す		オリジナルブリント オリジナルPowerPoinnto	
第9回		業務のマネ	ネジメント	経営計画・事業計	·画の策定について	説明する			オリジナルPov	werPoinnto
第10回		業務のマネ	ネジメント	マネージャーに求	められる業務マネ	ジメント			オリジナルプ オリジナルPov	リント werPoinnto
第11回		業務のマネ	ネジメント	成果の検証と問題	発見及びその解決	R・経営に関わる基	礎知識について説	明する	オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto オリジナルプリント	
第12回		リスクのマ	ネジメント	リスクマネジメン	トの考え方とその)実践			オリジナルプ オリジナルPov	
第13回		リスクのマ	ネジメント	職場・業務に関わ	るリスクマネジメ	レト			オリジナルPov	werPoinnto
第14回		リスクのマ	ネジメント	組織に関わるリス る	クマネジメント・	事故災害時に関わ	るリスクマネジメ	ントについて説明	オリジナルプ オリジナルPov	
第15回		成績判	定試験	成績判定試験実施	i 到達目標 筆詞	記試験(選択問題・	記述問題を解くこ	とができる)	オリジナル試験	験問題
成績評価方法	(当該コマの到	達目標に対する	評価基準と評価	 方法)						21.
出席率80%以上 ①成績判定試験 記述式問題 ③④授業態度、	上及び ☆(選択問題・記述 授業内で出てきた 提出物及び授業へ		語)を記述するこ 価する。	. Ł						
	定方法\該当する		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
①成績判定試験	ì		1位	2位				60	秀(S):100点~	-90点
②確認テスト				4.71.	0.41				優(A): 89点~	
③課題レポート④授業態度	•			1位	2位 2位	1位		30 10	良(B): 79点~ 可(D): 69点~	
⑤作品								なし	不可 (E):59点以	大下
⑥プレゼンテー		加中土汁がいの知	占に屋子フェハ	か 原生晒出ナー	7HZ LH14	。. 咚順		なし	法收 冶斗	かた無等
	上記の	判定方法がどの観	ホに周りのもの	〃、 変元順位を、	ノいる。 <u> </u>	I	<i>₩</i> ₩±10	不合格の場合	補修、追討	いり用無守
シラバス作成 者	竹縄恵理		シラバス承認 者	フルネームを記む	載	授業担当教員 実務経験紹介	竹縄恵理 学校HP内の実	務経験教員の紹介	トページのリンク	を記載
更新履歴	ス更新履歴	田本:	理由	-	更新箇所	-	作成	去	Check者((確認去)
改1	、大利一度圧	史初	- 王川		火利 间 川		TEAX	(°D	UIIUM有(NERDAL /
改2										
改3 改4										
改5										

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版: 2024.7.16_YIC京都_校長

科目名		ビジネス英語		学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペペシャリスト科		学年	2学年
授業形態 4.	講	義	学期	後期	開講年月 5	9月	該当資格区分	該当なし	<u> </u>	
教育課程区 ^{7.} 分	選	 択	単位数 8.	1	時間数	30	10 該当資格名称		該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰	11.	サロンでの対応 授業は簡単な会	について色々な場 話を中心としビョ	場面で会話を教授 ロティ分野に必	ー する。 要な表現も併せて	こ教授する。				
科目の到達目 (教育課程の位			ニケーションが出 学ぶ内容をカバー		で基本的なやり耳	又りができる力を	身につける。			
受講条件	13.	YIC京都ビューテ	・ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	スト科に在籍し	ていること				
教科書名	14.	該当なし				教材名	オリジナルプリ オリジナルPowe	ント rPoint		
設備名・機器		教材投影用プロ:	ジェクター/PC(講	輔用)		17 関連サイト				
関連前科目	18.	該当なし				関連後科目				
授業計画(哲	受業コマ単位)等	学科:15コマ以上	目単位、実習・漬	寶:30コマ以上	/単位	-				20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの授	受業内容および技	受業コマの到達	目標		科書・教材
第1回		基礎英語力テス	۴	英単語・レベルチ オリエンテーショ					シラバス オリジナルPov オリジナルプ オリジナルブ	リント
第2回		Nice to	meet you	自己紹介 初対面の挨拶 相手の調スを尋ね	たり 白分の調子	-を言うことが出来	ス 相槌を打つて	レが山立る様に鉛	オリジナルPov 明 オリジナルプ	
第3回		How are you	this morning?	をする。	(たり、日ガの両寸	で日うことが出木	る、1日10Eで11 ラC	とが山木る林に武	オリジナルPov	werPoinnto
第4回		What do you do	o in your free ne?	余暇の過ごし方に 種類を尋ねたり、		答えることができ る様に説明する。	る様に説明する。		オリジナルPov	
第5回		Where are	you from?	天気の話題をきっ 出身地を尋ねたり	かけに見知らぬ人 、答える事ができ	と会話を始めるこ る様に説明する。	とが出来る様に説	明する。	オリシナル プリント オリジナル オリジナルブ	
第6回		How muc	h is it?	値段を尋ねたり、 数字を正しく言え	答えることが出来 .るように説明する	くる様に説明する。 ・。			オリジナルPov	werPoinnto
第7回		May I have you	r name please?	受付で約束がある 位置を表す表現を		が出来る様に説明 様に説明する。	する。		オリジナルブ オリジナルPov	werPoinnto
第8回		ere are is the	nearest booksto	道を尋ねたり、答	えることが出来る	様に説明する。			オリジナルプ オリジナルPov	リント werPoinnto
第9回		How was yo	ur weekend?	趣味について尋ね	たり、答えること	が出来る様に説明	する。		オリジナルPov	werPoinnto
第10回		Nice talkin	g with you.	自然に会話を終わ 色々な別れの挨拶 別れの挨拶に返答	をすることが出来	どる様に説明する。			オリジナルブ オリジナルPov	
第11回		How about som	ne paperbacks?	提案する表現が使 月や日付を正しく	別れの挨拶に返答することが出来る様に説明する。 電三者の誕生日や好きなことを尋ねたり、答えることが出来る様に説明する。 建築する表現が使える様に説明する。 引や日付を正しく言えることが出来る様に説明する。 な収を使って設備やサービスについて質問できる様に説明する。					リント werPoinnto
第12回		Do you have a	fitness center?	序数を使って何階		オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnt				
第13回		業務内で想象	定される会話	ビューティ業界に	就職し、海外のお	客様をお迎えした	際に想定される会	話の実践	オリジナルブ オリジナルPov	werPoinnto
第14回		色々な場	面の会話	自分が伝えたい事	を英語で伝えられ	る様に説明する。			オリジナルプ オリジナルPov	
第15回		成績判	定試験	成績判定試験実施	į				オリジナルプ	リント
成績評価方法	(当該コマの到	達目標に対する	評価基準と評価	西方法)						21.
②記述式問題 ③確認テスト	: 及び ((選択問題・記述 授業内で出てきか 小テストの得点を 提出物及び授業への	とワード(専門用 と合計し、全体の	成績に反映する	. Ł						
上記評価点数を	・下表の配分%で を方法\該当する	安分し総合点60		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評	価基準
①成績判定試験			1位	2位	124 G VENEV	101/2	12.10 12.70	50	秀(S):100点~	
②確認テスト			1位	3位	2位			30	優 (A) : 89点~	-80点
③課題レポート	•			1位	2位	3位		10	良(B): 79点~	
④授業態度⑥佐口					2位	1位		10	可(D): 69点~	
⑤作品⑥プレゼンテー	-ション							なし なし	不可(E):59点以	N I*
	・ゼンテーション 上記の判定方法がどの観点に属するも <i>0</i>			か、優先順位をつ	 つける。上位1位	~降順。	<u> </u>	不合格の場合	補修、追討	式の有無等
シラバス作成 者	バス作成 - 分類 シラバス承認			フルネームを記	載	授業担当教員	竹縄恵理	3女父早会老ヶ二 小ぐれ	^~_♡^U\	た記載
更新履歴	有					実務経験紹介	ナIXロド内の実	の経験教員の紹介	介ページのリンク	C RLIWA
	見歴 シラバス更新履歴 更新理由				更新箇所		作成	者	Check者((確認者)
改1										
改2 改3										
改4										
改5		İ								

授業形態 4 実習 学期 前期 開講年月 5 4月 該当資格区分 該当資格区分 該当資格区分 該当資格区分 該当なし 科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) 11. 業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を教授する。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成することを教授する。ターションを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成することを教授する。人間性を高め、基本的な生活習慣を身につける 12. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって、高い職業意識を育成する。人間性を高め、基本的な生活習慣を身につける 受講条件 13. YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること 数材名 15 オリジナルアのwerPoint オリジナルブリント 教補名・機器名 16. 数材投影用プロジェクター/PC(講師用) 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連前科目 該当なし 関連後科目 授業計画(授業コマ単位)学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位	科目名 ¹	1	ンターンシップ	I	学科名 ^{2.} (コース名)		ビューティス	ペシャリスト科		学年	2学年	
## (授業形態 4.	実	習	学期		開講年月 5	4月	該当資格区分	該当なし		l .	
等目の創業目標 (大学 アンシップ を	教育課程区 7.	選	択	8. 単位数	1	時間数 9	30	該当資格名称		該当ない		
			業界研究で得たインターンシッ	知識をもとにイン プを通じて得た彩	/ターンシップ依返 経験を体験報告を	頼、インターンさ レポートにまとめ	ンップリテラシー か、報告書を作成 [・]	- を学び、事前準備 することを教授す	 学習を教授する ⁻ る。	5.		
受講条件		目標 置づけ)	実社会に触れる	ことによって、学	習意欲を向上さ	て、高い職業意記 せる	厳を育成する。					
数目書名 該当なし 数村名 オリシチルブリント 対象性 表別 表別 表別 表別 表別 表別 表別 表	受講条件		YIC京都ビューテ	ィ専門学校ビュ	ーティスペシャリ	リスト科に在籍し	ていること					
設備名・機器名 数村校彰用プロジェクター/PC (調朗用) 関連サイト 関連的科目 18.	教科書名		該当なし				教的石	オリジナルPowe オリジナルプリ	rPoint ント			
関連称目 版当なし	設備名・機器		教材投影用プロ	ジェクター/PC(評	輔用)							
回(コマ)	関連前科目	18.	該当なし				関連後科目					
第1回 実務研修の心構え	授業計画(授	受業コマ単位)等	学科:15コマ以上	目単位、実習・海	寶習:30コマ以上。 -	/単位						20.
# 1回 実務研修の心構之 1.2 ターンシップの目的、参加の心構え、ビンネスマケー講習などを中心に使得する オリジナルアリント	回(コマ)	開講日	授業コマの主	題(タイトル)	:	各時間ごとの搭	受業内容および搭	段業コマの到達	目標		用教科書・教	.材
第2回 実務研修の依頼 等とのマッテング、日曜歴史を設明され、インダーンシップの依頼 (電話・依頼又作成) 企業 オリジナルPowerPo 第3回 接拶が・レボート作成 型け入れ企業の決定に基づき、必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なもの だする また 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第5回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 大務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 大力グランプ報告会 では、ことを認明する 本カリジナルアのwerPo が、インターンシップ報告会と必要がする は、体験報告レポートをまと オリジナルアのwerPo が、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルアowerPo が、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルアowerPo が、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルPowerPo が、インターンシップ報告書を作成することを説明する	第1回		実務研修の心構	え	インターンシップ	の目的、参加の心	構え、ビジネスマ	ナー講習などを中	心に説明する	オリジナオリジナ	ルPowerPoint ルプリント	
第3回 挨拶状・レポート作成	第2回		実務研	多の依頼	就職を希望する企 等とのマッチング	業、サロンの調査 、日程調整を説明	₹法、インターンシ 引する	ップの依頼(電話	・依頼文作成)』	E業 オリジナ	JLPowerPoinnt	0
第5回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第6回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第10回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第14回 東務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 東務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 東務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 インターンシップ報告会 クリスカースマールを表して得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまと カリジナルアのWFPの 第15回 インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルアのWFPの オリジャルアのWFPの オレス オレ	第3回		挨拶状・レ	ポート作成		皇定に基づき、必要	書類などの作成を	行いインターンシ	ップを有意義なも			0
第6回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第10回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第12回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第12回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第14回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) タけ入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 タウスルートをまと カリジナルアの場合 タウスルートをまと オリジナルアの場合 カリジナルアの場合 カレアの場合 カリジナルアの場合 カリジャルアの場合 カリ	第4回		実務	研修	受け入れ事業所で	就業体験(実習日	誌)					
第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第10回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第12回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第15回 大力を行う。それぞれが議業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまと カリジナルアリンド	第5回		実務	研修	受け入れ事業所で	就業体験(実習日	誌)					
第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第10回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第12回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第14回 大多ーンシップ報告会 では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	第6回		実務	研修	受け入れ事業所で	就業体験(実習日	誌)					
第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第10回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第12回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第14回 大クターンシップ報告会 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第14回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまどめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する 第15回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する	第7回		実務	研修	受け入れ事業所で	就業体験(実習日	誌)					
第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	第8回		実務	研修	受け入れ事業所で	就業体験(実習日	誌)					
# 第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) # 第12回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) # 第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) # 第14回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を適じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する # 第15回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する # 第 15回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する	第9回		実務	研修	受け入れ事業所で	就業体験(実習日	誌)					
第12回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第14回 インターンシップ報告会 オリジナルプリントを行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとあり、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルアのwerPo 第15回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルアのwerPo	第10回		実務	研修	受け入れ事業所で	就業体験(実習日	誌)					
第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第14回 インターンシップ報告会 オリジナルプリントを行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルアのwerPoか、インターンシップ報告会を行る。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する	第11回		実務	研修	受け入れ事業所で	就業体験(実習日	誌)					
第14回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまと め、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルアリント オリジナルPowerPo 第15回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまと め、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルPowerPo	第12回		実務	研修	受け入れ事業所で							
第14回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまと め、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルPowerPo 第15回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまと め、インターンシップ報告書を作成することを説明する オリジナルPowerPo	第13回		実務	研修	受け入れ事業所で							
第15回 インターンシップ報告会 を行う。てれてれが処果体験を通じて特だものを自己定着させる。体験教育レホートをよこ オリジナルPowerPo	第14回		インターン	ンップ報告会	を行う。それぞれ め、インターンシ	いが就業体験を通し √ップ報告書を作成	ジて得たものを自己 対することを説明す	定着させる。体験 る	報告レポートを言	まと オリジナ	JL Power Poinnt	0
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)	第15回		インターン	ンップ報告会	を行う。それぞれ め、インターンシ	いが就業体験を通し グップ報告書を作成	に得たものを自己 なすることを説明す	定着させる。体験 る	報告レポートを言	オリジナ	ルアリント ルPowerPoint	
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)												
	成績評価方法 ————————————————————————————————————	(当該コマの到	達目標に対する	評価基準と評価	五方法)							21.
出席率80%以上及び ③課題レポート 提出物を全体の成績に反映する ④授業態度、提出物及び授業への出席状況を評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする	③課題レポート ④授業態度、提	・ 提出物を全体の 出物及び授業への	D出席状況を評価									
↓判定方法\該当する観点→ 知識・理解 思考・判断 関心・意欲 態度 技能・表現 評価配分% 成績評価基	↓判划	定方法\該当する	観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成紀	責評価基準	
①成績判定試験 秀(S):100点~90点	D成績判定試験	È								秀(S):10	0点~90点	
②確認テスト 優(A): 89点~80点												
③課題レポート 1位 2位 3位 30 良(B): 79点~70点 ④授業態度 2位 1位 10 可(D): 69点~60点		•		1位	2位		1 <i>I-</i> :-					
での大来感及 1位 1位 10 可(D)・09点~00点 3作品 なし 不可(E):59点以下	_					7.17.	171/1					
®プレゼンテーション なし		-ション								(2)		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 補修、追試の有		上記の	判定方法がどの勧	点に属するもの	か、優先順位をつ	つける。上位1位	~降順。		不合格の場合	補修、	追試の有無等	É
シラバス作成者 竹縄恵理 シラバス承認者 フルネームを記載者		竹縄恵理	ジラバス承認 フルネームを			載	授業担当教員					
************************************			理 ガルネームを記載				実務経験紹介	学校HP内の実	務経験教員の紹	介ページのリ	ンクを記載	
更新履歴 シラバス更新履歴 更新理由 更新箇所 作成者 Check者(確認)		ス更新履歴	更新	理由		更新箇所		作成	者	Cher	k者(確認者)	
改I			2~471					11 724				
čt/2		-				<u> </u>						
改3 改4												
cx+ cx- cx5												

接着	
現日の概要	
報目の別達目標 (教育題の位置づけ) 実社会に始れることによって、学習意欲を向上させる (人間性を高め、基本的な生活習慣を身につける	
受講条件	
数料書名 該当なし 数材投影用プロジェクター/PC(講師用) 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連サイト 関連を科目 18. 該当なし 関連後科目 19. 接業計画(授業コマ単位)学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 回(コマ) 開講日 授業コマの主題(タイトル) 各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標 使用影 東務研修の心構え インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に説明する オリジナルアル オリジナルアル オリジナルアル オリジナルアル 東務研修の依頼 等とのマッチング、日程調整を説明する オリジナルアル オリジナルアル 第3回 接渉状・レポート作成 受け入れ企業の決定に基づき、必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なもの オリジナルアル 第4回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第5回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で、対策体験(実習日誌) 第1回 対策体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で、対策体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業所で、対策体験(実習日誌) 第1回 実務研修 受け入れ事業体験(実習日誌) 第1回 対策体験(実習日誌) 第1回 対策体験(実習日誌) 第1回 対策体験(実習日誌) 第1回 対策体験(実習日誌) 第1回 対策体験(実習日誌) 第1回 対策体験(実習日誌) 第1回 対策体験(実習日述科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学	
設備名・機器名 教材投影用プロジェクター/PC(講師用) 関連サイト 関連前科目 18. 該当なし 関連後科目 19.	
関連前科目 該当なし 関連後科目 関連後科目 授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 回(コマ) 開講日 授業コマの主題(タイトル) 各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標 使用参 第1回 実務研修の心構え インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に説明する オリジナルアの 第2回 実務研修の依頼 就職を希望する企業、サロンの調査法、インターンシップの依頼(電話・依頼文作成)企業 等とのマッチング、日程調整を説明する 実がリジナルアの 第3回 挨拶状・レポート作成 受け入れ企業の決定に基づき、必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なもの オリジナルアの 第4回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第5回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第6回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 対域に対する 対	
回(コマ)	
第1回 実務研修の心構え	20.
第1回 実務研修の心構え	対書・教材
第2回 実務研修の依頼 - 京和 (『リント
第3回 挨拶状・レポート作成 マリスれ企業の決定に基づき、必要書類などの作成を行いインターフタックを有意義なもの。オリジナルPoにする 第4回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第5回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第6回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	owerPoinnto
第5回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第6回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	
第6回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	
第7回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	
第8回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌) 第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	
第9回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	
第10回 室務研修 受け入れ事業所で献業体験(室習日誌)	
第11回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	
第12回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	
第13回 実務研修 受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)	P11 X . 1
第14回 インターンシップ報告会 を行う。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまと オリジナルPo	owerPoinnto
第15回 インターンシップ報告会 インターンシップ報告会 インターンシップ報告書を作成することを説明する インターンシップ報告書を作成することを説明する	werPoint
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)	21.
出席率80%以上及び ③課題レポート 提出物を全体の成績に反映する ④授業態度、提出物及び授業への出席状況を評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする	
↓判定方法\該当する観点→ 知識・理解 思考・判断 関心・意欲 態度 技能・表現 評価配分% 成績評	価基準
①成績判定試験	~90点
②確認テスト 優(A): 89点	
③課題レポート 1位 2位 3位 30 良(B): 79点 ④授業態度 2位 1位 10 可(D): 69点	
受放来感及 2位 1位 10 可(D)・09点 ③作品 なし 不可(E):59点	
◎プレゼンテーション なし なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。 不合格の場合 補修、追記	试の有無等
シラバス作成者 竹縄恵理 シラバス承認者 フルネームを記載者 授業担当教員 竹縄恵理	
- 実務経験紹介 子校日ド内の美物絵映教員の紹介ペーンのリンク	'を記載
更新履歴 更新理由 更新箇所 作成者 Check者	(確認者)
改I	
dy2	
- देश्व	
改 ⁴ 改5	